

講義科目名称：英会話I（上級）	授業コード：
英文科目名称：English Conversation I	ナンバリング：CC101

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1・2	1年	2	選択	演習
担当教員				
Rosalind Shiraishi				

授業概要	<p>This course aims to build students' confidence and competence in holding conversations in English on everyday, familiar topics. Listening and speaking skills are emphasized through practice and live online interaction with English speaking students in New Zealand. Live communication and group-work are used to develop and assess students' communication skills.</p> <p>英会話Iでは日常的な話題を英語で話せるように自信と知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。クラスメート、ネイティブスピーカー教員と共に英会話練習をするの上に、定期的にニュージーランドの学校とライブオンライン交流授業が行う。本演習では、①英語で練習済みの話題について話せる、②日常的な話題で自分の意思が伝達できる、③グループディスカッションで相手の意図を理解できるようになることを目標とする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	- 授業と授業で行うグループディスカッションへの参加・態度	30%
異文化知識・対応能力	英語で日常的な・基本的な表現を理解、用いることができる。限られた場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。	- Unit末復習課題 - Virtual Exchange	30% 40%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<p>1) 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。</p> <p>2) 本授業では、定期試験を実施しません。Unit末復習課題 30%、Virtual Exchange（ライブ授業・Pen Pal Project）40%、授業と授業で行うグループディスカッションへの参加・態度 30%の割合で評価します。</p> <p>3) 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomに載せます。</p> <p>4) 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。</p> <p>5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション：説明、教科書Unit 1: 自己紹介、英語での交流を体験する、LIVE授業の準備	対面授業	予習：特になし 復習：LIVE授業の準備(1時間)
2回目	LIVE Class Virtual Exchange - ライブオンライン交流	対面授業	予習：Unit 1 の復習(1時間)
3回目	クラス分け Pen Pal project	対面授業	復習：新しい単語と文法を復習する(1時間)
4回目	CNN Student News Unit 1: Future Offices	対面授業	予習：Unit 1 Warm Up & Vocabulary (30分) 復習：新しい単語と文法を復習する(30分)
5回目	CNN Student News Unit 2: Solar Belch	対面授業	予習：Unit 2 Warm Up & Vocabulary (30分) 復習：新しい単語と文法を復習する(30分)
6回目	CNN Student News Unit 3: Tug-of-war	対面授業	予習：Unit 3 Warm Up & Vocabulary (30分) 復習：新しい単語と文法を復習する(30分)
7回目	Unit 1~3 復習課題 Review Activity Pen Pal project	対面授業	予習：Unit 1~3 の復習(1時間)
8回目	Virtual Exchange Prep Pen Pal project	対面授業	予習：Pen Pal project (30分) 復習：新しい単語と文法を復習する(30分)
9回目	LIVE Class Virtual Exchange - ライブオンライン交流	対面授業	予習：ライブ授業の準備(30分) 復習：Exchangeレポート(30分)
10回目	CNN Student News Unit 4: Spotting Misinformation	対面授業	予習：Unit 4 Warm Up & Vocabulary (30分) 復習：新しい単語と文法を復習する(30分)
11回目	CNN Student News Unit 5: Trash Wheel	対面授業	予習：Unit 5 Warm Up & Vocabulary (30分) 復習：新しい単語と文法を復習する(30分)
12回目	CNN Student News Unit 6: Missions to the Moon	対面授業	予習：Unit 6 Warm Up & Vocabulary (30分) 復習：新しい単語と文法を復習する(30分)
13回目	Unit 3~6 復習課題 Review Activity Pen Pal project	対面授業	予習：Unit 4~6 の復習(1時間)
14回目	CNN Student News Unit 7: Desert Control	対面授業	予習：Unit 7 Warm Up & Vocabulary (30分) 復習：新しい単語と文法を復習する(30分)
15回目	CNN Student News Unit 8: Ice Cream Delivery	対面授業	予習：Unit 8 Warm Up & Vocabulary (30分) 復習：新しい単語と文法を復習する(30分)
16回目	CNN Student News Unit 9: Autumn Leaves	対面授業	予習：Unit 9 Warm Up & Vocabulary (30分) 復習：新しい単語と文法を復習する(30分)

17回目	Unit 7~9 復習課題 Review Activity Pen Pal project	対面授業	予習：Unit 7~9 の復習 (1時間)
18回目	World Englishes ①	対面授業	復習：新しい単語と文法を復習する (1時間)
19回目	Virtual Exchange Prep Pen Pal project	対面授業	予習：Pen Pal project (30分) 復習：新しい単語と文法を復習する (30分)
20回目	LIVE Class Virtual Exchange - ライブオンライン交流	対面授業	予習：ライブ授業の準備 (30分) 復習：Exchangeレポート (30分)
21回目	CNN Student News Unit 10: Magellan telescope	対面授業	予習：Unit 10 Warm Up & Vocabulary (30分) 復習：新しい単語と文法を復習する (30分)
22回目	CNN Student News Unit 11: Robodog	対面授業	予習：Unit 11 Warm Up & Vocabulary (30分) 復習：新しい単語と文法を復習する (30分)
23回目	CNN Student News Unit 12: Better Solar Panels	対面授業	予習：Unit 12 Warm Up & Vocabulary (30分) 復習：新しい単語と文法を復習する (30分)
24回目	Unit 10~12 復習課題 Review Activity Pen Pal project	対面授業	予習：Unit 10~12 の復習 (1時間)
25回目	World Englishes ②	対面授業	復習：新しい単語と文法を復習する (1時間)
26回目	CNN Student News Unit 13: Kelp Farming	対面授業	予習：Unit 13 Warm Up & Vocabulary (30分) 復習：新しい単語と文法を復習する (30分)
27回目	CNN Student News Unit 14: Town in Two Countries	対面授業	予習：Unit 14 Warm Up & Vocabulary (30分) 復習：新しい単語と文法を復習する (30分)
28回目	CNN Student News Unit 15: Drones protecting the Forest	対面授業	予習：Unit 15 Warm Up & Vocabulary (30分) 復習：新しい単語と文法を復習する (30分)
29回目	Unit 13~15 復習課題 Review Activity Pen Pal project	対面授業	予習：Unit 13~15 の復習 (1時間)
30回目	LIVE Class Virtual Exchange - ライブオンライン交流	対面授業	予習：ライブ授業の準備 (30分) 復習：Exchangeレポート (30分)
31回目	(定期試験なし)		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	教科書：CNN 10 Student News, Vol. 10 (朝日出版社)
履修条件	特になし
履修上の注意	オンライン交流授業の日程は変更になる場合があります。Virtual

	ExchangeとPen Pal Projectを実施する日は、可能ならPCやタブレットを持参してもいいです。
オフィスアワー	(1Q) 水曜日の3～4 現目 (研究室) (2Q) 木曜日の1～2 現目 (研究室)
備考・メッセージ	

講義科目名称：英会話I（初級・中級）	授業コード：
英文科目名称：English Conversation I	ナンバリング：CC101

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1・2	1年	2	選択	演習
担当教員				
Rosalind Shiraishi、その他				

授業概要	<p>This course aims to build students' confidence and competence in holding conversations in English on everyday, familiar topics. Listening and speaking skills are emphasized through practice and live online interaction with English speaking students in New Zealand. Live communication and group-work are used to develop and assess students' communication skills.</p> <p>英会話Iでは日常的な話題を英語で話せるように自信と知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。クラスメート、ネイティブスピーカー教員と共に英会話練習をするの上に、定期的にニュージーランドの学校とライブオンライン交流授業が行う。本演習では、①英語で練習済みの話題について話せる、②日常的な話題で自分の意思が伝達できる、③グループディスカッションで相手の意図を理解できるようになることを目標とする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	- 授業と授業で行うグループディスカッションへの参加・態度	30%
異文化知識・対応能力	英語で日常的な・基本的な表現を理解、用いることができる。限られた場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。	- Unit末復習課題 - Virtual Exchange	30% 40%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- 1) 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。
- 2) 本授業では、定期試験を実施しません。Unit末復習課題 30%、Virtual Exchange（ライブ授業・Pen Pal Project）40%、授業と授業で行うグループディスカッションへの参加・態度 30%の割合で評価します。
- 3) 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomに載せます。
- 4) 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。
- 5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:説明、教科書 Unit 1: 自己紹介、英語での交流を体験する、LIVE授業の準備	対面授業	予習: 特になし 復習: LIVE授業の準備 (1時間)
2回目	Virtual Exchange - ライブ授業 ニュージーランドオンライン交流	対面授業	予習: Unit 1 の復習 (1時間)
3回目	クラス分け Unit 2 - Activity 1~2: Going out to eat 外食の時に使う英語	対面授業	予習: p.11 Q&A (30分) 復習: Unit1の内容を復習する (30分)
4回目	Unit 2 - Activity 3~4: Your Restaurant skit 会話練習	対面授業	予習: p.13 ブレーンストーミング (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
5回目	Unit 1 & 2 復習課題 Review Activity Pen Pal Project ①	対面授業	予習: Unit 1&2の復習 (30分) 復習: Virtual Exchange サイトを読む (30分)
6回目	Unit 3 - Activity 1~2: Shopping 買い物の時に使う英語	対面授業	予習: p. 16 Q&A (30分) 復習: Exchangeトピックを練習する (30分)
7回目	Unit 3 - Activity 3~4: Shopping role play 会話練習	対面授業	予習: p.18 を見ておく、p.82の単語を復習する (30分) 復習: Unit 3のノートをまとめる (30分)
8回目	Unit 4 - Activity 1~2: Out on the town! 外出する時に使う英語	対面授業	予習: p. 20 Q&A (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
9回目	Virtual Exchange Prep 今までの内容の復習と練習	対面授業	予習: Unit 3のノートをまとめる (30分) 復習: Exchangeトピックを練習する (30分)
10回目	Virtual Exchange - ライブ授業 ニュージーランドオンライン交流	対面授業	予習: Exchangeトピックを準備する (30分) 復習: Virtual Exchangeアンケートを記入する (30分)
11回目	Unit 4 - Activity 3~4: My Plan for a Good Time 会話練習	対面授業	予習: p.22ブレーンストーミング (30分) 復習: Unit 4 のノートをまとめる (30分)
12回目	Unit 3 & 4 復習課題 Review Activity Pen Pal Project ②	対面授業	予習: Unit 3&4 の復習 (30分) 復習: Virtual Exchange サイトを読む (30分)
13回目	Unit 5 - Activity 1~2: Planning a trip 会話練習	対面授業	予習: p. 25 Q&A (30分) 復習: 行きたい場所を調べる (30分)
14回目	Unit 5 - Activity 3~4: The perfect tour 旅行を計画する時に使う英語	対面授業	予習: 参考になる情報を調べておく (30分) 復習: Unit 5 のノートをまとめる (30分)
15回目	Unit 6 - Activity 1~2: Hotel reservations ホテルで使う英語	対面授業	予習: p. 29 Q&A (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
16回目	Unit 6 - Activity 2~3: Hotel role play 会話練習	対面授業	予習: p.30~33を見ておく、単語を調べる (30分) 復習: Unit 6 のノートをまとめる (30分)

17回目	Unit 5 & 6 復習課題 Review Activity Pen Pal Project ③	対面授業	予習: Unit 5&6 の復習 (30分) 復習: Virtual Exchange サイト を読む (30分)
18回目	Unit 7 - Activity 1~2: Travel 空港で使う英語	対面授業	予習: p.35 Q&A (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習 する (30分)
19回目	Unit 7 - Activity 3: Airport role play 会話練習	対面授業	予習: p.37~38を見ておく、単 語を調べる (30分) 復習: Unit 7 のノートをもとめ る (30分)
20回目	Unit 8 - Activity 1~3: Roommates ホームステイで使う英語	対面授業	予習: p. 39 Q&A (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習 する (30分)
21回目	Virtual Exchange Prep 今までの内容の復習と練習	対面授業	予習: Unit 8のノートをもとめ る (30分) 復習: Exchangeトピックを練習 する (30分)
22回目	Virtual Exchange - ライブ授業 ニュージーランドオンライン交流	対面授業	予習: Exchangeトピックを準備 する (30分) 復習: Virtual Exchangeアン ケートを記入する (30分)
23回目	Unit 8 - Activity 3~4: Homestay 会話練習	対面授業	予習: p. 42 Q&A (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習 する (30分)
24回目	Unit 8 - Activity 5: Homestay role play 会話練習	対面授業	予習: 会話を練習する (30分) 復習: Unit 8 のノートをもとめ る (30分)
25回目	Unit 7 & 8 復習課題 Review Activity Pen Pal Project ④	対面授業	予習: Unit 7&8 の復習 (30分) 復習: Virtual Exchange サイト を読む (30分)
26回目	Unit 9 - Activity 1~3: Job hunting 就職で使う英語	対面授業	予習: p.45 Q&A (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習 する (30分)
27回目	Unit 9 - Activity 4~6: Job interviews 会話練習	対面授業	予習: p.47~49を見ておく、単 語を調べる (30分) 復習: Unit 9 のノートをもとめ る (30分)
28回目	Virtual Exchange Prep 今までの内容の復習と練習	対面授業	予習: Unit 9のノートをもとめ る (30分) 復習: Exchangeトピックを練習 する (30分)
29回目	Virtual Exchange - ライブ授業 ニュージーランドオンライン交流	対面授業	予習: Exchangeトピックを準備 する (30分) 復習: Virtual Exchangeアン ケートを記入する (30分)
30回目	Unit 9 復習課題 Review Activity Pen Pal Project ⑤	対面授業	予習: Unit 9 の復習 (30分) 復習: Virtual Exchange サイト を読む (30分)
31回目	(定期試験なし)		

科目 (教職課程用)	なし
------------	----

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	教科書：Starting Off with Role Play and Discussion (NAN'UN-DO)
履修条件	特になし
履修上の注意	オンライン交流授業の日程は変更になる場合があります。Virtual ExchangeとPen Pal Projectを実施する日は、可能ならPCやタブレットを持参してもいいです。
オフィスアワー	(1Q) 水曜日の3～4 現目 (研究室) (2Q) 木曜日の1～2 現目 (研究室)
備考・メッセージ	

講義科目名称：英会話II（上級）	授業コード：
英文科目名称：English Conversation II	ナンバリング：CC301

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3	1年	1	選択	演習
担当教員				
Rosalind Shiraishi				

授業概要	<p>This course builds on English Conversation I and aims to expand students' ability to hold conversations in English on familiar topics. Listening and speaking skills are emphasized through practice and live online interaction with English speaking students in New Zealand. Live communication, group-work and oral presentations are used to develop and assess students' communication skills.</p> <p>英会話Iで学んだ内容を基礎として、身近な話題で英会話できるようにさらに英語の知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。クラスメート、ネイティブスピーカー教員と共に英会話練習をするの上に、定期的にニュージーランドの学校とライブオンライン交流授業が行う。本演習では、①準備した内容を英語で発表できる、②日常の事柄について自分の意思が伝達できる、③ グループディスカッションで相手の話の内容を正確につかみ、コミュニケーションが取れるようになることを目標とする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	- 授業と授業で行うグループディスカッションへの参加・態度	30%
異文化知識・対応能力	英語で日常的な・基本的な表現を理解、用いることができる。限られた場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。	- Unit末復習課題 - Virtual Exchange	30% 40%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項
<p>1) 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。</p> <p>2) 本授業では、定期試験を実施しません。Unit末復習課題 30%、Virtual Exchange (Video Diary・Pen Pal Project) 40%、授業と授業で行うグループディスカッションへの参加・態度 30%の割合で評価します。</p> <p>3) 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomに載せます。</p> <p>4) 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。</p> <p>5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。</p>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション: Video Diaryの説明、英会話1の復習	対面授業	復習: Video Diaryのブレーストーミング (1時間)
2回目	Video Diary ①の準備、練習	対面授業	復習: 新しい単語と文法を復習する (1時間)
3回目	Video Diary ①の準備、練習	対面授業	予習: Video Diaryの英語を練習する (1時間)
4回目	Video Diary ① Virtual Exchange - オンライン交流	対面授業	予習: Video Diaryの英語を練習する (1時間)
5回目	World Englishes ①	対面授業	予習: リーディング (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
6回目	World Englishes ②	対面授業	予習: リーディング (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
7回目	World Englishes 復習課題 Review Activity 1, Pen Pal Project	対面授業	予習: World Englishes 1~2の復習 (1時間)
8回目	World Englishes ③ Research Project Part 1	対面授業	予習: リーディング (30分) 復習: Research Project (30分)
9回目	World Englishes ④ Research Project Part 2	対面授業	予習: リーディング (30分) 復習: Research Project (30分)
10回目	Research Project: Presentation World Englishes 復習課題 Review Activity 2	対面授業	予習: Project発表の準備、World Englishesの復習 (1時間)
11回目	Video Diary ②の準備、練習	対面授業	復習: 新しい単語と文法を復習する (1時間)
12回目	Video Diary ②の準備、練習	対面授業	復習: Video Diaryの英語を練習する (1時間)
13回目	Video Diary ②の準備、練習	対面授業	復習: Video Diaryの英語を練習する (1時間)
14回目	Video Diary ② Virtual Exchange - オンライン交流	対面授業	復習: Video Diaryの英語を練習する (1時間)
15回目	Video Diary ② 復習課題 Review Activity Pen Pal Project	対面授業	予習: Video Diaryの復習 (1時間)
16回目	(定期試験なし)		

科目 (教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	教科書: なし
履修条件	英会話を履修したこと
履修上の注意	オンライン交流授業の日程は変更になる場合があります。Virtual ExchangeとPen Pal Projectを実施する日は、可能ならPCやタブレットを持参してもいいです。
オフィスアワー	(3Q) 月曜日の3~4 現目 (研究室)
備考・メッセージ	

講義科目名称：英会話Ⅲ	授業コード：
英文科目名称：English Conversation III	ナンバリング：CC501

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5・6	2年	2	選択	演習
担当教員				
Rosalind Shiraishi				

授業概要	<p>This course builds on English Conversation I & II and aims to expand students' ability to hold conversations in English beyond familiar, everyday topics. Listening and speaking skills are emphasized. Pair-work, group-work and presentations are used to develop and assess students' communication skills.</p> <p>1年生の時に学んだ内容を基礎として、様々な話題で英会話できるようにさらに英語の知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。本演習では、①教員に与えられたトピックを英語で発表できる、②普段触れない話題や事柄について自分の意思が伝達できる、③ グループディスカッションで相手の話の内容に疑問を持ち、主体的に質問しあうコミュニケーションが取れるようになることを目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	授業と授業で行うグループワークへの参加・態度	30%
専門的知識や技能	英語で身近な話題について主要な点を理解できる。また仕事、学校、娯楽など大抵な事態に対処することができ、その場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。	プロジェクト発表	70%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<p>1) 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。</p> <p>2) 本授業では、プロジェクト発表 80%、グループディスカッションへの参加・態度 20%の割合で評価します。</p> <p>3) 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomに載せます。</p> <p>4) 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。</p> <p>5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション: Syllabus explanation、 Presentation ① explanation <u>グループワーク(Presentation ①)</u> : Discussion & brainstorming	対面授業	予習: 特になし 復習: プレゼンテーションブ レーンストーミング (1時間)
2回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>英文法と語彙 1</u> : Stating your purpose & effective openings	対面授業	予習: 資料を見ておく (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
3回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ①)</u> : Discussion & brainstorming, develop presentation ideas, practice conversation	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
4回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>Language Focus 2</u> : Commenting on Visuals	対面授業	予習: 資料を見ておく (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
5回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ①)</u> : Slideshow brainstorming, develop presentation ideas, practice conversation	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
6回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>Language Focus 3</u> : Signposting & presentation structure	対面授業	予習: 資料を見ておく (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
7回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ①)</u> : Presentation Outline	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
8回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>Language Focus 4</u> : Voice - Articulation & chunking	対面授業	予習: 資料を見ておく (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
9回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ①)</u> : Presentation practice & editing, start creating visuals (slideshow)	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
10回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>Language Focus 5</u> : Voice - Stress, pacing & intonation	対面授業	予習: 資料を見ておく (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
11回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ①)</u> : Presentation practice & editing, complete visuals (slideshow)	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
12回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>Language Focus 6</u> : Presentation survival tactics (what to do about mistakes)	対面授業	予習: 資料を見ておく (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
13回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ①)</u> : 発表練習	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
14回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ①)</u> : 発表練習	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
15回目	<u>グループワーク: Presentation ①</u> 発表	対面授業	予習: 発表の練習 (1時間)
16回目	Warm up: 日常英語(会話練習) Presentation ② explanation	対面授業	復習: プレゼンテーションブ レーンストーミング (1時間)

	<u>グループワーク(Presentation ②): Discussion & brainstorming</u>		
17回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>Language Focus 7: Basics - Review Language Focus topics 1~3</u>	対面授業	予習: 資料を見ておく (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
18回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ②): Discussion & brainstorming, develop presentation ideas, practice conversation</u>	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
19回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>Language Focus 8: Techniques - Emphasis, focus & repetition</u>	対面授業	予習: 資料を見ておく (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
20回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ②): Visuals brainstorming, develop presentation ideas, practice conversation</u>	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
21回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>Language Focus 9: Techniques - Rhetorical questions, dramatic contrasts, build ups, knock downs</u>	対面授業	予習: 資料を見ておく (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
22回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ②): Presentation Outline</u>	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
23回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>Language Focus 10: Techniques - Triples, over-emphasis, simplification, creating a rapport</u>	対面授業	予習: 資料を見ておく (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
24回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ②): Presentation practice & editing, start planning visuals</u>	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
25回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>Language Focus 11: Voice - Review Language Focus topics 4~5</u>	対面授業	予習: 資料を見ておく (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
26回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ②): Presentation practice & editing, complete visuals</u>	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
27回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>Language Focus 12: Dealing with questions from the audience</u>	対面授業	予習: 資料を見ておく (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
28回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ②): 発表練習</u>	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
29回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ②): 発表練習</u>	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
30回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ②): 発表練習</u>	対面授業	復習: 発表の練習 (1時間)
31回目	プレゼンテーション②発表		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	なし
履修条件	特になし
履修上の注意	PCやタブレットを持参してもいいです。
オフィスアワー	(5Q) 水曜日の3～4 現目（研究室） (6Q) 木曜日の1～2 現目（研究室）
備考・メッセージ	

講義科目名称：英会話Ⅳ	授業コード：
英文科目名称：English Conversation IV	ナンバリング：CC701

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7・8	2年	2	選択	演習
担当教員				
Rosalind Shiraishi				

授業概要	<p>This course builds on English Conversation I & II and aims to expand students' ability to hold conversations in English in a wide variety of topics. Listening and speaking skills are emphasized. Pair-work, group-work and presentations are used to develop and assess students' communication skills.</p> <p>1年生の時に学んだ内容を基礎として、様々な話題で英会話できるようにさらに英語の知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。本演習では、①教員に与えられたトピックについて熟考し起承転結を用いた発表ができる、②抽象的な話題・具体的な話題でも複雑な内容について自分の意思が伝達できる、③ 教員の助けを借りず率先してグループディスカッションを成立させ、幅広いテーマについてコミュニケーションが取れるようになることを目標とする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	授業と授業で行うグループワークへの参加・態度	30%
専門的知識や技能	英語で身近な話題について主要な点を理解できる。また仕事、学校、娯楽など大抵な事態に対処することができ、その場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。	プロジェクト発表	70%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ol style="list-style-type: none"> 1) 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。 2) 本授業では、プロジェクト発表 80%、グループディスカッションへの参加・態度 20%の割合で評価します。 3) 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomに載せます。 4) 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション: Syllabus explanation, Presentation ① explanation, introductions	対面授業	予習：特になし 復習：プレゼンテーション

	conversation <u>グループワーク(Presentation ①)</u> : Discussion & brainstorming		レーンストーミング (1時間)
2回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>英文法と語彙 1: Basics Review - Effective openings, Signposting</u>	対面授業	予習: 資料を見ておく (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
3回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ①)</u> : Discussion & brainstorming, develop presentation ideas, practice conversation	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
4回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>Language Focus 2: Basics Review - Visuals (slideshows & other visual aids)</u>	対面授業	予習: 資料を見ておく (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
5回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ①)</u> : Slideshow brainstorming, develop presentation ideas, practice conversation	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
6回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>Language Focus 3: Basics Review - Voice & pacing</u>	対面授業	予習: 資料を見ておく (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
7回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ①)</u> : Presentation Outline	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
8回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>Language Focus 4: Advanced Review - Presentation techniques</u>	対面授業	予習: 資料を見ておく (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
9回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ①)</u> : Presentation practice & editing, start creating visuals (slideshow)	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
10回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>Language Focus 5: Advanced Review - Questions & mistakes</u>	対面授業	予習: 資料を見ておく (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
11回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ①)</u> : Presentation practice & editing, complete visuals (slideshow)	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
12回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>Language Focus 6: Dealing with questions</u>	対面授業	予習: 資料を見ておく (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
13回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ①)</u> : 発表練習	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
14回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ①)</u> : 発表練習	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
15回目	<u>グループワーク: Presentation ①</u> 発表	対面授業	予習: 発表の練習 (1時間)
16回目	Warm up: 日常英語(会話練習) Presentation ② explanation <u>グループワーク(Presentation ②)</u> : Discussion & brainstorming	対面授業	復習: プレゼンテーション レーンストーミング (1時間)

17回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>Language Focus 7</u> : Discussing data & research, business English expressions & language	対面授業	予習: 資料を見ておく (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
18回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ②)</u> : Discussion & brainstorming, develop presentation ideas, practice conversation	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
19回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>Language Focus 8</u> : Telling stories, friendly English & engaging with the audience	対面授業	予習: 資料を見ておく (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
20回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ②)</u> : Slideshow brainstorming, develop presentation ideas, practice conversation	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
21回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>Language Focus 9</u> : Presentation Analysis (example presentation)	対面授業	予習: 資料を見ておく (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
22回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ②)</u> : Presentation Outline	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
23回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>Language Focus 10</u> : Presentation Analysis (example presentation)	対面授業	予習: 資料を見ておく (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
24回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ②)</u> : Presentation practice & editing, start creating visuals (slideshow)	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
25回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>Language Focus 11</u> : Presentation Analysis (example presentation)	対面授業	予習: 資料を見ておく (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
26回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ②)</u> : Presentation practice & editing, complete visuals (slideshow)	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
27回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>Language Focus 12</u> : Review: Dealing with questions from the audience	対面授業	予習: 資料を見ておく (30分) 復習: 新しい単語と文法を復習する (30分)
28回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ②)</u> : 発表練習	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
29回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ②)</u> : 発表練習	対面授業	予習/復習: グループワークの準備・仕上げをする (1時間)
30回目	Warm up: 日常英語(会話練習) <u>グループワーク(Presentation ②)</u> : 発表練習	対面授業	復習: 発表の練習 (1時間)
31回目	プレゼンテーション②発表		

科目 (教職課程用)	なし
------------	----

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	なし
履修条件	特になし
履修上の注意	PCやタブレットを持参してもいいです。
オフィスアワー	(7Q) 月曜日の3～4 現目 (研究室) (8Q) 月曜日の3～4 現目 (研究室)
備考・メッセージ	

講義科目名称：英語検定I（上級）	授業コード：
英文科目名称：English Proficiency Test Preparation I	ナンバリング：CC102

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1	1年	2	選択	講義
担当教員				
Rosalind Shiraishi				

授業概要	<p>目安として（G1）英検2級以上レベル、（G2）2級レベル、（G3）準2級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検2級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは Vocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分な予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<p>このタームの終了時の目標： G1：TOEIC(CASEC) 700 点 G2：TOEIC(CASEC) 500 点 G3：TOEIC(CASEC) 400 点 特に、上記の目標達成のために、以下の5項目で各レベルまでの達成を目指します。 1) Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを増やす。 2) Grammar：苦手とする文法を理解する。 3) Composition：基本的な英作文ができるようにする。 4) Reading：英文読解の精度とスピードをあげる。 5) Listening：正確に英語を聞き取れるようになる。</p>	<p>- 定期試験 - 課題 - 授業への参加・態度</p>	<p>60% 20% 20%</p>
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- 1) 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。
- 2) 本授業では、定期試験 60%、課題20%、授業への参加・態度 20%の割合で評価します。
- 3) 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomに載せます。
- 4) 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。
- 5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション：授業の進め方	対面授業	復習：指定した問題を解いてみる（4時間）
2回目	UNIT L-1：写真描写問題 ・人物が写っている写真 ・スピーキング：写真を説明する	対面授業	予習：Strategies (p.5) を読み、理解しておく（1時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（3時間）
3回目	UNIT L-2：写真描写問題 ・人物が写っていない写真 ・スピーキング：写真を説明する	対面授業	予習：Strategies (p.9) を読み、理解しておく（1時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（3時間）
4回目	UNIT L-3：応答問題 ・疑問視疑問文 ・スピーキング：イラストの展開を説明する	対面授業	予習：Strategies (p.14~15) を読み、理解しておく（1時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（3時間）
5回目	UNIT L-4：応答問題 ・Yes/No 疑問文 ・その他の疑問文 ・スピーキング：イラストの展開を説明する	対面授業	予習：Strategies (p.18~19) を読み、理解しておく（1時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（3時間）
6回目	UNIT L-5：応答問題 ・平叙文 ・意外な応答 ・単文穴埋め問題	対面授業	予習：Strategies (p.22~23) を読み、理解しておく（1時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（3時間）
7回目	UNIT L-6：応答問題 ・機能別疑問文 ・単文穴埋め問題	対面授業	予習：Strategies (p.26~27) を読み、理解しておく（1時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（3時間）
8回目	UNIT L-7：会話問題 ・目的 ・懸念 ・次の行動 ・単文穴埋め問題、リスニング:会話	対面授業	予習：Strategies (p.32) を読み、理解しておく（1時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（3時間）
9回目	UNIT L-8：会話問題 ・言及 ・問題点 ・提案 ・単文穴埋め問題、リスニング:会話	対面授業	予習：Strategies (p.35~36) を読み、理解しておく（1時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（3時間）
10回目	UNIT L-9：会話問題 ・申し出 ・依頼 ・意図 ・単文穴埋め問題、リスニング:会話	対面授業	予習：Strategies (p.40~41) を読み、理解しておく（1時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（3時間）
11回目	UNIT L-10：説明文問題 ・録音メッセージ ・アナウンス ・リスニング：文の内容	対面授業	予習：Strategies (p.46) を読み、理解しておく（1時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（3時間）
12回目	UNIT L-11：説明文問題	対面授業	予習：Strategies (p.49~50) を読み、理解しておく（1時間）

	・トーク ・会議 ・ニュース ・リスニング：文の内容		復習：授業で間違ったところを を復習し、指定した問題を解い てみる（3時間）
13回目	UNIT L-12：グラフィック（図表）問題 ・リスニング：文の内容	対面授業	予習：Strategies (p.55~55) を 読み、理解しておく（1時間） 復習：授業で間違ったところを を復習し、指定した問題を解い てみる（3時間）
14回目	UNIT L-13：Review (Parts 1 & 3)	対面授業	予習&復習：Part 1 & 3をしっか り復習しておく（4時間）
15回目	UNIT L-13：Review (Parts 2 & 4)	対面授業	予習&復習：Part 2 & 4をしっか り復習しておく（4時間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	なし
教科書・参考書	教科書：Key Strategies for Success on the TOEIC L&R Test: Level 600 （クラス担当教員から注文する）
履修条件	特になし
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	（1Q）水曜日の3～4 現目（研究室）
備考・メッセージ	

講義科目名称:英語検定 I (初級)	授業コード:
英文科目名称:English Proficiency Test I (Elementary)	ナンバリング:CC102

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年	2単位	選択	講義

担当教員
牟田 美信

授業概要	<p>本授業では、TOEIC(400)&英検準2級レベルを目指す授業をおこないます。TOEICの演習問題を通して、英語の基礎から学び、特に、リスニングとリーディング問題をときながら、文法も詳しく解説します。</p> <p>TOEICは、日常生活やビジネスシーンで活かせる英語のリスニング力やリーディング力を測定するテストです。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			

<p>専門的知識や技能</p>	<p>・このタームの終了時の目標レベル: TOEIC 400点とする。 ・TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行うが、「音読・シャドーイング」も取り入れながら、5項目で各レベルまでの達成を目指す。</p> <p>① Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 ② Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 ③ Composition: 基本的な英語での作文ができる。 ④ Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 ⑤ Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。</p>	<p>・定期試験 ・小課題 ・授業への参加・態度</p>	<p>70% 20% 10%</p>
<p>異文化知識・対応能力</p>			
<p>課題解決能力</p>			
<p>キャリアデザイン力</p>			
合計			100%
補足事項			
<p>・本授業では、定期試験70%、小課題20%、授業への参加・態度10%の割合で総合評価する。 ・小課題においては、発音チェックのための音読練習・スマホ録音等も含む。 ・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。</p>			

授業計画	授業内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション: 授業の進め方 Unit 1 Eating Out ① Grammar: be動詞	対面授業	予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間) 復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)
2回目	Unit 1 Eating Out ② Grammar: be動詞	対面授業	予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間) 復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)
3回目	Unit 2 Travel ① Grammar: 一般動詞	対面授業	予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間) 復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)
4回目	Unit 2 Travel ② Grammar: 一般動詞	対面授業	予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間) 復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)
5回目	Unit 3 Amusement ① Grammar: 品詞	対面授業	予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間) 復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)

6回目	Unit 3 Amusement ② Grammar: 品詞	対面授業	<p>予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
7回目	Unit 4 Meetings ① Grammar: 自動詞・他動詞	対面授業	<p>予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
8回目	Unit 4 Meetings ② Grammar: 自動詞・他動詞	対面授業	<p>予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
9回目	Unit 5 Personnel ① Grammar: 受動態	対面授業	<p>予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
10回目	Unit 5 Personnel ② Grammar: 受動態	対面授業	<p>予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>

11回目	Unit 6 Shopping ① Grammar:代名詞	対面授業	<p>予習:次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習:授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
12回目	Unit 6 Shopping ② Grammar:代名詞	対面授業	<p>予予習:次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習:授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
13回目	Unit 7 Advertisement ① Grammar:数えられる名詞、数えられない名詞	対面授業	<p>予習:次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習:授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
14回目	Unit 7 Advertisement ② Grammar:数えられる名詞、数えられない名詞	対面授業	<p>予習:次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習:授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
15回目	総復習	対面授業	予習&復習:Unit 1- 7で間違ったところを予習復習し、定期試験の準備をする(4時間)
16回目	定期試験		試験範囲は、授業中に指示

科目(教職課程用)	
-----------	--

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「Crossing the TOEIC Bridge」Asahi Press * (参考書)「でる順パス単 英検準2級」、旺文社
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	資格取得を意識した短期集中型の授業なので進度も早い、個人個人で予習復習を十分にして、積極的に取り組むこと。

講義科目名称：英語検定II（上級）	授業コード：
英文科目名称：English Proficiency Test Preparation II	ナンバリング：CC201

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2	1年	2	選択	講義
担当教員				
Rosalind Shiraishi				

授業概要	<p>目安として（G1）英検 2 級以上レベル、（G2）2 級レベル、（G3）準 2 級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検 2 級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは Vocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3 人の教員で、レベル別に授業を行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<p>このタームの終了時の目標： G1：TOEIC(CASEC) 700 点 G2：TOEIC(CASEC) 500 点 G3：TOEIC(CASEC) 400 点 特に、上記の目標達成のために、以下の 5 項目で各レベルまでの達成を目指します。 1) Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを増やす。 2) Grammar：苦手とする文法を理解する。 3) Composition：基本的な英作文ができるようにする。 4) Reading：英文読解の精度とスピードをあげる。 5) Listening：正確に英語を聞き取れるようになる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 定期試験 - 課題 - 授業への参加・態度 	<p>60%</p> <p>20%</p> <p>20%</p>
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<p>1) 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。 2) 本授業では、定期試験 60%、課題20%、授業への参加・態度 20%の割合で評価します。 3) 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomに載せます。 4) 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。</p>			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション：授業の進め方	対面授業	復習：指定した問題を解いてみる（4時間）
2回目	UNIT R-1：単文穴埋め問題 ・品詞 ・英検単文穴埋め問題、語彙の復習	対面授業	予習：Strategies (p.66~67) を読み、理解しておく（1時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（3時間）
3回目	UNIT R-2：単文穴埋め問題 ・動詞の形（1） 能動態 vs 受動態、分詞 ・英検単文穴埋め問題、語彙の復習	対面授業	予習：Strategies (p.71~72) を読み、理解しておく（1時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（3時間）
4回目	UNIT R-3：単文穴埋め問題 ・動詞の形（2） 時制 ・その他 ・英検長文穴埋め問題	対面授業	予習：Strategies (p.76~77) を読み、理解しておく（1時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（3時間）
5回目	UNIT R-4：単文穴埋め問題 ・前置詞 ・接続詞 ・英検長文穴埋め問題	対面授業	予習：Strategies (p.81~82) を読み、理解しておく（1時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（3時間）
6回目	UNIT R-5：単文穴埋め問題 ・代名詞 ・関係代名詞 ・リスニング：英検面接の音読、読解	対面授業	予習：Strategies (p.86~87) を読み、理解しておく（1時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（3時間）
7回目	UNIT R-6：長文穴埋め問題 ・概要と基本戦略 ・リスニング：英検面接の音読、読解	対面授業	予習：Strategies (p.92) を読み、理解しておく（1時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（3時間）
8回目	UNIT R-7：読解問題 ・広告 ・チャット ・英検読解問題	対面授業	予習：Strategies (p.98~99) を読み、理解しておく（1時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（3時間）
9回目	UNIT R-8：読解問題 ・言及 ・問題点 ・提案 ・英検読解問題	対面授業	予習：Strategies (p.105~106) を読み、理解しておく（1時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（3時間）
10回目	UNIT R-9：読解問題 ・告知 ・社内回覧 ・英検ライティング問題	対面授業	予習：Strategies (p.113) を読み、理解しておく（1時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（3時間）
11回目	UNIT R-10：読解問題 ・記事 ・英検ライティング問題	対面授業	予習：Strategies (p.119) を読み、理解しておく（1時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（3時間）

12回目	UNIT R-11：読解問題 ・ダブルパッセージ ・英検ライティング問題	対面授業	予習：Strategies (p.125~126)を読み、理解しておく（1時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（3時間）
13回目	UNIT R-12：読解問題 ・トリプルパッセージ ・英検ライティング問題	対面授業	予習：Strategies (p.134~135)を読み、理解しておく（1時間） 復習：授業で間違ったところをを復習し、指定した問題を解いてみる（3時間）
14回目	UNIT R-13：Review (Parts 5 & 6)	対面授業	予習&復習：Part 5 & 6をしっかりと復習しておく（4時間）
15回目	UNIT R-13：Review (Part 7)	対面授業	予習&復習：Part 7をしっかりと復習しておく（4時間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	教科書：Key Strategies for Success on the TOEIC L&R Test: Level 600 （クラス担当教員から注文する）
履修条件	特になし
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	（2Q）木曜日の1～2現目（研究室）
備考・メッセージ	

講義科目名称:英語検定Ⅱ(初級)	授業コード:
英文科目名称:English Proficiency Test Ⅱ (Elementary)	ナンバリング:CC201

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2Q	1年	2単位	選択	講義

担当教員
牟田 美信

授業概要	<p>本授業では、1Qの「英語検定Ⅰ」の継続となる授業で、TOEIC(400)&英検準2級レベルを目指す授業をおこないます。</p> <p>TOEICの演習問題を通して、英語の基礎から学び、特に、リスニングとリーディング問題をときながら、文法も詳しく解説します。</p> <p>TOEICは、日常生活やビジネスシーンで活かせる英語のリスニング力やリーディング力を測定するテストです。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			

<p>専門的知識や技能</p>	<p>・このタームの終了時の目標レベル: TOEIC 400点とする。 ・TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行うが、「音読・シャドーイング」も取り入れながら、5項目で各レベルまでの達成を目指す。</p> <p>① Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 ② Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 ③ Composition: 基本的な英語での作文ができる。 ④ Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 ⑤ Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。</p>	<p>・定期試験 ・小課題 ・授業への参加・態度</p>	<p>70% 20% 10%</p>
<p>異文化知識・対応能力</p>			
<p>課題解決能力</p>			
<p>キャリアデザイン力</p>			
合計			100%
補足事項			
<p>・本授業では、定期試験70%、小課題20%、授業への参加・態度10%の割合で総合評価する。 ・小課題においては、発音チェックのための音読練習・スマホ録音等も含む。 ・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。</p>			

授業計画	授業内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	Unit 8 Daily Life ① Grammar: 数量詞	対面授業	予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間) 復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)
2回目	Unit 8 Daily Life ② Grammar: 数量詞	対面授業	予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間) 復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)
3回目	Unit 9 Office Work ① Grammar: to不定詞	対面授業	予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間) 復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)
4回目	Unit 9 Office Work ② Grammar: to不定詞	対面授業	予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間) 復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)
5回目	Unit 10 Business ① Grammar: 動名詞	対面授業	予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間) 復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)

6回目	Unit 10 Business ② Grammar: 動名詞	対面授業	<p>予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
7回目	Unit 11 Traffic ① Grammar: 助動詞	対面授業	<p>予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
8回目	Unit 11 Traffic ② Grammar: 助動詞	対面授業	<p>予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
9回目	Unit 12 Finance and Banking ① Grammar: 前置詞	対面授業	<p>予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
10回目	Unit 12 Finance and Banking ② Grammar: 前置詞	対面授業	<p>予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>

11回目	Unit 13 Media ① Grammar:接続詞	対面授業	<p>予習:次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習:授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
12回目	Unit 13 Media ② Grammar:接続詞	対面授業	<p>予予習:次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習:授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
13回目	Unit 14 Health and Welfare ① Grammar:比較	対面授業	<p>予習:次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習:授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
14回目	Unit 14 Health and Welfare ② Grammar:比較	対面授業	<p>予習:次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習:授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
15回目	総復習	対面授業	<p>予習&復習:Unit 1- 7で間違ったところを予習復習し、定期試験の準備をする(4時間)</p>
16回目	定期試験		<p>試験範囲は、授業中に指示</p>

科目(教職課程用)

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「Crossing the TOEIC Bridge」Asahi Press *「でる順パス単 英検準2級」、旺文社
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) *その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	資格取得を意識した短期集中型の授業なので進度も早い、個人個人で予習復習を十分にして、積極的に取り組むこと。

講義科目名称：英語検定Ⅲ（上級）	授業コード：
英文科目名称：English Proficiency Test Ⅲ	ナンバリング：CC502

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5th Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
近藤 直美				

授業概要	<p>目安として (G1) 英検 2 級以上レベル、(G2) 2 級レベル、(G3) 準 2 級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検 2 級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは Vocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<p>TOEIC の「Listening」「Reading」強化を中心に行う：</p> <p>1.Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。</p> <p>2.Grammar：苦手とする文法を理解することができる。</p> <p>3.Reading：英文読解の精度とスピードを高めることができる。</p> <p>4.Listening：正確に英語を聞き取ることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期試験 ・ 小テスト ・ 課題 ・ 授業への参加・態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 50% ・ 20% ・ 20% ・ 10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Google クラウドで受け付けます。 ・ 本授業では定期試験 50%、小テスト 20%、課題 20%、授業への参加・態度 10%の割合で評価します。 ・ 15 分以上の遅刻は欠席とします。

- ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。
- ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション：授業の進め方 導入：品詞の理解、英語の意味順	対面授業	復習：品詞と英語の意味順を再確認する（2時間） 予習：指定した単語を学習し、小テストに備える（1時間）、サンプル問題を解き TOEIC の出題形式を把握しておく（1時間）
2回目	金フレ：単語テスト 1-50 TEST 1 Part 1 写真描写問題	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：指定した単語を学習し、小テストに備える（1時間）
3回目	金フレ：単語テスト 51-100 TEST 1 Part 5 短文穴埋め問題（文法を理解する）	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：指定した単語を学習し、小テストに備える（1時間）
4回目	金フレ：単語テスト 101-150 TEST 1 Part 2 応答問題（疑問文の種類を理解する）	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：指定した単語を学習し、小テストに備える（1時間）
5回目	金フレ：単語テスト 151-200 TEST 1 Part 5 短文穴埋め問題（品詞を理解する）	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：指定した単語を学習し、小テストに備える（1時間）
6回目	金フレ：単語テスト 201-250 TEST 1 Part 2（疑問や意見に対する応答のパターンを理解する）	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：指定した単語を学習し、小テストに備える（1時間）
7回目	金フレ：単語テスト 251-300 TEST 1 Part 6 長文穴埋め問題 （精読の仕方を覚える）	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：指定した単語を学習し、小テストに備える（1時間）
8回目	金フレ：単語テスト 301-350 TEST 1 Part 3 会話問題（会話のトピックを聞き取れるようになる）	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：指定した単語を学習し、小テストに備える（1時間）
9回目	金フレ：単語テスト 351-400 TEST 1 Part 7 読解問題（シングルパッセージを読むスピードを上げる）	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：指定した単語を学習し、小テストに備える（1時間）

10 回目	金フレ：単語テスト Supplement 1 1-50 TEST 1 Part 3 会話問題(会話 の詳細を聞き取れるようになる)	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて 次回の授業で提出する (3 時間) 予習：指定した単語を学習し、小テストに備える (1 時間)
11 回目	金フレ：単語テスト Supplement 1 51-100 TEST 1 Part 7 読解問題(ダブル パッセージを精読する)	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて 次回の授業で提出する (3 時間) 予習：指定した単語を学習し、小テストに備える (1 時間)
12 回目	金フレ：単語テスト 401-450 TEST 1 Part 4 説明文問題(話 の流れを大まかにつかむ練習)	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて 次回の授業で提出する (3 時間) 予習：指定した単語を学習し、小テストに備える (1 時間)
13 回目	金フレ：単語テスト 451-500 TEST 1 Part 7 読解問題(トリ プルパッセージを精読する)	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて 次回の授業で提出する (3 時間) 予習：指定した単語を学習し、小テストに備える (1 時間)
14 回目	金フレ：単語テスト 501-550 TEST 1 Part 4 説明文問題(詳細な 情報を聞き取る練習)	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて 次回の授業で提出する (3 時間) 予習：指定した単語を学習し、小テストに備える (1 時間)
15 回目	金フレ：単語テスト 551-600 TEST 2 を使った総復習	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて 次回の授業で提出する (3 時間) 予習：指定した単語を学習し、小テストに備える (1 時間)
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ (TOEIC TEST 特急シリーズ) 公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 7 (教員による注文)
履修条件	なし
履修上の注意	自己目標を明確にして意欲的に授業に臨みましょう
オフィスアワー	5Q 金曜 2・3 時限 (研究室)
備考・メッセージ	短期集中で一気にスコアアップを目指しましょう。

講義科目名称:英語検定Ⅲ(中級)	授業コード:
英文科目名称:English Proficiency Test Ⅲ (Intermediate)	ナンバリング:CC502

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	講義

担当教員
牟田 美信

授業概要	<p>本授業では、TOEIC(400~550点)&英検準2級~2級レベルを目指し、文法なども詳しく説明しながら授業を進めます。</p> <p>日常生活やビジネスシーンでも活かせる英語のリスニング力やリーディング力を測定するテストであるTOEICの演習問題を解き、総合的に英語力を高めます。</p> <p>TOEICは、リスニングセクション(写真描写問題、応答問題、会話問題、説明文問題)とリーディングセクション(短文穴埋め問題、長文穴埋め問題、文章理解問題)の構成となっています。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			

<p>専門的知識や技能</p>	<p>・このタームの終了時の目標レベル: TOEIC400~550点とする。 ・TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行うが、「音読・シャドーイング」も取り入れながら、5項目で各レベルまでの達成を目指す。</p> <p>① Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 ② Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 ③ Composition: 基本的な英語での作文ができる。 ④ Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 ⑤ Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。</p>	<p>・定期試験 ・小課題 ・授業への参加・態度</p>	<p>70% 20% 10%</p>
<p>異文化知識・対応能力</p>			
<p>課題解決能力</p>			
<p>キャリアデザイン力</p>			
合計			100%
補足事項			
<p>・本授業では、定期試験70%、小課題20%、授業への参加・態度10%の割合で総合評価する。 ・小課題においては、発音チェックのための音読練習・スマホ録音等も含む。 ・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。</p>			

授業計画	授業内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション: 授業の進め方 Unit 1 Daily Life 文法: 動詞	対面授業	予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。(2時間) 復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する。(2時間)
2回目	Unit 2 Office 文法: 代名詞	対面授業	予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。(2時間) 復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する。(2時間)
3回目	Unit 3 Meeting & Event 文法: 前置詞と接続詞	対面授業	予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。(2時間) 復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する。(2時間)
4回目	Unit 4 Shpping 文法: 前置詞と接続詞	対面授業	予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。(2時間) 復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する。(2時間)

5回目	Unit 5 Advertisement & Notice 文法:助動詞	対面授業	<p>予習:次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。(2時間)</p> <p>復習:授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する。(2時間)</p>
6回目	Unit 6 Restaurant & Food 文法:進行形と完了形	対面授業	<p>予習:次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。(2時間)</p> <p>復習:授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する。(2時間)</p>
7回目	Unit 7 Complaint & Inquiry 文法:受動態	対面授業	<p>予習:次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。(2時間)</p> <p>復習:授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する。(2時間)</p>
8回目	Review Test 1 * 自己採点も含む	対面授業	<p>予習:Unit 1~7を復習しておく。(2時間)</p> <p>復習:試験で間違ったところを復習しておく。(2時間)</p>

9回目	Unit 8 Personnel 文法: to不定詞	対面授業	<p>予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する。(2時間)</p>
10回目	Unit 9 Travel 文法: 分詞	対面授業	<p>予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する。(2時間)</p>
11回目	Unit 10 Business 文法: 動名詞	対面授業	<p>予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
12回目	Unit 11 Negotiation 文法: 関係詞	対面授業	<p>予習: 次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する。(2時間)</p>

13回目	Unit 12 Manufacturing & Logistics 文法:比較	対面授業	予習:次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。(2時間) 復習:授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する。(2時間)
14回目R	Unit 13 Finance 文法:仮定法	対面授業	予習:次のユニットの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。(2時間) 復習:授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する。(2時間)
15回目	Review Test 2 *自己採点も含む	対面授業	予習:Unit 1~7を復習しておく。(2時間) 復習:試験で間違ったところを復習しておく。(2時間)
16回目	定期試験		試験範囲は、授業中に指示

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	Basic Understanding of the TOEIC L&R Test (Kinseido) *「でる順パス単 英検順1級」、旺文社
履修条件	

履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	資格取得を意識した短期集中型の授業なので進度も早い、個人個人で予習復習を十分にして、積極的に取り組むこと。

講義科目名称：英語検定III（初級）	授業コード：
英文科目名称：English Proficiency Test Preparation III	ナンバリング：CC502

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1	2年	2	選択	講義
担当教員				
Rosalind Shiraishi				

授業概要	<p>目安として（G1）英検 2 級以上レベル、（G2）2 級レベル、（G3）準 2 級レベルに分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員が英検 2 級以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは Vocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分な予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<p>このタームの終了時の目標： G1：TOEIC(CASEC) 700 点 G2：TOEIC(CASEC) 500 点 G3：TOEIC(CASEC) 400 点 特に、上記の目標達成のために、以下の5項目で各レベルまでの達成を目指します。 1) Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを増やす。 2) Grammar：苦手とする文法を理解する。 3) Composition：基本的な英作文ができるようにする。 4) Reading：英文読解の精度とスピードをあげる。 5) Listening：正確に英語を聞き取れるようになる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 定期試験 - 課題 - 授業への参加・態度 	60% 20% 20%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項
1) 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。 2) 本授業では、定期試験 60%、課題20%、授業への参加・態度 20%の割合で評価します。 3) 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomに載せます。 4) 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	Unit 1: Eating Out be動詞	対面授業	予習: 特になし 復習: Unit 1の単語を覚えておく、授業で間違ったところと、新しい単語・文法をを復習する(4時間)
2回目	Unit 2: Travel 一般動詞	対面授業	予習: Unit2の単語を覚えておく、文法の説明(p.13)を読む(2時間) 復習: 授業で間違ったところと、新しい単語・文法をを復習する(2時間)
3回目	Unit 3: Amusement 品詞	対面授業	予習: Unit3の単語を覚えておく、文法の説明(p.21)を読む(2時間) 復習: 授業で間違ったところと、新しい単語・文法をを復習する(2時間)
4回目	Unit 4: Meetings 自動詞・他動詞	対面授業	予習: Unit4の単語を覚えておく、文法の説明(p.29)を読む(2時間) 復習: 授業で間違ったところと、新しい単語・文法をを復習する(2時間)
5回目	Unit 5: Personnel 受動態	対面授業	予習: Unit5の単語を覚えておく、文法の説明(p.37)を読む(2時間) 復習: 授業で間違ったところと、新しい単語・文法をを復習する(2時間)
6回目	Unit 6: Shopping 代名詞	対面授業	予習: Unit6の単語を覚えておく、文法の説明(p.45)を読む(2時間) 復習: 授業で間違ったところと、新しい単語・文法をを復習する(2時間)
7回目	Unit 7: Advertisement 数えられる名詞、数えられない名詞	対面授業	予習: Unit7の単語を覚えておく、文法の説明(p.53)を読む(2時間) 復習: 授業で間違ったところと、新しい単語・文法をを復習する(2時間)
8回目	Unit 8: Daily Life 数量詞	対面授業	予習: Unit8の単語を覚えておく、文法の説明(p.61)を読む(2時間) 復習: 授業で間違ったところと、新しい単語・文法をを復習する(2時間)
9回目	Unit 9: Office Work To不定詞	対面授業	予習: Unit9の単語を覚えておく、文法の説明(p.69)を読む(2時間) 復習: 授業で間違ったところと、新しい単語・文法をを復習する(2時間)
10回目	Unit 10: Business 動名詞	対面授業	予習: Unit10の単語を覚えておく、文法の説明(p.77)を読む(2時間) 復習: 授業で間違ったところと、新しい単語・文法をを復習する(2時間)
11回目	Unit 11: Traffic 助動詞	対面授業	予習: Unit11の単語を覚えておく、文法の説明(p.85)を読む(2時間) 復習: 授業で間違ったところと、新しい単語・文法をを復習する(2時間)
12回目	Unit 12: Finance and Banking 前置詞	対面授業	予習: Unit12の単語を覚えておく、文法の説明(p.93)を読む(2時間) 復習: 授業で間違ったところと、新しい単語・文法をを復習する(2時間)
13回目	Unit 13: Media 接続詞	対面授業	予習: Unit13の単語を覚えておく、文法の説明(p.101)を読む(2時間) 復習: 授業で間違ったところと、新しい単語・文法をを復習する(2時間)

14回目	Unit 14: Health and Welfare 比較	対面授業	予習: Unit14の単語を覚えておく、文法の説明 (p.111)を読む (2時間) 復習: 授業で間違ったところと、新しい単語・文法をを復習する (2時間)
15回目	Unit 1~14 の復習	対面授業	復習: Unit 1~14の単語、文法をを復習する (4時間)
16回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	教科書 : Crossing the TOEIC Bridge (クラス担当教員から注文する)
履修条件	特になし
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	(1Q) 水曜日の3~4 現目 (研究室)
備考・メッセージ	

講義科目名称：英語多読	授業コード：
英文科目名称：English Extensive Reading	ナンバリング：CC103

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1・2	1年	2	選択	演習
担当教員				
Rosalind Shiraishi				

授業概要	<p>This course is based around an extensive reading program designed to develop students' reading fluency and expand their vocabulary knowledge through consistent study of English texts. Class time is devoted to reading books chosen by the students from a library of graded readers, and group discussion.</p> <p>多読演習のリーディングプログラムでは、英語の本を継続的に読むことで習慣化し、読解力を高め、語彙の知識を広げる。本演習では、①学生が各自のレベルにあった英語の本を週1時間+αで読むこと、②最も頻繁に使用される英語単語リストを勉強して、理解できる語彙を増やすこと、③英語の本の内容を理解し、レポートにまとめたりグループディスカッションで説明できるようになることを目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	・ブックログ	10%
専門的知識や技能	英語で書かれた、自身に直接関連する領域についての基本的な文章を読み、内容を理解することができる。	・リーディングプログラム ・ブックレポート ・単語小テスト	50% 10% 30%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項
<ol style="list-style-type: none"> 1) 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。 2) 本授業では、リーディングプログラム50%、単語小テスト30%、ブックレポート 10%、ブックログ10%の割合で評価します。 3) 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomに載せます。 4) 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------

1回目	オリエンテーション：シラバス説明、オンライン図書館登録・説明	対面授業	予習：特になし 復習：リーディングする(4時間)
2回目	Vocab 1 - Core Verbs リーディングプログラム	対面授業	予習：リーディングする(3時間) 復習：単語の復習(1時間)
3回目	Vocab 2 - Prepositions 1 リーディングプログラム	対面授業	予習：リーディングする(3時間) 復習：単語の復習(1時間)
4回目	Vocab 3 - Articles リーディングプログラム	対面授業	予習：リーディングする(3時間) 復習：単語の復習(1時間)
5回目	Vocab Test ① グループワーク、ブックログ提出	対面授業	予習：リーディングする(3時間) 復習：単語の復習(1時間)
6回目	Vocab 4 - Prepositions 2 リーディングプログラム	対面授業	予習：リーディングする(3時間) 復習：単語の復習(1時間)
7回目	Vocab 5 - Phrasal Verbs 1 リーディングプログラム	対面授業	予習：リーディングする(3時間) 復習：単語の復習(1時間)
8回目	Vocab 6 - Phrasal Verbs 2 リーディングプログラム	対面授業	予習：リーディングする(3時間) 復習：単語の復習(1時間)
9回目	Vocab Test ② グループワーク、ブックログ提出	対面授業	予習：リーディングする(3時間) 復習：単語の復習(1時間)
10回目	Vocab 7 - Adverbs (~ly) リーディングプログラム	対面授業	予習：リーディングする(3時間) 復習：単語の復習(1時間)
11回目	Vocab 8 - Word Families: Suffixes リーディングプログラム	対面授業	予習：リーディングする(3時間) 復習：単語の復習(1時間)
12回目	Vocab 9 - Word Families: Prefixes リーディングプログラム	対面授業	予習：リーディングする(3時間) 復習：単語の復習(1時間)
13回目	Vocab Test ③ グループワーク、ブックログ提出	対面授業	予習：リーディングする(3時間) 復習：単語の復習(1時間)
14回目	リーディングプログラム	対面授業	予習：リーディングする(3時間) 復習：単語の復習(1時間)
15回目	リーディングプログラム ブックレポート提出	対面授業	予習：リーディングする(4時間)
16回目	(定期試験なし)		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	教科書：XReading.com(インターネット上の教材を使います)
履修条件	特になし
履修上の注意	授業外にリーディングするときにもインターネット上の教材Xreadingを使用するので、インターネットに接続できるパソコン、タブレットまたは携帯が必要
オフィスアワー	(1Q) 水曜日の3～4 現目(研究室) (2Q) 木曜日の1～2 現目(研究室)
備考・メッセージ	

講義科目名称：英語ライティング&文法I（上級）	授業コード：
英文科目名称：English Writing & Grammar I	ナンバリング：CC302

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3	1年	2	選択	講義
担当教員				
Rosalind Shiraishi				

授業概要	<p>English Writing & Grammar I focuses on reviewing and reinforcing core English grammar structures and frequently used expressions so that students can learn to express their thoughts and opinions clearly and accurately in written English.</p> <p>英語ライティング&文法Iでは、意思を英語の文章で伝達できるように、重要な英文法と表現を修得する。主にライティング力に焦点を当てた授業を行う。本講義では、①意図や意見を正確に明確な文章で書くことができる、②ネイティブ英語でよく使用される便利な表現を学ぶ、③様々な目的・場面に合わせて文章を書くことができるようになることを目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	英語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った文章を書くことができる。	- 課題 - レポート - 授業への参加・態度	40% 40% 20%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<p>1) 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。</p> <p>2) 本授業では、課題 40%、レポート40%、授業への参加・態度 20%の割合で評価します。</p> <p>3) 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomに載せます。</p> <p>4) 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。</p> <p>5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション Unit 1: The most livable cities in the world	対面授業	復習: 新しい単語と文法を復習する (2時間), 指定した課題をする (2時間)
2回目	Unit 2: Which is the happiest country in the	対面授業	予習: リーディング&語彙 (1時間)

	world? ・読解 ・ライティング問題や翻訳		復習: 新しい単語と文法を復習する, 指定した課題をする (3時間)
3回目	Unit 3: Zero waste ・読解 ・ライティング問題や翻訳	対面授業	予習: リーディング&語彙 (1時間) 復習: 新しい単語と文法を復習する, 指定した課題をする (3時間)
4回目	Unit 4: How do fashion choices affect the environment? ・読解 ・ライティング問題や翻訳	対面授業	予習: リーディング&語彙 (1時間) 復習: 新しい単語と文法を復習する, 指定した課題をする (3時間)
5回目	Unit 5: Bottled water ・読解 ・ライティング問題や翻訳	対面授業	予習: リーディング&語彙 (1時間) 復習: 新しい単語と文法を復習する, 指定した課題をする (3時間)
6回目	Unit 6: A life coach can help you reach your goals ・読解 ・ライティング問題や翻訳	対面授業	予習: リーディング&語彙 (1時間) 復習: 新しい単語と文法を復習する, 指定した課題をする (3時間)
7回目	Unit 7: How to boost your wellbeing ・読解 ・ライティング問題や翻訳	対面授業	予習: リーディング&語彙 (1時間) 復習: 新しい単語と文法を復習する, 指定した課題をする (3時間)
8回目	Unit 8: Pets can help people to recover from long-term illnesses ・読解 ・ライティング問題や翻訳	対面授業	予習: リーディング&語彙 (1時間) 復習: 新しい単語と文法を復習する, 指定した課題をする (3時間)
9回目	Unit 9: Being lonely can be bad for your health ・読解 ・ライティング問題や翻訳	対面授業	予習: リーディング&語彙 (1時間) 復習: 新しい単語と文法を復習する, 指定した課題をする (3時間)
10回目	Unit 10: Who needs a robot? ・読解 ・ライティング問題や翻訳	対面授業	予習: リーディング&語彙 (1時間) 復習: 新しい単語と文法を復習する, 指定した課題をする (3時間)
11回目	Unit 11: Solar power ・読解 ・ライティング問題や翻訳	対面授業	予習: リーディング&語彙 (1時間) 復習: 新しい単語と文法を復習する, 指定した課題をする (3時間)
12回目	Unit 12: Do you suffer from hay fever? ・読解 ・ライティング問題や翻訳	対面授業	予習: リーディング&語彙 (1時間) 復習: 新しい単語と文法を復習する, 指定した課題をする (3時間)
13回目	Unit 13: Overtourism ・読解 ・ライティング問題や翻訳	対面授業	予習: リーディング&語彙 (1時間) 復習: 新しい単語と文法を復習する, 指定した課題をする (3時間)
14回目	Unit 14: Issues facing Japan ・読解 ・ライティング問題や翻訳	対面授業	予習: リーディング&語彙 (1時間) 復習: 新しい単語と文法を復習する, 指定した課題をする (3時間)
15回目	Review	対面授業	復習: Unit 1~14の復讐 (4時間)
16回目	期末レポート		

科目 (教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	教科書: Steps to Academic English (Basic) (クラス担当教員から注文する)
履修条件	特になし
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	(3Q) 月曜日の3~4 現目 (研究室)
備考・メッセージ	

講義科目名称：英語 W&G I（中級）	授業コード：
英文科目名称：English Writing and Grammar I	ナンバリング：CC302

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3thQ	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
近藤 直美				

授業概要	本授業では高校まで学んだ基礎英文法を再学習しながら、その知識を実際に話したり、書いたりする場面で「使える」ようにステップアップすることを目標とする。自らが文法のルールに気づき、理解するためにタスク活動も多く取り入れる。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な語彙を増やす ・正確なリスニング力をつける ・英文法を再学習し、堅実な土台をつくる ・学習した文法が使用される対話やリーディング教材を通して、文法をコンテキスト（文脈）に結び付けて理解する ・学習した文法を利用して英作文ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・小テスト ・課題 ・授業への参加・態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・50% ・20% ・20% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Google クラウドルームで受け付けます。 ・本授業では定期試験 50%、小テスト 20%、課題 20%、授業への参加・態度 10%の割合で評価します。 ・15分以上の遅刻は欠席とします。 ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。 ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション：授業の進め方 Unit 1: <be 動詞> 自分を語ろう	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 2 の Reading（1時間）
2回目	小テスト：Unit 1 Unit 2: <一般動詞（自動詞・他動詞）> スポーツの世界を語ろう	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 3 の Reading（1時間）
3回目	小テスト：Unit 2 Unit 3: <一般動詞（第4文型・第5文型）> 特別な日について語ろう	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 4 の Reading（1時間）
4回目	小テスト：Unit 3 Unit 4: <人称代名詞> 家族を語ろう	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 5 の Reading（1時間）
5回目	小テスト：Unit 4 Unit 5: <Wh 疑問文> 日本クイズに挑戦	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 6 の Reading（1時間）
6回目	小テスト：Unit 5 Unit 6: <過去形> 恋愛や結婚を語ろう	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 7 の Reading（1時間）
7回目	小テスト：Unit 6 Unit 7: <現在完了形（継続）> 今までの自分を語ろう	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 8 の Reading（1時間）
8回目	小テスト：Unit 7 Unit 8: <現在完了形（経験・完了）> 自分の経験を語ろう	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 9 の Reading（1時間）
9回目	小テスト：Unit 8 Unit 9: <進行形> 学生生活を楽しもう	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 10 の Reading（1時間）
10回目	小テスト：Unit 9 Unit 10: <未来表現> 休暇の計画をたてよう	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 11 の Let`s Read（1時間）
11回目	小テスト：Unit 10 Unit 11: <助動詞 1 > 自分の気持ちを上手に伝えるには？	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 12 の Reading（1時間）
12回目	小テスト：Unit 11	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを

	Unit 12: <助動詞 2> しきたりに ついて語ろう		解いて次回の授業で提出する (3 時間) 予習: Unit 13 の Reading (1 時間)
13 回目	小テスト: Unit 12 Unit 13: <接続詞 1> 昔話に思わ ぬ教訓を発見!?	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する (3 時間) 予習: Unit 14 の Reading (1 時間)
14 回目	小テスト: Unit 13 Unit 14: <受動態> ニュースに敏 感になろう	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する (3 時間) 予習: Unit 15 の Reading (1 時間)
15 回目	小テスト: Unit 14 Unit 15: <頻度を表す副詞> 動物 の世界は驚きでいっぱい	対面授業	今まで学習した範囲を復習する (4 時間)
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	なし
教科書・参考書	コミュニケーションのためのベーシック・グラマー -最新版- (教員によ る注文)
履修条件	なし
履修上の注意	自己目標を明確にして意欲的に授業に臨みましょう
オフィスアワー	3Q 木曜 3・4 時限 (研究室) その他空きコマ
備考・メッセージ	わからないことがあれば遠慮なく質問する勇気を身につけて、一緒に「英語」 の世界を探検していきましょう。

講義科目名称:英語ライティング&グラマー I (初級)	授業コード:
英文科目名称:English Writing and Grammar I	ナンバリング:CC302

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	よい英語を書くために、優れた英文を読み、関連する英文を段階的に作成することにより、英語ライティングの力をつけます。毎回、文法の解説も行い、確実にライティングの基礎を定着させます。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<p>・「Writing」を中心に、「Reading」「Grammar」の強化を行う。授業全体としては、5項目で各レベルまでの達成を目指す。</p> <p>① Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。</p> <p>② Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。</p> <p>③ Composition: 基本的な英語での作文ができる。</p> <p>④ Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。</p> <p>⑤ Listening: 正確に英語を聞き取ることができる</p>	<p>・定期試験</p> <p>・小課題</p> <p>・授業への参加・態度</p>	<p>70%</p> <p>20%</p> <p>10%</p>
異文化知識・対応能力			

課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験70%、小課題20%、授業への参加・態度10%の割合で総合評価する。 ・小課題においては、発音チェックのための音読練習・スマホ録音等も含む。 ・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 			

授業計画	授業内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション: 授業の進め方 Chapter 1 Fast Food: Nothing New under the Sun! ・温故知新 ・FP: whyの使い方	対面授業	予習: 次のChapterの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、'MUST-KNOW' collocations and phrasesとFocus Pointを読み、理解しておくこと(2時間) 復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)
2回目	Chapter 2 Famous Dogs ・吾輩は有名な犬である ・FP: who, whomの使い方	対面授業	予習: 次のChapterの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、'MUST-KNOW' collocations and phrasesとFocus Pointを読み、理解しておくこと(2時間) 復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)

3回目	Chapter 3 When Was it Invented? ・発明の歴史 ・FP: whenの使い方	対面授業	<p>予習: 次のChapterの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、' MUST-KNOW' collocations and phrasesとFocus Pointを読み、理解しておくこと(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
4回目	Chapter 4 never Give Up: An Anti-Bullying Song ・いじめ撲滅ソング ・FP: how の使い方	対面授業	<p>予習: 次のChapterの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、' MUST-KNOW' collocations and phrasesとFocus Pointを読み、理解しておくこと(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
5回目	Chapter 5 The Migration of the Monarch Butterflies ・渡りをする蝶オオカバマダラ ・FP: whereの使い方	対面授業	<p>予習: 次のChapterの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、' MUST-KNOW' collocations and phrasesとFocus Pointを読み、理解しておくこと(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
6回目	Chapter 6 New Foods from the New World ・新世界より ・FP: what の使い方	対面授業	<p>予習: 次のChapterの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、' MUST-KNOW' collocations and phrasesとFocus Pointを読み、理解しておくこと(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>

7回目	Chapter 7 Foreign Language Study Makes You a Global Citizen ・外国語学習は地球市民へのパスポート ・FP:助動詞の使い方	対面授業	<p>予習: 次のChapterの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、' MUST-KNOW' collocations and phrasesとFocus Pointを読み、理解しておくこと(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
8回目	Chapter 8 Isaac Lufkin: The Armless Football player ・両腕のないフットボーラー ・FP: 動名詞と現在分詞の使い方	対面授業	<p>予習: 次のChapterの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、' MUST-KNOW' collocations and phrasesとFocus Pointを読み、理解しておくこと(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
9回目	Chapter 9 Atlantis, the Lost Empire: Fact or Fiction? ・失われたアトランティス帝国 ・FP: 現在完了形と現在完了進行形の使い方	対面授業	<p>予習: 次のChapterの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、' MUST-KNOW' collocations and phrasesとFocus Pointを読み、理解しておくこと(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
10回目	Chapter 10 Pope Francis: A New Kind of Pope ・新たな方法誕生 ・FP: 接続詞の使い方	対面授業	<p>予習: 次のChapterの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、' MUST-KNOW' collocations and phrasesとFocus Pointを読み、理解しておくこと(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>

11回目	Chapter 11 The power of meditation ・瞑想の力 ・FP:比較級の使い方	対面授業	<p>予習: 次のChapterの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、' MUST-KNOW' collocations and phrasesとFocus Pointを読み、理解しておくこと(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
12回目	Chapter 12 Sedona: Harmony with Nature ・自然の彫刻セドナ ・FP:仮定法現在のifの使い方	対面授業	<p>予習: 次のChapterの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、' MUST-KNOW' collocations and phrasesとFocus Pointを読み、理解しておくこと(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
13回目	Chapter 13 Malala: Champion of Education ・教育のために立ち上がった少女マララ ・FP: 仮定法過去と仮定法過去完了のifの使い方	対面授業	<p>予習: 次のChapterの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、' MUST-KNOW' collocations and phrasesとFocus Pointを読み、理解しておくこと(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
14回目	Chapter 14 Universities: Past, Present and Future ・大学の移り変わり ・FP:挿入句の使い方	対面授業	<p>予習: 次のChapterの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、' MUST-KNOW' collocations and phrasesとFocus Pointを読み、理解しておくこと(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>

15回目	Chapter 15 Lighting up the Future ・未来を照らす ・FP:まとめ	対面授業	予習:復習:Chapter 1-15までの復習を行い、最終の定期試験に備える(4時間)
16回目	定期試験		試験範囲は、授業中に指示

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「Read Well, Write Better」SEIBIDO *「英語準2級ライティング問題」、旺文社 *「英語準2級ライティング問題」、旺文社
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	資格取得を意識した短期集中型の授業なので進度も早い、個人個人で予習復習を十分にして、積極的に取り組むこと。

講義科目名称：英語ライティング&グラマーII（上級）	授業コード：
英文科目名称：English Writing & Grammar II	ナンバリング：CC702

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7・8	2年	2	選択	講義
担当教員				
Rosalind Shiraishi				

授業概要	<p>In English Writing & Grammar II awareness of important grammar structures and frequently used expressions is expanded on, and students study various different writing styles used in everyday life.</p> <p>英語ライティング&グラマーIIでは、様々な場面・目的に意思を英作文で伝達できるように、英文法と表現を修得して、英語の文体を勉強する。主にライティング力に焦点を当てた授業を行う。本講義では、①自らの意思を正確に英作文で伝達できる、②相手の意図や意見についても、明確な文章で説明ができる、③英語で、メールやウェブでやり取りができる、④様々な目的・場面・人々に合わせて英作文ができるようになることを目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	英語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った文章を書くことができる。	- 課題 - レポート - 授業への参加・態度	40% 40% 20%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<p>1) 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。</p> <p>2) 本授業では、課題 40%、レポート40%、授業への参加・態度 20%の割合で評価します。</p> <p>3) 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomに載せます。</p> <p>4) 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。</p> <p>5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:授業の進め方、評価方法の説明 Topic 1-1 [If...]: 教科書 Unit 38: if I do...	対面授業	予習: 今回のUnitの説明、例文を見ておく(1時間) 復習: 新しい文法を復習する, 指定した課題をする (3時間)

2回目	Topic 1-2 [If...]: 教科書 Unit 39: If I knew... I wish I knew... ・文法問題 ・ライティング問題や翻訳	対面授業	予習: 今回のUnitの説明、例文を見ておく(1時間) 復習: 新しい文法を復習する, 指定した課題をする (3時間)
3回目	Topic 1-3 [If...]: 教科書 Unit 40~41: wish, I wish I had known... ・文法問題 ・ライティング問題や翻訳	対面授業	予習: 今回のUnitの説明、例文を見ておく(1時間) 復習: 新しい文法を復習する, 指定した課題をする (3時間)
4回目	Topic 1-4 [If...]: Review ・読解 ・ライティング問題や翻訳	対面授業	予習: 読解問題を読む(1時間) 復習: 新しい文法を復習する, ライティング問題を仕上げる (3時間)
5回目	Topic 2-1 [Formal Writing]: 教科書 Unit 42~43: Passive tense ・文法問題 ・ライティング問題や翻訳	対面授業	予習: 今回のUnitの説明、例文を見ておく(1時間) 復習: 新しい文法を復習する, 指定した課題をする (3時間)
6回目	Topic 2-2 [Formal Writing]: 教科書 Unit 97~98: ~ing & ~ed clauses, ~ing & ~ed adjectives ・文法問題 ・ライティング問題や翻訳	対面授業	予習: 今回のUnitの説明、例文を見ておく(1時間) 復習: 新しい文法を復習する, 指定した課題をする (3時間)
7回目	Topic 2-3 [Formal Writing]: 教科書 Unit 45: it is said that... ・文法問題 ・ライティング問題や翻訳	対面授業	予習: 今回のUnitの説明、例文を見ておく(1時間) 復習: 新しい文法を復習する, 指定した課題をする (3時間)
8回目	Topic 2-4 [Formal Writing]: Review ・読解 ・ライティング問題や翻訳	対面授業	予習: 読解問題を読む(1時間) 復習: 新しい文法を復習する, ライティング問題を仕上げる (3時間)
9回目	Topic 2-5 [Formal Writing]: Review ・読解 ・ライティング問題や翻訳	対面授業	予習: 読解問題を読む(1時間) 復習: 新しい文法を復習する, ライティング問題を仕上げる (3時間)
10回目	Topic 3-1 [Stating Reasons]: 教科書 Unit 113: although, even though, in spite of ・文法問題 ・ライティング問題や翻訳	対面授業	予習: 今回のUnitの説明、例文を見ておく(1時間) 復習: 新しい文法を復習する, 指定した課題をする (3時間)
11回目	Topic 3-2 [Stating Reasons]: 教科書 Unit 111~112: still, anymore, yet, already & even ・文法問題 ・ライティング問題や翻訳	対面授業	予習: 今回のUnitの説明、例文を見ておく(1時間) 復習: 新しい文法を復習する, 指定した課題をする (3時間)
12回目	Topic 3-3 [Stating Reasons]: 教科書 Unit 114~115: in case, unless, provided ・文法問題 ・ライティング問題や翻訳	対面授業	予習: 今回のUnitの説明、例文を見ておく(1時間) 復習: 新しい文法を復習する, 指定した課題をする (3時間)
13回目	Topic 3-4 [Stating Reasons]: Review ・読解 ・ライティング問題や翻訳	対面授業	予習: 読解問題を読む(1時間) 復習: 新しい文法を復習する, ライティング問題を仕上げる (3時間)
14回目	Topic 3-5 [Stating Reasons]: Review ・読解 ・ライティング問題や翻訳	対面授業	予習: 読解問題を読む(1時間) 復習: 新しい文法を復習する, ライティング問題を仕上げる (3時間)
15回目	Review Topics 1~3, Prepare for 期末課題	対面授業	復習: 期末レポートのため準備する (4時間)
16回目	期末レポート		

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし

教科書・参考書	教科書：English Grammar In Use (Cambridge Press)
履修条件	特になし
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	(7Q) 月曜日の3～4 現目 (研究室) (8Q) 月曜日の3～4 現目 (研究室)
備考・メッセージ	

講義科目名称：英語 W&G II（中級）	授業コード：
英文科目名称：English Writing and Grammar II	ナンバリング：CC702

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7thQ and 8thQ	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
近藤 直美				

授業概要	本授業では高校まで学んだ基礎英文法を再学習しながら、その知識を実際に話したり、書いたりする場面で「使える」ようにステップアップすることを目標とする。自らが文法のルールに気づき、理解するためにタスク活動も多く取り入れる。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な語彙を増やす ・正確なリスニング力をつける ・英文法を再学習し、堅実な土台をつくる ・学習した文法が使用される対話やリーディング教材を通して、文法をコンテキスト（文脈）に結び付けて理解する ・学習した文法を利用して英作文ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・小テスト ・課題 ・授業への参加・態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・50% ・20% ・20% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Google クラウドルームで受け付けます。 ・本授業では定期試験 50%、小テスト 20%、課題 20%、授業への参加・態度 10%の割合で評価します。 ・15分以上の遅刻は欠席とします。 ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。 ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション：授業の進め方 Unit 1： <be 動詞・一般動詞> 自己紹介を書く	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 2の Let's Read（1時間）
2回目	小テスト：Unit 1 Unit 2: <現在形・現在進行形・過去形・過去進行形>日記を書く	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 3の Let's Read（1時間）
3回目	小テスト：Unit 2 Unit 3 :<未来を表す表現>休暇の計画を立てる	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 4の Let's Read（1時間）
4回目	小テスト：Unit 3 Unit 4： <現在完了形・現在完了進行形>完了形と完了進行形を使って自己紹介を書く	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 5の Let's Read（1時間）
5回目	小テスト：Unit 4 Unit 5： <過去完了形・過去完了進行形>時制を使い分けて自分のことを書く	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 6の Let's Read（1時間）
6回目	小テスト：Unit 5 Unit 6： <助動詞>授業や日常生活におけるルールを書く	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 7の Let's Read（1時間）
7回目	小テスト：Unit 6 Unit 7： <受動態>「トマトは野菜か果物か？」というテーマで自分の意見を書く	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 8の Let's Read（1時間）
8回目	小テスト：Unit 7 Unit 8： <不定詞>自分の目標を書く	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 9の Let's Read（1時間）
9回目	小テスト：Unit 8 Unit 9： <動名詞>好きなことや興味のあることについて書く	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 10の Let's Read（1時間）
10回目	小テスト：Unit 9 Unit 10: <分詞>身のまわりの物や人、事柄について書く	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 11の Let's Read（1時間）

11 回目	小テスト：Unit 10 Unit 11: <接続詞> 尊敬する人物について書く	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3 時間） 予習：Unit 12 の Let's Read（1 時間）
12 回目	小テスト：Unit 11 Unit 12: <比較> 図分の好きなこと、興味のあることについて書く	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3 時間） 予習：Unit 13 の Let's Read（1 時間）
13 回目	小テスト：Unit 12 Unit 13: <最上級> 自分の街について書く	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3 時間） 予習：Unit 14 の Let's Read（1 時間）
14 回目	小テスト：Unit 13 Unit 14: <関係詞（主格・目的格）> 自分の友人について書く	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3 時間） 予習：Unit 15 の Let's Read（1 時間）
15 回目	小テスト：Unit 14 Unit 15: <関係詞（所有格）> 身近な人について書く	対面授業	今まで学習した範囲を復習する（4 時間）
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	アウトプットのための基本英語（教員による注文）
履修条件	なし
履修上の注意	自己目標を明確にして意欲的に授業に臨みましょう
オフィスアワー	3Q 木曜 3・4 時限（研究室）その他空きコマ
備考・メッセージ	わからないことがあれば遠慮なく質問する勇気を身につけて、一緒に「英語」の世界を探検していきましょう。

講義科目名称:英語ライティング&グラマーⅡ (初級)	授業コード:
英文科目名称:English Writing and Grammar Ⅱ	ナンバリング:CC702

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>英語を書いたり、英語でコミュニケーションを上手にとるためには、まずは、「自分の意見をしっかり持つこと」そして「それを効率よく発信できる」力をつけることが重要です。</p> <p>毎回、異なるテーマで、賛成か反対かのどちらかをあなたは選択するかにより、自分の意見を構築し、それを英語ではどのように発信すればいいかを段階的に学びます。同時に文法の解説も行い、確実にライティングの基礎を定着させます。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<p>・「Writing」を中心に、「Reading」「Grammar」の強化を行う。授業全体としては、5項目で各レベルまでの達成を目指す。</p> <p>① Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。</p> <p>② Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。</p> <p>③ Composition: 基本的な英語での作文ができる。</p> <p>④ Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。</p> <p>⑤ Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。</p>	<p>・定期試験</p> <p>・小課題</p> <p>・授業への参加・態度</p>	<p>70%</p> <p>20%</p> <p>10%</p>

異文化知識・ 対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン 力			
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験70%、小課題20%、授業への参加・態度10%の割合で総合評価する。 ・小課題においては、発音チェックのための音読練習・スマホ録音等も含む。 ・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 			

授業計画	授業内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション: 授業の進め方 Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone 一人暮らしよりもシェアハウスの方がいい	対面授業	予習: 次のUnitの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、Grammar Pointを読み、理解しておくこと(2時間) 復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)

2回目	Unit 2 Studying in a Café vs. Home 勉強するなら自宅よりもカフェだ	対面授業	<p>予習: 次のUnitの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、Grammar Pointを読み、理解しておくこと(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
3回目	Unit 3 Gakuran vs. Blazer 高校の制服といえばブレザーよりも学ランだ	対面授業	<p>予習: 次のUnitの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、Grammar Pointを読み、理解しておくこと(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
4回目	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies 成人式は廃止すべきだ	対面授業	<p>予習: 次のUnitの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、Grammar Pointを読み、理解しておくこと(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
5回目	Unit 5 24/7 Convenience Stores コンビニは24時間営業をすべきだ	対面授業	<p>予習: 次のUnitの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、Grammar Pointを読み、理解しておくこと(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>

6回目	Unit 6 Japanese Era Names 元号はもう必要ない	対面授業	<p>予習: 次のUnitの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、Grammar Pointを読み、理解しておくこと(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
7回目	Unit 7 Point Cards ポイントカードはいらない	対面授業	<p>予習: 次のUnitの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、Grammar Pointを読み、理解しておくこと(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
8回目	Disaster Volunteers 政府は災害ボランティアに報酬を払うべきだ	対面授業	<p>予習: 次のUnitの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、Grammar Pointを読み、理解しておくこと(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
9回目	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad 10万円あったら海外旅行よりも国内旅行だ	対面授業	<p>予習: 次のUnitの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、Grammar Pointを読み、理解しておくこと(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>

10回目	Unit 10 Studying English Abroad 英語を勉強をするなら米国よりフィリピンだ	対面授業	<p>予習: 次のUnitの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、Grammar Pointを読み、理解しておくこと(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
11回目	Unit 11 More Foreign Visitors 外国人観光客の数を今後も増やしていくべきだ	対面授業	<p>予習: 次のUnitの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、Grammar Pointを読み、理解しておくこと(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
12回目	Unit 12 New Year's Eve Fireworks 日本も「年越しのカウントダウン花火大会」を開催すべきだ	対面授業	<p>予習: 次のUnitの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、Grammar Pointを読み、理解しておくこと(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
13回目	Unit 13 April Fools' Day in Japan 日本人はエープリル・フールをもっと楽しむべきだ	対面授業	<p>予習: 次のUnitの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、Grammar Pointを読み、理解しておくこと(2時間)</p> <p>復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>

14回目	Unit 14 Summer-Vacation Assignments 夏休みの宿題はなくすべきだ	対面授業	予習: 次のUnitの問題を解き、分からない単語やフレーズを辞書で調る。また、Grammar Pointを読み、理解しておくこと(2時間) 復習: 授業で間違ったところを復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)
15回目	Unit 15 Halloween Is Best! 日本で一番楽しい外国のお祭りはハロウィンだ	対面授業	予習: 復習: Unit 1-15をそう復習し、定期試験の準備を行う(3時間)
16回目	定期試験		試験範囲は、授業中に指示

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「Two Sides to Every Discussion 2」 SEIBIDO 「Read Well, Write Better」 SEIBIDO *「英語準2級ラインティング問題」、旺文社 *「英語準2ラインティング問題」、旺文社
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) *その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	資格取得を意識した短期集中型の授業なので進度も早い、個人個人で予習復習を十分にして、積極的に取り組むこと。

講義科目名称：英語演習 I（初級）	授業コード：
英文科目名称：General English I	ナンバリング：CC602

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6thQ	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
近藤 直美				

授業概要	英語演習 I では総合的な英語力を養うため、「音読」や「筆写」といった英語力アップにつながる練習法を取り入れて、基礎的な語彙や文法を学習する。またテキストはキャンパスライフを舞台にしたストーリー仕立てになっているので、学生生活に密着した英語表現を数多く学び、実際に英語を使う際の表現力も養っていく。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	準2級もしくは TOEIC400～600 点レベルの英語力の獲得を目標とする： 1.Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar：苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading：英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening：正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・小テスト ・課題 ・授業への参加・態度	・50% ・20% ・20% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Google クラウドルームで受け付けます。 ・ 本授業では定期試験 50%、小テスト 20%、課題 20%、授業への参加・態度 10%の割合で評価します。 ・ 15 分以上の遅刻は欠席とします。 ・ 授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は 			

減点対象とします。

・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:授業の進め方 Unit 1: <be 動詞> 話しかける/自己紹介をする	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する (3時間) 予習: Unit 2 の Let`s Read (1時間)
2回目	小テスト: Unit 1 Unit 2: <一般動詞 (現在形)> 人を誘う/別れ際の挨拶	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する (3時間) 予習: Unit 3 の Let`s Read (1時間)
3回目	小テスト: Unit 2 Unit 3: <一般動詞 (過去形)> 人を紹介する/驚きを示す	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する (3時間) 予習: Unit 4 の Let`s Read (1時間)
4回目	小テスト: Unit 3 Unit 4: <未来をあらわす表現> 予定を述べる/説明する	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する (3時間) 予習: Unit 5 の Let`s Read (1時間)
5回目	小テスト: Unit 4 Unit 5: <進行形> 詳細を尋ねる/理由を述べる	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する (3時間) 予習: Unit 6 の Let`s Read (1時間)
6回目	小テスト: Unit 5 Unit 6: <受動態> 意向を尋ねる/理由を述べる	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する (3時間) 予習: Unit 7 の Let`s Read (1時間)
7回目	小テスト: Unit 6 Unit 7: <現在完了形> 経験を尋ねる/提案する	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する (3時間) 予習: Unit 8 の Let`s Read (1時間)
8回目	小テスト: Unit 7 Unit 8: <助動詞> 道順を尋ねる/感謝する	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する (3時間) 予習: Unit 9 の Let`s Read (1時間)
9回目	小テスト: Unit 8 Unit 9: <不定詞> 問題点を述べる/依頼する	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する (3時間) 予習: Unit 10 の Let`s Read (1時間)
10回目	小テスト: Unit 9 Unit 10: <関係詞> 理由を述べる/理解を示す	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する (3時間) 予習: Unit 11 の Let`s Read (1時間)
11回目	小テスト: Unit 10 Unit 11: <形容詞・副詞> 意見を尋ねる/励ます	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する (3時間) 予習: Unit 12 の Let`s Read (1時間)

12 回目	小テスト：Unit 11 Unit 12：＜接続詞・前置詞＞近況を尋ねる／確信を示す	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3 時間） 予習：Unit 13 の Let`s Read（1 時間）
13 回目	小テスト：Unit 12 Unit 13：＜動名詞＞賛同する／不安を示す	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3 時間） 予習：Unit 14 の Let`s Read（1 時間）
14 回目	小テスト：Unit 13 Unit 14：＜分詞＞相槌を打つ／予定を尋ねる	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3 時間） 予習：Unit 15 の Let`s Read（1 時間）
15 回目	小テスト：Unit 14 Unit 15：＜比較＞希望を尋ねる／注文する	対面授業	今まで学習した範囲を復習する（4 時間）
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	音読で学ぶ基礎英語《キャンパス編》（教員による注文）
履修条件	なし
履修上の注意	自己目標を明確にして意欲的に授業に臨みましょう
オフィスアワー	6Q 金曜 2・3 時限（研究室）その他空きコマ
備考・メッセージ	わからないことがあれば遠慮なく質問する勇気を身につけて、一緒に「英語」の世界を探検していきましょう。

講義科目名称:英語演習Ⅱ(上中級)	授業コード:
英文科目名称:General EnglishⅡ (Upper Intermediate)	ナンバリング:CC802

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
8Q	2年	2単位	選択	講義

担当教員
牟田 美信

授業概要	<p>この授業では、英語演習Ⅰで学んだことをベースに、よりリアルなNHK海外向け放送のNHK WORLD-JAPAN(https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/)で(授業当日)放送される、現代日本の主な出来事や経済、文化、科学の最近の動向など生の英語ニュースを使用します。</p> <p>Google classroomを利用し、英語ニュースを多く読み、単語やフレーズの理解、英文読解、ディクテーションなどを通して、効果的に4技能を伸ばします。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<p>最新の英語ニュースを題材に以下のことを身につけます。</p> <p>①ニュース英語の内容を正しく理解できる。</p> <p>②ニュースに出てくる語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。</p> <p>③英文法を理解することができる。</p> <p>④英語ニュースを正確に聞き取ることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回課題 ・最終課題 ・授業への参加・態度 	<p>70%</p> <p>20%</p> <p>10%</p>
異文化知識・対応能力			

課題解決能力			
キャリアデザインカ			
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、毎回課題70%、最終課題20%、授業への参加・態度10%の割合で総合評価する。 ・小課題においては、発音チェックのための音読練習・スマホ録音等も含む。 ・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 			

授業計画	授業内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	<p>イントロダクション: 授業の進め方</p> <p>1) NHK WORLD-JAPANのTop Stories (https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/) から教員が最新のニュースを選択し、教員・履修者で共有する。</p> <p>2) 選択したニュースの映像を英語で見る。</p> <p>3) 共有したニュース記事を全員でシェアし、各学生で分担し、単語調べ、日本語翻訳を行う。</p> <p>4) 単語調べ、翻訳作業が終わったら、全体で、音読し、訳を発表する。</p> <p>* 教員は、訳の確認、単語・文法説明などを加える。</p> <p>5) 最後に、再度英語ニュースの映像を見てニュースの内容を理解できるかの確認を行う。</p>	対面授業	<p>予習: NHK WORLD-JAPANのTop Storiesを事前に見て、その日の授業で自分が扱いたい記事を選び、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習: 授業で学んだ単語やフレーズ、文法を復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>

2回目	<p>1) NHK WORLD-JAPANのTop Stories (https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/) から教員が最新のニュースを選択し、教員・履修者で共有する。</p> <p>2) 選択したニュースの映像を英語で見る。</p> <p>3) 共有したニュース記事を全員でシェアし、各学生で分担し、単語調べ、日本語翻訳を行う。</p> <p>4) 単語調べ、翻訳作業が終わったら、全体で、音読し、訳を発表する。 * 教員は、訳の確認、単語・文法説明などを加える。</p> <p>5) 最後に、再度英語ニュースの映像を見てニュースの内容を理解できるかの確認を行う。</p>	対面 授業	<p>予習: NHK WORLD-JAPAN のTop Storiesを事前に見て、その日の授業で自分が扱いたい記事を選び、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習: 授業で学んだ単語やフレーズ、文法を復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
3回目	<p>1) NHK WORLD-JAPANのTop Stories (https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/) から教員が最新のニュースを選択し、教員・履修者で共有する。</p> <p>2) 選択したニュースの映像を英語で見る。</p> <p>3) 共有したニュース記事を全員でシェアし、各学生で分担し、単語調べ、日本語翻訳を行う。</p> <p>4) 単語調べ、翻訳作業が終わったら、全体で、音読し、訳を発表する。 * 教員は、訳の確認、単語・文法説明などを加える。</p> <p>5) 最後に、再度英語ニュースの映像を見てニュースの内容を理解できるかの確認を行う。</p>	対面 授業	<p>予習: NHK WORLD-JAPAN のTop Storiesを事前に見て、その日の授業で自分が扱いたい記事を選び、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習: 授業で学んだ単語やフレーズ、文法を復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>

4回目	<p>1) NHK WORLD-JAPANのTop Stories (https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/) から教員が最新のニュースを選択し、教員・履修者で共有する。</p> <p>2) 選択したニュースの映像を英語で見る。</p> <p>3) 共有したニュース記事を全員でシェアし、各学生で分担し、単語調べ、日本語翻訳を行う。</p> <p>4) 単語調べ、翻訳作業が終わったら、全体で、音読し、訳を発表する。 * 教員は、訳の確認、単語・文法説明などを加える。</p> <p>5) 最後に、再度英語ニュースの映像を見てニュースの内容を理解できるかの確認を行う。</p>	対面 授業	<p>予習: NHK WORLD-JAPAN のTop Storiesを事前に見て、その日の授業で自分が扱いたい記事を選び、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習: 授業で学んだ単語やフレーズ、文法を復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
5回目	<p>1) NHK WORLD-JAPANのTop Stories (https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/) から教員が最新のニュースを選択し、教員・履修者で共有する。</p> <p>2) 選択したニュースの映像を英語で見る。</p> <p>3) 共有したニュース記事を全員でシェアし、各学生で分担し、単語調べ、日本語翻訳を行う。</p> <p>4) 単語調べ、翻訳作業が終わったら、全体で、音読し、訳を発表する。 * 教員は、訳の確認、単語・文法説明などを加える。</p> <p>5) 最後に、再度英語ニュースの映像を見てニュースの内容を理解できるかの確認を行う。</p>	対面 授業	<p>予習: NHK WORLD-JAPAN のTop Storiesを事前に見て、その日の授業で自分が扱いたい記事を選び、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習: 授業で学んだ単語やフレーズ、文法を復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>

6回目	<p>1) NHK WORLD-JAPANのTop Stories (https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/) から教員が最新のニュースを選択し、教員・履修者で共有する。</p> <p>2) 選択したニュースの映像を英語で見る。</p> <p>3) 共有したニュース記事を全員でシェアし、各学生で分担し、単語調べ、日本語翻訳を行う。</p> <p>4) 単語調べ、翻訳作業が終わったら、全体で、音読し、訳を発表する。 * 教員は、訳の確認、単語・文法説明などを加える。</p> <p>5) 最後に、再度英語ニュースの映像を見てニュースの内容を理解できるかの確認を行う。</p>	対面 授業	<p>予習: NHK WORLD-JAPAN のTop Storiesを事前に見て、その日の授業で自分が扱いたい記事を選び、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習: 授業で学んだ単語やフレーズ、文法を復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
7回目	<p>1) NHK WORLD-JAPANのTop Stories (https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/) から教員が最新のニュースを選択し、教員・履修者で共有する。</p> <p>2) 選択したニュースの映像を英語で見る。</p> <p>3) 共有したニュース記事を全員でシェアし、各学生で分担し、単語調べ、日本語翻訳を行う。</p> <p>4) 単語調べ、翻訳作業が終わったら、全体で、音読し、訳を発表する。 * 教員は、訳の確認、単語・文法説明などを加える。</p> <p>5) 最後に、再度英語ニュースの映像を見てニュースの内容を理解できるかの確認を行う。</p>	対面 授業	<p>予習: NHK WORLD-JAPAN のTop Storiesを事前に見て、その日の授業で自分が扱いたい記事を選び、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習: 授業で学んだ単語やフレーズ、文法を復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>

8回目	<p>1) NHK WORLD-JAPANのTop Stories (https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/) から教員が最新のニュースを選択し、教員・履修者で共有する。</p> <p>2) 選択したニュースの映像を英語で見る。</p> <p>3) 共有したニュース記事を全員でシェアし、各学生で分担し、単語調べ、日本語翻訳を行う。</p> <p>4) 単語調べ、翻訳作業が終わったら、全体で、音読し、訳を発表する。 * 教員は、訳の確認、単語・文法説明などを加える。</p> <p>5) 最後に、再度英語ニュースの映像を見てニュースの内容を理解できるかの確認を行う。</p>	対面 授業	<p>予習:NHK WORLD-JAPANのTop Storiesを事前に見て、その日の授業で自分が扱いたい記事を選び、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習:授業で学んだ単語やフレーズ、文法を復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
9回目	<p>1) NHK WORLD-JAPANのTop Stories (https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/) から教員が最新のニュースを選択し、教員・履修者で共有する。</p> <p>2) 選択したニュースの映像を英語で見る。</p> <p>3) 共有したニュース記事を全員でシェアし、各学生で分担し、単語調べ、日本語翻訳を行う。</p> <p>4) 単語調べ、翻訳作業が終わったら、全体で、音読し、訳を発表する。 * 教員は、訳の確認、単語・文法説明などを加える。</p> <p>5) 最後に、再度英語ニュースの映像を見てニュースの内容を理解できるかの確認を行う。</p>	対面 授業	<p>予習:NHK WORLD-JAPANのTop Storiesを事前に見て、その日の授業で自分が扱いたい記事を選び、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習:授業で学んだ単語やフレーズ、文法を復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>

10回目	<p>1) NHK WORLD-JAPANのTop Stories (https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/) から教員が最新のニュースを選択し、教員・履修者で共有する。</p> <p>2) 選択したニュースの映像を英語で見る。</p> <p>3) 共有したニュース記事を全員でシェアし、各学生で分担し、単語調べ、日本語翻訳を行う。</p> <p>4) 単語調べ、翻訳作業が終わったら、全体で、音読し、訳を発表する。 * 教員は、訳の確認、単語・文法説明などを加える。</p> <p>5) 最後に、再度英語ニュースの映像を見てニュースの内容を理解できるかの確認を行う。</p>	対面 授業	<p>予習: NHK WORLD-JAPAN のTop Storiesを事前に見て、その日の授業で自分が扱いたい記事を選び、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習: 授業で学んだ単語やフレーズ、文法を復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
11回目	<p>1) NHK WORLD-JAPANのTop Stories (https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/) から教員が最新のニュースを選択し、教員・履修者で共有する。</p> <p>2) 選択したニュースの映像を英語で見る。</p> <p>3) 共有したニュース記事を全員でシェアし、各学生で分担し、単語調べ、日本語翻訳を行う。</p> <p>4) 単語調べ、翻訳作業が終わったら、全体で、音読し、訳を発表する。 * 教員は、訳の確認、単語・文法説明などを加える。</p> <p>5) 最後に、再度英語ニュースの映像を見てニュースの内容を理解できるかの確認を行う。</p>	対面 授業	<p>予習: NHK WORLD-JAPAN のTop Storiesを事前に見て、その日の授業で自分が扱いたい記事を選び、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習: 授業で学んだ単語やフレーズ、文法を復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>

12回目	<p>1) NHK WORLD-JAPANのTop Stories (https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/) から教員が最新のニュースを選択し、教員・履修者で共有する。</p> <p>2) 選択したニュースの映像を英語で見る。</p> <p>3) 共有したニュース記事を全員でシェアし、各学生で分担し、単語調べ、日本語翻訳を行う。</p> <p>4) 単語調べ、翻訳作業が終わったら、全体で、音読し、訳を発表する。 * 教員は、訳の確認、単語・文法説明などを加える。</p> <p>5) 最後に、再度英語ニュースの映像を見てニュースの内容を理解できるかの確認を行う。</p>	対面 授業	<p>予習: NHK WORLD-JAPAN のTop Storiesを事前に見て、その日の授業で自分が扱いたい記事を選び、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習: 授業で学んだ単語やフレーズ、文法を復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
13回目	<p>1) NHK WORLD-JAPANのTop Stories (https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/) から教員が最新のニュースを選択し、教員・履修者で共有する。</p> <p>2) 選択したニュースの映像を英語で見る。</p> <p>3) 共有したニュース記事を全員でシェアし、各学生で分担し、単語調べ、日本語翻訳を行う。</p> <p>4) 単語調べ、翻訳作業が終わったら、全体で、音読し、訳を発表する。 * 教員は、訳の確認、単語・文法説明などを加える。</p> <p>5) 最後に、再度英語ニュースの映像を見てニュースの内容を理解できるかの確認を行う。</p>	対面 授業	<p>予習: NHK WORLD-JAPAN のTop Storiesを事前に見て、その日の授業で自分が扱いたい記事を選び、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習: 授業で学んだ単語やフレーズ、文法を復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>

14回目	<p>1) NHK WORLD-JAPANのTop Stories (https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/) から教員が最新のニュースを選択し、教員・履修者で共有する。</p> <p>2) 選択したニュースの映像を英語で見る。</p> <p>3) 共有したニュース記事を全員でシェアし、各学生で分担し、単語調べ、日本語翻訳を行う。</p> <p>4) 単語調べ、翻訳作業が終わったら、全体で、音読し、訳を発表する。 * 教員は、訳の確認、単語・文法説明などを加える。</p> <p>5) 最後に、再度英語ニュースの映像を見てニュースの内容を理解できるかの確認を行う。</p>	対面 授業	<p>予習: NHK WORLD-JAPAN のTop Storiesを事前に見て、その日の授業で自分が扱いたい記事を選び、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習: 授業で学んだ単語やフレーズ、文法を復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
15回目	<p>1) NHK WORLD-JAPANのTop Stories (https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/) から教員が最新のニュースを選択し、教員・履修者で共有する。</p> <p>2) 選択したニュースの映像を英語で見る。</p> <p>3) 共有したニュース記事を全員でシェアし、各学生で分担し、単語調べ、日本語翻訳を行う。</p> <p>4) 単語調べ、翻訳作業が終わったら、全体で、音読し、訳を発表する。 * 教員は、訳の確認、単語・文法説明などを加える。</p> <p>5) 最後に、再度英語ニュースの映像を見てニュースの内容を理解できるかの確認を行う。</p>	対面 授業	<p>予習: NHK WORLD-JAPAN のTop Storiesを事前に見て、その日の授業で自分が扱いたい記事を選び、分からない単語やフレーズを辞書で調べる。(2時間)</p> <p>復習: 授業で学んだ単語やフレーズ、文法を復習し、正しく記憶する。また、指定したところをスムーズに読めるまで、繰り返し音読する(2時間)</p>
16回目	定期試験		試験範囲は、授業中に指示

科目(教職課程用)	
-----------	--

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	毎回、google classroomで、その日の英語ニュース課題を配布します。特定のテキストは使用しません。参考として、アルクオンライン辞書「英辞郎」を紹介します。
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	ニュース英語は、英検やTOEIC テストの読解問題に出題されたりします。又、最終のニュースは就職活動でも問われたりしますので、積極的に授業に関わってください。

講義科目名称：英語演習Ⅱ（初級）	授業コード：
英文科目名称：General English Ⅱ	ナンバリング：CC802

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7th & 8th Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
近藤 直美				

授業概要	英語演習Ⅱでは総合的な英語力を養うため、「音読」や「筆写」といった英語力アップにつながる練習法を取り入れて、基礎的な語彙や文法を学習する。演習Ⅱではオフィスを舞台にしたストーリー仕立てになっているので、将来英語を使う職に就いた際に必要な英語表現を数多く学ぶことができ、ビジネス英語やプレゼンテーションの基礎力も養うことができる。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<p>準2級もしくは TOEIC400～600 点レベルの英語力の獲得を目標とする：</p> <p>1.Vocabulary、Idiom：語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。</p> <p>2.Grammar：苦手とする文法を理解することができる。</p> <p>3.Reading：英文読解の精度とスピードを高めることができる。</p> <p>4.Listening：正確に英語を聞き取ることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・小テスト ・課題 ・授業への参加・態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・50% ・20% ・20% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Google クラウドで受け付けます。 ・本授業では定期試験 50%、小テスト 20%、課題 20%、授業への参加・態度 10%の割合で評価します。 ・15分以上の遅刻は欠席とします。 			

- ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。
- ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション：授業の進め方 Unit 1：＜現在形・過去形 1＞ 予定を尋ねる／別れ際の挨拶	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 2 の Let`s Read（1時間）
2回目	小テスト：Unit 1 Unit 2: ＜現在形・過去形 2＞ 挨拶する／詳細を尋ねる	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 3 の Let`s Read（1時間）
3回目	小テスト：Unit 2 Unit 3:＜進行形・未来を表す表現＞礼を述べる／予定を確認する	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 4 の Let`s Read（1時間）
4回目	小テスト：Unit 3 Unit 4：＜現在完了形＞経験を述べる／指示する	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 5 の Let`s Read（1時間）
5回目	小テスト：Unit 4 Unit 5：＜助動詞＞依頼する／助言する	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 6 の Let`s Read（1時間）
6回目	小テスト：Unit 5 Unit 6：＜受動態＞電話での応答／説明する	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 7 の Let`s Read（1時間）
7回目	小テスト：Unit 6 Unit 7：＜不定詞＞意向を尋ねる／操作を説明する	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 8 の Let`s Read（1時間）
8回目	小テスト：Unit 7 Unit 8：＜関係詞 1＞比較する／意味を確認する	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 9 の Let`s Read（1時間）
9回目	小テスト：Unit 8 Unit 9：＜動名詞＞初対面の挨拶／意見を述べる	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 10 の Let`s Read（1時間）
10回目	小テスト：Unit 9 Unit 10：＜形容詞・副詞＞意見を求める／理解を示す	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習：Unit 11 の Let`s Read（1時間）

11 回目	小テスト：Unit 10 Unit 11：＜関係詞 2＞案内する／提案する	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3 時間） 予習：Unit 12 の Let`s Read（1 時間）
12 回目	小テスト：Unit 11 Unit 12：＜分詞＞順序を示す／重点を強調する	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3 時間） 予習：Unit 13 の Let`s Read（1 時間）
13 回目	小テスト：Unit 12 Unit 13：＜比較＞感想を述べる／比較する	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3 時間） 予習：Unit 14 の Let`s Read（1 時間）
14 回目	小テスト：Unit 13 Unit 14：＜仮定法＞説得する／用件を尋ねる	対面授業	復習：テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3 時間） 予習：Unit 15 の Let`s Read（1 時間）
15 回目	小テスト：Unit 14 Unit 15：＜接続詞・前置詞＞感謝する／発表する	対面授業	今まで学習した範囲を復習する（4 時間）
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	音読で極める基礎英語（教員による注文）
履修条件	なし
履修上の注意	自己目標を明確にして意欲的に授業に臨みましょう
オフィスアワー	7Q 金曜 4 限（研究室）その他空きコマ 8Q 金曜 3・4 限（研究室）その他空きコマ
備考・メッセージ	わからないことがあれば遠慮なく質問する勇気を身に着けて、一緒に「英語」の世界を探検していきましょう。

講義科目名称：中国語基礎 I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC104

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
張逸芝				

授業概要	<p>本授業では、中国語の基礎的な読解力を身に付け、非常に簡単な単語とフレーズを理解および使用し、具体的なコミュニケーションが行えるようにする。HSK1 級における文や単語を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ol style="list-style-type: none"> 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 一つの文を一息で発音できる。 HSK1 級の読解問題に合格(正答率6割)できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音練習 小テスト 課題提出 定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> 10% 20% 10% 60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%

補足事項

1. コロナウィルスの影響によっては、グーグルクラスルームの Meet でオンライン授業を行います。
2. 課題提出を必ず行ってください。
3. 遅刻 3 回を欠席 1 回でカウントします。早退は特別な事情がない限り、欠席と見なします。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	1. HSK1 級の単語を学ぶ 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 2 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 1 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
2 回目	1. HSK1 級の単語を学ぶ 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 3 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 2 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
3 回目	1. HSK1 級の単語を学ぶ 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 4 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 3 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
4 回目	1. HSK1 級の単語を学ぶ 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 5 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 4 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
5 回目	1. HSK1 級の単語を学ぶ 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 6 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 5 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
6 回目	1. HSK1 級の単語を学ぶ 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 7 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 6 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
7 回目	1. 読解の問題を解く	面接授業	予習: 第 8 課で学ぶ箇所の音読練習

	2. 発音練習 3. 小テスト		習。(0.5時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
8回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
9回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
10回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
11回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
12回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
13回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
14回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)

			時間)
15 回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	復習: 第 15 課で学んだ箇所の音読。これまでの授業の復習。 (4 時間)
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けます。
備考・メッセージ	1 年間で最低 HSK3 級、できれば HSK4 級の合格を目指して頑張りましょう!

講義科目名称：中国語基礎Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC105

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
張逸芝				

授業概要	<p>本授業では、中国語の基礎的な聞き取る力を身に付け、非常に簡単な単語とフレーズを理解および使用し、具体的なコミュニケーションが行えるようにする。HSK1級における文や単語を正確に聞き取り、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ol style="list-style-type: none"> 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 一つの文を一息で発音できる。 HSK1級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音練習 小テスト 課題提出 定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> 10% 20% 10% 60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%

補足事項

1. コロナウィルスの影響によっては、グーグルクラスルームの Meet でオンライン授業を行います。
2. 課題提出を必ず行ってください。
3. 遅刻 3 回を欠席 1 回でカウントします。早退は特別な事情がない限り、欠席と見なします。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	1. HSK1 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 2 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 1 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
2 回目	1. HSK1 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 3 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 2 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
3 回目	1. HSK1 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 4 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 3 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
4 回目	1. HSK1 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 5 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 4 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
5 回目	1. HSK1 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 6 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 5 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
6 回目	1. HSK1 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 7 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 6 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
7 回目	1. HSK1 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 8 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 7 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
8 回目	1. HSK1 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 9 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 8 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)

9 回目	1. HSK1 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 10 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 9 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
10 回目	1. HSK1 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 11 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 10 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
11 回目	1. 過去問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 12 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 11 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
12 回目	1. 過去問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 13 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 12 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
13 回目	1. 過去問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 14 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 13 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
14 回目	1. 過去問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト面接授業	面接授業	予習: 第 15 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 14 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
15 回目	1. 過去問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	復習: 第 15 課で学んだ箇所の音読。 これまでの授業の復習。(4 時間)
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けます。
備考・メッセージ	1年間で最低 HSK3 級、できれば HSK4 級の合格を目指して頑張りましょう！

講義科目名称：中国語基礎Ⅲ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC106

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
青木萌				

授業概要	<p>本授業では、中国語検定Ⅰの学習を踏まえ、更に中国語の基礎的な聞き取る力と読解力を身に付け、身近な日常生活の話題について簡単で直接的な交流ができるようにする。授業では、第1回から第6回まではHSK2級の聞き取りを中心に行い、第7回から第15回からは読解を中心に行う。そして、HSK2級における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK2級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。 4. HSK2級の読解問題に合格(正答率6割)できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・10% ・20% ・10% ・60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%

補足事項

1. コロナウィルスの影響によっては、グーグルクラスルームの Meet でオンライン授業を行います。
2. 課題提出を必ず行ってください。
3. 遅刻 3 回を欠席 1 回でカウントします。早退は特別な事情がない限り、欠席と見なします。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	1. HSK2 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 2 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 1 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
2 回目	1. HSK2 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 3 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 2 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
3 回目	1. HSK2 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 4 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 3 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
4 回目	1. HSK2 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 5 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 4 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
5 回目	1. HSK2 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 6 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 5 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
6 回目	1. HSK2 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 7 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 6 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
7 回目	1. 読解の問題を解く	面接授業	予習: 第 8 課で学ぶ箇所の音読練習

	2. 発音練習 3. 小テスト		習。(0.5時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
8回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
9回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
10回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
11回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
12回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
13回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
14回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)

			時間)
15 回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	復習: 第 15 課で学んだ箇所の音読。これまでの授業の復習。 (4 時間)
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けます。
備考・メッセージ	1 年間で最低 HSK3 級、できれば HSK4 級の合格を目指して頑張りましょう!

講義科目名称：中国語基礎Ⅲ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC106

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q2Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
井上 麗奈				

授業概要	<p>本講義は中国語初級者を対象としている。中国語の基礎である声調やピンインを学んだ上、日常会話や基礎文法を習得し、中国語の四技能である聴く、話す、読む、書くことが身につく、中国語や漢字圏の方とコミュニケーションができる。また、中国の文化、歴史、習慣、流行などを知ることによって、中国のことがより一層理解を深めることが目標とする。また、前期終了時には中国語の検定である HSK（漢語水平考試）1 級に合格ができる。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	中国語を学び、中国の方がコミュニケーションの取り方、中国の文化や習慣を理解することができる。	・中間試験	20%
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ピンインや声調の読み、書き、聞き取りができる。 ・簡単な日常会話を聞く、話すことができる。 ・日常会話で使う漢字を書くことができる。 	・課題レポート	5%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の文化や歴史、習慣など習得することができる。 ・中国の流行について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表 ・小テスト 	20% 20%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・中国および漢字圏の中国語の表現を理解することができる。 ・中国語の検定、HSK1 級に合格ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・授業や演習への参加度 	5%
キャリアデザイン力	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら積極的にコミュニケーションをとることができる。 ・自分の意思を相手に伝えることができる。 ・中国語で自己紹介ができる。 	・定期試験	30%
合計			100%

補足事項	
<p>小テスト(20%)は不定期に行い、主に学習した単語や文法とする。中間試験(20%)は、第 8 回目に 1 回行う。学習した基礎知識、授業内容の理解度の確認を主とする。定期試験(30%)は、筆記試験とし、教科書や資料等の持込み不可。課題レポート(5%)授業中に指示し、提出後添削を行い、翌週にフィードバックする。未提出者や再提出が必要な場合、提出日を指定する。発表(20%)は、授業中に指示する。主に、発音の確認とする。授業態度・授業や演習への参加度(5%)は、出席回数や授</p>	

業中の私語などで評価する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・授業内容や進め方を説明する。	面接講義 オンライン可	予習：シラバスの確認。 復習：ピンインを再確認する。
2回目	第1課 会話：你好 購読：自我介绍 ・自分や他人について紹介する内容を学ぶ。	面接講義 オンライン可	予習：人称代名詞をまとめる。 復習：新出単語や文を朗読する。
3回目	第2課 会話：这是什么？ 購読：大山的房间 ・指示名詞を学び、紹介したい場所について学ぶ。	面接講義 オンライン可	予習：指示代名詞をまとめる。 復習：新出単語や文を朗読する。
4回目	第3課 会話：你去哪儿？ 購読：便利店・さまざまな店の言い方や行きたい場所の言い方について学ぶ。	面接講義 オンライン可	予習：動詞述語文を確認する。 復習：新出単語や文を朗読する。
5回目	第4課 会話：你要几个？ 購読：全家照 ・買い物の際、いくつ、いくらなどについて学ぶ。 ・家族構成について学ぶ。	面接講義 オンライン可	予習：数字や量詞言い方をまとめる。 復習：新出単語や文を朗読する。
6回目	第5課 会話：你星期几打工？ 購読：踢足球 ・アルバイトをする曜日について学ぶ。 ・サッカーなどのスポーツの言い方、それらを使う助詞について学ぶ。	面接講義 オンライン可	予習：曜日、時刻の言い方をまとめる。 復習：新出単語や文を朗読する。
7回目	会話：今天的课都完了吗？ 購読：唱卡拉OK ・今日のスケジュールの言い方について学ぶ。	面接講義 オンライン可	予習：完了形を確認する。 復習：新出単語や文を朗読する。
8回目	第7課 会話：你吃饭了吗？ 購読：去海边儿 ・どこへ行ったのか、何をしたのかの言い方について学ぶ。	面接講義 オンライン可	予習：連動文を確認する。 復習：新出単語や文を朗読する。
9回目	第9課 会話：你在干什么呢？ 購読：学开车 ・好きな場所について、どのように相手に	面接講義 オンライン可	予習：位置を表す語を確認する。 復習：新出単語や文を朗読する。

	伝うかを学ぶ。		
10 回目	第 10 課 会話：你有什么爱好？ 購読：联谊会 ・今何をしているのかの伝え方を学ぶ。	面接講義 オンライン可	予習：主述述語文を確認する。 復習：新出単語や文を朗読する。
11 回目	第 11 課 会話：这双鞋怎么样？ 購読：动漫 ・趣味や興味について学ぶ。	面接講義 オンライン可	予習：様態補語を確認する。 復習：新出単語や文を朗読する。
12 回目	第 11 課 会話：这双鞋怎么样？ 購読：动漫 ・「この靴はどうですか」の文のように、自分のものを他人に意見を求める際の言い方について学ぶ。	面接講義 オンライン可	予習：相手に自分のものを、何を紹介するかを考える。 復習：新出単語や文を朗読する。
13 回目	第 12 課 会話：生日快乐！ 購読：买衣服 ・誕生日の方に、お祝いの言葉をどのように伝えるかを学ぶ。	面接講義 オンライン可	予習：年、月、日の言い方をまとめる。 復習：新出単語や文を朗読する。
14 回目	会話の総まとめ ・今まで学んだ会話文を総まとめする。	面接講義 オンライン可	予習：会話のプリントを確認する。
15 回目	購読の総まとめ ・今まで学んだ購読文を総まとめする。	面接講義 オンライン可	予習：朗読のプリントを確認する。
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：竹島 毅 趙昕（2007）『さあ、中国語を学ぼう！』— 会話・購読 — 株式会社 白水社 参考書：林 松濤（2020）『大人なら使いたい中国語表現』 三修社
履修条件	中国語 I を履修したこと。
履修上の注意	毎回出席し、授業中は積極的に発話する。授業後、毎回学習したことを必ず復習する。課題は必ず指示した日時に提出し、添削後、翌週に返却する。小テスト、中間テストのほか、課題の提出や発表、授業態度など総合的に評価する。なお、授業を 5 回欠席した場合、受験資格がなくなり、遅刻 3 回した場合、一回の欠席と見做す。
オフィスアワー	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。
備考・メッセージ	継続は力なり

講義科目名称：中国語会話 I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC303

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	1単位	選択	演習
担当教員				
青木萌				

授業概要	<p>本授業では、中国語の初級程度の聞き取る力を身に付け、中国語を用いて、生活、学習、仕事等で基本的なコミュニケーションができ、中国で旅行をする時にも大多数の場合において対応できるようにする。授業では、主に HSK3 級の聞き取り問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ol style="list-style-type: none"> 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 一つの文を一息で発音できる。 HSK3 級の聞き取り問題に合格(正答率 6 割)できる。 HSK3 級の作文問題に合格(正答率 6 割)できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音練習 小テスト 課題提出 定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> 10% 20% 10% 60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%

補足事項

1. コロナウィルスの影響によっては、グーグルクラスルームの Meet でオンライン授業を行います。
2. 課題提出を必ず行ってください。
3. 遅刻 3 回を欠席 1 回でカウントします。早退は特別な事情がない限り、欠席と見なします。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	1. HSK3 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 2 課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5 時間) 復習: 第 1 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5 時間)
2 回目	1. HSK3 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 3 課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5 時間) 復習: 第 2 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5 時間)
3 回目	1. HSK3 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 4 課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5 時間) 復習: 第 3 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5 時間)
4 回目	1. HSK3 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 5 課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5 時間) 復習: 第 4 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5 時間)
5 回目	1. HSK3 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 6 課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5 時間) 復習: 第 5 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5 時間)
6 回目	1. HSK3 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 7 課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5 時間) 復習: 第 6 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5 時間)
7 回目	1. HSK3 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 8 課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5 時間) 復習: 第 7 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5 時間)
8 回目	1. HSK3 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習	面接授業	予習: 第 9 課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5 時間) 復習: 第 8 課で学んだ箇所の音読と配

	4. 小テスト		布した読解問題。(1.5時間)
9回目	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第10課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5時間) 復習: 第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
10回目	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第11課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5時間) 復習: 第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
11回目	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第12課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5時間) 復習: 第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
12回目	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第13課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5時間) 復習: 第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
13回目	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第14課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5時間) 復習: 第13課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
14回目	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第15課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5時間) 復習: 第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
15回目	1. HSK3級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	復習: 第15課で学んだ箇所の音読。 これまでの授業の復習。(2時間)
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	

履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けます。
備考・メッセージ	1年間で最低 HSK3 級、できれば HSK4 級の合格を目指して頑張りましょう！

講義科目名称：中国語検定Ⅲ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC506

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
青木萌				

授業概要	本授業では、中国語の中級程度の読解力を身に付け、中国語の幅広い範囲にわたる話題の文章を理解できるようにする。授業では、主に HSK4 級の読解問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK4 級の読解問題に合格(正答率6割)できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・10% ・20% ・10% ・60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%

補足事項

1. コロナウィルスの影響によっては、グーグルクラスルームの Meet でオンライン授業を行います。
2. 課題提出を必ず行ってください。
3. 遅刻 3 回を欠席 1 回でカウントします。早退は特別な事情がない限り、欠席と見なします。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 2 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 1 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
2 回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 3 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 2 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
3 回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 4 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 3 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
4 回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 5 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 4 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
5 回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 6 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 5 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
6 回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 7 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 6 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
7 回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 8 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 7 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
8 回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習	面接授業	予習: 第 9 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間)

	3. 小テスト		復習: 第 8 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
9 回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 10 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 9 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
10 回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 11 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 10 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
11 回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 12 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 11 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
12 回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 13 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 12 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
13 回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 14 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 13 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
14 回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 15 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 14 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
15 回目	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	復習: 第 15 課で学んだ箇所の音読。これまでの授業の復習。(4 時間)
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	

履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けます。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4 級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう！

講義科目名称：中国語検定Ⅲ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC506

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
井上 麗奈				

授業概要	<p>本科目は中国語検定（HSK）4級を目指して、中国語上級レベルに相当する難易度の高い語彙や文法を学習する。</p> <p>今まで学習した単語を違う使い方になることがあり、何度も練習や復習し、克服し、中国語検定（HSK）級の合格を目標とする。また、問題を解く際、時間を計りながらする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	中国の文化をより一層、理解することができる。	授業参加、授業態度	10%
専門的知識や技能	上級者が使う文法や単語、会話を身につくことができる。	定期テスト	60%
異文化知識・対応能力	さまざまな場面において、中国の方と会話ができる。	発表	5%
課題解決能力	上級者が使う文法や単語、会話を身につくことができる。	レポート	20%
キャリアデザイン力	積極的に学習する姿勢が身につくことができる。	課題提出	5%
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業の進め方、履修するにあたり、注意事項や心構えについて説明する。	面接授業	予習：検定を受けるまでのスケジュールや心構えについて（0.5時間） 復習：確実に合格するためのプランを立てる（0.5時間）
2回目	・時間を計りながら、問題を解く。	面接授業	予習：5級の単語（0.5時間）

	・答え合わせする。		復習：新出単語と文法（0.5 時間）
3 回目	聴解の問題や新出単語の解説をする。	面接授業	予習：5 級の単語（0.5 時間） 復習：新出単語と文法（0.5 時間）
4 回目	文法や作文を解説する。	面接授業	予習：5 級の単語（0.5 時間） 復習：新出単語と文法（0.5 時間）
5 回目	・時間を計りながら、問題を解く。 ・答え合わせする。	面接授業	予習：5 級の単語（0.5 時間） 復習：新出単語と文法（0.5 時間）
6 回目	聴解の問題や新出単語の解説をする。	面接授業	予習：5 級の単語（0.5 時間） 復習：新出単語と文法（0.5 時間）
7 回目	文法や作文を解説する。	面接授業	予習：5 級の単語（0.5 時間） 復習：新出単語と文法（0.5 時間）
8 回目	・時間を計りながら、問題を解く。 ・答え合わせする。	面接授業	予習：5 級の単語（0.5 時間） 復習： 新出単語と文法（0.5 時間）
9 回目	聴解の問題や新出単語の解説をする。	面接授業	予習：5 級の単語（0.5 時間） 復習：新出単語と文法（0.5 時間）
10 回目	文法や作文を解説する。	面接授業	予習：5 級の単語（0.5 時間） 復習：新出単語と文法（0.5 時間）
11 回目	・時間を計りながら、問題を解く。 ・答え合わせする。	面接授業	予習：5 級の単語（0.5 時間） 復習：新出単語と文法（0.5 時間）
12 回目	聴解の問題や新出単語の解説をする。	面接授業	予習：5 級の単語（0.5 時間） 復習：新出単語と文法（0.5 時間）
13 回目	文法や作文を解説する。	面接授業	予習：5 級の単語（0.5 時間） 復習：新出単語と文法（0.5 時間）
14 回目	今までした聴解の問題をまとめる。	面接授業	予習：5 級の単語（0.5 時間） 復習：新出単語と文法（0.5 時間）
15 回目	今までした文法や作文の問題をまとめる。	面接授業	復習：いままでの配布資料やノートを見直すこと（1 時間） 予習：テスト勉強すること（1 時間）
16 回目	定期試験	面接授業	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：・金級涛（2005）『決勝 30 天新汉语水平考试 4 级仿真试题集 北京语言大学出版社 参考書：・中国語検定 HSK4 級長文テキスト 株式会社スプリックス 中国

	語事業部
履修条件	HSK3 級合格したこと。
履修上の注意	毎回出席し、授業中は積極的に発話する。授業後、毎回学習したことを必ず復習、予習する。課題は必ず指示した日時に提出し、添削後、翌週に返却する。小テスト、中間テストのほか、課題の提出や発表、授業態度など総合的に評価する。なお、授業を5回欠席した場合、受験資格がなくなり、遅刻3回した場合、一回の欠席と見做す。
オフィスアワー	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。
備考・メッセージ	継続は力なり

講義科目名称：中国語ライティング&文法 I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC304

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
青木萌				

授業概要	<p>本授業では、中国語の発音の基礎を固め、同時に、初級程度の読解力を身に付ける。これにより、中国語を用いて、生活、学習、仕事等で基本的なコミュニケーションができ、中国で旅行をする時にも大多数の場合において対応できるようにする。授業では、第1回から第11回まではピンインの復習を行う。第12回からはHSK3級の読解問題を解き、HSK3級における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK3級の読解問題に合格(正答率6割)できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・10% ・20% ・10% ・60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%

補足事項

1. コロナウィルスの影響によっては、グーグルクラスルームの Meet でオンライン授業を行います。
2. 課題提出を必ず行ってください。
3. 遅刻 3 回を欠席 1 回でカウントします。早退は特別な事情がない限り、欠席と見なします。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 可能補語について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 2 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 1 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
2 回目	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 方向補語について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 3 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 2 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
3 回目	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 状態補語について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 4 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 3 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
4 回目	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 程度補語について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 5 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 4 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
5 回目	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 量詞について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 6 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 5 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
6 回目	1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 量詞“一下”について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 7 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 6 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
7 回目	1. 母音と子音の組み合わせにつ	面接授業	予習: 第 8 課で学ぶ箇所の

	<ul style="list-style-type: none"> いて学ぶ。 2. 量詞(重畳形)について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト 		<p>音読練習。(0.5時間)</p> <p>復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)</p>
8回目	<ul style="list-style-type: none"> 1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 数詞+量詞について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 	面接授業	<p>予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間)</p> <p>復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)</p>
9回目	<ul style="list-style-type: none"> 1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 助詞“了”について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト 	面接授業	<p>予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間)</p> <p>復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)</p>
10回目	<ul style="list-style-type: none"> 1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 助詞“着”について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト 	面接授業	<p>予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間)</p> <p>復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)</p>
11回目	<ul style="list-style-type: none"> 1. 母音と子音の組み合わせについて学ぶ。 2. 助詞“过”について学ぶ。 3. 簡単な日常表現を学ぶ。 4. 小テスト 	面接授業	<p>予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間)</p> <p>復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)</p>
12回目	<ul style="list-style-type: none"> 1. 読解の問題を解く 2. 答え合わせ 3. 解説 4. 小テスト 	面接授業	<p>予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間)</p> <p>復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)</p>
13回目	<ul style="list-style-type: none"> 1. 読解の問題を解く 2. 答え合わせ 3. 解説 4. 小テスト 	面接授業	<p>予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間)</p> <p>復習:第13課で学んだ箇所の音読と配布した</p>

			読解問題。(3.5時間)
14回目	1. 読解の問題を解く 2. 答え合わせ 3. 解説 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 15 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習: 第 14 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
15回目	1. 読解の問題を解く 2. 答え合わせ 3. 解説 4. 小テスト	面接授業	復習: 第 15 課で学んだ箇所の音読。これまでの授業の復習。(4時間)
16回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けます。
備考・メッセージ	1年間で最低 HSK3 級、できれば HSK4 級の合格を目指して頑張りましょう！

講義科目名称：中国語ライティング&文法Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC705

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(7stQ)	2年	2単位	選択	
担当教員				
青木萌				

授業概要	本授業では、中国語の中級程度の読解力を身に付け、中国の新聞や雑誌の内容が大体理解できるようにする。授業では、主に HSK5 級の読解問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK5 級の読解問題に合格(正答率6割)できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・10% ・20% ・10% ・60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
------	-----	-------	-------

1回目	HSK5級の読解1	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第1課で学んだ箇所の音読。
2回目	HSK5級の読解2	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第2課で学んだ箇所の音読。
3回目	HSK5級の読解3	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第3課で学んだ箇所の音読。
4回目	HSK5級の読解4	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第4課で学んだ箇所の音読。
5回目	HSK5級の読解5	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第5課で学んだ箇所の音読。
6回目	HSK5級の読解6	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第6課で学んだ箇所の音読。
7回目	HSK5級の読解7	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第7課で学んだ箇所の音読。
8回目	HSK5級の読解8	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第8課で学んだ箇所の音読。
9回目	HSK5級の読解9	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。 復習:第9課で学んだ箇所の音読。
10回目	HSK5級の読解10	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。

		3. 小テスト	復習: 第 10 課で学んだ箇所の音読。
11 回目	HSK5 級の読解 11	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習: 第 12 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 11 課で学んだ箇所の音読。
12 回目	HSK5 級の読解 12	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習: 第 13 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 12 課で学んだ箇所の音読。
13 回目	HSK5 級の読解 13	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習: 第 14 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 13 課で学んだ箇所の音読。
14 回目	HSK5 級の読解 14	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	予習: 第 15 課で学ぶ箇所の音読練習。 復習: 第 14 課で学んだ箇所の音読。
15 回目	HSK5 級の読解 15	1. 読解の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	復習: 第 15 課で学んだ箇所の音読。
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、facebook、Eメール、ウィーチャットで随時受け付けます。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4 級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう!

講義科目名称：韓国語基礎 I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC107

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(1Q-2Q)	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、韓国語の入門段階でハングルの組み合わせと正確な発音を学ぶ。簡単な短文を作成するための基礎文法を学習しながら、実戦会話に活用できるように練習する。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え行動をすることを意識することができる。	・授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	・韓国語で、日常的表現と基本的な言い回しを用いることができる。 ・韓国語で、ごく基本的な定型のあいさつや短い文章を書くことができる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を480個以上覚えることができる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
コミュニケーション能力	・限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 韓国語とは何か、韓国語の特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
2回目	韓国語の基本母音字、基本子音字 韓国語の基本母音字、基本子音字について勉強する。 教科書を使って、各文字を繰り返して書きながら一個ずつ覚える	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
3回目	韓国語の複合母音、韓国語のパッチム 韓国語の複合母音、韓国語のパッチムについて勉強する。 教科書を使って、各文字を繰り返して書きながら一個ずつ覚える。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
4回目	韓国語の発音の変化 韓国語の発音の変化について勉強する。 教科書を使って、該当する各例について一個ずつ確認する。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
5回目	韓国語まとめ ハングルの組み合わせ（練習）	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

6回目	<p>韓国語基礎文法・実戦会話 1</p> <p>名詞+은/는 名詞+입니다/입니까? 名詞+이에요/예요</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
7回目	<p>韓国語基礎文法・実戦会話 2</p> <p>まとめ(単語・文法練習)</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
8回目	<p>韓国語基礎文法・実戦会話 3</p> <p>名詞+이/가 名詞+이/가 아니다 名詞+도</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
9回目	<p>韓国語基礎文法・実戦会話 4</p> <p>まとめ(単語・文法練習)</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
10回目	<p>韓国語基礎文法・実戦会話 5</p> <p>用言+습니다/입니다 名詞+에서 名詞+을/를 名詞+에 名詞+으로/로</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>

			トを準備する（2時間）
11回目	韓国語基礎文法・実戦会話6 まとめ（単語・文法練習）	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
12回目	韓国語基礎文法・実戦会話7 이,그,저 일,이,삼 하나,둘,셋 用言+아요/어요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
13回目	韓国語基礎文法・実戦会話8 まとめ（単語・文法練習）	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
14回目	韓国語基礎文法・実戦会話9 用言+아/어 주세요 名詞+한테 用言+지만	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
15回目	韓国語基礎文法・実戦会話10 まとめ（単語・文法練習）	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 今までの授業内容を

			まとめた内容を確認して、 定期試験を準備する（2時間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：「おはよう韓国語1」
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	水曜日4コマ目（研究室） *その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。

講義科目名称：韓国語基礎 II	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC108

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(1Q-2Q)	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK I」を受験するためにリスニング・リーディングなどを学習した上で模擬試験を行い、約 800 語程度の語彙を用いた文章を理解でき、文法力を着実に身につけるようにする。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK 1 級以上合格を目指す。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え行動をすることを意識することができる。	・授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国語で書かれた、日常的な話題についての平易な文章を読み、内容を理解することができる。 ・韓国語で、よく使われる日常的表現と基本的な表現が理解できる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を 800 個以上覚えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・単語小テスト 	60% 20%
コミュニケーション能力	・限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して 関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
2回目	TOPIK1級問題分析1 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験 対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
3回目	TOPIK1級問題分析2 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験 対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
4回目	TOPIK1級問題分析3 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験 対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
5回目	TOPIK1級問題分析4	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す

	TOPIK Iの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う		る講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIK 1級問題分析5 TOPIK Iの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIK 1級問題分析6 TOPIK Iの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIK 1級問題分析7 TOPIK Iの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIK 1級問題分析8 TOPIK Iの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)

10回目	<p>TOPIK 1級問題分析9</p> <p>TOPIK Iの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
11回目	<p>TOPIK 1級問題分析10</p> <p>TOPIK Iの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
12回目	<p>TOPIK 1級問題分析最後</p> <p>TOPIK Iの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
13回目	<p>TOPIK I模擬テスト(リスニング)</p> <p>TOPIK Iの模擬テスト(リスニング)実施、採点方法、採点後の整理方法について</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
14回目	<p>TOPIK I模擬テスト(リーディング)</p> <p>TOPIK Iの模擬テスト(リーディング)実施、採点方法、採点後の整理方法について</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた</p>

			内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
15回目	<p>総まとめ</p> <p>今まで学習した内容の整理</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する（2時間）</p>
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：「TOPIKI1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	<p>水曜日4コマ目（研究室）</p> <p>*その他、授業の前後及び空きコマも可</p>
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。

講義科目名称：韓国語基礎 III	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC109

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期（1Q-2Q）	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験（TOPIK）通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK I」を受験するためにリスニング・リーディングなどを学習した上で模擬試験を行い、約 1500 語程度の語彙を用いた文章を理解でき、文法力を着実に身につけるようにする。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK2 級以上合格を目指す。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え行動をすることを意識することができる。	・授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国語で書かれた、日常的な話題についての平易な文章を読み、内容を理解することができる。 ・韓国語で、よく使われる日常的表現と基本的な表現が理解できる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を 1,500 個以上覚えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・単語小テスト 	60% 20%
コミュニケーション能力	・限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して 関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
2回目	TOPIK2級問題分析1 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験 対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
3回目	TOPIK2級問題分析2 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験 対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
4回目	TOPIK2級問題分析3 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験 対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
5回目	TOPIK2級問題分析4	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す

	TOPIK Iの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う		る講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIK 2級問題分析5 TOPIK Iの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIK 2級問題分析6 TOPIK Iの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIK 2級問題分析7 TOPIK Iの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIK 2級問題分析8 TOPIK Iの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)

10回目	<p>TOPIK 2級問題分析9</p> <p>TOPIK Iの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
11回目	<p>TOPIK 2級問題分析10</p> <p>TOPIK Iの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
12回目	<p>TOPIK 2級問題分析最後</p> <p>TOPIK Iの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
13回目	<p>TOPIK I模擬テスト(リスニング)</p> <p>TOPIK Iの模擬テスト(リスニング)実施、採点方法、採点後の整理方法について</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
14回目	<p>TOPIK I模擬テスト(リーディング)</p> <p>TOPIK Iの模擬テスト(リーディング)実施、採点方法、採点後の整理方法について</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた</p>

			内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
15回目	<p>総まとめ</p> <p>今まで学習した内容の整理</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する（2時間）</p>
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：「TOPIKI1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	<p>水曜日4コマ目（研究室）</p> <p>*その他、授業の前後及び空きコマも可</p>
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。

講義科目名称：韓国語会話 I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC305

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期（3Q）	1年	1単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、会話を中心としたコミュニケーション能力を身に付けることを目標としている。さまざまな場面で核心フレーズを聴いて、離す練習を通じてネイティブの韓国人学生達と話して会話の「感」を覚える。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・試行錯誤しながら、自ら考え行動する。	・授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	・韓国語で、身近で日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。 ・韓国語で、直接的関係がある領域に関してよく使われる表現が理解できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
コミュニケーション能力	・日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 韓国語会話練習、スピーチコンテストについて	対面授業	予習 シラバスを確認して 関連情報を集める(1時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(1時間)
2回目	韓国語応用文法・実戦会話1 用言+았/었 하다用言 했 動詞+고 있다 用言+으면/면 動詞・存在詞+고 싶다	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASS に提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (1時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(1時間)
3回目	韓国語応用文法・実戦会話2 用言+으시/시 用言+고 用言+네요	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASS に提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (1時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(1時間)
4回目	韓国語応用文法・実戦会話3 用言+으세요/세요 用言+지요(죠) 用言+는/은/ㄴ데요 으変則	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASS に提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (1時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(1時間)
5回目	韓国語応用文法・実戦会話4 안+用言 ㄹ変則 用言+아서/어서 動詞+을래요/ㄹ래요	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASS に提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (1時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(1時間)

6回目	韓国語応用文法・実戦会話 5 用言+을/르거예요 겠 動詞・存在詞+는+名詞 形容詞+은/ㄴ+名詞 指定詞+인+名詞 動詞+으러/러	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASS に提示する 講座テーマを確認して必要 な単語、表現を整理する (1時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テス トを準備する(1時間)
7回目	韓国語応用文法・実戦会話 6 用言+으면 되다 ㄹ変則 用言+으셨/셨 用言+으니까/니까	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASS に提示する 講座テーマを確認して必要 な単語、表現を整理する (1時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テス トを準備する(1時間)
8回目	韓国語応用文法・実戦会話 7 名詞+하고, 과/와 用言+을/ㄹ수 있다/없다 動詞+은/ㄴ+名詞 形容詞・指定詞・存在詞+던+名詞 指定詞+이던+名詞 用言+을/ㄹ게요	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASS に提示する 講座テーマを確認して必要 な単語、表現を整理する (1時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テス トを準備する(1時間)
9回目	韓国語応用文法・実戦会話 8 用言+으려고 하다 用言+기로 하다 用言+을/ㄹ ㄹ変則	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASS に提示する 講座テーマを確認して必要 な単語、表現を整理する (1時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テス トを準備する(1時間)
10回目	韓国語応用文法・実戦会話 9 ㅇ変則 用言+아/어야 되다(하다) 用言+을/ㄹ것 같다	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASS に提示する 講座テーマを確認して必要 な単語、表現を整理する (1時間)

	用言+아/어도 되다		復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（1時間）
11回目	韓国語応用文法・実戦会話10 ㄷ変則 ㅂ+動詞・存在詞 動詞・存在詞+는 것 같다 形容詞+은/ㄴ 것 같다 指定詞+인 것 같다 動詞+아/어 보다	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する（1時間）
12回目	韓国語スピーチ大会準備1 韓国語スピーチ大会の内容設定、原稿作成 発音、イントネーション練習	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（1時間）
13回目	韓国語スピーチ大会準備2 韓国語スピーチ大会の内容設定、原稿作成 発音、イントネーション練習	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、韓国語スピーチ大会を準備する（1時間）
14回目	韓国語スピーチ大会準備3 韓国語スピーチ大会の内容設定、原稿作成 発音、イントネーション練習	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、韓国語スピーチ大会を準備する（1時間）

15 回目	<p>総まとめ</p> <p>今まで学習した内容の整理</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間）</p> <p>復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する（1時間）</p>
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：「おはよう韓国語2」
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	<p>水曜日4コマ目（研究室）</p> <p>*その他、授業の前後及び空きコマも可</p>
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。

講義科目名称：韓国語検定 I I I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC509

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期（5Q）	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験（TOPIK）通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK3級以上合格を目指す。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	・韓国語で、身近な話題について主要な点を理解できる。 ・TOPIK3級問題の類型を把握し、合格できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
コミュニケーション能力	・仕事、学校、娯楽などたいていな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKII の特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して 関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
2回目	TOPIK 3級問題分析1 TOPIKII の3級問題の類型を分析し、受験 対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASS に提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
3回目	TOPIK 3級問題分析2 TOPIKII の3級問題の類型を分析し、受験 対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASS に提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
4回目	TOPIK 3級問題分析3 TOPIKII の3級問題の類型を分析し、受験 対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASS に提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
5回目	TOPIK 3級問題分析4 TOPIKII の3級問題の類型を分析し、受験 対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASS に提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)

			トを準備する（2時間）
6回目	<p>TOPIK 3級問題分析5</p> <p>TOPIKII の3級問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
7回目	<p>TOPIK 3級問題分析6</p> <p>TOPIKII の3級問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
8回目	<p>TOPIK 3級問題分析7</p> <p>TOPIKII の3級問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
9回目	<p>TOPIK 3級問題分析8</p> <p>TOPIKII の3級問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
10回目	<p>TOPIK 3級問題分析9</p> <p>TOPIKII の3級問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p>

			復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
11回目	TOPIK 3級問題分析10 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
12回目	TOPIK 3級問題分析11 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
13回目	TOPIK 3級問題分析12 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する（2時間）
14回目	TOPIK 3級問題分析13 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必

			要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 今までの授業内容を まとめた内容を確認して、 定期試験を準備する (2時 間)
16回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「TOPIK II 1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	水曜日 4 コマ目 (研究室) * その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト (単語) があります。

講義科目名称：韓国語ライティング&文法Ⅰ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC306

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期（4Q）	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験（TOPIK）を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにライティングを学習し、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK3級以上合格を目指す。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・ 試行錯誤しながら、自ら考え行動する。	・ 授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 韓国語で、自身の必要や感情を表すために、基礎的な語彙を用いた短い文章を書くことができる。 ・ 韓国語で書かれた、自身に直接関連する領域についての基本的な文章を読み、内容を理解することができる。 ・ TOPIK II級のライティング問題の類型を把握できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期試験 ・ 単語小テスト 	60% 20%
コミュニケーション能力	・ 日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・ グループワーク	15%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIライティング問題の特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して 関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
2回目	TOPIKIIライティング問題分析1 TOPIKIIライティング問題の類型を分析 し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
3回目	TOPIKIIライティング問題分析2 TOPIKIIライティング問題の類型を分析 し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
4回目	TOPIKIIライティング問題分析3 TOPIKIIライティング問題の類型を分析 し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
5回目	TOPIKIIライティング問題分析4	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す

	TOP I KII ライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う		る講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
6回目	TOP I KII ライティング問題分析 5 TOP I KII ライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
7回目	TOP I KII ライティング問題分析 6 TOP I KII ライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
8回目	TOP I KII ライティング問題分析 7 TOP I KII ライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
9回目	TOP I KII ライティング問題分析 8 TOP I KII ライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

10回目	<p>TOPIKIIライティング問題分析9</p> <p>TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
11回目	<p>TOPIKIIライティング問題分析10</p> <p>TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する(2時間)</p>
12回目	<p>TOPIKIIライティング問題分析11</p> <p>TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
13回目	<p>TOPIKIIライティング問題分析12</p> <p>TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、TOPIKII作文を準備する(2時間)</p>
14回目	<p>TOPIKIIライティング問題分析13</p> <p>TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、TOPIKII作文を準備する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた</p>

			内容を確認して、韓国語スピーチ大会を準備する（2時間）
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する（2時間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：「TOPIKII 한국어능력시험 토픽 쓰기」 参考書：「TOP I KII 1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	水曜日4コマ目（研究室） *その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。

講義科目名称：韓国語ライテック&グラマーII	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC708

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期（7Q-8Q）	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験（TOPIK）通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK 5級以上合格を目指す。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	・韓国語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。 ・TOPIKII のライティング問題の類型を把握できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
コミュニケーション能力	・仕事、学校、娯楽などたいいな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる	・グループワーク	15%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%

補足事項	
<p>・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。</p> <p>・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。</p>	

・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して 関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
2回目	TOPIKIIライティング問題分析1 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析 し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
3回目	TOPIKIIライティング問題分析2 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析 し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
4回目	TOPIKIIライティング問題分析3 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析 し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
5回目	TOPIKIIライティング問題分析4 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必

	し、受験対策を行う		<p>要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
6回目	<p>TOP I KII ライティング問題分析 5</p> <p>TOP I KII のライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
7回目	<p>TOP I KII ライティング問題分析 6</p> <p>TOP I KII のライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
8回目	<p>TOP I KII ライティング問題分析 7</p> <p>TOP I KII のライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
9回目	<p>TOP I KII ライティング問題分析 8</p> <p>TOP I KII のライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
10回目	TOP I KII ライティング問題分析 9	対面授業	予習 シラバス及び

	TOPIKII のライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う		GOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
11回目	TOPIKII ライティング問題分析10 TOPIKII のライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
12回目	TOPIKII ライティング問題分析11 TOPIKII のライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
13回目	TOPIKII ライティング問題分析12 TOPIKII のライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する（2時間）
14回目	TOPIKII ライティング問題分析13 TOPIKII のライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

			トを準備する（2時間）
15回目	<p>総まとめ</p> <p>今まで学習した内容の整理</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する（2時間）</p>
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	<p>教科書：「TOPIKII 한국어능력시험 토픽 쓰기」</p> <p>参考書：「TOP I KII 1冊でOK」日本語版</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	<p>水曜日4コマ目（研究室）</p> <p>*その他、授業の前後及び空きコマも可</p>
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。

講義科目名称：基礎日本語 I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC110

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q2Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	実際に使える日本語が身につけられるように身近な場面を取り入れ、「読む・書く」に重点をおいた学習をする。読むために役立つ文法・文型を学び、日常的に関心のある文章の理解を深める。また、学習者個人の意見や計画（その他）できるようになることも目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
専門的知識や技能	自分の意見や感想が表現でき、N1 レベル相当の日本語を習得する。身に付けた日本語力でコミュニケーションが進められる。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	使える日本語を身に付け、異文化の中で自己表現ができる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 課題提出や連絡は Google classroom を利用する
- 定期試験 60%、ミニテスト 10%、グループ・ペアワーク 10%、課題 10%、授業への参加・態度 10% の割合で評価する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン可	予習：2回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する（2時間）
2回目	トピック 1 part 4 ・インタビュー記事を読んで、詳しく理解する	対面授業 オンライン可	予習：3回目の語彙を調べ覚える。ページ 58 を考察する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3回目	トピック 1 part 5 ・くわしく紹介するメールを書く	対面授業 オンライン可	予習：4回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4回目	トピック 2 part 4 ・観光地の特色を理解する	対面授業 オンライン可	予習：5回目の語彙を調べ覚える。ページ 76 を考察する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
5回目	トピック 2 part 5 ・自国の観光地を紹介するメールを書く	対面授業 オンライン可	予習：6回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
6回目	トピック 3 part 4 ・コメントを読んで、その意見を理解する	対面授業 オンライン可	予習：7回目の語彙を調べ覚える。ページ 94 を考察する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
7回目	トピック 3 part 5 ・記事をインターネットの掲示板に書く	対面授業 オンライン可	予習：8回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
8回目	トピック 1～3 まとめ	対面授業 オンライン可	予習：9回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
9回目	トピック 4 part 4 ・芸能に関する文章を理解する	対面授業 オンライン可	予習：10回目の語彙を調べ覚える。ページ 112 を考察する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
10回目	トピック 4 part 5 ・地域の行事や催しについて案内を書く	対面授業 オンライン可	予習：11回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
11回目	トピック 5 part 4 ・ニュースの記事を読み理解する	対面授業 オンライン可	予習：12回目の語彙を調べ覚える。ページ 130 を考察する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
12回目	トピック 5 part 5 ・身近なニュースを SNS で紹介する	対面授業 オンライン可	予習：13回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）

13回目	トピック 6part 4 ・商品のレビューを読み理解する	対面授業 オンライン可	予習：14回目の語彙を調べ覚える。ページ148を考察する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
14回目	トピック 6part 5 ・状況を説明するクレームのメールを書く	対面授業 オンライン可	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
15回目	トピック 4～6 まとめ	対面授業 オンライン可	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級2」
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業前後で対応
備考・メッセージ	欠席の場合は前もって連絡すること（連絡方法については授業開始時に指示する）

講義科目名称：基礎日本語 I / 基礎日本語 I I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC110

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q / 5Q 2Q / 6Q	1年 2年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	日本語学習の基礎となる初中級日本語文法を習得し中級日本語文法の運用力をつける。学習した文型、語彙の理解を深める。内容のポイントをとらえる練習を継続的に行い、能動的な言語活動を促す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わることができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。	定期試験 ミニテスト	40% 25%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。		
課題解決能力	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	20%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	15%
合計			100%

補足事項
<p>初中級から中級の語彙や文型を増やして、日常生活における日本語を理解し、使用できるようになる。学習項目に合わせ、宿題や確認テストを課し、理解度を深める。</p> <p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「定期試験（40%）」、「ミニテスト（25%）」、「課題（20%）」、「学習態度（15%）」。</p>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション ・授業内容を説明すること。 「トピック1」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
2回目	「トピック1」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
3回目	「トピック1・2」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 <u>「ミニテスト①」</u>	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
4回目	「トピック2」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
5回目	「トピック2・3」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 <u>「ミニテスト②」</u>	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
6回目	「トピック3」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
7回目	「トピック3・4」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 <u>「ミニテスト③」</u>	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
8回目	「トピック4」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
9回目	「トピック4・5」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 <u>「ミニテスト④」</u>	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）

10回目	「トピック5」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
11回目	「トピック5・6」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 <u>「ミニテスト⑤」</u>	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
12回目	「トピック6」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
13回目	「トピック6」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 <u>「ミニテスト⑥」</u>	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
14回目	「トピック1～3の復習」 ・練習問題（文型） <u>「ミニテスト⑦」</u>	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
15回目	「トピック4～6の復習」 ・練習問題（文型） <u>「ミニテスト⑧」</u>	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：テスト範囲（1時間）
16回目	「定期試験」	対面のみ	予習：テスト範囲（1時間） 復習：テスト範囲（1時間）

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級1B1」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称：基礎日本語 I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC110

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q 2Q	1	2	選択	SC(OL)
担当教員				
岩見 真知子				

授業概要	日常の必要性のある事柄について情報交換でき、自分や家族の状況、身の回りの様子を簡単な言葉で説明し文章にできる。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	社会のルールや状況に適した態度を意識して、振る舞うことができる。	授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	日本語で自身の必要や感情を表すために、基本的な語彙や文法を用いた文章を理解して書くことができる。	定期試験 ※小テスト、作文課題等含む	50%
異文化知識・対応能力	自分と異なる文化を持つ人との関わりに対して、自己の世界観を基本として理解しようとする考え方をもちことができる。	ペアでのダイアログ	10%
課題解決能力	自らの意思で活動に参加し、目的や課題を理解し、解決に向けて相手の意見を聞き、確認や見直しを行い、計画的に動くことができる。	小テスト	20%
キャリアデザイン力	自分の行動特徴について理解して自分のパーソナリティと適職の関係について理解している。	作文	15%
合計			100%
補足事項			
授業に関する必要事項については、Google Classroom を使用して、メールで行う。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
2回目	1 私とかぞく	SC(OL)	予習：0.5時間

	②③かいわとぶんぼう		復習：0.5 時間
3 回目	2 きせつと天気 ②③かいわとぶんぼう	SC(OL)	予習：0.5 時間 復習：0.5 時間
4 回目	3 私の町 ②③かいわとぶんぼう	SC(OL)	予習：0.5 時間 復習：0.5 時間
5 回目	3 私の町 ②③かいわとぶんぼう	SC(OL)	予習：0.5 時間 復習：0.5 時間
6 回目	4 出かける ②③かいわとぶんぼう	SC(OL)	予習：0.5 時間 復習：0.5 時間
7 回目	5 外国語と外国文化 ②③かいわとぶんぼう	SC(OL)	予習：0.5 時間 復習：0.5 時間
8 回目	5 外国語と外国文化 ②③かいわとぶんぼう	SC(OL)	予習：0.5 時間 復習：0.5 時間
9 回目	6 そとで食べる ②③かいわとぶんぼう	SC(OL)	予習：0.5 時間 復習：0.5 時間
10 回目	6 そとで食べる ②③かいわとぶんぼう	SC(OL)	予習：0.5 時間 復習：0.5 時間
11 回目	7 出張 ②③かいわとぶんぼう	SC(OL)	予習：0.5 時間 復習：0.5 時間
12 回目	7 出張 ②③かいわとぶんぼう	SC(OL)	予習：0.5 時間 復習：0.5 時間
13 回目	8 けんこう ②③かいわとぶんぼう	SC(OL)	予習：0.5 時間 復習：0.5 時間
14 回目	8 けんこう ②③かいわとぶんぼう	SC(OL)	予習：0.5 時間 復習：0.5 時間
15 回目	9 お祝い ②③かいわとぶんぼう	SC(OL)	予習：0.5 時間 復習：0.5 時間
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	まるごと 日本のことばと文化 初級1 A2
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。
オフィスアワー	午前8時～午後9時 メールで行う。
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止、携帯電話使用は語句確認時のみとする。

講義科目名称：基礎日本語 I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC110

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q2Q	1	2	選択	講義
担当教員				
山本 みづほ				

授業概要	日本語のゆるぎない基礎力を養う。 本講義では、N4レベルの文字・語彙・文法・聴解・読解の力をしっかりと身に付け、次のレベルにつないでゆくことを目標にする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・積極的に問題に取り組み、教え合おうとする。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・問題を解く中で、適切な用法を身に付けることができる。 ・注意深く音声を聞き、聴解のスキルを向上することができる。	・定期試験 ・ミニテスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・日本語の文法や漢字に興味を持ち、理解に努めようとする。	・授業への参加・態度	5%
課題解決能力	・分からないところは質問し、教え合う姿勢で問題に取り組むことができる。	・授業への参加・態度	5%
キャリアデザイン力	・より上級の日本語能力試験に挑戦しようとする。	・授業への参加・態度	5%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などは Google Classroom を利用する。 ・本授業では、定期試験60%、ミニテスト20%、授業への参加態度20%の割合で評価する。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方、心がまえ、注意点について説明する。	対面授業 オンライン可	予習：2冊のテキストの前書きを読む（2時間）

2回目	テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間） 予習：テキストの次回分を読む（2時間）
3回目	テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間） 予習：テキストの次回分を読む（2時間）
4回目	テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間） 予習：テキストの次回分を読む（2時間）
5回目	テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間） 予習：テキストの次回分を読む（2時間）
6回目	テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間） 予習：テキストの次回分を読む（2時間）
7回目	テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間） 予習：テキストの次回分を読む（2時間）
8回目	テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間） 予習：テキストの次回分を読む（2時間）
9回目	テキスト3冊テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間） 予習：テキストの次回分を読む（2時間）
10回目	テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間） 予習：テキストの次回分を読む（2時間）
11回目	テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間）

			予習：テキストの次回分を読む（2時間）
12回目	テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間） 予習：テキストの次回分を読む（2時間）
13回目	テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間） 予習：テキストの次回分を読む（2時間）
14回目	テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間） 予習：テキストの次回分を読む（2時間）
15回目	テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間） 予習：テキストの次回分を読む（2時間）
16回目	定期試験	対面のみ	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	まるごと入門 A1 りかい（復習に使う） まるごと初級 1 A1 りかい まるごと初級 1 A2 かつどう
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もって Classroom で連絡すること。 授業開始から 15 分経過したら欠席となります。
オフィスアワー	授業の前後、Classroom でも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べること以外に使わないこと。 授業で時間があれば NHK 海外向け放送「BENTO」や、NHK for school を視聴します。より日本語の理解を深めましょう。

講義科目名称：基礎日本語 I I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC603

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q 4Q 7Q 8Q	1年 2年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	日本語学習の基礎となる中級日本語文法を習得し、中上級日本語文法の運用力をつける。学習した文型、語彙の理解を深める。内容のポイントをとらえる練習を継続的にを行い、能動的な言語活動を促す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わることができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。	定期試験 ミニテスト	40% 25%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。	グループワーク	5%
課題解決能力	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	20%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	10%
合計			100%

補足事項
<p>中級から上級の語彙や文型を増やして、日常生活における日本語を理解し、使用できるようになる。学習項目に合わせ、宿題や確認テストを課し、理解度を深める。</p> <p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「定期試験（40%）」、「ミニテスト（25%）」、「課題（20%）」、「学習態度（10%）」、「グループワーク（5%）」。</p>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション ・授業内容を説明すること。 作文の発表（夏休み課題）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
2回目	作文の発表（夏休み課題） 作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
3回目	「中級2トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
4回目	「中級2トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
5回目	「中級2トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
6回目	「中級2トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
7回目	「ミニテスト①」 「中級2トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
8回目	「中級2トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
9回目	「中級2トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
10回目	「中級2トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）

11回目	「ミニテスト②」 「中級2トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
12回目	「中級2トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
13回目	「中級2トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
14回目	「中級2トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
15回目	「ミニテスト③」 「中級2トピック7～9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
16回目	定期試験	対面のみ	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級2」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。動機を大切にしたい授業をのぞみます。

講義科目名称：基礎日本語Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC603

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q4Q	2	2	選択	SC(OL)
担当教員				
岩見 真知子				

授業概要	日常生活で身近な話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のある文章を作ることができる。自身の経験、出来事、希望などを説明し、意見や計画の理由を短く述べる ことができる。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら、自ら考え行動する。社会のルールや状況に適した振る舞いができる。他者に対して親和的な態度で関わる ことができる。	授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	日本語で仕事、学校、娯楽などに対応でき、身近な話題について主要な点を理解できる。様々な場面で自らの意思を表現、伝達し相手の意思を理解できる。	定期試験 ※小テスト、作文 課題等含む	50%
異文化知識・対応能力	自分と異なる文化を持つ人との関わりに対して、自己の世界観を基本として理解しようとし、その文化的な違いを認識し行動に取り入れ共通の理解を得ようとし始める。	ペアでのダイアログ	10%
課題解決能力	自らの目標を設定し、問題点を整理し、解決に向け相手の意見を理解し自分の意見を的確に伝え、協力して活動することができる。	小テスト	20%
キャリアデザイン力	自己のライフスタイルを振り返り、職業志向条件や勤務条件について考え、自分自身を十分にプレゼンできる準備ができている。	作文	15%
合計			100%
補足事項			
授業に関する必要事項については、Google Classroom を使用して、メールで行う。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
2回目	トピック7 武道に挑戦！ (Part 4)	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
3回目	トピック7 武道に挑戦！ (Part 4)	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
4回目	トピック7 武道に挑戦！ (Part 5)	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
5回目	トピック7 武道に挑戦！ (Part 5)	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
6回目	トピック8 便利な道具 (Part 4)	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
7回目	トピック8 便利な道具 (Part 4)	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
8回目	トピック8 便利な道具 (Part 5)	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
9回目	トピック8 便利な道具 (Part 5)	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
10回目	トピック9 伝統的な祭り (Part 4)	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
11回目	トピック9 伝統的な祭り (Part 4)	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
12回目	トピック9 伝統的な祭り (Part 5)	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
13回目	トピック9 伝統的な祭り (Part 5)	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
14回目	トピック7～9 復習	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
15回目	トピック7～9 まとめ	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	まるごと 日本のことばと文化 中級1 B1
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。
オフィスアワー	午前8時～午後9時 メールで行う。
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止、携帯電話使用は語句確認時のみとする。

講義科目名称：基礎日本語Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC603

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q4Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	<p>前半は初級レベルの内容を踏まえて初中級レベルの学習をする。主に「読んでわかる」に重点をおく。自分の気持ち、状況、経験などをより豊かに表現できるようになることを目標とする。</p> <p>後半は初中級レベルの内容を踏まえて、中級レベルの学習をする。同様に「読んでわかる」に重点をおく。読むことに役立つ文法・文型も同時に学習する。実際に使える日本語力向上を目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる。		
専門的知識や技能	自分の意見や感想が表現でき、N3レベル相当の基礎日本語を習得する。また、使える日本語を身に付け異文化の中で自己表現ができる。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	ことばと文化を合わせて学び異文化の中で自己表現ができる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 課題提出や連絡は Google classroom を利用する
- 定期試験 60%、ミニテスト 10%、グループ・ペアワーク 10%、課題 10%、授業への参加・態度 10% の割合で評価する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン可	予習：2回目の語彙を調べ覚える
2回目	初中級 A2/B1 トピック 1 part 4 ・チームを応援する（スポーツ） ・試合について話す（スポーツ）	対面授業 オンライン可	予習：3回目の語句を調べ覚える。 文型の確認をする（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3回目	初中級 A2/B1 トピック 2part 4 ・どんな家に住んでいるかその理由 は何か読み取る（サイトの記事から）	対面授業 オンライン可	予習：4回目の語句を調べ覚える。 文型の確認をする（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4回目	初中級 A2/B1 トピック 3part 4 ・食べ物について（サイトの記事から）	対面授業 オンライン可	予習：5回目の語句を調べ覚える。 文型の確認をする（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
5回目	初中級 A2/B1 トピック 4part 4 ・訪問時のことや気持ちや読み取る （サイトの記事から）	対面授業 オンライン可	予習：6回目の語句を調べ覚える。 文型の確認をする（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
6回目	初中級 A2/B1 トピック 5part 4 ・外国で日本語を学ぶ方法を読み取る （サイトの記事から）	対面授業 オンライン可	予習：7回目の語句を調べ覚える。 ページ 81 スピーチを確認する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
7回目	初中級 A2/B1 トピック 6part 4 ・結婚式のスピーチをする	対面授業 オンライン可	予習：8回目の語句を調べ覚える。 文型の確認をする（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
8回目	初中級 A2/B1 トピック 7part 4 ・内容と相談している人の気持ちを読み取る （サイトの記事から）	対面授業 オンライン可	予習：9回目の語句を調べ覚える。 ページ 101 を考察する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
9回目	初中級 A2/B1 トピック 8part 4 ・助けを求める	対面授業 オンライン可	予習：10回目の語句を調べ覚える。 文型の確認をする（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
10回目	初中級 A2/B1 トピック 9part 4 ・書いた人が何を思っているか読み取る （相談と返事のメールから）	対面授業 オンライン可	予習：11回目の語句を調べ覚える。 文型の確認をする（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
11回目	中級 1 トピック 1 part 4 ・自己紹介文を読む	対面授業 オンライン可	予習：12回目の語句を調べ覚える。 文型の確認をする（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
12回目	中級 1 トピック 2part 4	対面授業	予習：13回目の語句を調べ覚える。

	・料理のレシピを読む	オンライン可	文型の確認をする（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
13回目	中級1トピック 3part 4 ・コンサートの感想について書かれた ブログを読む	対面授業 オンライン可	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
14回目	初中級 A2/B1 トピック 1～9part 4まとめ	対面授業 オンライン可	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
15回目	中級1トピック 1～3part 4まとめ	対面授業 オンライン可	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 初中級 A2/B1」 「まるごと日本のことばと文化 中級1」
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業前後で対応
備考・メッセージ	欠席の場合は前もって連絡すること（連絡方法については授業開始時に指示する）

講義科目名称：日本語会話 I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC111

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1	2	選択	演習
担当教員				
依藤 実里				

授業概要	実際の日本語使用場面に対応できるコミュニケーション能力を養うことを目的とする。特に、仕事や学校等で出会う身近な場面を中心に、話す・聞くに焦点を当てて授業を行う。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して親和的に接することを意識して行動できる。	授業態度	10%
専門的知識や技能	身近な話題について、場面に適した語彙や表現を用いて伝えることができる。また、主要点を理解することができる。	ミニテスト 定期試験	20% 50%
異文化知識・対応能力	与えられたトピックやクラスメイト等との交流を通じ、多様な文化や考え方に関心を持ち、理解しようとする考え方を持つことができる。	授業態度	10%
課題解決能力	今後の日本語使用場面を想像し、目的意識を持って積極的に授業に取り組める。	授業態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、授業態度、定期試験、ミニテストを評価対象とする。 ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。 ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。 ・30分以上の退出や授業終了30分以上前の早退は、欠席と同等と見做す。 ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくは Classroom で指示する。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	●オリエンテーション ・出欠確認、欠席連絡の仕方	対面授業	【予習】シラバスに目を通す、教科書を準備する、Classroom 登録。(1時間)

	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・学習記録シートに関する説明 ●これまでの学習内容の確認 		【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(1時間)
2回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●TOPIC1 どんな人? ・準備 ・part1 	対面授業	<p>【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
3回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●TOPIC1 どんな人? ・part2 	対面授業	<p>【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
4回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●TOPIC1 どんな人? ・part3 	対面授業	<p>【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
5回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●TOPIC1 どんな人? ・まとめ 	対面授業	<p>【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
6回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●TOPIC2 富士登山 ・準備 ・part1 	対面授業	<p>【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
7回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●TOPIC2 富士登山 ・part2 	対面授業	<p>【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
8回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●TOPIC2 富士登山 ・part3 	対面授業	<p>【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
9回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●TOPIC2 富士登山 ・まとめ 	対面授業	<p>【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
10回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト 	対面授業	【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定

	●TOPIC3 健康的な生活 ・準備 ・part1		された課題に取り組む（2時間） 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。（2時間）
11回目	●ミニテスト ●TOPIC3 健康的な生活 ・part2	対面授業	【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む（2時間） 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。（2時間）
12回目	●ミニテスト ●TOPIC3 健康的な生活 ・part3	対面授業	【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む（2時間） 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。（2時間）
13回目	●ミニテスト ●TOPIC3 健康的な生活 ・まとめ	対面授業	【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む（2時間） 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。（2時間）
14回目	●ミニテスト ●実践会話練習1	対面授業	【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む（2時間） 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。（2時間）
15回目	●ミニテスト ●実践会話練習2	対面授業	【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む（2時間）
16回目	定期試験		次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む（2時間）

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『まるごと 日本のことばと文化 中級2 B1』三修社
履修条件	目的意識を持って、授業に参加できること。
履修上の注意	・毎回、教科書と語彙表を持ってくること。 ・予習ができていることを前提に授業をすすめるので、事前にしっかり準備しておくこと。
オフィスアワー	授業前後に対応。その他、アポイントがあれば適宜対応可。
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。

講義科目名称：日本語会話 I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC111

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1	2	選択	SC (OL)
担当教員				
岩見 真知子				

授業概要	日本語での基本的な対話力向上に重きを置き、文字・語彙・文法能力を高めることを主眼として、日常生活での運用能力向上を目指す
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	自ら考え、行動することを意識することができる。試行錯誤しながら、自ら考え行動する。	授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	日本語で基本的な定型の挨拶や短い文章を理解し、自らの意思を表現・伝達し相手の意思を理解できる。身近で日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。	定期試験 ※小テスト、作文 課題等含む	50%
異文化知識・対応能力	自分と異なる文化を持つ人との関わりに対して自己の世界観を基本として理解しようとする考え方もつことができ、単純な疑問を基に理解しようとする考え方もつことができる。	ペアでのダイアログ	20%
課題解決能力	自らの意思で活動に参加し、その目的や課題を理解し、確認と質問をしながら、よく考え、自分から動くことができる。	小テスト	20%
キャリアデザイン力	自分の行動特徴について理解し自分のパーソナリティと適職の関係について理解している。	作文	5%
合計			100%

補足事項	
授業に関する必要事項についての連絡は、Google Classroom を使用して メールで行う。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション	SC (OL)	予習：2時間 復習：2時間

2回目	トピック1 はじめての人と (part 1)	SC (OL)	予習：2時間 復習：2時間
3回目	トピック1 はじめての人と (part 2)	SC (OL)	予習：2時間 復習：2時間
4回目	トピック1 はじめての人と (part 2)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
5回目	トピック1 はじめての人と (part 3)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
6回目	トピック2 おすすめの料理 (part 1)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
7回目	トピック2 おすすめの料理 (part 2)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
8回目	トピック2 おすすめの料理 (part 2)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
9回目	トピック2 おすすめの料理 (part 3)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
10回目	トピック3 私の好きな音楽 (part 1)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
11回目	トピック3 私の好きな音楽 (part 2)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
12回目	トピック3 私の好きな音楽 (part 2)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
13回目	トピック3 私の好きな音楽 (part 3)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
14回目	トピック3 私の好きな音楽 (part 3)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
15回目	トピック1～3 復習	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	まるごと 日本のことばと文化 中級2 B1
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	午前8時～午後9時まで メールを使用すること
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止、携帯電話は語句確認時のみとする

講義科目名称：日本語会話 I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC111

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	<p>基礎会話力を身につけるために、会話の場面や内容、写真、イラストなどを使用し日常会話を学習する。</p> <p>①日常生活においてよく使われる文や表現が理解できる。</p> <p>②日常の事柄について情報交換に応ずることができる。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
専門的知識や技能	自分の身近なことや興味があることについて紹介できる。また自分の意見や感想が表現でき対応できる。(N3レベル)	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	基本的な事柄に関して自己表現でき、対応できる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 課題提出や連絡は Google classroom を利用する
- 定期試験 60%、ミニテスト 10%、グループ・ペアワーク 10%、課題 10%、授業への参加・態度 10% の割合で評価する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：1課③、2課②③の 会話練習 必要な語句の確認(2時間)
2回目	トピック1〈だい1課・2課〉 ・1家族や自分のことを話す	対面授業 オンライン等	予習：3課②③、4課②③の 会話練習

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 お互いの言語について言う ・ 3 趣味について話す ・ 4 自己紹介サイトのコメントを読む ・ 5 自己紹介サイトに書く 	の対応可	必要な語句の確認(2時間) 復習:既習内容の確認。2課生活と文化をよく読み、考察する(2時間)
3回目	トピック2〈だい3課・4課〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 6 季節の変化について話す ・ 7 好きな季節を話す ・ 8 天気について話す ・ 9 電話での天気の会話 	対面授業 オンライン等の対応可	予習:5課②③、6課②③の会話練習 必要な語句の確認(2時間) 復習:既習内容の確認。4課生活と文化をよく読み、考察する(2時間)
4回目	トピック3〈だい5課・6課〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 10 地図を見ながら話す ・ 11 地図を見ながら情報を伝える ・ 12 行き方を言う ・ 13 聞き間違えたことをなおす ・ 14 建物の特徴を言う 	対面授業 オンライン等の対応可	予習:7課②④、8課③の会話練習 必要な語句の確認(2時間) 復習:既習内容の確認。6課生活と文化をよく読み、考察する(2時間)
5回目	トピック4〈だい7課・8課〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 15 待ち合わせの時間と場所について話す ・ 16 待ち合わせについて ・ 17 理由を言ってあやまる ・ 18 ともだちを誘う ・ 19 ともだちに事情を話す 	対面授業 オンライン等の対応可	予習:9課②④、10課②③の会話練習 必要な語句の確認(2時間) 復習:既習内容の確認。8課生活と文化をよく読み、考察する(2時間)
6回目	トピック5〈だい9課・10課〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 20 既習言語の勉強方法 ・ 21 既習言語について ・ 22 既習言語の記録 ・ 23 勉強方法について ・ 24 異文化の関わり方 ・ 25 助けを求める/求められる ・ 26 イベントのプログラムを読む 	対面授業 オンライン等の対応可	予習:11課②③、12課②③の会話練習 必要な語句の確認(2時間) 復習:既習内容の確認。10課生活と文化をよく読み、考察する(2時間)
7回目	トピック6〈だい11課・12課〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 27 ピクニック関連 ・ 28 ピクニック関連 ・ 29 ピクニック関連 ・ 30 知らない食べものについて ・ 31 味について ・ 32 食べ物を勧める 	対面授業 オンライン等の対応可	予習:13課②④、14課②③④の会話練習 必要な語句の確認(2時間) 復習:既習内容の確認。12課生活と文化をよく読み、考察する(2時間)
8回目	トピック7〈だい13課・14課〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 33 出張について ・ 34 出迎えるあいさつ ・ 35 ホテルについて ・ 36 出張のスケジュールについて ・ 37 会社のスタッフの紹介 ・ 38 使ってもいいか聞く ・ 39 見送りのあいさつ ・ 40 メッセージを読む 	対面授業 オンライン等の対応可	予習:15課②③④、16課②③の会話練習 必要な語句の確認(2時間) 復習:既習内容の確認。14課生活と文化をよく読み、考察する(2時間)
9回目	トピック8〈だい15課・16課〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 41 体の具合を聞く/答える ・ 42 体操の仕方を聞く/言う 	対面授業 オンライン等の対応可	予習:17課②③、18課②④の会話練習 必要な語句の確認(2時間)

	<ul style="list-style-type: none"> ・43 体にいいことを勧める ・44 健康のためにしていることは ・45 健康についてのアンケート ・46 結果を発表する 		復習：既習内容の確認。16課生活と文化をよく読み、考察する（2時間）
10回目	トピック9〈だい17課・18課〉 <ul style="list-style-type: none"> ・47 ともだちの持ち物をほめる ・48 自分の持ち物について ・49 プレゼントの習慣について話す ・50 お祝いの相談 ・51 結婚お祝いカードを読む ・52 結婚お祝いカードを書く ・53 お礼を言う 	対面授業 オンライン等の対応可	予習：11回目の授業範囲の確認（2時間） 必要な語句の確認（2時間） 復習：既習内容の確認。18課生活と文化をよく読み、考察する（2時間）
11回目	トピック1・2・3の復習・まとめ①	対面授業 オンライン等の対応可	予習：12回目の授業範囲の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
12回目	トピック4・5の復習・まとめ②	対面授業 オンライン等の対応可	予習：13回目の授業範囲の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
13回目	トピック6・7の復習・まとめ③	対面授業 オンライン等の対応可	予習：14回目の授業範囲の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
14回目	トピック8・9の復習・まとめ④	対面授業 オンライン等の対応可	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認。（2時間）
15回目	トピック1～9までの総復習・総まとめ	対面授業 オンライン等の対応可	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認。（2時間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 初級1A2かつどう」
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業前後で対応
備考・メッセージ	欠席の場合は前もって連絡すること（連絡方法については授業開始時に指示する）

講義科目名称：日本語会話 I / 日本語会話 I I I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC101 / CC604

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q 5Q	1年 2年	2単位	選択	演習
担当教員				
中野 はるみ				

授業概要	「話す」技能に焦点を当てた授業である。会話やプレゼンテーションについて、分かりやすく伝えるためにどのような話し方が適切かを音声や動画を参考にしながらディスカッションやロールプレイを通して学ぶ。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わることができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近で日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。	会話テスト ミニテスト	40% 10%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。	グループワーク	20%
課題解決能力	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	15%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	15%
合計			100%

補足事項

到達目標

- ① 正しい発音で話せるようになる。
- ② 日常生活で円滑なコミュニケーションができるようになる
- ③ 日本語で分かりやすく発表できるようになる。

授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。

評価は、「会話テスト（40%）」、「グループワーク（20%）」、「ミニテスト（10%）」、「課題（15%）」、「学習態度（15%）」。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション ・授業内容を説明すること。 「復習」 ・既習単語やフレーズを復習する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：既習単語と文型を復習する（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
2回目	「復習」 ・既習単語やフレーズを復習する。 「ミニテスト（入門）」	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：既習単語と文型を復習する（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
3回目	「トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
4回目	「トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
5回目	「ミニテスト①」 「トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
6回目	「トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
7回目	「ミニテスト②」 「トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
8回目	「トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
9回目	「ミニテスト③」 「トピック4」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
10回目	「トピック4」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
11回目	「ミニテスト④」 「トピック5」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）

	・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。		認する (0・5時間)
12回目	「トピック5」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
13回目	「ミニテスト⑤」 「トピック6」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
14回目	「トピック6」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
15回目	「ミニテスト⑥」 「復習」 ・既習単語やフレーズを復習する。 ・会話テストに向けての練習 (グループ)	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：テスト範囲
16回目	「会話テスト」 ・個別で会話テストをする。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：テスト範囲 復習：テスト範囲

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 入門かつどう」 「まるごと日本のことばと文化 初級1 A 2 かつどう・りかい」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。日本語が正しく使えることより、話したいことが話せる、わかってもらえる経験をみんなと共有したいので、興味があること、話したいことを積極的に話題にしてください。動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称：日本語会話Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC202

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q6Q	2	2	選択	SC(OL)
担当教員				
岩見 真知子				

授業概要	既習の基礎表現に加えて更に日常生活で必要となる場面において丁寧な表現、細やかな心情表現などの運用力の向上を目指す
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	自ら考え、適切に判断し常に社会のルールや状況に適した行動ができ、他者に対して、常に親和的な態度で関わるができる。	授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	日本語で仕事、学校、娯楽などに対応でき、身近な話題についても主要な点を理解できる。様々な場面で自らの意思を表現、伝達し相手の意思を理解できる。	定期試験 ※小テスト、作文 課題等含む	50%
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的相違を認識し、行動に取り入れ、共通理解を得ようと努めることができる。その新しい視点に沿って複雑な視点を持つことができる。	ペアでのダイアログ	20%
課題解決能力	目標に向かって、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組むことができ、周囲の人々に声をかけ動かすことができる。自ら問題を見つけ解決方法を検討することができる。	小テスト	20%
キャリアデザイン力	自己のライフスタイルを振り返り、職業志向条件や勤務条件について考え、自分自身を十分にプレゼンできる準備ができている。	作文	5%
合計			100%
補足事項			
授業に関する必要事項については、Google Classroom を使用して、メールで行う。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
2回目	トピック4 舞台を見るなら (Part 1)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
3回目	トピック4 舞台を見るなら (Part 2)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
4回目	トピック4 舞台を見るなら (Part 2)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
5回目	トピック4 舞台を見るなら (Part 3)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
6回目	トピック5 身近なニュース (Part 1)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
7回目	トピック5 身近なニュース (Part 2)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
8回目	トピック5 身近なニュース (Part 2)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
9回目	トピック5 身近なニュース (Part 3)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
10回目	トピック5 身近なニュース (Part 3)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
11回目	トピック6 これが欲しい！ (Part 1)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
12回目	トピック6 これが欲しい！ (Part 2)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
13回目	トピック6 これが欲しい！ (Part 2)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
14回目	トピック6 これが欲しい！ (Part 3)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
15回目	トピック6 これが欲しい！ (Part 3)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	まるごと 日本のことばと文化 中級2 B1
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。
オフィスアワー	午前8時～午後9時 メールで行う。
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止、携帯電話使用は語句確認時のみとする。

講義科目名称：日本語会話Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC202

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	実際に使える日本語が身につけられるように身近な場面を取り入れ、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での具体的な「can-do」を目指し、実際の日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
専門的知識や技能	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。(日本語能力試験 N2 レベルの実力)	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項	
<p>○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。</p> <p>○課題提出や連絡は Google classroom を利用する</p> <p>○定期試験 60%、ミニテスト 10%、グループ・ペアワーク 10%、課題 10%、授業への参加・態度 10% の割合で評価する。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明	対面授業 オンライン可	予習：2回目の語彙を調べ覚える。

	評価方法の説明 インタビュー		
2回目	トピック 4 part 1 ・現地中継レポートを聞き理解する	対面授業 オンライン可	予習:3回目の語彙を調べ覚える。 文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
3回目	トピック 4 part2 ・理由を言う	対面授業 オンライン可	予習:4回目の語彙を調べ覚える。 ページ107を考察する。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	トピック 4 part3 ・旅行の計画や希望を詳しく話す	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	トピック 4 part 1～3まとめ	対面授業 オンライン可	予習:6回目の語彙を調べ覚える。 (2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	トピック 5part 1 ・できごとについて話を聞き理解する	対面授業 オンライン可	予習:7回目の語彙を調べ覚える。 文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	トピック 5part2 ・最近の様子を聞いたり話したりする ・共通の話題について話す	対面授業 オンライン可	予習:8回目の語彙を調べ覚える。 ページ125を考察する。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	トピック 5part3 ・自分のできごとを詳しく話す	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	トピック 5part1～3まとめ	対面授業 オンライン可	予習:10回目の語彙を調べ覚える。 (2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	トピック 6part 1 ・マンガについて理解する	対面授業 オンライン可	予習:11回目の語彙を調べ覚える。 文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	トピック 6part2 ・マンガについて話し、また相手の考えにコメントする	対面授業 オンライン可	予習:12回目の語彙を調べ覚える。 ページ143を考察する。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	トピック 6part3 ・マンガについてストーリーを話す	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	トピック 6part 1～3まとめ	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	トピック 4～6part 1～3 総まとめ①	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)

15 回目	トピック 4～6part 1～3 総まとめ②	対面授業 オンライン可	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級1」
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業前後で対応
備考・メッセージ	欠席の場合は前もって連絡すること（連絡方法については授業開始時に指示する）

講義科目名称：日本語会話 I I / 日本語会話 I I I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC202 / CC604

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2Q 6Q	1年 2年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	「話す」技能に焦点を当てた授業である。会話やプレゼンテーションについて、分かりやすく伝えるためにどのような話し方が適切かを音声や動画を参考にしながらディスカッションやロールプレイを通して学ぶ。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近で日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。	会話テスト ミニテスト	40% 10%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。	グループワーク	20%
課題解決能力	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	15%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	15%
合計			100%

補足事項

到達目標

- ① 正しい発音で話せるようになる。
- ② 日常生活で円滑なコミュニケーションができるようになる
- ③ 日本語で分かりやすく発表できるようになる。

授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。

評価は、「会話テスト（40%）」、「グループワーク（20%）」、「ミニテスト（10%）」、「課題（15%）」、「学習態度（15%）」。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション ・授業内容を説明すること。 「トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
2回目	「トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
3回目	<u>「ミニテスト①」</u> 「トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
4回目	「トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
5回目	<u>「ミニテスト②」</u> 「トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
6回目	「トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
7回目	<u>「ミニテスト③」</u> 「トピック4」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
8回目	「トピック4」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
9回目	<u>「ミニテスト④」</u> 「トピック5」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
10回目	「トピック5」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロール	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）

	プレイを行い、順番に発表する。		認する (0・5時間)
11回目	<u>「ミニテスト⑤」</u> 「トピック6」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
12回目	「トピック6」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
13回目	<u>「ミニテスト⑥」</u> 「トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
14回目	「トピック7、8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
15回目	<u>「ミニテスト⑦」</u> 「トピック8、9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 <u>「ミニテスト⑧」</u>	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
16回目	「会話テスト」 ・個別で会話テストをする。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 初級2 A 2 かつどう・りかい」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。日本語が正しく使えることより、話したいことが話せる、わかってもらえる経験をみんなと共有したいので、興味があること、話したいことを積極的に話題にしてください。動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称：日本語会話Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC202

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
山本 みづほ				

授業概要	日本で生活する中での、基礎的な日本語会話を身に付けることを目標とする。本演習では、設定された場面での会話を、①場面に即したことば遣いができる、②覚えた語彙を用いることができる、③的確な表現ができる ことを目指したい。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・他への思いやりを持った受け答えができる。	・グループディスカッション	5%
専門的知識や技能	・質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。 ・正しい発音でわかりやすく話すことができる。 ・オノマトペを使いこなすことができる。	・定期試験 ・ミニテスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	・日本文化の特徴を理解している。 ・日本のマナーを体得している。	・レポート	10%
課題解決能力	・分からないこと、聞き取れなかったことをその場で聞き返すことができる。	・授業への参加・態度	5%
キャリアデザイン力	・自分の将来を言語化してしっかりと説明することができる。	・スピーチ	10%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などは Google Classroom を利用する。 ・本授業では、定期試験50%、ミニテスト20%、レポート10%、グループディスカッション・授業への参加態度10%、スピーチ10%の割合で評価する。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方と注意点についての説明をする。 「今日のトピック1」 ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで	対面授業 オンライン可	予習：Classroom で指示されたことを行う（0・5時間） 復習：今日の新出単語を確認する（0・5時間）

	行い順番に発表する。		
2回目	<p>「今日のトピック2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。 ・ミニテスト 	対面授業 オンライン可	<p>予習：最近のニュースを調べる（0・5時間）</p> <p>復習：今日の新出単語を確認する（0・5時間）</p>
3回目	<p>「今日のトピック3」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。 	対面授業 オンライン可	<p>予習：最近のニュースを調べる（0・5時間）</p> <p>復習：今日の新出単語を確認する（0・5時間）</p>
4回目	<p>「今日のトピック4」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。 ・ミニテスト 	対面授業 オンライン可	<p>予習：最近のニュースを調べる（0・5時間）</p> <p>復習：今日の新出単語を確認する（0・5時間）</p>
5回目	<p>「今日のトピック5」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。 	対面授業 オンライン可	<p>予習：最近のニュースを調べる（0・5時間）</p> <p>復習：今日の新出単語を確認する（0・5時間）</p>
6回目	<p>「今日のトピック6」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。 ・ミニテスト 	対面授業 オンライン可	<p>予習：最近のニュースを調べる（0・5時間）</p> <p>復習：今日の新出単語を確認する（0・5時間）</p>
7回目	<p>「今日のトピック7」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。 	対面授業 オンライン可	<p>予習：最近のニュースを調べる（0・5時間）</p> <p>復習：今日の新出単語を確認する（0・5時間）</p>
8回目	<p>「今日のトピック8」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。 ・ミニテスト 	対面授業 オンライン可	<p>予習：最近のニュースを調べる（0・5時間）</p> <p>復習：今日の新出単語を確認する（0・5時間）</p>
9回目	<p>「今日のトピック9」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。 	対面授業 オンライン可	<p>予習：最近のニュースを調べる（0・5時間）</p> <p>復習：今日の新出単語を確認する（0・5時間）</p>
10回目	<p>「今日のトピック10」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで 	対面授業 オンライン可	<p>予習：最近のニュースを調べる（0・5時間）</p> <p>復習：今日の新出単語を確認する（0・5時間）</p>

	行い順番に発表する。 ・ミニテスト		
11 回目	「今日のトピック 1 1」 ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業 オンライン可	予習：最近のニュースを調べる（0・5 時間） 復習：今日の新出単語を確認する（0・5 時間）
12 回目	「今日のトピック 1 2」 ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。 ・ミニテスト	対面授業 オンライン可	予習：最近のニュースを調べる（0・5 時間） 復習：今日の新出単語を確認する（0・5 時間）
13 回目	「今日のトピック 1 3」 ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業 オンライン可	予習：最近のニュースを調べる（0・5 時間） 復習：今日の新出単語を確認する（0・5 時間）
14 回目	「今日のトピック 1 4」 ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。 ・ミニテスト	対面授業 オンライン可	予習：最近のニュースを調べる（0・5 時間） 復習：今日の新出単語を確認する（0・5 時間）
15 回目	「今日のトピック 1 5」 ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業 オンライン可	予習：最近のニュースを調べる（0・5 時間） 復習：今日の新出単語を確認する（0・5 時間）
16 回目	定期試験	対面のみ	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	まるごと初級 1 A 2 かつどう（主に使う） まるごと初級 1 A 2 りかい
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もって Classroom で連絡すること。 授業開始から 15 分経過したら欠席となります。
オフィスアワー	授業の前後、Classroom でも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使用しないこと。 時間があれば、授業で NHK 海外向け放送「BENTO」、NHK for school を視聴するので、番組を楽しみながらより会話力をつけましょう。

講義科目名称：日本語会話 I I I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：C C 3 0 7

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q 7Q	1年 2年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	「話す」技能に焦点を当てた授業である。会話やプレゼンテーションについて、分かりやすく伝えるためにどのような話し方が適切かを音声や動画を参考にしながらディスカッションやロールプレイを通して学ぶ。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近で日常の事柄や様々な場面やことについて詳しく伝えることができる。	会話テスト ミニテスト	40% 10%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。	グループワーク	20%
課題解決能力	様々な場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	15%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	15%
合計			100%

補足事項	
<p>中級から上級の語彙や文型を使い、場面に応じた適切なコミュニケーション及び問題解決ができる。学習項目に合わせ、宿題や確認テストを課し、理解度を深める。</p> <p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「会話テスト（40%）」、「グループワーク（20%）」、「ミニテスト（10%）」、「課題（15%）」、「学習態度（15%）」。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション ・授業内容を説明すること。 絵日記の発表（夏休み課題）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
2回目	絵日記の発表（夏休み課題） 「中級2トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
3回目	「中級2トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
4回目	「中級2トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
5回目	「中級2トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
6回目	「ミニテスト①」 「中級2トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
7回目	「中級2トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
8回目	「中級2トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
9回目	「中級2トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロール	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）

	プレイを行い、順番に発表する。		認する (0・5時間)
10回目	<u>「ミニテスト②」</u> 「中級2トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
11回目	「中級2トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
12回目	「中級2トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
13回目	「中級2トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
14回目	<u>「ミニテスト③」</u> 「会話テストに向けて準備」 ・会話テストに向けての練習 (グループ)	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：テスト範囲 (1時間) 復習：テスト範囲 (1時間)
15回目	「会話テストに向けて準備」 ・会話テストに向けての練習 (グループ)	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：テスト範囲 (1時間) 復習：テスト範囲 (1時間)
16回目	「会話テスト」 ・個別で会話テストをする。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：テスト範囲 (1時間) 復習：テスト範囲 (1時間)

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級2」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称：日本語会話Ⅲ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC307

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	実際に使える日本語が身につけられるように身近な場面を取り入れ、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での具体的な「can-do」を目指し、実際の日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
専門的知識や技能	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。(日本語能力試験 N2 レベルの実力)	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項
<p>○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。</p> <p>○課題提出や連絡は Google classroom を利用する</p> <p>○定期試験 60%、ミニテスト 10%、グループ・ペアワーク 10%、課題 10%、授業への参加・態度 10% の割合で評価する。</p>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明	対面授業 オンライン可	予習：2回目の語彙を調べ覚える。

	評価方法の説明 インタビュー		
2回目	トピック 7part 1 ・ 武道やスポーツの話聞き、理解する	対面授業 オンライン可	予習：3 回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3回目	トピック 7part2 ・ 受講方法や規則について理解する	対面授業 オンライン可	予習：4 回目の語彙を調べ覚える。ページ161を考察する。（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4回目	トピック 7part3 ・ 自国のスポーツを説明する	対面授業 オンライン可	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
5回目	トピック 7part 1～3まとめ	対面授業 オンライン可	予習：6 回目の語彙を調べ覚える。（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
6回目	トピック 8part 1 ・ 道具について話を聞き理解する	対面授業 オンライン可	予習：7 回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
7回目	トピック 8part2 ・ 希望の商品を詳しく言う	対面授業 オンライン可	予習：8 回目の語彙を調べ覚える。ページ179を考察する。（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
8回目	トピック 8part3 ・ 道具について説明する	対面授業 オンライン可	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
9回目	トピック 8part1～3まとめ	対面授業 オンライン可	予習：10 回目の語彙を調べ覚える（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
10回目	トピック 9part 1 ・ 行事紹介番組を見て理解する	対面授業 オンライン可	予習：11 回目の語彙を調べ覚える文型を確認する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
11回目	トピック 9part2 ・ 体験や感想を詳しく話す	対面授業 オンライン可	予習：12 回目の語彙を調べ覚える。ページ197を考察する。（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
12回目	トピック 9part3 ・ 祭りや行事について説明する	対面授業 オンライン可	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
13回目	トピック 9part 1～3まとめ	対面授業 オンライン可	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
14回目	トピック 7～9part 1～3 総まとめ①	対面授業 オンライン可	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
15回目	トピック 7～9part 1～3 総まとめ②	対面授業 オンライン可	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）

16回目	定期試験		
------	------	--	--

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級1」
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業前後で対応
備考・メッセージ	欠席の場合は前もって連絡すること（連絡方法については授業開始時に指示する）

講義科目名称: 日本語会話Ⅲ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC307

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	1	選択	演習
担当教員				
岩崎				

授業概要	<p>本講座は国際コミュニケーションコースの専門教育科目の中でも1年次の1Qから2年次の6Qまで続く日本語教育の中でも、会話の場面における運用能力向上を目的としている。多様な文化背景をもつ留学生を対象としているため、直接法を基本とするが、使用する教科書は国際交流基金が作成した「まるごと」を使用し、ことばと文化を併せて学ぶことができるよう設定されている。</p> <p>そのため、本講義ではAと言われる「ごく基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など直接関係がある領域に関する」使用頻度が高い会話能力の育成をはじめ、B1と呼ばれる「身近で個人的にも関心のある話題について単純な方法で結びつけられた脈絡のあるテキストを作ることができる」ように継続的な学びを支援する。</p> <p>また、テレビ番組などの動画を通して、実際使われている日本語に触れることで、多様な表現ができるようになる事を目標としている。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	日本語で身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報を伝えることができるようになる。 また、日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解しえることができる。	授業態度 試験	10 60
異文化知識・対応能力	文化背景の異なるクラスメイトを理解し、協力することで日本語の使用機会を増やし、より実践的な言語運用能力を高めることができる	授業態度	10
課題解決能力			
キャリアデザイン力	日本語能力が将来のキャリア形成に影響する事を理解できる。更に、学校外での学びに関しても、計画を立て、実行することができる。	課題	20
合計			100%
補足事項			

- ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。
- ・本講義では課題60%、授業参加態度40%の割合で評価する
- ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される
- ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認する クラスメイトについて理解する・知る 詳細な自己紹介の方法等を知る	対面授業	予習:教科書の確認(初中級A2/B1)Googleclassroomのクラスに登録する(1時間) 自己紹介を考えておく 復習:本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(1時間)
2回目	【トピック①スポーツの試合】p24~28 ①スポーツの試合 ②行きたいんですが ③行けなくなったんです	対面授業	予習:教科書p24~28を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習:p24~28までの学習内容を復習しておく(1時間)
3回目	【トピック1 スポーツの試合】p29 ④応援の言葉 【トピック2 家を探す】p34~37 ①私が住んでいるところ 日本の家の構造を学ぶ	対面授業	予習:教科書p29、p34~37の語彙や表現が使えるように練習しておく(1時間) 復習:p29、p34~37までの学習内容を復習しておく(1時間)
4回目	【トピック2 家を探す】p38~39 ②家はもう見つかりましたか ③週末は引越しです 日本の家の構造を学んで、会話ができるようになる	対面授業	予習:教科書p38~39、p44~47を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習:p38~39、p44~47までの学習内容を復習しておく(1時間)
5回目	【トピック3 ほっとする食べ物】p44~49 ①食べ物 ②日本の食べ物にはもうなれましたか ③夜はうちで食べています	対面授業	予習:教科書p44~49の語彙や表現が使えるように練習しておく(1時間) 復習:p44~49までの学習内容を復習しておく(1時間)
6回目	【トピック4 訪問】p53~58 ①知りあいの家を訪問する ②うちの家族です ③外国生活の思い出(内容確認)	対面授業	予習:教科書p53~58を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習:p53~58までの学習内容を復習しておく(1時間)
7回目	【トピック4 訪問】p58~59 ③外国生活の思い出	対面授業	予習:教科書p58~59、p64~66を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いてお

	【トピック5 ことばを学楽しみ】p64~66 ①ことばを学ぶ目的と方法 ②どうやって勉強していますか		く。(1時間) 復習:p53~58までの学習内容を復習しておく(1時間)
8回目	【トピック5 訪問】p66~69 ②どうやって勉強していますか ③見習わなきゃ	対面授業	予習:教科書p66~69を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習:p66~69までの学習内容を復習しておく(1時間)
9回目	【テストとふりかえり1】 トピック1~5の内容を確認します	対面授業	予習:p74-75を熟読し、テストに備える(1時間) 復習:これまでの学習内容を復習しておく(1時間)
10回目	【トピック6 結婚】p76~79 ①人生いろいろ ②ほんとうですか ③おめでとう、お幸せに!	対面授業	予習:教科書p76~79を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習:p76~79までの学習内容を復習しておく(1時間)
11回目	【トピック7 なやみ相談】p86~89 ①人は悩む ②最近、元気がないですね	対面授業	予習:教科書p86~89を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習:p86~89までの学習内容を復習しておく(1時間)
12回目	【トピック7 なやみ相談】p90~91 ③社会人のなやみ ★調べ学習 P91を参考に調べて発表します	対面授業	予習:教科書p90~91を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習:p90~91までの学習内容を復習しておく(1時間)
13回目	【トピック7 なやみ相談】p86~91 ③社会人のなやみ調査発表	対面授業	予習:教科書p91を参考に学内の先生へ調査し、まとめる(1時間) 復習:チェックされた日本語を復習しておく(1時間)
14回目	【トピック8 旅行中のトラブル】p96~100 ①空港の中 ②今のアナウンス、何て言っていましたか ③あった、あった	対面授業	予習:教科書p96~100を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習:p96~100までの学習内容を復習しておく(1時間)
15回目	【トピック9 仕事を探す】p106~111 ①いろいろな会社 ②少々お待ちください ③働きやすいですよ	対面授業	予習:教科書p106~111を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習:p106~111までの学習内容を復習しておく(1時間)
16回目	【テストとふりかえり2】 トピック6~9の内容を確認します		予習:p76-111を熟読し、テストに備える(1時間) 復習:これまでの学習内容を復習して、次のレベルの学修内容に備えておく(1時間)

科目(教職課程用)	なし
-----------	----

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	『まるごと』初中級A2/B1 国際交流基金
履修条件	日本語会話Ⅰ、Ⅱの履修済みであること
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること
オフィスアワー	後期： 木曜日2コマ目(11:00～12:00)研究室
備考・メッセージ	・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。

講義科目名称：日本語会話IV	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC410

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1	2	選択	演習
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	学習の成果が教室の外での実際のコミュニケーションにつながるように、これまで学習してきた会話に役立つ文法・文型、会話を元にロールプレイなどを通して使える日本語を定着させる。実際にコミュニケーションをする中で自分に必要な情報をひろったり、話の重要な点を理解して会話を勧めたりできるようになることを目標とする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
専門的知識や技能	様々な場面で日本語を使い分けて、表現できる。 (日本語能力試験 N1 レベルの実力)	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	中上級相当の知識で多様な文化に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項
<p>○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。</p> <p>○課題提出や連絡は Google classroom を利用する。</p> <p>○定期試験 60%、ミニテスト 10%、グループ・ペアワーク 10%、課題 10%、授業への参加・態度 10% の割合で評価する。</p>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明	対面授業 オンライン可	予習：ページ42を考察する。Part2の会話練習をする（2時間）

	評価方法の説明 インタビュー		
2回目	トピック 1part2 会話・ロールプレイ ・具体的なエピソードを交えながら コメントし合う	対面授業 オンライン可	予習：ページ 60 を考察する。Part2 の会話練習をする（2時間） 復習：：既習内容の確認（2時間）
3回目	トピック 2part2 会話・ロールプレイ ・旅行の計画の調整をする	対面授業 オンライン可	予習：ページ 78 を考察する。Part2 の会話練習をする（2時間） 復習：：既習内容の確認（2時間）
4回目	トピック 3part2 会話・ロールプレイ ・健康法について意見を述べ、アド バイスする	対面授業 オンライン可	予習：ページ 96 を考察する。Part2 の会話練習をする（2時間） 復習：：既習内容の確認（2時間）
5回目	トピック 4part2 会話・ロールプレイ ・芝居や演劇について情報を提供す る	対面授業 オンライン可	予習：ページ 114 を考察する。Part2 の会話練習をする（2時間） 復習：：既習内容の確認（2時間）
6回目	トピック 5part2 会話・ロールプレイ ・ニュースについて質問したり、答 えたりする	対面授業 オンライン可	予習：ページ 132 を考察する。Part2 の会話練習をする（2時間） 復習：：既習内容の確認（2時間）
7回目	トピック 6part2 会話・ロールプレイ ・希望商品について詳しく説明する	対面授業 オンライン可	予習：ページ 150 を考察する。Part2 の会話練習をする（2時間） 復習：：既習内容の確認（2時間）
8回目	トピック 7part2 会話・ロールプレイ ・映画についてコメントし合う	対面授業 オンライン可	予習：ページ 168 を考察する。Part2 の会話練習をする（2時間） 復習：：既習内容の確認（2時間）
9回目	トピック 8part2 会話・ロールプレイ ・交通機関のトラブルについて説明 し、アドバイスをする	対面授業 オンライン可	予習：ページ 186 を考察する。Part2 の会話練習をする（2時間） 復習：：既習内容の確認（2時間）
10回目	トピック 9part2 会話・ロールプレイ ・他国の歴史や文化の会話に参加す る	対面授業 オンライン可	予習：各 Part3 ⑤を考察する。会話 練習をする（2時間） 復習：：既習内容の確認（2時間）
11回目	トピック 1.2.3part3 会話・ロールプ レイ	対面授業 オンライン可	予習：各 Part3 ⑤を考察する。会話 練習をする（2時間） 復習：：既習内容の確認（2時間）
12回目	トピック 4.5.6part3 会話・ロールプ レイ	対面授業 オンライン可	予習：各 Part3 ⑤を考察する。会話 練習をする（2時間） 復習：：既習内容の確認（2時間）
13回目	トピック 7.8.9.part3 会話・ロールプ レイ	対面授業 オンライン可	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
14回目	トピック 1～9part 総まとめ	対面授業	予習：定期試験の準備（2時間）

	会話・ロールプレイ	オンライン可	復習：既習内容の確認（2時間）
15回目	トピック1～9part 総まとめ 会話・ロールプレイ	対面授業 オンライン可	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級2」
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業前後で対応
備考・メッセージ	欠席の場合は前もって連絡すること（連絡方法については授業開始時に指示する）

講義科目名称:日本語会話Ⅳ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC410

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2	選択	演習
担当教員				
岩崎				

授業概要	<p>本講座は国際コミュニケーションコースの専門教育科目の中でも1年次の1Qから2年次の8Qまで続く日本語教育の中でも、会話の場面における運用能力向上を目的としている。多様な文化背景をもつ留学生を対象としているため、直接法を基本とするが、使用する教科書は国際交流基金が作成した「まるごと」を使用し、ことばと文化を併せて学ぶことができるよう設定されている。</p> <p>そのため、本講義ではB1と呼ばれる「身近で個人的にも関心のある話題について単純な方法で結びつけられた脈絡のあるテキストを作ることができる」ようになった後の、より詳細に事柄や事象を伝えることができるようになる事を目的に継続的な学びを支援する。</p> <p>また、テレビ番組などの動画を通して、実際使われている日本語に触れることで、多様な表現ができるようになる事を目標としている。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	日本語で仕事、学校、娯楽など大抵な字体に対処することができるだけでなく、身近な話題について主要な点を聞いて理解し、発話できるようになる。 また、日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解しえることができる。	授業態度 試験	10 60
異文化知識・対応能力	文化背景の異なるクラスメイトを理解し、協力することで日本語の使用機会を増やし、より実践的な言語運用能力を高めることができる	授業態度	10
課題解決能力			
キャリアデザイン力	日本語能力が将来のキャリア形成に影響する事を理解できる。更に、資格試験取得に関しても、計画を立て、実行することができる。	課題	20
合計			100%
補足事項			

- ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。
- ・本講義では課題60%、授業参加態度40%の割合で評価する
- ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される
- ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認する クラスメイトについて理解する・知る 詳細な自己紹介の方法等を知る	対面授業	予習:教科書の確認(中級B2)Googleclassroomのクラスに登録する(1時間) 自己紹介を考えておく 復習:本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(1時間)
2回目	【トピック① 茶・甘】 「ひろがる」で学ぶ https://tsunagarujp.bunka.go.jp/ 動画を見て、リスニングを通して日本語の多様な言い回しを学ぶ	対面授業	予習:教科書 p41~45を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習: p41~45までの学習内容を復習しておく(1時間)
3回目	□ 茶道文化へのインタビュー □ 製菓へのインタビュー まとめ発表	対面授業	予習:教科書p46~50の語彙や表現が使えるように練習しておく(1時間) 復習:p46~50までの学習内容を復習しておく(1時間)
4回目	【トピック② 星】 「ひろがる」で学ぶ https://tsunagarujp.bunka.go.jp/ 動画を見て、リスニングを通して日本語の多様な言い回しを学ぶ	対面授業	予習:教科書 p40~53(中級B2)を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習: p40~53までの学習内容を復習しておく(1時間)
5回目	□ 星座相性しらべ ・自分の国の占いしらべ ・説明資料作成	対面授業	予習:配布された資料の未収語彙、表現を調べておく(1時間) 復習:新しく学んだ表現、語彙を覚える(1時間)
6回目	□発表と実践	対面授業	予習:発表の際に、新しく学んだ語彙や表現が使えるように練習しておく(1時間) 復習:友達の発表で聞いた新しい表現、語彙を覚える(1時間)
7回目	【トピック③ 漫・書】 「ひろがる」で学ぶ https://tsunagarujp.bunka.go.jp/	対面授業	予習:教科書p41~58(中級1B2)を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間)
8回目	□ マンガのオノマトペ □ マンガとアニメ	対面授業	予習:予習:教科書(中級1B1)p131~148を予習し、未

			習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間)
9回目	□ アニメから学ぶ日本語会話①	対面授業	予習:教科書p149~166(中級1B2)を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間)
10回目	□ アニメから学ぶ日本語会話②	対面授業	予習:教科書p149~166(中級1B2)を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間)
11回目	【トピック④ 寺・神社】 「ひろがる」で学ぶ https://tsunagarujp.bunka.go.jp/	対面授業	予習:予習:教科書(中級1B1)p185~203を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間)
12回目	神社訪問① 飯森神社の禰宜さんから成り立ちや歴史を聞くためにインタビューを考える	対面授業	予習:予習:教科書(中級1B1)p185~203を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間)
13回目	神社訪問② 飯森神社でのインタビュー 素材の撮影 まとめ	対面授業	予習:インタビューシートの見直し(1時間) 復習:聞いたことを文章にまとめ、発表資料を作る(1時間)
12回目	【トピック⑤ スーパー・市場】 「ひろがる」で学ぶ https://tsunagarujp.bunka.go.jp/	対面授業	予習:教科書p131~148(中級1B2)を予習し、語彙などを調べておく。(1時間) 復習:新しく学んだ表現、語彙を覚える(1時間)
13回目	□ 様々な日本のサービスと経済成長 □ セルフレジと買い物袋	対面授業	予習:教科書p131~148(中級1B2)を予習し、語彙などを調べておく。(1時間) 復習:新しく学んだ表現、語彙を覚える(1時間)
14回目	□ インターネットでの買い物 □ 直取引サイトでの買い物	対面授業	予習:教科書p167~184(中級1B1)を予習し、語彙などを調べておく。(1時間) 復習:新しく学んだ表現、語彙を覚える(1時間)
15回目	【トピック⑥ 海外の人と話す】 日本語を母語としない海外に住んでいる人にこれまで学んだことに関して、説明する ★トピックは選んでいいです	対面授業	予習:これまでに準備した資料を整理して、動画作成などの準備をしておく(1時間) 復習:発表内容を復習しておく(1時間)
16回目	【テストとふりかえり2】 トピック1~5の内容を確認します		予習:全てを復習し、テストに備える(1時間) 復習:これまでの学習内容を復習して、次のレベルの学修内容に備えておく(1時間)

科目(教職課程用)	なし
-----------	----

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	『まるごと』中級B2 国際交流基金
履修条件	日本語会話Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの履修済みであること
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること
オフィスアワー	後期： 木曜日2コマ目(11:00～12:00)研究室
備考・メッセージ	・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。

講義科目名称：日本語会話Ⅳ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC410

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	「話す」技能に焦点を当てた授業である。会話やプレゼンテーションについて、分かりやすく伝えるためにどのような話し方が適切かを音声や動画を参考にしながらディスカッションやロールプレイを通して学ぶ。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近で日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。	会話テスト ミニテスト	40% 10%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。	グループワーク	20%
課題解決能力	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	15%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	15%
合計			100%

補足事項
<p>初級から中級の語彙や文型を使い、場面に応じた適切なコミュニケーション及び問題解決ができる。学習項目に合わせ、宿題や確認テストを課し、理解度を深める。</p> <p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「会話テスト（40%）」、「グループワーク（20%）」、「ミニテスト（10%）」、「課題（15%）」、「学習態度（15%）」。</p>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	<p>イントロダクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を説明すること。 <p>「トピック1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
2回目	<p>「トピック1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
3回目	<p>「トピック1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
4回目	<p>「トピック1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
5回目	<p>「トピック1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
6回目	<p><u>「ミニテスト①」</u></p> <p>「トピック2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
7回目	<p>「トピック2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
8回目	<p>「トピック2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
9回目	<p>「トピック2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
10回目	<p><u>「ミニテスト②」</u></p> <p>「トピック3」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>

	・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。		
11回目	「トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
12回目	「トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
13回目	「トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
14回目	「ミニテスト③」 「会話テストに向けて準備」 ・会話テストに向けての練習（グループ）	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
15回目	「会話テストに向けて準備」 ・会話テストに向けての練習（グループ）	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
16回目	「会話テスト」 ・個別で会話テストをする。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級1」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。日本語が正しく使えることより、話したいことが話せる、わかってもらえる経験をみんなと共有したいので、興味があること、話したいことを積極的に話題にしてください。動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称：日本語検定 I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC112

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	JLPTN1の文字、語彙及び文法力を上達させるための授業である。必ず予習として練習問題を事前に解き、分からないことを授業で聞く。授業では解答及び解説をメインに行う。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	N1に合格するという目標に向かっている。		
専門的知識や技能	N1の文字、語彙及び文法力を身につけている。	定期試験	40%
異文化知識・対応能力	N1の文字、語彙及び文法力を身につけている。	予習／復習	25%
課題解決能力	学習法と試験対策を身に付けている。	課題	25%
キャリアデザイン力	N1に合格することで、進学や就職に活かせる。	学習態度	10%
合計			100%

補足事項	
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ① JLPTN1の文字、語彙及び文法力をアップする。 ② 試験用だけではなく、日常生活にも上手く活かせる。 ③ 学習法と試験対策を身に付けている。 <p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「定期試験（40%）」、「予習／復習（25%）」、「課題（25%）」、「学習態度（10%）」。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション ・授業内容を説明すること。 N1ドリル&ドリル 文字、語彙 ・解答と解説 N1ドリル&ドリル 文法 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
2回目	N1ドリル&ドリル 文字、語彙 ・ <u>ミニテスト①</u> ・解答と解説 N1ドリル&ドリル 文法 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
3回目	N1ドリル&ドリル 文字、語彙 ・ <u>ミニテスト②</u> ・解答と解説 N1ドリル&ドリル 文法 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
4回目	N1ドリル&ドリル 文字、語彙 ・ <u>ミニテスト③</u> ・解答と解説 N1ドリル&ドリル 文法 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
5回目	N1ドリル&ドリル 文字、語彙 ・ <u>ミニテスト④</u> N1ドリル&ドリル 文法 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
6回目	N1ドリル&ドリル 文字、語彙 ・ <u>ミニテスト⑤</u> N1ドリル&ドリル 文法 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
7回目	N1ドリル&ドリル 文字、語彙 ・ <u>ミニテスト⑥</u> N1ドリル&ドリル 文法 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
8回目	N1ドリル&ドリル 文字、語彙 N1ドリル&ドリル 文法 ・ <u>中間テスト</u> N1ドリル&ドリル 聴解読解 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
9回目	N1ドリル&ドリル 文法 ・ <u>ミニテスト⑦</u> ・解答と解説 N1ドリル&ドリル 聴解読解 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
10回目	N1ドリル&ドリル 文法 ・ <u>ミニテスト⑧</u>	対面授業 オンライン等	予習：指定したドリルの練習問題（1時間）

	・解答と解説 N1ドリル&ドリル 聴解読解 ・解答と解説	の対応可	復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
11回目	N1ドリル&ドリル 文法 ・ <u>ミニテスト⑨</u> ・解答と解説 N1ドリル&ドリル 聴解読解 ・解答と解説	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
12回目	N1ドリル&ドリル 文法 ・ <u>ミニテスト⑩</u> ・解答と解説 N1ドリル&ドリル 聴解読解 ・解答と解説	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
13回目	N1ドリル&ドリル 文法 ・ <u>ミニテスト⑪</u> ・解答と解説 N1ドリル&ドリル 聴解読解 ・解答と解説	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
14回目	N1ドリル&ドリル 文法 ・ <u>ミニテスト⑫</u> ・解答と解説 N1ドリル&ドリル 聴解読解 ・解答と解説	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
15回目	N1ドリル&ドリル 文法 ・ <u>ミニテスト⑬</u> ・解答と解説 N1ドリル&ドリル 聴解読解 ・解答と解説	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
16回目	定期試験	対面のみ	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「ドリル&ドリル日本語能力試験 N1 文字語彙」 「ドリル&ドリル日本語能力試験 N1 文法」 「ドリル&ドリル日本語能力試験 N1 聴解読解」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称：日本語検定 I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC112

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1	2	選択	講義
担当教員				
依藤 実里				

授業概要	日本語能力試験 N2 レベルの文法、聴解、読解を中心に扱う。様々な形式の問題に少しずつ触れ、試験問題のパターンに慣れることを第一の目標とする。また、関連する表現、漢字や語彙も一緒に学び、問題から離れても運用できる応用力をつけることを目指す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	問題演習や解説を通じ、自分の力で正答を導き出すことができる。 重要な表現、漢字や語彙が理解できる。	定期試験 ミニテスト	50% 30%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	自身の学習状況を振り返り、助言を元に目標を立てることができる。	学習記録シート	10%
キャリアデザイン力	卒業後の就職や進学時に必要な日本語能力を意識し、積極的に授業に取り組める。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験、ミニテストだけでなく、学生本人による学習記録も評価の対象とする。
- ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。
- ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。
- ・30 分以上の退出や授業終了 30 分以上前の早退は、欠席と同等と見做す。
- ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくは Classroom で指示する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	●オリエンテーション ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方	対面授業	【予習】シラバスに目を通す、教科書を準備する、Classroom 登録。(1 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(1 時間)

	<ul style="list-style-type: none"> ・評価に関する説明 ・学習記録シートに関する説明 これまでの学習内容の確認		
2回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●文法：対策準備 Unit 1 ①～③ Unit 2 ドリル A 	対面授業	【予習】 2回目の授業範囲を解く。(2時間)※Unit2 は「第 1 回」 【復習】 授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)※Unit2 は「第 2 回」
3回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●読解：基礎編 短文・中文 Unit 1・2 ●聴解：実践練習 課題理解 	対面授業	【予習】 3回目の授業範囲を解く。(2時間)※読解：「例題」「やってみよう」 【復習】 授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)※読解：「練習」、聴解：授業で扱わなかった問題、「重要語 使い方チェック！」
4回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●文法：対策準備 Unit 1 ④～⑥ Unit 2 ドリル B 	対面授業	【予習】 4回目の授業範囲を解く。(2時間)※Unit2 は「第 1 回」 【復習】 授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)※Unit2 は「第 2 回」
5回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●読解：基礎編 Unit 3・4 ●聴解：実践練習 ポイント理解 	対面授業	【予習】 5回目の授業範囲を解く。(2時間)※読解：「例題」「やってみよう」 【復習】 授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)※読解：「練習」、聴解：授業で扱わなかった問題、「重要語 使い方チェック！」
6回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●文法：対策準備 Unit 1 ⑦～⑨ Unit 2 ドリル C 	対面授業	【予習】 6回目の授業範囲を解く。(2時間)※Unit2 は「第 1 回」 【復習】 授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)※Unit2 は「第 2 回」
7回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●読解：基礎編 Unit 5・6 ●聴解：実践練習 概要理解 	対面授業	【予習】 7回目の授業範囲を解く。(2時間)【※読解：「例題」「やってみよう」 【復習】 授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)※読解：「練習」、聴解：授業で扱わなかった問題、「重要語 使い方チェック！」
8回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●文法：対策準備 Unit 1 ⑩～⑫ Unit 2 ドリル D 	対面授業	【予習】 8回目の授業範囲を解く。(2時間)※Unit2 は「第 1 回」 【復習】 授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)※Unit2 は「第 2～4 回」
9回目	<ul style="list-style-type: none"> ●復習 ●中間テスト 	対面授業	【予習】 これまでの学習内容を復習し、まとめておく。(2時間) 【復習】 授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
10回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●文法：対策準備 Unit 1 ⑬～⑮ Unit 3 ドリル A 	対面授業	【予習】 10回目の授業範囲を解く。(2時間)※Unit3 は「第 1 回」 【復習】 授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)※Unit3 は「第 2 回」

11 回目	●ミニテスト ●読解：基礎編 Unit 7・8 ●聴解：実践練習 即時応答	対面授業	【予習】11 回目の授業範囲を解く。(2 時間)※読解：「例題」「やってみよう」 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)※読解：「練習」、聴解：授業で扱わなかった問題、「重要語 使い方チェック！」
12 回目	●ミニテスト ●文法：対策準備 Unit 1 ⑬～⑱ Unit3 ドリル B	対面授業	【予習】12 回目の授業範囲を解く。(2 時間)※Unit3 は「第 1 回」 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)※Unit3 は「第 2 回」
13 回目	●ミニテスト ●読解：基礎編 Unit 9・10 ●聴解：実践練習 統合理解	対面授業	【予習】13 回目の授業範囲を解く。(2 時間)※読解：「例題」「やってみよう」 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)※読解：「練習」、聴解：授業で扱わなかった問題、「重要語 使い方チェック！」
14 回目	●ミニテスト ●文法：実践練習	対面授業	【予習】14 回目の授業範囲を解く。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
15 回目	●ミニテスト ●読解：基礎編 長文A・B ●聴解：まとめ	対面授業	【予習】15 回目の授業範囲を解く。(2 時間)※読解：「例題」 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)※読解：「練習」、聴解：授業で扱わなかった問題、「重要語 使い方チェック！」
16 回目	定期試験	対面授業	定期試験に向けて準備を行う。(2 時間)

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『日本語能力試験 N2 読解必修パターン』J リサーチ出版 『日本語能力試験 N2 文法必修パターン』J リサーチ出版 『日本語能力試験 N2 聴解必修パターン』J リサーチ出版
履修条件	目的意識を持って、授業に参加できること。
履修上の注意	・毎回パソコン・スマートフォン、問題を解いたノート・教科書を持ってくること。 ・予習ができていることを前提に授業をすすめるので、事前にしっかり準備しておくこと。
オフィスアワー	授業前後に対応。その他、アポイントがあれば適宜対応可。
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。

講義科目名称：日本語検定 I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC112

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	日本語能力試験 N3 レベルの「文字・語彙」「文法」「聴解・読解」を学ぶ。 それぞれの力を伸ばすために試験対策問題に数多く取り組む。日本語能力試験に合格するだけでなく生活に必要な言語を身につけることも目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	日本語勉強の基礎力がつく（文字・語彙・文法・聴解・読解）。（日本語能力試験 N3 レベルの実力）	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	N3 相当の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。		
課題解決能力	目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	学び続けようと思い、スキルアップし続けることができる	授業への参加・態度	20%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から 15 分までの入室は遅刻。15 分以降は欠席とする。
- 課題提出や連絡は Google classroom を利用する
- 定期試験 60%、ミニテスト 10%、予習・復習 10%、授業への参加・態度 20%の割合で評価する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン可	予習：指定教科書「文字語彙」「文法」「聴解読解」に目を通す
2 回目	○文字・語彙：漢字読み①	対面授業	予習：次回授業で取り扱う問題（指定

	○文法：文の文法 1① ○聴解：課題理解① ○読解：内容理解（短文）①	オンライン可	箇所）を解く（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3回目	○文字・語彙：漢字読み② ○文法：文の文法 1② ○聴解：課題理解② ○読解：内容理解（短文）②	対面授業 オンライン可	予習：次回授業で取り扱う問題（指定箇所）を解く（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4回目	○文字・語彙：表記（漢字）① ○文法：文の文法 1③ ○聴解：課題理解③ ○読解：内容理解（短文）③	対面授業 オンライン可	予習：次回授業で取り扱う問題（指定箇所）を解く（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
5回目	○文字・語彙：表記（漢字）② ○文法：文の文法 1④ ○聴解：ポイント理解① ○読解：内容理解（短文）④	対面授業 オンライン可	予習：次回授業で取り扱う問題（指定箇所）を解く（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
6回目	○文字・語彙：表記（漢字）③ ○文法：文の文法 1⑤ ○聴解：ポイント理解② ○読解：内容理解（中文）①	対面授業 オンライン可	予習：次回授業で取り扱う問題（指定箇所）を解く（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
7回目	○文字・語彙：文脈規定① ○文法：文の文法 1⑥ ○聴解：ポイント理解③ ○読解：内容理解（中文）②	対面授業 オンライン可	予習：次回授業で取り扱う問題（指定箇所）を解く（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
8回目	○文字・語彙：文脈規定② ○文法：文の文法 2① ○聴解：概要理解① ○読解：内容理解（中文）③	対面授業 オンライン可	予習：次回授業で取り扱う問題（指定箇所）を解く（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
9回目	○文字・語彙：言い換え類義① ○文法：文の文法 2② ○聴解：概要理解② ○読解：内容理解（長文）①	対面授業 オンライン可	予習：次回授業で取り扱う問題（指定箇所）を解く（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
10回目	○文字・語彙：言い換え類義② ○文法：文章の文法① ○聴解：概要理解③ ○読解：内容理解（長文）②	対面授業 オンライン可	予習：次回授業で取り扱う問題（指定箇所）を解く（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
11回目	○文字・語彙：言い換え類義③ ○文法：文章の文法② ○聴解：発話表現①	対面授業 オンライン可	予習：次回授業で取り扱う問題（指定箇所）を解く（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）

	○読解：情報検索①		
12回目	○文字・語彙：用法① ○文法：文章の文法③ ○聴解：発話表現② ○読解：情報検索②	対面授業 オンライン可	予習：次回授業で取り扱う問題(指定箇所)を解く(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
13回目	○文字・語彙：用法② ○文法：文章の文法④ ○聴解：即時応答① ○読解：復習	対面授業 オンライン可	予習：次回授業で取り扱う問題(指定箇所)を解く(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
14回目	○文字・語彙：復習 ○文法：文章の文法⑤ ○聴解：即時応答② ○読解：復習	対面授業 オンライン可	予習：次回授業で取り扱う問題(指定箇所)を解く(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
15回目	○文字・語彙：復習・まとめ ○文法：復習・まとめ ○聴解：復習・まとめ ○読解：復習・まとめ	対面授業 オンライン可	予習：定期試験の準備(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「ドリル&ドリル 日本語能力試験 N3 文字・語彙」 「ドリル&ドリル 日本語能力試験 N3 文法」 「ドリル&ドリル 日本語能力試験 N3 聴解・読解」
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業前後で対応
備考・メッセージ	○欠席の場合は前もって連絡すること(連絡方法については授業開始時に指示する) ○携帯電話は指定した使用方法のみとする(授業開始時に指示する)

講義科目名称:日本語検定 I N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC112

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年	2	選択	演習
担当教員				
岩崎 千恵				

授業概要	本講義は主に日本語検定試験(JLPT)の合格を目的とした試験対策講座である。本講義の受講対象者は日本語の学習時間が300から400時間程度の学習者を対象とし、学習漢字数300、語彙数1,500語の獲得を目指す。また、これらの基本語彙や、漢字を使った身近な話題の文章を理解し、日常で使われる基本的な会話が理解できるようになる為の、聞く、読む、話す、書くの4技能も同様に演習を通して身に付けることができるようになる。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力			
課題解決能力	言われたことだけでなく、自ら目標を設定し、自分の意見を出し、周りと助け合ってJLPT試験合格を目標に努力することができる	目標設定シートレポート報告	20%
主体的に学ぶ力	これまでの学習の成果を踏まえて、卒業後の就職や進学について具体的に考え、行動することができる	ミニテスト 期末テスト	20% 60%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では目標設定シートレポート報告20%、ミニテスト20%、期末テスト60%の割合で評価する ・本講義の課題レポートはGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関する教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。 ・出席管理は必ず自己管理で行うこと。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	①「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする クラス分け試験の確認	対面授業	予習:シラバスを前もって読んでおき、わからない言葉は調べておくこと 復習:目標設定シートの作成に取り掛かり、毎日の勉強に反映させること
2回目	文字語彙、文脈規定を中心に語彙の取得と、その用法、言い換えなどを学ぶ①	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
3回目	文字語彙、文脈規定を中心に語彙の取得と、その用法、言い換えなどを学ぶ②	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
4回目	文字語彙、文脈規定を中心に語彙の取得と、その用法、言い換えなどを学ぶ③	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
5回目	学習した語彙の使われ方を学ぶとともに、N3につながる基本的な文法を確実に学ぶ。また、文章を作ることができるようになる。①	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
6回目	学習した語彙の使われ方を学ぶとともに、N3につながる基本的な文法を確実に学ぶ。また、文章を作ることができるようになる。②	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
7回目	学習した語彙の使われ方を学ぶとともに、N3につながる基本的な文法を確実に学ぶ。また、文章を作ることができるようになる。③	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
8回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、ある程度のまとまった短文の文章を読み、理解できるようにする①	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標

			シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
9回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、ある程度のまとまった短文の文章を読み、理解できるようになる②	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標 シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
10回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、ある程度のまとまった中文の文章を読み、理解できるようになる①	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標 シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
11回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、ある程度のまとまった中文の文章を読み、理解できるようになる②	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標 シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
12回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、提示された資料を読み、必要な情報を読み解き、理解できるようになる①	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標 シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
13回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、提示された資料を読み、必要な情報を読み解き、理解できるようになる②	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標 シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
14回目	聴解① 短い会話文に繋がる適切な返答ができるようになる	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標 シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
15回目	聴解② 2人以上の会話を聞いて、適切な情報を取り出すことができるようになる	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標 シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく

16回目	定期試験 これまで学んだ内容に関して、定期試験を行う	対面授業	予習:定期試験に備えておく 復習:理解できなかったことなどをまとめておく
------	-------------------------------	------	---

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	ドリル&ドリル 日本語能力試験N4 文字・語彙・文法・読解・聴解 978-4-89689-497-4
履修条件	日本語の学習時間が300から400時間程度の学習者を対象とする
履修上の注意	指定された課題を必ず、授業前にはしておくこと
オフィスアワー	月曜日1コマ目(9:10-10:30)
備考・メッセージ	漢字の取得も目指しています。根気よく頑張る人は時間が始めはかかりますが、学びを実感しやすいです。 一緒に頑張りましょう！ また、授業開始15分以内の出席は遅刻扱いになりますが、15分を越す場合は欠席になります。また、ひとつの授業に75分以上の出席がない場合、欠席扱いとなります。

講義科目名称：日本語検定Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC308

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1	2	選択	SC(OL)
担当教員				
岩見 真知子				

授業概要	日本語能力試験対策で、N1 合格を目標とし、高度な文法・漢字・語彙の習得を主眼とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら、自ら考え行動する。社会のルールや状況に適した振る舞いができる。他者に対して親和的な態度で関わることができる。	授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	日本語で仕事、学校、娯楽などに対応でき、身近な話題について主要な点を理解できる。様々な場面で自らの意思を表現、伝達し相手の意思を理解できる。	定期試験 ※小テスト、作文課題等含む	50%
異文化知識・対応能力	自分と異なる文化を持つ人との関わりに対して、自己の世界観を基本として理解しようとし、その文化的な違いを認識し、行動に取り入れ共通の理解を得ようとし始める。		
課題解決能力	自ら目標を設定し、問題点を整理し、解決に向け相手の意見を理解し、自分の意見を的確に伝え、協力して活動することができる。		
キャリアデザイン力	自己のライフスタイルを振り返り、職業志向条件や勤務条件について考え、自分自身を十分プレゼンできる準備ができている。		
合計			100%
補足事項			
授業に関する必要事項については、Google Classroom を使用して、メールで行う。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
2回目	第1回 文字・語彙、文法、読解、聴解	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
3回目	第1回 文字・語彙、文法、読解、聴解	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
4回目	第1回 文字・語彙、文法、読解、聴解	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
5回目	第2回 文字・語彙、文法、読解、聴解	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
6回目	第2回 文字・語彙、文法、読解、聴解	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
7回目	第2回 文字・語彙、文法、読解、聴解	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
8回目	第3回 文字・語彙、文法、読解、聴解	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
9回目	第3回 文字・語彙、文法、読解、聴解	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
10回目	第3回 文字・語彙、文法、読解、聴解	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
11回目	第1回 復習	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
12回目	第2回 復習	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
13回目	第3回 復習	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
14回目	N1 試験対策	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
15回目	N1 試験対策	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	はじめての日本語能力試験 N1 合格模試
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。
オフィスアワー	午前8時～午後9時 メールで行う。
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止、携帯電話使用は語句確認時のみとする。

講義科目名称：日本語検定 I I / 日本語検定 I I I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC308 / CC511

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q 7Q	1年 2年	2単位	選択	講義
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	JLPTN2の文字、語彙及び文法力をアップするための授業である。必ず予習として練習問題を事前に解き、分からないことを授業で聞く。授業では解答及び解説をメインに行う。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	N2に合格するという目標に向かっている。		
専門的知識や技能	N2の文字、語彙及び文法力を身につけている。	定期試験	40%
異文化知識・対応能力	N2の文字、語彙及び文法力を身につけている。	予習／復習 (ミニテスト含め)	25%
課題解決能力	学習法と試験対策を身に付けている。	課題	25%
キャリアデザイン力	N2に合格することで、進学や就職に活かせる。	学習態度	10%
合計			100%

補足事項	
<p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> ① JLPTN2の文字、語彙及び文法力をアップする。 ② 試験用だけではなく、日常生活にも上手く活かせる。 ③ 学習法と試験対策を身に付けている。 <p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「定期試験（40%）」、「予習／復習（25%）」、「課題（25%）」、「学習態度（10%）」。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション ・授業内容を説明すること。 N2文法・N2語彙 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
2回目	N2合格模試 1回分 ・解答と解説 ・ピックアップポイント N2文法・N2語彙（ミニテスト①）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
3回目	N2合格模試 1回分 ・解答と解説 ・ピックアップポイント N2文法・N2語彙（ミニテスト②）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
4回目	N2合格模試 1回分 ・解答と解説 ・ピックアップポイント N2文法・N2語彙（ミニテスト③）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
5回目	N2合格模試 1回分 ・解答と解説 ・ピックアップポイント N2文法・N2語彙（ミニテスト④）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
6回目	N2合格模試 2回分 ・解答と解説 ・ピックアップポイント N2文法・N2語彙（ミニテスト⑤）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
7回目	N2合格模試 2回分 ・解答と解説 ・ピックアップポイント N2文法・N2語彙（ミニテスト⑥）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
8回目	N2合格模試 2回分 ・解答と解説 ・ピックアップポイント N2文法・N2語彙（ミニテスト⑦）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
9回目	中間テスト	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）

10回目	N2合格模試 2回分 ・解答と解説 ・ピックアップポイント N2文法・N2語彙（ミニテスト⑧）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
11回目	N2合格模試 3回分 ・解答と解説 ・ピックアップポイント N2文法・N2語彙（ミニテスト⑨）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
12回目	N2合格模試 3回分 ・解答と解説 ・ピックアップポイント N2文法・N2語彙（ミニテスト⑩）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
13回目	N2合格模試 3回分 ・解答と解説 ・ピックアップポイント N2文法・N2語彙（ミニテスト⑪）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
14回目	N2合格模試 3回分 ・解答と解説 ・ピックアップポイント N2文法・N2語彙（ミニテスト⑫）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
15回目	まとめ ・解答と解説 ・ピックアップポイント N2文法・N2語彙（ミニテスト⑬）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：全体をまとめる（3時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
16回目	定期試験	対面のみ	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	配布資料 「はじめての日本語能力試験N2 合格模試3回分」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称：日本語検定Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC308

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	日常的な場面で使われている日本語を、ある程度理解することができる。また、N3レベルの日本語を使える。日本語能力試験 N3 の模擬試験を繰り返し解くことで N3 合格を目指す。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	N3 相当の会話力や読解力が身に付いている。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	N3 相当の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。		
課題解決能力	目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	学び続けようと思い、スキルアップし続けることができる	授業への参加・態度	20%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 課題提出や連絡は Google classroom を利用する
- 定期試験 60%、ミニテスト 10%、予習・復習 10%、授業への参加・態度 20%の割合で評価する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン可	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間）
2回目	合格模試第1回 N3 ○言語知識（文字・語彙）	対面授業 オンライン可	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間）

	○言語知識（文法）・読解		復習：既習内容の確認（2時間）
3回目	合格模試第1回 N3 ○聴解 ※合格模試第1回 解説 ○言語知識（文字・語彙） ○言語知識（文法）・読解 ○聴解	対面授業 オンライン可	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4回目	※合格模試第1回 解説 ○言語知識（文字・語彙） ○言語知識（文法）・読解 ○聴解	対面授業 オンライン可	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
5回目	合格模試第2回 N3 ○言語知識（文字・語彙） ○言語知識（文法）・読解	対面授業 オンライン可	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
6回目	合格模試第2回 N3 ○聴解 ※合格模試第2回 解説 ○言語知識（文字・語彙） ○言語知識（文法）・読解 ○聴解	対面授業 オンライン可	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
7回目	※合格模試第2回 解説 ○言語知識（文字・語彙） ○言語知識（文法）・読解 ○聴解	対面授業 オンライン可	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
8回目	合格模試第3回 N3 ○言語知識（文字・語彙） ○言語知識（文法）・読解	対面授業 オンライン可	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
9回目	合格模試第3回 N3 ○聴解 ※合格模試第3回 解説 ○言語知識（文字・語彙） ○言語知識（文法）・読解 ○聴解	対面授業 オンライン可	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
10回目	※合格模試第3回 解説 ○言語知識（文字・語彙） ○言語知識（文法）・読解 ○聴解	対面授業 オンライン可	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
11回目	合格模試第1回	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に

	○言語知識（文字・語彙・読解） ○聴解	オンライン可	慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
12回目	※合格模試第1回：解説と復習	対面授業 オンライン可	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
13回目	合格模試第2回 ○言語知識（文字・語彙・読解） ○聴解	対面授業 オンライン可	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
14回目	※合格模試第2回：解説と復習	対面授業 オンライン可	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
15回目	合格模試第3回 ○言語知識（文字・語彙・読解） ○聴解 ※解説と復習	対面授業 オンライン可	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	はじめての日本語能力試験 合格模試 N3
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業前後で対応
備考・メッセージ	欠席の場合は前もって連絡すること（連絡方法については授業開始時に指示する）

講義科目名称：日本語検定Ⅲ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC511

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	1	2	選択	SC(OL)
担当教員				
岩見 真知子				

授業概要	日本語能力試験対策で、N1 合格を目標とし、高度な文法・漢字・語彙の習得を主眼とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら、自ら考え行動する。社会のルールや状況に適した振る舞いができる。他者に対して親和的な態度で関わることができる。	授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	日本語で仕事、学校、娯楽などに対応でき、身近な話題について主要な点を理解できる。様々な場面で自らの意思を表現、伝達し相手の意思を理解できる。	定期試験 ※小テスト、作文課題等含む	50%
異文化知識・対応能力	自分と異なる文化を持つ人との関わりに対して、自己の世界観を基本として理解しようとし、その文化的な違いを認識し、行動に取り入れ共通の理解を得ようとし始める。		
課題解決能力	自ら目標を設定し、問題点を整理し、解決に向け相手の意見を理解し、自分の意見を的確に伝え、協力して活動することができる。		
キャリアデザイン力	自己のライフスタイルを振り返り、職業志向条件や勤務条件について考え、自分自身を十分プレゼンできる準備ができている。		
合計			100%
補足事項			
授業に関する必要事項については、Google Classroom を使用して、メールで行う。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
2回目	第1回 文字・語彙、文法、読解、聴解	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
3回目	第1回 文字・語彙、文法、読解、聴解	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
4回目	第1回 文字・語彙、文法、読解、聴解	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
5回目	第2回 文字・語彙、文法、読解、聴解	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
6回目	第2回 文字・語彙、文法、読解、聴解	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
7回目	第2回 文字・語彙、文法、読解、聴解	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
8回目	第3回 文字・語彙、文法、読解、聴解	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
9回目	第3回 文字・語彙、文法、読解、聴解	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
10回目	第3回 文字・語彙、文法、読解、聴解	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
11回目	第1回 復習	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
12回目	第2回 復習	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
13回目	第3回 復習	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
14回目	N1 試験対策	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
15回目	N1 試験対策	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	はじめての日本語能力試験 N1 合格模試
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。
オフィスアワー	午前8時～午後9時 メールで行う。
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止、携帯電話使用は語句確認時のみとする。

講義科目名称：日本語検定 I I / 日本語検定 I I I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC308 / CC511

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q 7Q	1年 2年	2単位	選択	講義
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	JLPTN2の文字、語彙及び文法力をアップするための授業である。必ず予習として練習問題を事前に解き、分からないことを授業で聞く。授業では解答及び解説をメインに行う。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	N2に合格するという目標に向かっている。		
専門的知識や技能	N2の文字、語彙及び文法力を身につけている。	定期試験	40%
異文化知識・対応能力	N2の文字、語彙及び文法力を身につけている。	予習／復習 (ミニテスト含め)	25%
課題解決能力	学習法と試験対策を身に付けている。	課題	25%
キャリアデザイン力	N2に合格することで、進学や就職に活かせる。	学習態度	10%
合計			100%

補足事項	
<p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> ① JLPTN2の文字、語彙及び文法力をアップする。 ② 試験用だけではなく、日常生活にも上手く活かせる。 ③ 学習法と試験対策を身に付けている。 <p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「定期試験（40%）」、「予習／復習（25%）」、「課題（25%）」、「学習態度（10%）」。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション ・授業内容を説明すること。 N2文法・N2語彙 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
2回目	N2合格模試 1回分 ・解答と解説 ・ピックアップポイント N2文法・N2語彙（ <u>ミニテスト①</u> ）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
3回目	N2合格模試 1回分 ・解答と解説 ・ピックアップポイント N2文法・N2語彙（ <u>ミニテスト②</u> ）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
4回目	N2合格模試 1回分 ・解答と解説 ・ピックアップポイント N2文法・N2語彙（ <u>ミニテスト③</u> ）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
5回目	N2合格模試 1回分 ・解答と解説 ・ピックアップポイント N2文法・N2語彙（ <u>ミニテスト④</u> ）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
6回目	N2合格模試 2回分 ・解答と解説 ・ピックアップポイント N2文法・N2語彙（ <u>ミニテスト⑤</u> ）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
7回目	N2合格模試 2回分 ・解答と解説 ・ピックアップポイント N2文法・N2語彙（ <u>ミニテスト⑥</u> ）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
8回目	N2合格模試 2回分 ・解答と解説 ・ピックアップポイント N2文法・N2語彙（ <u>ミニテスト⑦</u> ）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
9回目	中間テスト	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）

10回目	N2合格模試 2回分 ・解答と解説 ・ピックアップポイント N2文法・N2語彙（ミニテスト⑧）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
11回目	N2合格模試 3回分 ・解答と解説 ・ピックアップポイント N2文法・N2語彙（ミニテスト⑨）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
12回目	N2合格模試 3回分 ・解答と解説 ・ピックアップポイント N2文法・N2語彙（ミニテスト⑩）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
13回目	N2合格模試 3回分 ・解答と解説 ・ピックアップポイント N2文法・N2語彙（ミニテスト⑪）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
14回目	N2合格模試 3回分 ・解答と解説 ・ピックアップポイント N2文法・N2語彙（ミニテスト⑫）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
15回目	まとめ ・解答と解説 ・ピックアップポイント N2文法・N2語彙（ミニテスト⑬）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：全体をまとめる（3時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
16回目	定期試験	対面のみ	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	配布資料 「はじめての日本語能力試験N2 合格模試3回分」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称：日本語検定Ⅲ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC511

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2	2	選択	講義
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	日常的な場面で使われている日本語を、ある程度理解することができる。また、N3 レベルの日本語を使える。日本語能力試験 N3 の模擬試験を繰り返し解くことで N3 合格を目指す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	N3 相当の会話力や読解力が身に付いている。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	N3 相当の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。		
課題解決能力	目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	学び続けようと思い、スキルアップし続けることができる	授業への参加・態度	20%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から 15 分までの入室は遅刻。15 分以降は欠席とする。
- 課題提出や連絡は Google classroom を利用する
- 定期試験 60%、ミニテスト 10%、予習・復習 10%、授業への参加・態度 20% の割合で評価する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン可	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2 時間）
2 回目	合格模試第 1 回 N3 ○言語知識（文字・語彙）	対面授業 オンライン可	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2 時間）

	○言語知識（文法）・読解		復習：既習内容の確認（2時間）
3回目	合格模試第1回 N3 ○聴解 ※合格模試第1回 解説 ○言語知識（文字・語彙） ○言語知識（文法）・読解 ○聴解	対面授業 オンライン可	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4回目	※合格模試第1回 解説 ○言語知識（文字・語彙） ○言語知識（文法）・読解 ○聴解	対面授業 オンライン可	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
5回目	合格模試第2回 N3 ○言語知識（文字・語彙） ○言語知識（文法）・読解	対面授業 オンライン可	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
6回目	合格模試第2回 N3 ○聴解 ※合格模試第2回 解説 ○言語知識（文字・語彙） ○言語知識（文法）・読解 ○聴解	対面授業 オンライン可	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
7回目	※合格模試第2回 解説 ○言語知識（文字・語彙） ○言語知識（文法）・読解 ○聴解	対面授業 オンライン可	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
8回目	合格模試第3回 N3 ○言語知識（文字・語彙） ○言語知識（文法）・読解	対面授業 オンライン可	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
9回目	合格模試第3回 N3 ○聴解 ※合格模試第3回 解説 ○言語知識（文字・語彙） ○言語知識（文法）・読解 ○聴解	対面授業 オンライン可	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
10回目	※合格模試第3回 解説 ○言語知識（文字・語彙） ○言語知識（文法）・読解 ○聴解	対面授業 オンライン可	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
11回目	合格模試第1回	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に

	○言語知識（文字・語彙・読解） ○聴解	オンライン可	慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
12回目	※合格模試第1回：解説と復習	対面授業 オンライン可	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
13回目	合格模試第2回 ○言語知識（文字・語彙・読解） ○聴解	対面授業 オンライン可	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
14回目	※合格模試第2回：解説と復習	対面授業 オンライン可	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
15回目	合格模試第3回 ○言語知識（文字・語彙・読解） ○聴解 ※解説と復習	対面授業 オンライン可	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	はじめての日本語能力試験 合格模試 N3
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業前後で対応
備考・メッセージ	欠席の場合は前もって連絡すること（連絡方法については授業開始時に指示する）

講義科目名称: 日本語多読 I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC203

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q2Q	1年	2	選択	講義
担当教員				
岩崎 千恵				

授業概要	<p>本講義は留学生1年生を対象として開講されるものであり、自己の興味関心がある日本語で書かれた書籍(小説、随筆、新聞、まんが、絵本など)を自由に読み進めることで、日本語の語彙や文化的知識を育成することを目的としている。普段、馴染みのない日本語で書かれた書籍に馴染むことで総合的な日本語運用能力を育成する。</p> <p>さらに、読んだ内容を相手に書いたり、話したりする読書活動を通して、読み取った内容を表現し、感動を共有する活動を行う。</p> <p>また活動の後半では、日本の文化コンテンツであるマンガの読み方やマンガ特有の漫符の理解の仕方を学び、4コマ漫画に挑戦する。多様な表現方法を学ぶ機会となる。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	学びを共にするメンバーに対して、常に親和的な態度で関わる事ができ、感情に寄り沿うことができる	・授業への参加態度	20
確かな専門的知識や技能	日本語で書かれた比較的身近な話題についての標準的な文章を読み、内容を理解することができる。 また、その内容に関して他者とコミュニケーションを図り意志を伝えることができる。	・活動レポート ・作成物	30 20
コミュニケーション能力	日本語で書かれた書籍を通して得た文化的な違いを認識し、その疑問や思いを他者と共有し理解しようとする事ができる	・授業への参加態度 ・活動レポート	20 20
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では活動レポート50%、授業参加態度40%、作成物10%の割合で評価する ・本講義の活動レポートはGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関する教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される ・状況によって、オンライン授業になる場合もあるが、原則的には対面授業形式で実施する 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	ガイダンス 授業での連絡方法、活動レポートの作成、提出方法、評価方法等について知る 多読と取り組み活動について学ぶ	対面授業	予習:多読Ⅱの授業内容を読んでくる。Google classroomの登録を行う(1時間) 復習:図書館で1冊本を借りておく(1時間)
2回目	活動① 多読 読書活動① マンガの読み方 マンガの読み方の順序、ページの構成、 台詞と心情の読み方等を学ぶ	対面授業	予習:配布プリントで未習語彙があれば調べておく(1時間) 復習:学習した内容を以降の読書活動にどのように実行していくのか活動レポートを作成(1時間)
3回目	活動② 多読 読書活動② マンガの読み方 マンガ特有の漫符の種類と意義、オノマトペを学習する	対面授業	予習:配布プリントで未習語彙があれば調べておく(1時間) 復習:学習した内容を以降の読書活動にどのように実行していくのか活動レポートを作成(1時間)
4回目	活動③ 多読 読書活動③ マンガの読み方 マンガに使われているフォントの活用と その意義について学ぶ	対面授業	予習:配布プリントで未習語彙があれば調べておく(1時間) 復習:学習した内容を以降の読書活動にどのように実行していくのか活動レポートを作成(1時間)
5回目	活動④ 多読 読書活動④ マンガを描いてみる 4コママンガの読み方の順序、ページの 構成(起承転結)を学ぶ いくつか読んで、その手法を学ぶ	対面授業	予習:配布プリントで未習語彙があれば調べておく(1時間) 復習:学習した内容を以降の読書活動にどのように実行していくのか活動レポートを作成(1時間)
6回目	活動⑤ 多読 読書活動⑤ マンガを描いてみる 4コママンガの描き方の順序、ページの 構成(起承転結)を考える。 テーマにそって描いてみる	対面授業	予習:配布プリントで未習語彙があれば調べておく(1時間) 復習:学習した内容を以降の読書活動にどのように実行していくのか活動レポートを作成(1時間)
7回目	活動⑥ 多読 読書活動⑥ マンガを描いてみる 4コママンガの描き方の順序、ページの 構成(起承転結)を考える。 テーマにそって描いて、提出する	対面授業	予習:配布プリントで未習語彙があれば調べておく(1時間) 復習:学習した内容を以降の読書活動にどのように実行していくのか活動レポートを作成(1時間)
8回目	活動⑦ 多読 読書活動⑦ 皆で描いた4コマ漫画の鑑賞 お互いに評価する	対面授業	予習:配布プリントで未習語彙があれば調べておく(1時間)

	受講アンケートの実施		復習:学習した内容を以降の読書活動にどのように実行していくのか活動レポートを作成(1時間)
9回目	活動⑧ 読み聞かせ 読書活動⑧ これまで読んだものの中で特に印象深かったものを読み聞かせする。日本語の発音やイントネーションなどに十分気を付けて読むようにする	対面授業	予習:配布プリントで未習語彙があれば調べておく(1時間) 復習:学習した内容を以降の読書活動にどのように実行していくのか活動レポートを作成(1時間)
10回目	活動⑨ 読み聞かせ 読書活動⑨ これまで読んだものの中で特に印象深かったものを読み聞かせする。日本語の発音やイントネーションなどに十分気を付けて読むようにする	対面授業	予習:配布プリントで未習語彙があれば調べておく(1時間) 復習:学習した内容を以降の読書活動にどのように実行していくのか活動レポートを作成(1時間)
11回目	活動⑩ 読み聞かせ 読書活動⑩ これまで読んだものの中で特に印象深かったものを読み聞かせする。日本語の発音やイントネーションなどに十分気を付けて読むようにする	対面授業	予習:配布プリントで未習語彙があれば調べておく(1時間) 復習:学習した内容を以降の読書活動にどのように実行していくのか活動レポートを作成(1時間)
12回目	活動⑪ 読み聞かせ 読書活動⑪ これまで読んだものの中で特に印象深かったものを読み聞かせする。日本語の発音やイントネーションなどに十分気を付けて読むようにする 季節の絵本①	対面授業	予習:配布プリントで未習語彙があれば調べておく(1時間) 復習:学習した内容を以降の読書活動にどのように実行していくのか活動レポートを作成(1時間)
13回目	活動⑫ 読み聞かせ 読書活動⑫ これまで読んだものの中で特に印象深かったものを読み聞かせする。日本語の発音やイントネーションなどに十分気を付けて読むようにする 季節の絵本②	対面授業	予習:配布プリントで未習語彙があれば調べておく(1時間) 復習:学習した内容を以降の読書活動にどのように実行していくのか活動レポートを作成(1時間)
14回目	活動⑬ 絵本から文化を学ぶ 読書活動⑬ これまで読んだものの中で特に印象深かったものを読み聞かせする。日本語の発音やイントネーションなどに十分気を付けて読むようにする 季節の絵本③	対面授業	予習:配布プリントで未習語彙があれば調べておく(1時間) 復習:学習した内容を以降の読書活動にどのように実行していくのか活動レポートを作成(1時間)
15回目	活動⑭ 絵本から文化を学ぶ 読書活動⑭ これまで読んだものの中で特に印象深かったものを読み聞かせする。日本語の発音やイントネーションなどに十分気を付けて読むようにする 季節の絵本④	対面授業	予習:配布プリントで未習語彙があれば調べておく(1時間) 復習:学習した内容を以降の読書活動にどのように実行していくのか活動レポートを作成(1時間)

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	配布プリント
履修条件	なし
履修上の注意	自分の能力に応じて日本語で書かれた書籍、新聞などを 읽습니다。 難しいと思った場合はレベルを下げて、読んだ内容を把握できるような内容から始めましょう。多読の方法はオリエンテーションで話しますので、初日は遅れないように来てください
オフィスアワー	月1コマ目(10:00-10:30)
備考・メッセージ	なし

講義科目名称：日本語多読Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC309

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
山本 みづほ				

授業概要	日本語で書かれた本、資料を数多く読むことで豊かな日本語力を身に付けていく。 本演習では、本来の多読の「ひたすら多くの本を黙読する」形に入る前の段階と位置付け、まずは共通のテキストを読むことから始める。①日本文化に親しむ、②語彙を増やす、③音読に慣れることを目標にする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・書かれていることを自分事として理解しようとする。	・グループディスカッション	5%
専門的知識や技能	・書かれている内容を、大まかに理解することができる。 ・正しい読みや発音に気を付けることができる。	・定期試験 ・ミニテスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	・積極的に日本のビジネス文化に馴染もうとする姿勢が見られる。	・レポート	10%
課題解決能力	・分からないことをそのままにせず、質問することができる。	・授業への参加・態度	5%
キャリアデザイン力	・書かれていることを理解し、今後の生活に活かそうとする。	・レポート	10%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などは Google Classroom を利用する。 ・本授業では、定期試験50%、ミニテスト20%、レポート20%、授業への参加態度10%の割合で評価する。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方と注意点についての説明をする。	対面授業 オンライン可	予習：Classroom で指示されたことを行う（1時間） 復習：今日学んだテキストのページの音読とビジネス用語の確認。（3時間）

2回目	<ul style="list-style-type: none"> ・就活を意識しながらテキストを読めるよう説明を加えながら、トピックを進める。 ・ミニテストのあとの最後の20分は、多読をする。 	対面授業 オンライン可	<p>復習：ミニテストの間違ったところを確認し、新出のビジネス用語を書いて覚える。(2時間)</p> <p>予習：次回の学習範囲を読む。(2時間)</p>
3回目	<ul style="list-style-type: none"> ・就活を意識しながらテキストを読めるよう説明を加えながら、トピックを進める。 ・ミニテストのあとの最後の20分は、多読をする。 	対面授業 オンライン可	<p>復習：ミニテストの間違ったところを確認し、新出のビジネス用語を書いて覚える。(2時間)</p> <p>予習：次回の学習範囲を読む。(2時間)</p>
4回目	<ul style="list-style-type: none"> ・就活を意識しながらテキストを読めるよう説明を加えながら、トピックを進める。 ・ミニテストのあとの最後の20分は、多読をする。 	対面授業 オンライン可	<p>復習：ミニテストの間違ったところを確認し、新出のビジネス用語を書いて覚える。(2時間)</p> <p>予習：次回の学習範囲を読む。(2時間)</p>
5回目	<ul style="list-style-type: none"> ・就活を意識しながらテキストを読めるよう説明を加えながら、トピックを進める。 ・ミニテストのあとの最後の20分は、多読をする。 	対面授業 オンライン可	<p>復習：ミニテストの間違ったところを確認し、新出のビジネス用語を書いて覚える。(2時間)</p> <p>予習：次回の学習範囲を読む。(2時間)</p>
6回目	<ul style="list-style-type: none"> ・就活を意識しながらテキストを読めるよう説明を加えながら、トピックを進める。 ・ミニテストのあとの最後の20分は、多読をする。 	対面授業 オンライン可	<p>復習：ミニテストの間違ったところを確認し、新出のビジネス用語を書いて覚える。(2時間)</p> <p>予習：次回の学習範囲を読む。(2時間)</p>
7回目	<ul style="list-style-type: none"> ・就活を意識しながらテキストを読めるよう説明を加えながら、トピックを進める。 ・ミニテストのあとの最後の20分は、多読をする。 	対面授業 オンライン可	<p>復習：ミニテストの間違ったところを確認し、新出のビジネス用語を書いて覚える。(2時間)</p> <p>予習：次回の学習範囲を読む。(2時間)</p>
8回目	<ul style="list-style-type: none"> ・就活を意識しながらテキストを読めるよう説明を加えながら、トピックを進める。 ・ミニテストのあとの最後の20分は、多読をする。 	対面授業 オンライン可	<p>復習：ミニテストの間違ったところを確認し、新出のビジネス用語を書いて覚える。(2時間)</p> <p>予習：次回の学習範囲を読む。(2時間)</p>
9回目	<ul style="list-style-type: none"> ・就活を意識しながらテキストを読めるよう説明を加えながら、トピックを進める。 ・ミニテストのあとの最後の20分は、多読をする。 	対面授業 オンライン可	<p>復習：ミニテストの間違ったところを確認し、新出のビジネス用語を書いて覚える。(2時間)</p> <p>予習：次回の学習範囲を読む。(2時間)</p>
10回目	<ul style="list-style-type: none"> ・就活を意識しながらテキストを読めるよう説明を加えながら、トピックを進める。 ・ミニテストのあとの最後の20分は、多読をする。 	対面授業 オンライン可	<p>復習：ミニテストの間違ったところを確認し、新出のビジネス用語を書いて覚える。(2時間)</p> <p>予習：次回の学習範囲を読む。(2時間)</p>

11 回目	<ul style="list-style-type: none"> ・就活を意識しながらテキストを読めるよう説明を加えながら、トピックを進める。 ・ミニテストのあとの最後の 20 分は、多読をする。 	対面授業 オンライン可	<p>復習：ミニテストの間違ったところを確認し、新出のビジネス用語を書いて覚える。(2時間)</p> <p>予習：次回の学習範囲を読む。(2時間)</p>
12 回目	<ul style="list-style-type: none"> ・就活を意識しながらテキストを読めるよう説明を加えながら、トピックを進める。 ・ミニテストのあとの最後の 20 分は、多読をする。 	対面授業 オンライン可	<p>復習：ミニテストの間違ったところを確認し、新出のビジネス用語を書いて覚える。(2時間)</p> <p>予習：次回の学習範囲を読む。(2時間)</p>
13 回目	<ul style="list-style-type: none"> ・就活を意識しながらテキストを読めるよう説明を加えながら、トピックを進める。 ・ミニテストのあとの最後の 20 分は、多読をする。 	対面授業 オンライン可	<p>復習：ミニテストの間違ったところを確認し、新出のビジネス用語を書いて覚える。(2時間)</p> <p>予習：次回の学習範囲を読む。(2時間)</p>
14 回目	<ul style="list-style-type: none"> ・就活を意識しながらテキストを読めるよう説明を加えながら、トピックを進める。 ・ミニテストのあとの最後の 20 分は、多読をする。 	対面授業 オンライン可	<p>復習：ミニテストの間違ったところを確認し、新出のビジネス用語を書いて覚える。(2時間)</p> <p>予習：次回の学習範囲を読む。(2時間)</p>
15 回目	<ul style="list-style-type: none"> ・就活を意識しながらテキストを読めるよう説明を加えながら、トピックを進める。 ・ミニテストのあとの最後の 20 分は、多読をする。 	対面授業 オンライン可	<p>復習：ミニテストの間違ったところを確認し、新出のビジネス用語を書いて覚える。(2時間)</p> <p>予習：次回の学習範囲を読む。(2時間)</p>
16 回目	定期試験	対面のみ	

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	教科書：伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力 多読：さまざまなジャンルの日本語で書かれた本
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もって Classroom で連絡すること。 授業開始から 15 分経過すると欠席となります。
オフィスアワー	授業の前後に質問を受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。 卒業したら自分がどうしたいのかを、早く考えて準備できるようにしましょう。

講義科目名称：日本語ライティング&グラマーⅠ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC403

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
山本 みづほ				

授業概要	<p>中級レベルの日本語文法を使って、就活能力・ビジネス日本語力を養う。</p> <p>本授業では、『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』を使って、日本で働くための社会人の基礎力と仕事の日本語力を身に付けることを目標とする。*2コマ連続授業</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断して、読みやすく美しい文字を意識して書くことができる。	・授業への参加・態度	10%
確かな専門的知識や技能	・身近な就職の話題について、的確に内容を理解することができる。 ・身近な就職の話題について聴き取ったことを、ていねいな文字で書くことができる。	・定期試験 ・小テスト（漢字10問）	50% 20%
異文化知識・対応能力	・仕事文化の違いを認識し、新しい視点を持つことができる。	・日々の発言	10%
課題解決能力	・失敗を恐れずに自ら問題に取り組むことができる。	・グループディスカッション	5%
キャリアデザイン力	・自分自身の考えを十分話すことができる。	・ミニスピーチ	5%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の漢字テストの準備をしっかりとしておくこと。 ・連絡は掲示板で行います。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 ・日本語ライティング&グラマーのコース説明及び評価方法を説明する。 ・シラバスの確認 ・毎回の授業の流れを説明する。 「夢を実現させるために、今何をすべきか」について考え文章にする。	対面授業 オンライン可	予習：シラバスを読んでくる（1時間）
2回目	・1回目で書いた文章を発表し合い、お互いに質問をしたり感想を述べたりする。 ・漢字テスト	対面授業 オンライン可	復習：今日の授業の振り返り（3時間） 予習：漢字テストの勉強（1時間）
3回目	「自己紹介」 ・自己紹介のために経歴を整理する ・テキスト P16 にまとめる	対面授業 オンライン可	
4回目	・3回目でまとめたものを発表し合い、お互いに質問したり感想を述べたりする。 ・漢字テスト	対面授業 オンライン可	復習：今日の授業の振り返り（3時間） 予習：漢字テストの勉強（1時間）
5回目	「自己分析・自己PR」 ・テキスト P19 からの自己分析の方法を学び、自分で書いてみる。	対面授業 オンライン可	
6回目	・5回目で書いたものを発表し合い、お互いの長所について考える。「他己紹介」をする。 ・漢字テスト	対面授業 オンライン可	復習：今日の授業の振り返り（3時間） 予習：漢字テストの勉強（1時間）
7回目	「業界・業種・職種」 ・テキスト P25～30 について日本の職業について知る。	対面授業 オンライン可	
8回目	・自分の付きたい職種は何かを考え、発表し、互いに質問し感想を言い合う。 ・漢字テスト	対面授業 オンライン可	復習：今日の授業の振り返り（3時間） 予習：漢字テストの勉強（1時間）
9回目	「勤務の条件」 ・テキスト P31～34 について、雇用形態や勤務条件について知る。	対面授業 オンライン可	
10回目	・初めて知ったことについて、お互いに出し合い、話し合う。 ・漢字テスト	対面授業 オンライン可	復習：今日の授業の振り返り（3時間） 予習：漢字テストの勉強

			(1 時間)
11 回目	「志望動機」 ・テキスト P39～42 について、自分がや って見たい仕事を思い描き、その理由を 考える。	対面授業 オンライン可	
12 回目	・11 回目で考えたことを発表し、お互い に感想を言い合う。 ・漢字テスト	対面授業 オンライン可	復習：今日の授業の振り返り (3 時間) 予習：漢字テストの勉強 (1 時間)
13 回目	「履歴書」 ・テキスト P43～47 について学び、実際 に履歴書を書く。	対面授業 オンライン可	
14 回目	・13 回目で書いた履歴書を、お互いに見 合って感想を言い合う。 ・漢字テスト	対面授業 オンライン可	復習：今日の授業の振り返り (3 時間) 予習：漢字テストの勉強 (1 時間)
15 回目	「これまで学んだことのまとめ」 ・何を学んだのかを話し、2 年生ではさら にどうするべきかを考える。	対面授業 オンライン可	
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は必ず連絡をしてください 授業開始から 15 分経過したら欠席となります
オフィスアワー	授業の前後に質問を受け付けます
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと 携帯電話は調べる以外には使わないこと 授業時間に余裕があれば、NHK 海外向け放送「BENTO」や NHK for school を見て、楽しく外国人の話す日本語に触れましょう

講義科目名称：日本語W&G I I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC710

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q 4Q 7Q 8Q	1年 2年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	日本語学習の基礎となる中級日本語文法を習得し、中上級日本語文法の運用力をつける。学習した文型、語彙の理解を深める。内容のポイントをとらえる練習を継続的にを行い、能動的な言語活動を促す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わることができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。	定期試験 ミニテスト	40% 25%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。	グループワーク	5%
課題解決能力	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	20%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	10%
合計			100%

補足事項
<p>中級から上級の語彙や文型を増やして、日常生活における日本語を理解し、使用できるようになる。学習項目に合わせ、宿題や確認テストを課し、理解度を深める。</p> <p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「定期試験（40%）」、「ミニテスト（25%）」、「課題（20%）」、「学習態度（10%）」、「グループワーク（5%）」。</p>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション ・授業内容を説明すること。 作文の発表（夏休み課題）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
2回目	作文の発表（夏休み課題） 作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
3回目	「中級2トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
4回目	「中級2トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
5回目	「中級2トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
6回目	「中級2トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
7回目	「ミニテスト①」 「中級2トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
8回目	「中級2トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
9回目	「中級2トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
10回目	「中級2トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）

11回目	「ミニテスト②」 「中級2トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
12回目	「中級2トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
13回目	「中級2トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
14回目	「中級2トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
15回目	「ミニテスト③」 「中級2トピック7～9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・作文	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
16回目	定期試験	対面のみ	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級2」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。動機を大切にしたい授業をのぞみます。

講義科目名称：日本語ライティング&文法Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC710

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q8Q	2	2	選択	SC(OL)
担当教員				
岩見 真知子				

授業概要	日常生活で身近な話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のある文章を作ることができる。自身の経験、出来事、希望などを説明し、意見や計画の理由を短く述べる ことができる。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら、自ら考え行動する。社会のルールや状況に適した振る舞いができる。他者に対して親和的な態度で関わる ことができる。	授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	日本語で仕事、学校、娯楽などに対応でき、身近な話題について主要な点を理解できる。様々な場面で自らの意思を表現、伝達し相手の意思を理解できる。	定期試験 ※小テスト、作文 課題等含む	50%
異文化知識・対応能力	自分と異なる文化を持つ人との関わりに対して、自己の世界観を基本として理解しようとし、その文化的な違いを認識し行動に取り入れ共通の理解を得ようとし始める。	ペアでのダイアログ	10%
課題解決能力	自らの目標を設定し、問題点を整理し、解決に向け相手の意見を理解し自分の意見を的確に伝え、協力して活動することができる。	小テスト	20%
キャリアデザイン力	自己のライフスタイルを振り返り、職業志向条件や勤務条件について考え、自分自身を十分にプレゼンできる準備ができている。	作文	15%
合計			100%
補足事項			
授業に関する必要事項については、Google Classroom を使用して、メールで行う。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
2回目	トピック7 武道に挑戦！ (Part 4)	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
3回目	トピック7 武道に挑戦！ (Part 4)	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
4回目	トピック7 武道に挑戦！ (Part 5)	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
5回目	トピック7 武道に挑戦！ (Part 5)	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
6回目	トピック8 便利な道具 (Part 4)	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
7回目	トピック8 便利な道具 (Part 4)	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
8回目	トピック8 便利な道具 (Part 5)	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
9回目	トピック8 便利な道具 (Part 5)	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
10回目	トピック9 伝統的な祭り (Part 4)	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
11回目	トピック9 伝統的な祭り (Part 4)	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
12回目	トピック9 伝統的な祭り (Part 5)	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
13回目	トピック9 伝統的な祭り (Part 5)	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
14回目	トピック7～9 復習	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
15回目	トピック7～9 まとめ	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	まるごと 日本のことばと文化 中級1 B1
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。
オフィスアワー	午前8時～午後9時 メールで行う。
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止、携帯電話使用は語句確認時のみとする。

講義科目名称：日本語ライティング&文法Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC710

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q8Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	<p>前半は初級レベルの内容を踏まえて初中級レベルの学習をする。主に「読んでわかる」に重点をおく。自分の気持ち、状況、経験などをより豊かに表現できるようになることを目標とする。</p> <p>後半は初中級レベルの内容を踏まえて、中級レベルの学習をする。同様に「読んでわかる」に重点をおく。読むことに役立つ文法・文型も同時に学習する。実際に使える日本語力向上を目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる。		
専門的知識や技能	自分の意見や感想が表現でき、N3レベル相当の基礎日本語を習得する。また、使える日本語を身に付け異文化の中で自己表現ができる。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	ことばと文化を合わせて学び異文化の中で自己表現ができる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 課題提出や連絡は Google classroom を利用する
- 定期試験 60%、ミニテスト 10%、グループ・ペアワーク 10%、課題 10%、授業への参加・態度 10% の割合で評価する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン可	予習：2回目の語彙を調べ覚える
2回目	初中級 A2/B1 トピック 1 part 4 ・チームを応援する（スポーツ） ・試合について話す（スポーツ）	対面授業 オンライン可	予習：3回目の語句を調べ覚える。 文型の確認をする（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3回目	初中級 A2/B1 トピック 2part 4 ・どんな家に住んでいるかその理由 は何か読み取る（サイトの記事から）	対面授業 オンライン可	予習：4回目の語句を調べ覚える。 文型の確認をする（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4回目	初中級 A2/B1 トピック 3part 4 ・食べ物について（サイトの記事から）	対面授業 オンライン可	予習：5回目の語句を調べ覚える。 文型の確認をする（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
5回目	初中級 A2/B1 トピック 4part 4 ・訪問時のことや気持ちや読み取る （サイトの記事から）	対面授業 オンライン可	予習：6回目の語句を調べ覚える。 文型の確認をする（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
6回目	初中級 A2/B1 トピック 5part 4 ・外国で日本語を学ぶ方法を読み取る （サイトの記事から）	対面授業 オンライン可	予習：7回目の語句を調べ覚える。 ページ 81 スピーチを確認する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
7回目	初中級 A2/B1 トピック 6part 4 ・結婚式のスピーチをする	対面授業 オンライン可	予習：8回目の語句を調べ覚える。 文型の確認をする（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
8回目	初中級 A2/B1 トピック 7part 4 ・内容と相談している人の気持ちを 読み取る（サイトの記事から）	対面授業 オンライン可	予習：9回目の語句を調べ覚える。 ページ 101 を考察する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
9回目	初中級 A2/B1 トピック 8part 4 ・助けを求める	対面授業 オンライン可	予習：10回目の語句を調べ覚える。 文型の確認をする（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
10回目	初中級 A2/B1 トピック 9part 4 ・書いた人が何を思っているか読み 取る（相談と返事のメールから）	対面授業 オンライン可	予習：11回目の語句を調べ覚える。 文型の確認をする（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
11回目	中級 1 トピック 1 part 4 ・自己紹介文を読む	対面授業 オンライン可	予習：12回目の語句を調べ覚える。 文型の確認をする（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
12回目	中級 1 トピック 2part 4	対面授業	予習：13回目の語句を調べ覚える。

	・料理のレシピを読む	オンライン可	文型の確認をする（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
13回目	中級1トピック 3part 4 ・コンサートの感想について書かれた ブログを読む	対面授業 オンライン可	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
14回目	初中級 A2/B1 トピック 1～9part 4まとめ	対面授業 オンライン可	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
15回目	中級1トピック 1～3part 4まとめ	対面授業 オンライン可	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 初中級 A2/B1」 「まるごと日本のことばと文化 中級1」
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業前後で対応
備考・メッセージ	欠席の場合は前もって連絡すること（連絡方法については授業開始時に指示する）

講義科目名称：日本語演習I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC513

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	J.TESTの文字、語彙及び文法力をアップするための授業である。必ず予習として練習問題を事前に解き、分からないことを授業で聞く。授業では解答及び解説をメインに行う。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	J.TESTに合格するという目標に向かっている。		
専門的知識や技能	J.TESTの文字、語彙及び文法力を身につけている。	定期試験	40%
異文化知識・対応能力	J.TESTの文字、語彙及び文法力を身につけている。	予習／復習	25%
課題解決能力	学習法と試験対策を身に付けている。	課題 (ミニテスト含め)	25%
キャリアデザイン力	JTESTに合格することで、進学や就職に活かせる。	学習態度	10%
合計			100%

補足事項	
<p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> ① J.TESTの文字、語彙及び文法力をアップする。 ② 試験用だけではなく、日常生活にも上手く活かせる。 ③ 学習法と試験対策を身に付けている。 <p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「定期試験（40%）」、「予習／復習（25%）」、「課題（25%）」、「学習態度（10%）」。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション ・授業内容を説明すること。 J.TEST 第1回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した第1回の練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
2回目	J.TEST 第1回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した第1回の練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
3回目	J.TEST 第1回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した第1回の練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
4回目	J.TEST 第1回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した第1回の練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
5回目	J.TEST 第2回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した第2回の練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
6回目	J.TEST 第2回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した第2回の練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
7回目	J.TEST 第2回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した第2回の練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
8回目	J.TEST 第2回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した第2回の練習問題（0.5時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
9回目	J.TEST 第3回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した第3回の練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
10回目	J.TEST 第3回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した第3回の練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
11回目	J.TEST 第3回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した第3回の練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまと

			める (2時間)
12回目	J.TEST 第3回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した第3回の練習問題 (1時間) 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる (2時間)
13回目	J.TEST 第4回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した第4回の練習問題 (1時間) 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる (2時間)
14回目	J.TEST 第4回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した第4回の練習問題 (1時間) 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる (2時間)
15回目	J.TEST 第4回 ・解答と解説 ・ピックアップポイント	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定した第4回の練習問題 (1時間) 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる (2時間)
16回目	定期試験	対面のみ	

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「J.TEST (A-C) 実用日本語検定問題集 (A-Cレベル) 2019年」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	動機を大切にした授業をのぞみます。

講義科目名称：日本語演習 I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC513

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	<p>○就職や進学あるいは日本語を使って実務的な仕事をこなすために必要な日本語能力を、J.TEST (D-E レベル) 試験問題に取り組みながら向上させる。</p> <p>○漢字の基礎を学習する。実際の場面に近い状況で必要な情報を読み取ったり、漢字で書いたりする力を向上させる。「わかる」「できる」ことを目標とする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	J.TEST に前向きな姿勢でチャレンジすることができる。初中級レベルの基礎的な漢字の読み書きができる。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	総合力と実用能力を身に付けながら、N3程度で自己表現できる。		
課題解決能力	目標に向かって自ら取り組むことができる。	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	キャリア意識・キャリアデザインビジョンを掲げてその実現を目指すことができる。	授業への参加・態度	20%
合計			100%
補足事項			
<p>○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。</p> <p>○課題提出や連絡は Google classroom を利用する。</p> <p>○定期試験 60%、ミニテスト 10%、予習・復習 10%、授業への参加・態度 20%の割合で評価する。</p>			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン可	予習：(2時間) JTEST 問題に目を通しておく。 漢字たまごに目を通しておく。 JTEST 次回授業で取り扱う問題(指定箇所)を解く。 漢字たまご1課漢字 1~10 を書き、覚える。
2回目	○J.TEST 第1回試験問題 読解試験 (文法・語彙・読解・漢字・記述)	対面授業 オンライン可	予習：JTEST 次回授業で取り扱う問題(指定箇所)を解く。 漢字たまご2課漢字 11~20 を書

	聴解試験 ○漢字たまご1課 始めよう！		き、覚える。(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
3回目	○J.TEST 第1回試験問題 読解試験 (文法・語彙・読解・漢字・記述) 聴解試験 ○漢字たまご2課 ショッピング	対面授業 オンライン可	予習：JTEST 次回授業で取り扱う 問題(指定箇所)を解く。 漢字たまご3課漢字21~32を書 き、覚える。(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
4回目	○J.TEST 第1回試験問題 読解試験 (文法・語彙・読解・漢字・記述) 聴解試験 ○漢字たまご3課 目標に向かって	対面授業 オンライン可	予習：JTEST 次回授業で取り扱う 問題(指定箇所)を解く。 漢字たまご4課漢字33~44を書 き、覚える。(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
5回目	○J.TEST 第2回試験問題 読解試験 (文法・語彙・読解・漢字・記述) 聴解試験 ○漢字たまご4課 申し込んでみよ う！	対面授業 オンライン可	予習：JTEST 次回授業で取り扱う 問題(指定箇所)を解く。 漢字たまご5課漢字45~58を書 き、覚える。(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
6回目	○J.TEST 第2回試験問題 読解試験 (文法・語彙・読解・漢字・記述) 聴解試験 ○漢字たまご5課 住んでいる町で	対面授業 オンライン可	予習：JTEST 次回授業で取り扱う 問題(指定箇所)を解く。 漢字たまご6課漢字59~68を書 き、覚える。(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
7回目	○J.TEST 第2回試験問題 読解試験 (文法・語彙・読解・漢字・記述) 聴解試験 ○漢字たまご6課 旅行の計画	対面授業 オンライン可	予習：JTEST 次回授業で取り扱う 問題(指定箇所)を解く。 漢字たまご7課漢字69~79を書 き、覚える。(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
8回目	○J.TEST 第3回試験問題 読解試験 (文法・語彙・読解・漢字・記述) 聴解試験 ○漢字たまご7課 料理を作ろう！	対面授業 オンライン可	予習：JTEST 次回授業で取り扱う 問題(指定箇所)を解く。 漢字たまご8課漢字80~89を書 き、覚える。(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
9回目	○J.TEST 第3回試験問題 読解試験 (文法・語彙・読解・漢字・記述) 聴解試験 ○漢字たまご8課 引っ越し	対面授業 オンライン可	予習：JTEST 次回授業で取り扱う 問題(指定箇所)を解く。 漢字たまご9課漢字90~100を 書き、覚える。(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
10回目	○J.TEST 第3回試験問題 読解試験 (文法・語彙・読解・漢字・記述) 聴解試験 ○漢字たまご9課 働いているとこ ろで	対面授業 オンライン可	予習：JTEST 次回授業で取り扱う 問題(指定箇所)を解く。 漢字たまご10課漢字101~111 を書き、覚える。(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
11回目	○J.TEST 第4回試験問題 読解試験	対面授業 オンライン可	予習：JTEST 次回授業で取り扱う 問題(指定箇所)を解く。

	(文法・語彙・読解・漢字・記述) 聴解試験 ○漢字たまご10課 遊びに行っ		漢字たまご11課漢字 112～121 を書き、覚える。(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
12回目	○J.TEST 第4回試験問題 読解試験 (文法・語彙・読解・漢字・記述) 聴解試験 ○漢字たまご11課 地域で	対面授業 オンライン可	予習：JTEST 次回授業で取り扱う 問題(指定箇所)を解く。 漢字たまご12課漢字 122～131 を書き、覚える。(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
13回目	○J.TEST 第4回試験問題 読解試験 (文法・語彙・読解・漢字・記述) 聴解試験 ○漢字たまご12課 いろいろな健 康法	対面授業 オンライン可	予習：JTEST 次回授業で取り扱う 問題(指定箇所)を解く。 漢字たまご13課漢字 132～141、 14課漢字 142～152 を書き、覚 える。(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
14回目	○J.TEST 試験問題 これまでの復習 読解試験 (文法・語彙・読解・漢字・記述) 聴解試験 ○漢字たまご13課 学校で ○漢字たまご14課 日本を知る	対面授業 オンライン可	予習：JTEST 既習問題の整理。漢 字たまご15課漢字 153～164 を 書き、覚える。(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
15回目	○J.TEST 試験問題 これまでの復習 読解試験 (文法・語彙・読解・漢字・記述) 聴解試験 ○漢字たまご15課 ニュースをチ ェック ○漢字たまご復習	対面授業 オンライン可	予習：定期試験の準備(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	
教科書・参考書	○「J. TEST 実用日本語検定問題集(D-Eレベル)2019年」 ○漢字たまご初中級
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業前後で対応
備考・メッセージ	欠席の場合は前もって連絡すること(連絡方法については授業開始時に指示 する) ○携帯電話は指定した使用方法のみとする(授業開始時に指示する)

講義科目名称：総合日本語	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC713

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	動画（生活者としての外国人のための日本語学習サイト「つながるひろがるにほんでの暮らし」）の視聴を中心に日本語を学習する。視聴することだけではなく、ロールプレイを通して学習の確認による言葉の定着を図る。実際に使うことを経て、言葉が身に付くことを目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
専門的知識や技能	基礎会話から日常レベルまでの日本語を使い分け様々な表現ができ、また活動ができる。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	生活者として多様な文化に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	自己を認識して振り返りながら目的・学び統合のバランスを図ることができる	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項
<p>○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。</p> <p>○課題提出や連絡は Google classroom を利用する</p> <p>○定期試験 60%、ミニテスト 10%、グループ・ペアワーク 10%、課題 10%、授業への参加・態度 10% の割合で評価する。</p>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明	対面授業 オンライン可	予習:次回授業で取り扱う フレーズ・ことばを覚える

	<p>評価方法の説明 インタビュー レベルチェック (つながるひろがるにほんでのくらし)</p>		<p>(1 時間) 復習: 既習内容の確認 (1 時間)</p>
2 回目	<p>レベル 3 シーン 1 薬局を利用しよう 1-1、1-2 ・動画視聴 ・スクリプト確認 ・フレーズ・ことばを覚える ・グループ・ペアワーク ・ミニテスト</p>	<p>対面授業 オンライン可</p>	<p>予習: 次回授業で取り扱う フレーズ・ことばを覚える (2 時間) 復習: 既習内容の確認 (2 時間)</p>
3 回目	<p>レベル 3 シーン 1 薬局を利用しよう 1-3、文型を覚えよう ・動画視聴 ・スクリプト確認 ・フレーズ・ことばを覚える ・グループ・ペアワーク ・ミニテスト</p>	<p>対面授業 オンライン可</p>	<p>予習: 次回授業で取り扱う フレーズ・ことばを覚える (2 時間) 復習: 既習内容の確認 (2 時間)</p>
4 回目	<p>レベル 3 シーン 2 防災について考えよう 2-1、2-2 ・動画視聴 ・スクリプト確認 ・フレーズ・ことばを覚える ・グループ・ペアワーク ・ミニテスト</p>	<p>対面授業 オンライン可</p>	<p>予習: 次回授業で取り扱う フレーズ・ことばを覚える (2 時間) 復習: 既習内容の確認 (2 時間)</p>
5 回目	<p>レベル 3 シーン 2 防災について考えよう 2-3、文型を覚えよう ・動画視聴 ・スクリプト確認 ・フレーズ・ことばを覚える ・グループ・ペアワーク ・ミニテスト</p>	<p>対面授業 オンライン可</p>	<p>予習: 次回授業で取り扱う フレーズ・ことばを覚える (2 時間) 復習: 既習内容の確認 (2 時間)</p>
6 回目	<p>レベル 3 シーン 3 引っ越し先を探そう 3-1、3-2 ・動画視聴 ・スクリプト確認</p>	<p>対面授業 オンライン可</p>	<p>予習: 次回授業で取り扱う フレーズ・ことばを覚える (2 時間) 復習: 既習内容の確認 (2 時間)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・フレーズ・ことばを覚える ・グループ・ペアワーク ・ミニテスト 		時間)
7回目	<p>レベル3</p> <p>シーン3 引っ越し先を探そう 3-3、文型を覚えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画視聴 ・スクリプト確認 ・フレーズ・ことばを覚える ・グループ・ペアワーク ・ミニテスト 	<p>対面授業</p> <p>オンライン可</p>	<p>予習:次回授業で取り扱う フレーズ・ことばを覚える (2時間)</p> <p>復習:既習内容の確認(2時間)</p>
8回目	<p>レベル3</p> <p>シーン4 引っ越しの準備をしよう 4-1、4-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画視聴 ・スクリプト確認 ・フレーズ・ことばを覚える ・グループ・ペアワーク ・ミニテスト 	<p>対面授業</p> <p>オンライン可</p>	<p>予習:次回授業で取り扱う フレーズ・ことばを覚える (2時間)</p> <p>復習:既習内容の確認(2時間)</p>
9回目	<p>レベル3</p> <p>シーン4 引っ越しの準備をしよう 4-3、文型を覚えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画視聴 ・スクリプト確認 ・フレーズ・ことばを覚える ・グループ・ペアワーク ・ミニテスト 	<p>対面授業</p> <p>オンライン可</p>	<p>予習:次回授業で取り扱う フレーズ・ことばを覚える (2時間)</p> <p>復習:既習内容の確認(2時間)</p>
10回目	<p>レベル2</p> <p>シーン1 場面に応じたあいさつをしよう</p> <p>シーン2 お店のサービスを利用してみよう</p> <p>シーン3 お店を選んでみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ・ペアワーク ・ミニテスト 	<p>対面授業</p> <p>オンライン可</p>	<p>予習:次回授業で取り扱う フレーズ・ことばを覚える (2時間)</p> <p>復習:既習内容の確認(2時間)</p>
11回目	<p>レベル2</p> <p>シーン4 いろいろなお店を利用しよう</p> <p>シーン5 上手に買い物をしよう</p> <p>シーン6 自治会に入ってみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ・ペアワーク ・ミニテスト 	<p>対面授業</p> <p>オンライン可</p>	<p>予習:次回授業で取り扱う フレーズ・ことばを覚える (2時間)</p> <p>復習:既習内容の確認(2時間)</p>

12 回目	レベル 2 シーン 7 イベントに行ってみよう シーン 8 病院に行こう シーン 9 緊急のときは、助をもとめよう ・グループ・ペアワーク ・ミニテスト	対面授業 オンライン可	予習:次回授業で取り扱う フレーズ・ことばを覚える (2 時間) 復習:既習内容の確認(2 時間)
13 回目	レベル 2 シーン 10 役所に行こう シーン 11 図書館に行ってみよう シーン 12 ハガキを送ってみよう シーン 13 インターネットや電話を利用しよう ・グループ・ペアワーク ・ミニテスト	対面授業 オンライン可	予習:次回授業で取り扱う フレーズ・ことばを覚える (2 時間) 復習:既習内容の確認(2 時間)
14 回目	レベル 1, 2, 3 復習まとめ ・グループ・ペアワーク ・ミニテスト	対面授業 オンライン可	予習:次回授業で取り扱う フレーズ・ことばを覚える (2 時間) 復習:既習内容の確認(2 時間)
15 回目	レベル 1, 2, 3 復習まとめ ・グループ・ペアワーク ・ミニテスト	対面授業 オンライン可	予習:定期試験の準備(2 時間) 復習:既習内容の確認(2 時間)
16 回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	日本語学習サイト「つながるひろがるにほんごのくらし」
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	ロールプレイ中心の授業
オフィスアワー	授業前後で対応
備考・メッセージ	欠席の場合は前もって連絡すること(連絡方法については授業開始時に指示する) ○携帯電話は指定した使用方法のみとする(授業開始時に指示する)

講義科目名称：総合日本語	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC713

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	卒業後も日本で生活している留学生のために、日本語でコミュニケーションをとったり、生活できるようになったりすることを目指しての授業です。日本語のレベルにより、学習するシーン、キーワードに応じて学習コンテンツを取り上げています。日本語を勉強し、実際に使うことを通じて、社会と繋がり、生活を広げる目標を設定しています。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近で日常の事柄や様々な場面やことについて詳しく伝えることができる。	会話テスト	40%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。	グループワーク	20%
課題解決能力	様々な場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	25%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	15%
合計			100%

補足事項

到達目標

- ① 卒業後も日本語でコミュニケーションをとったり、生活できる。
- ② 勉強するだけでなく、実際に使って、社会と繋がったり、生活を広げる。

授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。

評価は、「会話テスト（40%）」、「グループワーク（20%）」、「課題（25%）」、「学習態度（15%）」。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	<p>イントロダクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を説明すること。 <p>「場面に応じたあいさつをしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
2回目	<p>「お店のサービスを利用してみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
3回目	<p>「お店を選んでみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
4回目	<p>「いろいろなお店を利用しよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
5回目	<p>「上手に買い物ををしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
6回目	<p>「自治会に入ってみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
7回目	<p>「イベントに行ってみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
8回目	<p>「病院に行こう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
9回目	<p>「緊急の時は助けを求めよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p>

	・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。		復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
10回目	「役所に行こう」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
11回目	「図書館に行ってみよう」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
12回目	「ハガキを送ってみよう」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
13回目	「インターネットや電話を利用しよう」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
14回目	「薬局を利用しよう」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
15回目	「引っ越し先を探そう」 「引っ越しの準備をしよう」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
16回目	会話テスト ・個別で会話テストをする。	対面のみ	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	配布資料
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	動機を大切にした授業をのぞみます。

講義科目名称：比較文化研究	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：MU701

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期（7Q）	2年	2単位	選択	講義(オムニバス)
担当教員				
牟田、岩崎、ローズ、青木、李、近藤、チャウ				

授業概要	<p>コミュニケーション力とグローバルな視点によって多様な人々と積極的に交流することができるようにするため、この授業の目的となるキーワードは、「協働」「比較文化」「異文化理解」「コミュニケーション」とする。これからのグローバル社会では、様々な国の出身者と協働で働き、生活を共にすることがますます必要となる。いくつかのプロジェクトを通して、多様な文化を理解し、価値観の違いを知り、また自国文化に関しての理解を深る。</p> <p>1年次の「異文化理解演習」をベースに、さらに幾つかの国の文化を自国の文化と比較研究をおこなう。特に、日本、韓国、中国、カナダ、ニュージーランドをより深く理解しておくことが重要だと考える。グループワークを通じたプロジェクト型の授業となるため、その中でコミュニケーション力を磨き、協調性を培い、責任感を育てる。グループ全員がそれぞれの立場からそれぞれの資質を活かし、プロジェクトにコミットすることに意義があり、共に学ぶ日本人・留学生が協働して、プロジェクトに取り組み、プレゼンテーション等の作成・発表を通して、5つの到達目標達成を目指す。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる	・グループワーク	40%
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる文化を持つ人々にとって重要な要素の複雑さを理解して、自発的に多面的な場面に関わり、その関わりを発展させることができる ・自己の文化的ルールや偏見について認識し、明確に自分の意見を述べることができ、自己の経験がどのように形成されたか認識し、抱える文化的な偏見に対する気づき、対応する方法が 	・課題	30%

	わかる。		
課題解決能力	・目標に向かって、自ら問題を見つけ、その解決方法を提案、検討、計画し、課題に対して新しい解決方法を考えることができる	・課題	30%
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、課題60%、グループワーク40%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目 9/22	「文化」とは何か、文化研究に取り組む前にこの授業全体のガイダンスをした後、それぞれの考えに関する「文化」の概念を共有した後に、異文化研究や異文化接触時に必要な「文化」の概念とは何かを学習する。	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
2回目 9/22	「多文化共生社会の実現のために」 「多様性」「多文化」「共生」それぞれの言葉が乱立する現代社会において、ホスト側である日本語母語話者が非日本語母語話者にできる支援とは何かを「やさしい日本語」を通して学ぶ、実践できるようになる。	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
3回目 9/29	韓国へようこそ！1 韓国の地理、国旗、花、伝統衣装、お金、住食など韓国の概要について勉強しながら、	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間)

	日本・日本文化との比較を行う。		復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
4回目 9/29	韓国へようこそ！ 2 韓国と日本の国際交流について話して、両国の望ましい関係について議論する。	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
5回目 10/6	中国語の擬声語 中国語で鶏の鳴き声は？猫の鳴き声は？水の音は？日本語と比較しながら楽しく学ぶ。	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
6回目 10/6	中国茶と日本茶 中国の緑茶、黒茶、白茶、青茶、紅茶、黄茶等を実際に試飲しながら、日本茶および日本の茶文化との比較を行う。	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
7回目 10/13	香港文化の紹介 1 香港の伝統文化って何？香港の様々な文化について学びましょう。	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
8回目 10/13	香港文化の紹介 2	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認

	香港の伝統文化って何？香港の様々な文化について学びましょう。		して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
9回目 10/20	カナダの言語/文化/社会事情紹介 ・カナダの言語事情 ・日本と比べたカナダの教育事情 ・日本と比べたカナダの文化/社会事情 ・食文化の違い	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
10回目 10/20	世界/日本の英語とグローバル人材 ・世界の英語、日本の英語 ・これから求められるグローバル人材とは ・英語圏に暮らす人と zoom でインタビュー (予定)	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
11回目 10/27	英文学入門1 英文学とは何か？様々な作品とその特徴について学びましょう。	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
12回目 10/27	英文学入門2 英文学とは何か？様々な作品とその特徴について学びましょう。	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)

13回目 11/10	ニュージーランドの文化1 ニュージーランド史の要約と現在のニュージーランドの紹介。日常生活、人気の趣味・スポーツなども紹介する。	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
14回目 11/10	ニュージーランドの文化2 現代のニュージーランドのマオリ文化を紹介し、伝統的なマオリの織物バッグを作しましょう。	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
15回目 11/17	総まとめ 学習内容まとめ アンケート調査	面接授業	予習：今までの授業内容を改めて整理する(2時間) 復習：とくになし

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	授業中に指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月曜日の1コマ目、火曜日の2コマ目(研究室) *その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	母語が異なるメンバーによるプロジェクトになるため、コミュニケーションが難しい時がある。その場合、辞書などを上手に使うなど、工夫してプロジェクトを完成すること。

講義科目名称：比較文化研究（留学生用シラバス）	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：MU701

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期（7Q）	2年	2単位	選択	講義(オムニバス)
担当教員				
牟田、岩崎、ローズ、青木、李、近藤、チャウ				

授業概要	<p>コミュニケーション力とグローバルな視点によって多様な人々と積極的に交流することができるようにするため、この授業の目的となるキーワードは、「協働」「比較文化」「異文化理解」「コミュニケーション」とする。これからのグローバル社会では、様々な国の出身者と協働で働き、生活を共にすることがますます必要となる。いくつかのプロジェクトを通して、多様な文化を理解し、価値観の違いを知り、また自国文化に関する理解を深める。</p> <p>1年次の「異文化理解演習」をベースに、さらに幾つかの国の文化を自国の文化と比較研究をおこなう。特に、日本、韓国、中国、カナダ、ニュージーランドをより深く理解しておくことが重要だと考える。グループワークを通じたプロジェクト型の授業となるため、その中でコミュニケーション力を磨き、協調性を培い、責任感を育てる。グループ全員がそれぞれの立場からそれぞれの資質を活かし、プロジェクトにコミットすることに意義があり、共に学ぶ日本人・留学生が協働して、プロジェクトに取り組み、プレゼンテーション等の作成・発表を通して、5つの到達目標達成を目指す。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる	・グループワーク	40%
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる文化を持つ人々にとって重要な要素の複雑さを理解して、自発的に多面的な場面に関わり、その関わりを発展させることができる ・自己の文化的ルールや偏見について認識し、明確に自分の意見を述べることができ、自己の経験がどのように形成されたか認識し、抱える文化的な偏見に対する気づき、対応する方法が 	・課題	30%

	わかる。		
課題解決能力	・目標に向かって、自ら問題を見つけ、その解決方法を提案、検討、計画し、課題に対して新しい解決方法を考えることができる	・課題	30%
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、課題60%、グループワーク40%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目 9/22	韓国へようこそ！1 韓国の地理、国旗、花、伝統衣装、お金、住食など韓国の概要について勉強しながら、日本・日本文化との比較を行う。	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
2回目 9/22	韓国へようこそ！2 韓国と日本の国際交流について話して、両国の望ましい関係について議論する。	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
3回目 9/29	日系女性作家の作品から読み解く文化1 日本の移民の歴史と共に、移民先で育った女性作家が作品を通して表現する移民文化論。	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間)

			復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
4回目 9/29	日系女性作家の作品から読み解く文化2 日本の移民の歴史と共に、移民先で育った女性作家が作品を通して表現する移民文化論。	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
5回目 10/6	中国語の擬声語 中国語で鶏の鳴き声は？猫の鳴き声は？水の音は？日本語と比較しながら楽しく学ぶ。	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
6回目 10/6	中国茶と日本茶 中国の緑茶、黒茶、白茶、青茶、紅茶、黄茶等を実際に試飲しながら、日本茶および日本の茶文化との比較を行う。	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
7回目 10/13	カナダの言語/文化/社会事情紹介 ・カナダの言語事情 ・日本と比べたカナダの教育事情 ・日本と比べたカナダの文化/社会事情 ・食文化の違い	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
8回目 10/13	世界/日本の英語とグローバル人材	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認

	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の英語、日本の英語 ・これから求められるグローバル人材とは ・英語圏に暮らす人と zoom でインタビュー（予定） 		<p>して、関連情報を集める（2時間）</p> <p>復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。（2時間）</p>
9回目 10/20	<p>香港文化の紹介 1</p> <p>香港の伝統文化って何？香港の様々な文化について学びましょう。</p>	面接授業	<p>予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める（2時間）</p> <p>復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。（2時間）</p>
10回目 10/20	<p>香港文化の紹介 2</p> <p>香港の伝統文化って何？香港の様々な文化について学びましょう。</p>	面接授業	<p>予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める（2時間）</p> <p>復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。（2時間）</p>
11回目 10/27	<p>ニュージーランドの文化 1</p> <p>ニュージーランド史の要約と現在のニュージーランドの紹介。日常生活、人気の趣味・スポーツなども紹介する。</p>	面接授業	<p>予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める（2時間）</p> <p>復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。（2時間）</p>
12回目 10/27	<p>ニュージーランドの文化 2</p> <p>現代のニュージーランドのマオリ文化を紹介し、伝統的なマオリの織物バッグを作りましょう。</p>	面接授業	<p>予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める（2時間）</p> <p>復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。（2時間）</p>

<p>13回目 11/10</p>	<p>日本の書道1 東北アジアでは書が発達し、様々な流派が生まれた。書は書き文字としての運用機能だけではなく、古くから芸術的機能も果たしている。本学の建学の精神である鎮信流茶道においても、床の間に飾られている掛け軸はそのすべてに書が認められており、格を上げる役割をはたしている。本講義では、日本の文字の発達を学ぶと共に、冠婚葬祭時に使用頻度の高い筆ペンを使い、カナ文字の書字を体験する。</p>	<p>面接授業</p>	<p>予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。（2時間）</p>
<p>14回目 11/10</p>	<p>日本の書道2 書字をする場合、様々な道具を使う。本講義では、筆を使って、日本の書の体験をする。書体により文字が変化していく様や運筆を体験しながら、かな文字の変化に気づき、丁寧な文字が書けるようになる。自分で選んだ漢字を作品として作ることができるようになる。</p>	<p>面接授業</p>	<p>予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：授業内容をまとめた内容を確認しながら、新たな情報を追加する。（2時間）</p>
<p>15回目 11/17</p>	<p>日本の華道 華道も日本において発達を遂げた。本学の建学の精神である鎮信流茶道においても、床の間に飾られているお花は、季節感を出すだけではなく、おもてなしの心を表す役割をはたしている。本講義では小原流の華道の心を知ると共に、体験し生けることができるようになる。</p>	<p>面接授業</p>	<p>予習：今までの授業内容を改めて整理する（2時間） 復習：とくになし</p>

<p>科目（教職課程用）</p>	
<p>教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等</p>	
<p>教科書・参考書</p>	<p>授業中に指示する。</p>

履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月曜日の1コマ目、火曜日の2コマ目（研究室） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	母語が異なるメンバーによるプロジェクトになるため、コミュニケーションが難しい時がある。その場合、辞書などを上手に使うなど、工夫してプロジェクトを完成すること。

講義科目名称:異文化理解演習	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:MU101

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q2Q	1年	2	必修	演習
担当教員				
牟田、岩崎、近藤、白石、青木、李、チャウ				

授業概要	<p>本講座は国際コミュニケーションコースの専門教育科目の中でも1年次に配置された多文化理解基礎力の育成を目的とした演習授業である。</p> <p>本講義では、まず我々が日常的に使用している「文化」とは何かを明らかにし、国や国籍と同様に語られることの多い社会言語に関する理解を促す。異文化理解演習では日本人学生と留学生がひとつのチームになることで異文化に触れながら、課題解決に取り組むことを目的としている。</p> <p>まず、5月のHTB研修に向けたチームで、チーム紹介ビデオ作成する。研修先のハウステンボスでは佐世保市の産業特色である観光業に調査を行い、留学生から見たアミューズメントパークの印象や観光としての価値などをチーム内で共有する。このような活動を通してチームでの課題解決能力の育成を図ると共に、多文化共生社会の実現のために多様な価値感を認識し、共生社会のために自分ができることが実践できるようになる。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して、常に親和的な態度で関わることができる	授業参加態度	10
専門的知識や技能	動画や画像を用い、レイアウトなどにも配慮した効果的なプレゼンテーションができるようになる。 外国語で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解することができる。	課題・作成物	20
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、行動に取り入れることができる。また、共通の理解を得るために交渉を始めることができる	授業参加態度	40
課題解決能力	相手の意見を理解し、自分の意見を適確に伝え、自分の感情をコントロールすることができる。また、柔軟に物事に取組み、チームで協力して活動することができる	課題・作成物 発表	20 10
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			

・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。
 ・本講義では発表・作成物40%、授業参加態度50%、発表10%の割合で評価する
 ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目 4/7	「オリエンテーション」 1. 講義の進め方 2. 自己紹介 3. 仲間探し 4. チーム作り 5. 「文化」を知る①	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。Google classroomのクラスに登録する(2時間) 復習: 本日の学びに関して出されている課題をGoogle classroomへ提出(2時間)
2回目 4/14	「文化」を知る② 文化とはなにかを学ぶ。これからのチーム活動の中で、それらの知識をもって活動をする	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙の意味を調べて覚えておく(2時間) 復習: 本日の学びに関して出されている課題をGoogle classroomへ提出(2時間)
3回目 4/21	文化を知る③ 異文化とは、コミュニケーションとは 講義を聞いて学びます	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙の意味を調べて覚えておく(2時間) 復習: 本日の学びに関して出されている課題をGoogle classroomへ提出(2時間)
4回目 4/28	チーム員紹介動画作成① 1. チーム構成 2. 自己紹原稿行づくり 3. 役割・計画 4. スケジュール計画 5. 準備物	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙の意味を調べて覚えておく(2時間) 復習: 本日の学びに関して出されている課題をGoogle classroomへ提出(2時間)
5回目 5/12	チーム員紹介動画作成① 1. プレゼンテーションを知る 2. プレゼンで大切なこと 3. 著作権について 4. グループメンバーについて 5. 連絡方法の確認	対面授業	予習: チーム紹介の取材等(2時間) 復習: 本日の学びに関して出されている課題をGoogle classroomへ提出(2時間)
6回目 5/19	チーム員紹介動画作成・HTB研修準備 プロジェクトの説明 計画の再確認 持ち物の確認、集合時間	対面授業	予習: チーム紹介の発表準備(2時間) 復習: 本日の学びに関して出されている課題をGoogle classroomへ提出する(2時間)
7回目 5/21	ハウステンボス研修① * 各自集合時間を守ること * 学生証を必ず持ってくること ハウステンボス内、課題解決ミッション	対面授業	予習: チーム紹介ビデオの発表準備(2時間) 復習: 本日の学びに関して出されている課題をGoogle classroomへ提出する(2時間)
8回目 5/21	ハウステンボス研修②	対面授業	予習: CM計画をまとめておく(2時間)

	ハウステンボス内、課題解決ミッション		復習:本日の学びに関して出されている課題を Google classroomへ提出する(2時間)
9回目 5/21	ハウステンボス研修③ ハウステンボス内、課題解決ミッション	対面授業	予習:ワークシートに沿って活動できるように準備(1時間) 復習:チームでの活動をまとめる(3時間)
10回目 5/21	ハウステンボス研修④ ハウステンボス内、課題解決ミッション	対面授業	予習:これまでの活動や練習を再度確認する(1時間) 復習:チームでの活動をまとめる(3時間)
11回目 5/26	活動振り返り 1. ハウステンボスで撮った写真の共有 2. アンケート入力 3. 動画編集	対面授業	予習:これまでの活動や練習を再度確認する(1時間) 復習:チームでの活動をまとめる(3時間)
12回目 6/2	活動振り返り、動画作り① 1. 異文化コミュニケーション振り返り 2. 動画編集	対面授業	予習:これまでの活動の写真動画を共有しておく(1時間) 復習:チームでの活動をまとめる(3時間)
13回目 6/9	異文化コミュニケーション、動画作り② 1. 様々な異文化体験 2. 動画編集	対面授業	予習:これまでの活動や写真等を共有する(1時間) 復習:チームでの活動をまとめる(3時間)
14回目 6/16	異文化コミュニケーション、動画作り③ 1. 様々な異文化体験 2. 動画編集	対面授業	予習:これまでの活動や練習を再度確認する(1時間) 復習:チームでの活動をまとめる(3時間)
15回目 6/23	異文化コミュニケーション、動画発表 1. 様々な異文化体験 2. 動画発表 3. 授業アンケート	対面授業	予習:これまでの活動や練習を再度確認する(1時間) 復習:これまでの学びに関して出されている課題を Google classroomへ提出する

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	『日本語を学ぶ人のためのアカデミックライティング講座』自己紹介
履修条件	なし
履修上の注意	積極的な行動をすること
オフィスアワー	前期: 木曜日2コマ目(11:00~12:00)研究室 後期: 火曜日1コマ目(9:30~10:30)研究室
備考・メッセージ	本講義では課題発表を課すため、動画作成やPPTで発表できるようにPCスキルを磨いておくこと

国際・時事研究	授業コード:
英文科目名称: Research of Current Affairs	ナンバリング: MU601

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>最近の国内外の時事問題に関して、広く知識を獲得し、自分の意見を持ち、発言できるようにする。就職活動や留学する際に、基本的な時事問題を理解し、それについて自分の意見を述べることは非常に重要である。</p> <p>google classroomに使用するサイトのリンクやデータ等を配置する。</p> <p>授業の中では、主に以下をおこなう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示し解説する時事問題に関して議論する。 ・受講者が気になった新聞やネット記事を読み、内容をマインドマップに落とし込み、そのマインドマップを元に記事内容を全員に説明する。 ・同時に、プレゼンした記事に関して「自分の意見」を述べ、他の学生と意見交換を行い、時事問題について理解を深める。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースを正しく理解でき、記事内容を簡潔に要約(マインドマップ化)できる。 ・取り扱う国内・国際時事用語を正しく理解できる。 ・マインドマップの概念を理解できる。 ・情報を整理し、分かり易いマインドマップを作成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最終課題 ・毎回の授業でのタスク ・授業への参加・態度 	<p>30%</p> <p>30%</p> <p>10%</p>

異文化知識・対応能力			
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・要約した記事内容を口頭で第三者にわかりやすく説明できる。 ・記事に関して、自分の意見を論理的に簡潔に述べるができる。 		30%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・「授業内で行うタスク」、「授業や活動への参加・態度」で、総合的に評価する。 ・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 ・「グループ内プレゼン」→「グループ代表者による全体プレゼン(ローテーション)」を行い、徐々に人前でのプレゼンに慣れるようにする。また、決められた時間で自分の考えや意見をわかりやすく伝える力をつける。 ・プレゼンテーションに関しては、ルーブリック評価表を使用する。 https://drive.google.com/file/d/1YOUijafajqaZ3thTOBrbU8S7lmhUnCr/view?usp=sharing ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 			

授業計画	授業内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	<p>オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞の構成を理解し、効率的な読み方を学習する。 ・マインドマップの理解、及び作成方法を学ぶ。 	対面授業	<p>予習: 提示するマインドマップの説明動画を視聴し、概要を理解しておく。(2時間)</p> <p>復習: 学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次回の授業で発表する準備をしておく。(2時間)</p>

2回目	<p>国際情勢理解1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	対面授業	<p>予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間)</p> <p>復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次回の授業で発表する準備をしておく。(2時間)</p>
3回目	<p>国際情勢理解2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	対面授業	<p>予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間)</p> <p>復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次回の授業で発表する準備をしておく。(2時間)</p>
4回目	<p>国際情勢理解3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	対面授業	<p>予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間)</p> <p>復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次回の授業で発表する準備をしておく。(2時間)</p>

5回目	<p>国際情勢理解4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	対面授業	<p>予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間)</p> <p>復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次回の授業で発表する準備をしておく。(2時間)</p>
6回目	<p>紛争と領土問題1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	対面授業	<p>予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間)</p> <p>復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次回の授業で発表する準備をしておく。(2時間)</p>
7回目	<p>紛争と領土問題2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	対面授業	<p>予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間)</p> <p>復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次回の授業で発表する準備をしておく。(2時間)</p>

8回目	<p>社会1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	対面授業	<p>予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間)</p> <p>復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次回の授業で発表する準備をしておく。(2時間)</p>
9回目	<p>社会2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	対面授業	<p>予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間)</p> <p>復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次回の授業で発表する準備をしておく。(2時間)</p>
10回目	<p>社会3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	対面授業	<p>予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間)</p> <p>復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次回の授業で発表する準備をしておく。(2時間)</p>

11回目	<p>産業・資源1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	対面授業	<p>予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間)</p> <p>復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次回の授業で発表する準備をしておく。(2時間)</p>
12回目	<p>産業・資源2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	対面授業	<p>予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間)</p> <p>復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次回の授業で発表する準備をしておく。(2時間)</p>
13回目	<p>自然・地理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション 	対面授業	<p>予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間)</p> <p>復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次回の授業で発表する準備をしておく。(2時間)</p>

14回目	旅行・世界遺産 ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション	対面授業	予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間) 復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次回の授業で発表する準備をしておく。(2時間)
15回目	まとめ ・授業で取り扱った内容に関して、総復習をおこなう。	対面授業	予習:これまで学習した項目の内容を再確認しておく。(2時間) 復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。(2時間)
16回目	定期試験	対面授業	授業内で試験内容(課題)について説明する。

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	・できるだけ当日を含む1週間以内の記事を取り扱います。 ・参考として、「なるほど地図帳世界2023」(昭和社)、各社新聞、ネットニュース、その他、授業中に指示
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	就職活動においても、時事問題に関心を持ち、理解を深めることは大切である。できるだけ毎日、新聞やネットニュースを読み、テレビ・ラジオのニュースを視聴することを心がけること。

講義科目名称：キャリアガイダンス	授業コード：24141
英文科目名称：Career Guidance	ナンバリング：CD101

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1stQ・2ndQ	1年	2	選択	講義
担当教員				
中野 明人				

授業概要	<p>・この授業はキャリアデザイン力を身につけることを目的としている。2年間の学修成果を活用したキャリアデザインに取り組むことができることを到達目標とする。</p> <p>・本講義では、①自己理解をし、自分について説明することができる、②社会理解を行い、2年後の進路選択をする上でどのような力が必要かを知る、③その後体験するギャップイヤーに備え、長期学外学修で何を学ぶのかについて整理することができることも目標とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力	<ul style="list-style-type: none"> 自己理解を通して、自分自身について説明できるようになる。 職業理解を通して、自分の生き方やパーソナリティと適職について説明できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への参加・態度 課題提出 プレゼンテーション 	10% 80% 10%
合計			100%
補足事項			
<p>本講義では、1stQ終了時の課題の中間提出（40%）、2ndQ終了時の課題の最終提出（40%）、最終回授業でのプレゼンテーション（10%）、授業への参加・態度10%の割合で評価する。</p> <p>・授業後に行うコミュニケーションシート以外にも、「Google Classroom」での質問も大いに歓迎します。</p>			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	<p>「ガイダンス この授業がめざすもの」</p> <ul style="list-style-type: none"> この授業が、キャリアをデザインする上でどのような役割を果たすのかについて理解する。 就活事情の今について、新聞の切り抜きを見て、考える。 	面接授業	<p>予習：シラバスを読み、キャリアについて調べる（2時間）。</p> <p>復習：今の就職戦線について自分なりの理解の内容をまとめる（2時間）。</p>

2 回目	<p>「客観的な自分のイメージ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己認識をする。 ・理想の自己イメージについて考える。 ・自分のパーソナリティ分析をする（ペアワーク）。 	面接授業	<p>予習：この 1 週間の就職に関連する記事を調べる。（2 時間）</p> <p>復習：ありたい自分を再度確認しまとめる（2 時間）。</p>
3 回目	<p>「自分の行動特徴（エゴグラム）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エゴグラムテストで自分の行動特徴を知る。 ・自分のセルフコントロールしたい自我について考える。 ・ジョハリウィンドウについて学ぶ。 	面接授業	<p>予習：この 1 週間の就職に関連する記事を調べる（2 時間）。</p> <p>復習：自我についてまとめる（2 時間）。</p>
4 回目	<p>「自分のパーソナリティと適職の関係について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろんな職業について説明する ・興味のある職業調べを行う。 	面接授業	<p>予習：この 1 週間の就職に関連する記事を調べる（2 時間）。</p> <p>復習：自分の知らなかった職業についてまとめる（2 時間）。</p>
5 回目	<p>「自分のパーソナリティと適職の関係について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分にとって大切なものは何かについて考える。 ・自分と職業の関係についてまとめる。 	面接授業	<p>予習：この 1 週間の就職に関連する記事を調べる（2 時間）。</p> <p>復習：自分の価値観についてまとめる（2 時間）。</p>
6 回目	<p>「キャリア選択のバリアーの正体」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考え方のクセに気づく。 	面接授業	<p>予習：この 1 週間の就職に関連する記事を調べる（2 時間）。</p> <p>復習：自分の一番のこだわりについて確認する（2 時間）。</p>
7 回目	<p>「キャリア選択のバリアーの克服法」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思い込みについて考え、その思い込みについて修正を試みる。 ・自分がどうしたいかについて考えをまとめる。 	面接授業	<p>予習：この 1 週間の就職に関連する記事を調べる（2 時間）。</p> <p>復習：思い込みの克服法についてまとめる（2 時間）。</p>
8 回目	<p>「今までのライフスタイル」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの自分を振り返り、ライフラインを書いてみる。 ・影響のあった出来事や人物について書き出し、どんな影響を受けたのかについてまとめる。 	面接授業	<p>予習：この 1 週間の就職に関連する記事を調べる（2 時間）。</p> <p>復習：一番大切だと思ったエピソードについてまとめる（2 時間）。</p>
9 回目	<p>「ライフスタイルと職業生活」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業志向条件と勤務条件から職業について調べる ・自分なりに必要な勤務条件について考える。 	面接授業	<p>予習：この 1 週間の就職に関連する記事を調べる（2 時間）。</p> <p>復習：勤務条件と職業生活について自分の考えをまとめる（2 時間）。</p>
10 回目	<p>「キャリアレインボーを作る」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアレインボーを描いてみる。 	面接授業	<p>予習：この 1 週間の就職に関連する記事を調べる（2 時間）。</p>

	・キャリア計画と目標について、各年代ごとにまとめ、行動目標を作る		復習：一番自分が生き生きしている年代をイメージし言葉にする（2時間）。
11回目	「仕事選択職業レディネス度 職業レディネスチェック 資格取得の意志決定」 ・職業レディネスチェックをする。 ・自分が選択した職業と資格について調べてまとめる。	面接授業	予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる（2時間）。 復習：具体的な目標の実現のためにまず何に取り組むか決定する（2時間）。
12回目	「就職の意志決定」 ・企業情報を自分で調べてシートにまとめる。	面接授業	予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる（2時間）。 復習：授業で調べられなかった企業についてまとめる（2時間）。
13回目	「自分情報」 ・自分情報シートについてまとめてみる。	面接授業	予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる（2時間）。 復習：シートを完成させる（2時間）。
14回目	「5年後と10年後の自分」 ・5年後と10年後の、「ありたい姿」の私について考えをまとめる。 ・就職活動のアクションプランを自分で計画する。	面接授業	予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる（2時間）。 復習：就活のポイントについてまとめておく（2時間）。
15回目	「未来の自分をプレゼンする」 ・5年後と10年後の自分について発表し、聞きあい、評価する。 ・就職活動だけでなく、卒業後の自分自身の生き方を主体的に考え、デザインすることができるようになる	面接授業	予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる（2時間）。 復習：ギャップイヤーでどんな体験をしたいかについてまとめる（2時間）。
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	日頃からニュースなど時事問題に関心を持つことが大切です。必ずニュースに目を通して授業に臨んでください。
オフィスアワー	・木曜日の放課後をオフィスアワーとして設定しています。事前に予約を取って研究室

	<p>を訪問してくださると助かります。</p> <p>・また、水曜日以外の昼休みもオフィスアワーとして利用できますので、ぜひ質問にきてください。</p>
備考・メッセージ	<p>就職活動で内定をえるのはゴールではなく、スタートラインに立つということです。よりよい人生を主体的に生きるためには、キャリアデザインがとても大切になります。計画を立てると修正もできます。早い段階でキャリアについて考えることが大事になります。</p>

講義科目名称：キャリアガイダンス	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CD101

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2	2	選択	
担当教員				
梶谷 良子 ・ 山口 佳奈子				

授業概要	<p>日本で就職を希望する留学生のうち、就職に成功する学生は約 50%ということが言われている。一方で日本人学生はほぼ 100%が就職できている。この差の要因として日本固有の就職活動文化が多く指摘されている。</p> <p>日本における就職活動を留学生が行う場合、まずは日本式の就職に関わる知識がないまま、自国の就職プロセスを踏んでしまうため、失敗に終わることがある。また、進学キャリアを目指す学生も入学試験に必要な要件である出席率やEJU試験などに関し、知識不足によって進学ができない学生もいる。</p> <p>そのため、本講義では、留学生に特化した就職や進学に関する一般的知識、所属しているコースと就労ビザの関係、就職ビザへ切り替える際の公的税金との関係などや、進学の際の成績や出席率などーの基礎的な知識習得をするだけでなく、一方で日本における面接時に必要な身だしなみや、挨拶、受け答えの知識を学び、就職や進学の面接に備えるための授業とする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・就職面接時に正しいマナー・日本語で自分の気持ちを表現することができる。	筆記試験 実技試験 講義への参加・ 態度	60% 30% 10%
専門的知識や技能	・自分で現在の在留資格の内容を、HP などを利用し正しく理解することができる。		
異文化知識・対応能力	・社会人として働くために必要なビジネスマナー・コミュニケーション能力を身につける。		
課題解決能力	・自らの課題解決に向けて真摯に取り組むことができる。		
キャリアデザイン力	・卒業後の進路を見据え、積極的に情報収集に努め、考え行動する。		
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	ガイダンス 授業の目標と評価の方法 担当教員による聞き取りと現状把握 教科書の説明	対面授業	
2回目	在留資格 ・現在の在留資格について ・資格外活動について	対面授業 オンライン可	予習：GoogleClassroomのクラスに登録（1時間） 復習：本日の学びに関して復習する（1時間）
3回目	日本企業における「面接」文化 ・3つの面接の種類とその方法を座学で学ぶ ・日本の面接官の判断基準を知る ・面接のための3つのキーワードを知り、準備をする ・p148~149 身だしなみを確認し、備える	対面授業	予習：配布プリント p142~145 までを読んでおく（1時間） 復習：授業中に学んだ中で、理解に繋がらなかったところをまとめて次の時間までに質問をしておく（2時間）
4回目	在留資格① ・就労可能な在留資格について（技術・人文知識・国際業務） ・小テスト	対面授業 オンライン可	予習：配布プリントを読み、未習語彙を調べる（2時間） 復習：小テストの復習（1時間）
5回目	面接の合否を分ける第一印象 ・第一印象とは ・4つのポイントを知り、実行できるようになる ・話し方について学び、実行できるようになる ・身だしなみをお互いに確認する	対面授業	予習：配布プリント p146~149 までを読んでおく（1時間） 復習：授業中に学んだ中で、理解に繋がらなかったところをまとめて次の時間までに質問をしておく（2時間） ※履歴書の準備
6回目	在留資格② ・就労可能な在留資格について（特定技能・特定活動46号） ・小テスト	対面授業 オンライン可	予習：配布プリントを読み、未習語彙を調べる（2時間） 復習：小テストの復習（1時間）
7回目	会話のマナー ・面接の中の会話の中で、敬語・謙譲語・丁寧語を使うことができるようになる。また、語彙レベルで	対面授業	予習：配布プリント p150~155 までを読んでおく（1時間） 復習：授業中に学んだ中で、理解に繋がらなかったところをまとめて次の時間までに質問

	<p>なく、文章で使うことができるようになる</p> <p>電話のマナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ p152 場面に応じた適切な連絡方法を理解し、実行できるようになる ・ 学校生活で使用する機会を想定し、練習、実行できるようになる 		<p>をしておく (2時間)</p>
8 回目	<p>在留資格③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在留資格の変更手続きについて 1 ・ 卒業後の就職活動について ・ 高度人材ポイント制 	<p>対面授業 オンライン可</p>	<p>予習：配布プリントを読み、未習語彙を調べる (2時間)</p> <p>復習：小テストの復習 (1時間)</p>
9 回目	<p>面接の手順とマナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対面の面接を実施された場合とウェブ面接の場合の両方に備えるためのマナーを学び実行できるようになる ・ 対面・ウェブ面接における一連の流れを理解し、つまづくことの内容に練習する 	<p>対面授業</p>	<p>予習：配布プリント p156～159 までを読んでおく (1時間)</p> <p>復習：授業中に学んだ中で、理解に繋がらなかったところをまとめて次の時間までに質問をしておく (2時間)</p>
10 回目	<p>在留資格④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在留資格の変更手続きについて 2 ・ 卒業後の手続きとその重要性 	<p>対面授業 オンライン可</p>	<p>予習：配布プリントを読み、未習語彙を調べる (2時間)</p> <p>復習：小テストの復習 (1時間)</p>
11 回目	<p>中間テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまで学んだ内容を確認 	<p>対面授業</p>	<p>予習：配布プリント p142～159 までを読んでまとめておく (1時間)</p> <p>復習：授業中に学んだ中で、理解に繋がらなかったところをまとめて次の時間までに質問をしておく (2時間)</p>
12 回目	<p>日本の社会制度①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課税制度について ・ 福利厚生について ・ 小テスト 	<p>対面授業 オンライン可</p>	<p>予習：配布プリントを読み、未習語彙を調べる (2時間)</p> <p>復習：小テストの復習 (1時間)</p>
13 回目	<p>面接で聞かれる質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ p160 に書かれた質問に対して、答えることができるようになる。 ・ 会社や大学が求める人材と、自己 	<p>対面授業</p>	<p>予習：配布プリント p160～162 までを読んでおく (1時間)</p> <p>作成した履歴書をまとめておく</p>

	紹介や活動がリンクしているか 確認する ・ p162 留学生が必ず聞かれる内容 に関して、全て答えることができ るかを準備する		復習：授業中に学んだ中で、理解に 繋がらなかったところをま とめて次の時間までに質問 をしておく（2時間）
14 回目	日本の社会制度② ・雇用形態について ・労働条件について ・社会保障制度について ・小テスト	対面授業 オンライン可	予習：配布プリントを読み、未習語 彙を調べる（2時間） 復習：小テストの復習（1時間）
15 回目	面接試験 ・ p163 の <input checked="" type="checkbox"/> シートに則してテスト を行います	対面授業	予習：配布プリント p142～162 ま でを読んでおく 試験に備える（2時間） 復習：テストの際に指摘された内容 に関して、改善を行いキャリ アの実現のために活かす （1時間）
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	
教科書・参考書	『留学生のための就職内定ワークブック』 日本能率協会マネジメントセンター
履修条件	2 年生
履修上の注意	積極的な授業参加を望みます
オフィスアワー	授業時間の前後 10 分間
備考・メッセージ	質問等はメール、Google classroom にて受け付けます

講義科目名称：ビジネス文書	授業コード：34141
英文科目名称：	ナンバリング：CD401

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1stQ・2ndQ	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
梶谷 良子				

授業概要	サービス接遇を学ぶことで人に対する思いやり、心配り、気遣いを形として表す方法を身につける。サービススタッフとして必要な専門的知識を養う。サービス接遇検定の合格を目指す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	サービススタッフとして必要とされる資質を構築する	筆記試験	70%
確かな専門的知識や技能	サービススタッフが持つ専門的知識や技能を理解できる		
異文化知識・対応能力	社会常識をもって公の場にふさわしい態度（言葉遣いや話し方）を身につけることができる		
課題解決能力	サービス接遇検定試験2級の合格を目指す	検定試験合格	20%
キャリアデザイン力	サービス接遇検定試験2級を取得し、さらに上級を目指す	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義のすすめ方・サービス接遇検定について説明する	対面授業 オンライン可	
2回目	「おもてなしの心とは」 「サービス」と「接遇」について理解する	対面授業 オンライン可	予習：「サービス」と「接遇」について考えておく 復習：講義内容の確認

3回目	「サービススタッフの資質」 必要とされる要件を説明する	対面授業 オンライン可	予習：前回の講義の確認(1時間) 復習：配布プリント問題を解く(1時間)
4回目	「サービススタッフの資質」 従業要件を理解する	対面授業 オンライン可	予習：サービススタッフについて 考えておく 復習：配布プリント問題を解く(1時間)
5回目	「専門知識」 サービス知識の説明	対面授業 オンライン可	予習：前回の講義の確認(1時間) 復習：配布プリント問題を解く(1時間)
6回目	「専門知識」 商業用語・経済用語を理解する	対面授業 オンライン可	予習：配布プリントの確認(1時間) 復習：講義内容の確認(1時間)
7回目	「一般知識」 社会常識を理解する	対面授業 オンライン可	予習：社会常識について考えておく(1時間) 復習：配布プリント問題を解く(1時間)
8回目	「対人技能」 人間関係・対人心理を説明する	対面授業 オンライン可	予習：配布プリント問題を解く(1時間) 復習：講義内容の確認(1時間)
9回目	「対人技能」 接遇知識を説明する	対面授業 オンライン可	予習：配布プリント問題を解く(1時間) 復習：講義内容の確認(1時間)
10回目	「対人技能」 接遇用語を理解する	対面授業 オンライン可	予習：接遇用語を確認しておく(1時間) 復習：配布プリント問題を解く(1時間)
11回目	「実務技能」 問題処理(苦情や問い合わせ)について説明する	対面授業 オンライン可	予習：苦情について考えておく(1時間) 復習：配布プリント問題を解く(1時間)
12回目	「実務技能」 環境整備について説明する	対面授業 オンライン可	予習：配布プリント問題を解く(1時間) 復習：講義内容の確認(1時間)
13回目	「実務技能」 社交儀礼について説明する	対面授業 オンライン可	予習：マナーテキストブックを読み返す(1時間) 復習：配布プリント問題を解く(1時間)

14 回目	「総まとめ（講義の振り返り）」 総合問題を解く（解答・解説）	対面授業 オンライン可	予習：総合問題プリントを解く（1時間） 復習：総合問題プリントを解く（1時間）
15 回目	「最終対策問題」 総合問題を解く（解答・解説）	対面授業 オンライン可	予習：総合問題プリントを解く（1時間） 復習：総合問題の再確認（1時間）
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	サービス接遇検定 2 級に必要な事項・問題のプリントを配布する
履修条件	
履修上の注意	原則としてビジネスに相応した身だしなみ（制服又はスーツ）、髪型を整えて出席すること
オフィスアワー	授業の前後又は Classroom で対応する
備考・メッセージ	自身の資格取得のため 2 級だけではなく準 1 級、1 級と上を目指してほしい

講義科目名称：ビジネス文書	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CD401

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q&4Q	1年（留学生）	2	選択	演習
担当教員				
近藤 直美				

授業概要	ビジネス場面で必要とされる文書形式を学び、日本企業で問われる日本語能力の向上、及び日本社会でのルールについての習得を目指す
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら、自ら考え行動する。社会のルールや状況に適した振る舞いができる。他者に対して親和的な態度で関わるができる。	授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	日本語で身近な日常の事柄について直接的な情報を伝えたり、自らの意思を表現したりし、相手の意思を理解することができる。	定期試験	50%
異文化知識・対応能力	自分と異なる文化を持つ人々との関わりに対して得た知識を基本として、単純な疑問を基に理解しようとする考え方を持つことができる。自己の文化的ルールや偏見を認識し、維持、改善をしようと試みることができる。	発表	5%
課題解決能力	目標に向かって自らやるべきことを見つけて取り組むことができ、周囲の人々に声をかけ、動かすことが多少できる。自ら問題を見つけ、解決方法を検討することが多少できる。社会のルールに則って自らの発言や行動を適切に律しポジティブに捉えて対応することが多少できる。	小テスト	20%
キャリアデザイン力	自分のパーソナリティと適職の関係について理解している。ビジネスを実践していくにあたり、理解を持ち、	文書作成	20%
合計			100%

補足事項

- ・ 授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Google クラウドルームで受け付けます。
- ・ 本授業では定期試験 50%、小テスト 20%、課題 20%、授業への参加・態度 10%の割合で評価します。
- ・ 15分以上の遅刻は欠席とします。
- ・ 授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。
- ・ 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション	対面授業	予習：(2時間) 復習：(2時間)
2回目	V 仕事の日本語力 1 敬語	対面授業	予習：(2時間) 復習：(2時間)
3回目	V 仕事の日本語力 1 敬語	対面授業	予習：(2時間) 復習：(2時間)
4回目	V 仕事の日本語力 1 敬語	対面授業	予習：(2時間) 復習：(2時間)
5回目	V 仕事の日本語力 2 挨拶	対面授業	予習：(2時間) 復習：(2時間)
6回目	V 仕事の日本語力 2 挨拶	対面授業	予習：(2時間) 復習：(2時間)
7回目	V 仕事の日本語力 2 挨拶	対面授業	予習：(2時間) 復習：(2時間)
8回目	V 仕事の日本語力 4・5 電話	対面授業	予習：(2時間) 復習：(2時間)
9回目	V 仕事の日本語力 4・5 電話	対面授業	予習：(2時間) 復習：(2時間)
10回目	V 仕事の日本語力 4・5 電話	対面授業	予習：(2時間) 復習：(2時間)
11回目	V 仕事の日本語力 4・5 電話	対面授業	予習：(2時間) 復習：(2時間)
12回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール	対面授業	予習：(2時間) 復習：(2時間)
13回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール	対面授業	予習：(2時間) 復習：(2時間)
14回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール	対面授業	予習：(2時間) 復習：(2時間)
15回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール	対面授業	予習：(2時間)
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力
履修条件	なし
履修上の注意	欠席の際は事前にメールで知らせること
オフィスアワー	木曜3限 他空きコマ
備考・メッセージ	お互いにコミュニケーションをとって、たくさん話しましょう。わからないことがあったら積極的に質問してください。

講義科目名称：実践ビジネスマナー	授業コード：54141
英文科目名称：	ナンバリング：CD102

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1stQ・2ndQ	1年	1単位	選択	演習
担当教員				
梶谷 良子				

授業概要	心地よい人間関係を築いていくためのマナーを身につける。社会人として必要なビジネスマナー・日常マナーを学ぶことで相手を尊重し、敬意をもって人と接するための『気配り』『気働き』『心くばり』の自覚を促す。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・良識を持ち、相手に対する思いやりの心(気持ち)を素直に表現することができる。	筆記試験	70%
確かな専門的知識や技能	・社交儀礼の業務について理解し活用できる ・接遇用語を理解し活用できる		
コミュニケーション能力	・さまざまな価値観の人たちと共に生きていく(仕事をする)上で必要とされるコミュニケーション力を身につけることができる ・人間関係の対処		
課題解決能力	・顧客心理を理解し、能力を発揮できる	実技試験	20%
主体的に学ぶ力	・ビジネスマナーを身につけることで、社会人として相手から信頼され、仕事を円滑に進められることを理解し、積極的な学習ができる	授業への参加	10%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する質問は直接受け付け、またweb上あるいは以降の授業回で答える。 ・本授業では筆記試験70%、実技試験20%、授業への参加・態度10%の割合で評価する 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構えについて説明する	対面授業 オンライン可	予習：マナーテキストブック全体に目を通す(1時間) 復習：次回の学習ページ(P17)を確認する(1時間)

2回目	「人間関係は挨拶から」 挨拶の持つ意味、心地よい人間関係をつくる方法を理解する	対面授業 オンライン 可	予習：人間関係について考える（1時間） 復習：マナーテキストブック（P17）を読み直す（1時間）
3回目	「美しい立ち居振る舞い」 笑顔の演出、好感の持てる挨拶のしかたを説明し、実演する	対面授業 オンライン 可	予習：笑顔の必要性について考える（1時間） 復習：講義内容を確認する（1時間）
4回目	「身だしなみについて」 身だしなみで誠実度が見抜かれることを説明する	対面授業 オンライン 可	予習：自分自身の身だしなみについて考えてみる（1時間） 復習：講義内容を確認する（1時間）
5回目	「来客対応」 来客の先導・ドアの開閉・席次について説明する	対面授業 オンライン 可	予習：マナーテキストブック（P24.25.27）に目を通す（1時間） 復習：講義内容を確認する（1時間）
6回目	「和室でのマナー」 訪問とおもてなしのマナー・座布団のマナー・和室の席次について説明する	対面授業 オンライン 可	予習：マナーテキストブック（P1～P4）を読む（1時間） 復習：講義内容を確認する（1時間）
7回目	「招待状の返事の手書き方」 招待状の出席・欠席の返事の手書き方のマナーを説明する	対面授業 オンライン 可	予習：マナーテキストブック（P3.P4）を読む（1時間） 復習：返信ハガキの手書き方を練習する（1時間）
8回目	「冠婚葬祭のマナー」 慶弔の服装・祝儀・不祝儀袋の手書き方を説明する	対面授業 オンライン 可	予習：マナーテキストブック（P5.6.9.10.11）を読む（1時間） 復習：祝儀・不祝儀袋の手書き方を練習する（1時間）
9回目	「社交マナー」 贈り物のマナー、お見舞いのマナー、賀寿祝いについて説明する	対面授業 オンライン 可	予習：マナーテキストブック（P12.13.16）を読む（1時間） 復習：講義内容を確認する（1時間）
10回目	「言葉遣い」 正しい敬語の遣い方を説明する	対面授業 オンライン 可	予習：配布プリントを読む（1時間） 復習：練習問題を解く。配布プリントを読み返す（1時間）
11回目	「言葉遣い」 ビジネスでの言葉遣い・接遇用語の説明をする	対面授業 オンライン 可	予習：マナーテキストブック（P28）を読む（1時間） 復習：配布プリントを読み返す（1時間）
12回目	「電話対応」 ビジネスでの電話対応の重要性について説明する	対面授業 オンライン 可	予習：マナーテキストブック（P30～P33）を読む（1時間） 復習：講義内容の確認（1時間）
13回目	「電話対応」	対面授業	予習：マナーテキストブック（P34）を読

	(I) 基礎編 ロールプレイング		む (1 時間) 復習：基礎編を練習する (1 時間)
14 回目	「電話対応」 (II) 応用編 ロールプレイング	対面授業	予習：マナーテキストブック (P35) を読む (1 時間) 復習：応用編を練習する (1 時間)
15 回目	講義の振り返り (総まとめ) これまでの講義内容を振り返る 丁寧な挨拶の実技テスト	対面授業	予習：マナーテキストブック全体を読み返す 復習：いつでも笑顔で丁寧な挨拶が出来るように練習する (1 時間)
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『センスアップマナーテキスト』 ソシアル淳心
履修条件	
履修上の注意	原則としてビジネスマナーに相応した身だしなみ (制服又はスーツ)・髪型をきちんと整えて講義に出席すること (スニーカー・スリッパ不可)
オフィスアワー	授業の前後又は Classroom で対応する
備考・メッセージ	日々の生活の中で相手を思いやる心を大切にしてほしい

講義科目名称：ホテル業論	授業コード：
英文科目名称：Practical Business Skill for Hotel	ナンバリング：CD201

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
松井 英治				

授業概要	<p>ホテル業界で働く職業人としての専門知識を学び、実社会で役立つ広い視野と専門性を兼ね備えた人材育成を目的とした授業です。ビジネスとしてのホスピタリティの「接客分野」、レストラン・宴会・調理の「料飲分野」、フロント・客室の「宿泊分野」、その他関連法規等の「ホテル関連分野」について学修します。</p> <p>具体的には、ビジネス能力認定サーティファイの「ホテル実務技能認定試験 初級」合格を目指し、過去問題を中心に学修していきます。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	ホテルの全ての分野について（教科書）問題集の内容を理解して試験合格を目指すことができる。	定期試験	60点
異文化知識・対応能力	ホテルの概要を知ること、利用しやすくなると共に今後のインターシップにも役立てることができる。	授業への参加・態度	10点
課題解決能力	（教科書）毎回、問題集を用いて予習・復習内容を確認して理解度を高めることができる。	口述試験	10点
キャリアデザイン力	実際にホテル見学を通して、よりホテルの構造を理解できる。	感想レポートの提出	20点
合計			100%

補足事項

- ・履修の際は、サーティファイの「ホテル実務技能認定試験 初級 問題集」を購入しておくこと。
- ・毎回、教科書から項目を指定しますので、予習にて解答して下さい。当日授業にて答え合わせをします。また、間違えた問題については、復習にて理解して次回授業にて解説していきます。
- ・遅刻3回および早退は開始から45分以前で、いずれも欠席1回と見做します。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方、心構え、授業中の注意点について説明する。	面接授業	予習：シラバスを読んでおく。(0.5時間) 復習：ホテルのホームページ閲覧して理解力を高める。(0.5時間)
2回目	「接客分野」①ホテルスタッフの心得について基本的な内容を説明する。②ホテルの種類と組織について理解する。③ホテルのルーツおよび歴史に関する知識。	面接授業	予習：指定した(教科書)問題集を解答する。(0.5時間) 復習：指定した(教科書)問題集を復習する。(0.5時間)
3回目	「料飲分野」①料飲部門の主な業務および組織やレストランの種類について理解する。②什器・食器・備品類の取扱いについて理解する。	面接授業	予習：指定した(教科書)問題集を解答する。(0.5時間) 復習：指定した(教科書)問題集を復習する。(0.5時間)
4回目	「料飲分野」①西洋料理の基礎知識およびフルコースについて解説する。②西洋料理のテーブルマナーについて解説。③使用食材について解説する。	面接授業	予習：指定した(教科書)問題集を解答する。(0.5時間) 復習：指定した(教科書)問題集を復習する。(0.5時間)
5回目	「料飲分野」①朝食の基礎知識を理解する。②日本料理・中国料理の基礎知識について解説する。③レストラン部門の組織およびレストランサービスについて理解する。	面接授業	予習：指定した(教科書)問題集を解答する。(0.5時間) 復習：指定した(教科書)問題集を復習する。(0.5時間)
6回目	「料飲分野」①宴会部門の組織および宴会サービスについて理解する。②バー・ラウンジ部門のサービスおよび知識について理解する。③「宿泊分野」宿泊部門の組織および主な業務の役割について理解する。	面接授業	予習：指定した(教科書)問題集を解答する。(0.5時間) 復習：指定した(教科書)問題集を復習する。(0.5時間)
7回目	「ホテル見学」①レストランおよび宴会場や料飲の関連施設を見学する。	面接授業	予習：ホテルオークラ JR ハウステンボスのホームページを閲覧しておく。(0.5時間) 復習：感想レポートを提出する。(0.5時間)
8回目	「ホテル見学」①パブリックスペースおよび客室など宿泊の関連施設を見学する。	面接授業	同上
9回目	「宿泊分野」①フロントオフィスの主な業務と役割について理解する。②フロントクラークの業務概要およびリゼーション業務について理解する。	面接授業	予習：指定した(教科書)問題集を解答する。(0.5時間) 復習：指定した(教科書)問題集を復習する。(0.5時間)
10回目	「宿泊分野」①レセプションおよびフロントキャッシャーのほかインフォメーション業務を理解する。	面接授業	予習：指定した(教科書)問題集を解答する。(0.5時間) 復習：指定した(教科書)問題集を復習する。(0.5時間)
11回目	「宿泊分野」①フロントサービス主な業	面接授業	予習：指定した(教科書)問題集

	務の役割について理解する。②ドアマンの業務概要を理解する。		を解答する。(0.5時間) 復習：指定した(教科書)問題集を復習する。(0.5時間)
12回目	「宿泊分野」①ベルマンおよびクロークの業務概要を理解する。「ホテル関連分野」②旅行者との連携について理解する。	面接授業	予習：指定した(教科書)問題集を解答する。(0.5時間) 復習：指定した(教科書)問題集を復習する。(0.5時間)
13回目	「宿泊分野」①ハウスキーピングおよびコンシェルジュの業務概要を理解する。「語学分野」②ホテル用語の外国語を理解する。	面接授業	予習：指定した(教科書)問題集を解答する。(0.5時間) 復習：指定した(教科書)問題集を復習する。(0.5時間)
14回目	「その他ホテル関連分野」①食品・公衆・安全衛生に関する知識について理解する。②プロトコルに関する知識について理解する。	面接授業	予習：指定した(教科書)問題集を解答する。(0.5時間) 復習：指定した(教科書)問題集を復習する。(0.5時間)
15回目	授業のふり返り	面接授業	
16回目	定期試験(四択問題テスト)		

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	教科書「ホテル実務技能認定試験 初級 問題集」(編著：サーティファイ ホテル実務能力認定委員会 ・発行(株)サーティファイ 1,700円(税別) 参考書「ウイネット発行「料飲Ⅰ レストラン・宴会編」・「料飲Ⅱ バー・ラウンジ編」・「宿泊Ⅰ フロント・オフィス編」・「宿泊Ⅱ フロント・サービス編」・「ホテル業務関連知識」
履修条件	なし
履修上の注意	専門器具や備品の画像等をウェブサイトで調べることがありますので、PCやタブレットを忘れずに持参すること。
オフィスアワー	授業終了後に声をかけてください。
備考・メッセージ	一流ホテルで実務経験を有する教員が授業を担当します。

講義科目名称：ホスピタリティビジネス	授業コード：33741
英文科目名称：	ナンバリング：CD701

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7thQ・8thQ	2年	2単位	選択	
担当教員				
梶谷 良子				

授業概要	1年生時に学んだビジネスマナーの内容を『わかる』から確実に『できる』ようにする。授業内容を復習、再確認することでそれをしっかりと身につけ各自の就職へと結びつける。また卒業後、社会人として働くための心構え、自覚を促す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・就職面接時に自分の気持ちを素直に表現できる	筆記試験 実技試験	70% 20%
確かな専門的知識 や技能	・就職面接時に向けて好感もてる立ち居振る舞いを身につけることができる ・感じの良い電話応対を身につけることができる		
コミュニケーション能力	・社会人として働くために必要なビジネスマナー、コミュニケーション能力を身につけることができる		
課題解決能力	・各自希望の就職先への内定をいただくことができる		
主体的に学ぶ力	・ロールプレイングを繰り返すことで、自信をもって就職面接に臨むことができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- ・授業に関する質問は直接受け付け、またweb上あるいは以降の授業回で答える。
- ・本授業では筆記70%、実技試験20%、授業への参加・態度10%の割合で評価する

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義のすすめ方、心構えについて説明する	対面授業 オンライン可	復習：1年時に使用したマナーテキストブックを読み返す（1時間）
2回目	「言葉遣い」 正しい敬語の遣い方（復習編）	対面授業 オンライン可	予習：マナーテキストブックを読み返す（1時間）

	就職面接時の言葉遣い		復習：正しい敬語の遣い方を確認する（1時間）
3回目	「面接指導」 ・就職面接での好感の持てる立ち居振る舞い ・就職面接に向けての身だしなみ	対面授業 オンライン可	予習：マナーテキストブック（P18.P19.P20.P21）を読んでおく（1時間） 復習：立ち居振る舞いの練習をする（1時間）
4回目	「面接指導」 ・ロールプレイング（Ⅰ）	対面授業 オンライン可	予習：言葉遣い・立ち居振る舞いの練習をする（1時間） 復習：指摘された点を再確認する（1時間）
5回目	「面接指導」 ・ロールプレイング（Ⅱ）	対面授業 オンライン可	予習：質疑応答の練習をする（1時間） 復習：指摘された点を再確認する（1時間）
6回目	「電話応対」 ・復習編	対面授業 オンライン可	予習：マナーテキストブックを読み返す（1時間） 復習：講義内容を確認する（1時間）
7回目	「電話応対」 ・応用編（Ⅰ）	対面授業 オンライン可	予習：実習内容を確認しておく（1時間） 復習：応用編（Ⅰ）の練習（1時間）
8回目	「電話応対」 ・応用編（Ⅱ）	対面授業 オンライン可	予習：実習内容を確認しておく（1時間） 復習：応用編（Ⅱ）の練習（1時間）
9回目	「冠婚葬祭のマナー」 ・復習編	対面授業 オンライン可	予習：マナーテキストブックを読み直す（1時間） 復習：講義内容を確認する
10回目	「冠婚葬祭のマナー」 ・お参りの仕方（仏教・神道・キリスト教）	対面授業 オンライン可	予習：配布プリントを読んでおく（1時間） 復習：お参りの練習（1時間）
11回目	「来客応対」 ・復習編	対面授業 オンライン可	予習：マナーテキストブックを読み直す（1時間） 復習：配布されたプリントを確認する（1時間）
12回目	「来客応対」	対面授業	予習：マナーテキストブックを

	・ロールプレイング（来客の先導）	オンライン可	読み直す（1時間） 復習：配布されたプリントを確認する（1時間）
13回目	「名刺交換」 ・ロールプレイング	対面授業 オンライン可	予習：マナーテキストブックを読み直す（1時間） 復習：名刺交換の練習をする（1時間）
14回目	「お茶の淹れ方・出し方・いただき方」 ロールプレイング（お茶の淹れ方・出し方・いただき方）	対面授業 オンライン可	予習：マナーテキストブックを読み直す（30分） 復習：自分でお茶を淹れ、いただいてみる（1時間30分）
15回目	テーブルマナー ・洋食フルコースのマナー（ホテルにて実食）	対面授業	予習：マナーテキストブックを読み直す（1時間） 復習：テーブルマナーの確認
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『センスアップマナーテキスト』 ソシアル淳心
履修条件	
履修上の注意	・原則として制服又はスーツ ビジネスの場にふさわしい身だしなみを整える（髪型・くつ）
オフィスアワー	授業の前後又は Classroom で対応する
備考・メッセージ	長崎短期大学の卒業生として、自信をもって社会人として出発できるようになってほしい。

講義科目名称：児童英語教授法	授業コード：
英文科目名称：Teaching English to Children	ナンバリング：CD 5 0 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7 Q	2	2	選択	講義
担当教員				
ロベージュ ルーク (Luc Roberge)				

授業概要	<p>This course is designed to give students a brief introduction to the skills needed to teach English to young learners. Students will practice leading and designing songs, games and exercise. Also, focus will be on adapting and developing appropriate teaching materials. Students will acquire teaching skills through hands-on practice. Students will become familiar with popular EFL teaching resources. Students will also practice planning their own games and activities and presenting them to the class. One main focus of the course will be adapting print materials, such as children's books, for maximizing language acquisition. Students that excel at course work and peer-teaching will have the opportunity to teach at a pre-school or for an elementary-aged English program.</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	Students will be introduced to the basics of EFL teaching in Japan: curriculum, lesson planning, task planning, language acquisition, teaching materials.	Classwork	20%
確かな専門的知識 や技能	Students will work in groups to teach songs, learning tasks, games, flash cards and books.	Mini Teaching	20%
コミュニケーション ン能力	Students will work in groups to teach songs, learning tasks, games, flash cards and books.	Mini Teaching	20%
課題解決能力	Students will work on book reading project and will develop and deliver a story with the purpose of fostering EFL language acquisition.	Mini Teaching	20%
主体的に学ぶ力	Students will work on book reading project and will develop and deliver a story with the purpose of fostering EFL language acquisition.		20%
合計			100%
補足事項			
<p>Classwork 20%, Flashcards 10%, Flash card – teaching 10%, Song teaching 10%, Book Reading 25%, group project 25%.</p> <p>Students will be required to access class materials via NJC Qlearn.</p> <p>For this, they will need to register which requires a GMAIL account.</p>			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	Introduction to the course The course, learning goals, expectations, and evaluation will explained. Students will register for an NJC Qlearn account and register for the course.	schooling	Students should make a Gmail Account prior to coming to class.
2 回目	Learning Groups and Curriculum Students will make learning groups. To gain a greater understanding of curriculum development, students will develop an EFL language curriculum plan and discuss rationale	schooling	Students should register for NJC Qlearn, prior to coming to class.
3 回目	Songs 1 Students will explore popular songs used for language learning. Students will learn to critically analyze song choices for teaching.	schooling	Students should review songs provided on NJC Qlearn.
4 回目	Songs 2 Students will explore popular songs used for language learning. Students will learn where to access songs and other resources that can be used in the language classroom	schooling	Students should review songs provided on NJC Qlearn.
5 回目	Songs 3 Students will learn, prepare and teach a song to their peers.	schooling	Students should prepare their song prior to class.
6 回目	Books 1 Students will explore popular children's books commonly used for English teaching in Japan. Students will focus on selecting books/ or adapting books to be age and language-level appropriate.	schooling	None
7 回目	Books 2 The teacher will explain the book reading project. The focus of the project will be on selecting books/ or adapting books to be age and language-level appropriate. Students will practice using speaking qualities and other strategies to enhance language acquisition.	schooling	None
8 回目	Flash Cards 1 Students will explore the use of visual aids, specifically flash cards, to help in vocabulary acquisition. Students will explore strategies for maximizing student comprehension and vocabulary acquisition.	schooling	None
9 回目	Flash Cards 2 Students will choose target vocabulary and create their own effective teaching materials.	schooling	None
10 回目	Flash Cards 3 Students will peer teach using their own flash	schooling	Students should prepare their own flash cards as

	cards. Students will further explore effective use of flashcards.		described in class. Students should also practice teaching target vocabulary using their original materials
11 回目	Games 1 Students will how games can be use to present, practice target language. Bingo, mystery box, memory	schooling	None
12 回目	Games 2 Students will how games can be used to present and practice target language. Bingo, mystery box, memory	schooling	None
13 回目	Course Work 1 Students will work finishing all class assignments and prepare for the book reading assignment.	schooling	None
14 回目	Course Work 2 Students will work finishing all class assignments and prepare for the book reading assignment.	schooling	Students should prepare and bring materials as necessary.
15 回目	4-Corner presentations Students will read their books to peers using the 4-corner presentation format. Students will submit their book reading project, flashcards.	schooling	Students should be ready to read their book and submit all class work.
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	
履修条件	None
履修上の注意	
オフィスアワー	None (please contact me via email or schedule a meeting during the lunch period, prior to class)
備考・メッセージ	I'm looking forward to learning together

講義科目名称: 日本語教授法	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CD502

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
8Q	2年	1	必修	演習
担当教員				
岩崎千恵				

授業概要	<p>本講義では、全15回の講義を通して、日本語を教える基盤となる下記3つについて学生個々人が見聞を深める機会としたい。</p> <p>①世界・日本における日本語教育の現状 ②留学生の日本語学習過程 ③日本語教師という職業・役割</p> <p>本講義では日本語教育の現状を知り、留学生の日本語学習過程や環境を理解した上で、教育指導案を書くことができるように指導案作りもカリキュラムに入れている。また、入学前教育に参加する留学希望の留学生への日本語サポート実習も授業内にいれているため、将来、日本語教師に関心のある学生や教えることに興味のある学生は、主体的に学ぶことができる。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	助けが必要な人に寄り添って、必要な助けがなにか手を差し伸べることができる	授業参加態度	5
専門的知識や技能	日本語教育に必要な教育に関する専門的知識を身に着けることができる。また、学習者の学習過程を知ることにより、効果的な学習支援ができる。	課題	30
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、行動に取り入れることができる。さらに共通の理解を得るために交渉を始めることができる。	課題	10
課題解決能力	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながら目標に粘り強く取り組むことができる	授業参加態度	50
キャリアデザイン力	講義を通し得た経験をもとに、自らのキャリアに照らして考えてみるができる	授業参加態度	5
合計			100%
補足事項			

- ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。
- ・本講義では課題40%、授業参加態度60%の割合で評価する
- ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される
- ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、テキストの確認をする	対面授業	予習: Googleclassroomのクラスに登録する(1時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(1時間)
2回目	日本語教育1(世界) 世界の日本語教育について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える。	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(1時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(1時間)
3回目	日本語教育1(日本国内) 日本国内の日本語教育について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(1時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(1時間)
4回目	教育対象としての日本語 日本語を母語として見るのではなく、教育対象としての言語として考える。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える	対面授業	予習: チームで共有した情報を確認しておくこと(1時間) 復習: どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(1時間)
5回目	文字・表記1 日本語の文字・表記について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える	対面授業	予習: これまでの準備を見直して、すぐに交流が開始できるようにしておく(1時間) 復習: 構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(1時間)
6回目	文字・表記2 日本語の文字・表記について学ぶ。 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える	対面授業	予習: これまでの準備を見直して、すぐに交流が開始できるようにしておく(1時間) 復習: 構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(1時間)
7回目	文法1 文法の教育法に関して学ぶ 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える	対面授業	予習: これまでの準備を見直して、すぐに交流が開始できるようにしておく(1時間) 復習: 構成を見直し、次に各

			部分に必要なものは見直す (1時間)
8回目	文法2 文法の教育法に関して学ぶ 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える	対面授業	予習:これまでの準備を見直して、すぐに交流が開始できるようにしておく(1時間) 復習:構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(1時間)
9回目	社会言語学1 社会における言語とはなにか学ぶ 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(1時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(1時間)
10回目	社会言語学2 社会における言語とはなにか学ぶ 関連するテーマについて見聞を深め、自分自身の知識や経験と照らし合わせて考える	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(1時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(1時間)
11回目	留学生への日本語教育1 外国における日本語教育とは別に、日本で日本語を学習する留学生は在留資格、生活、学費などを取り巻く様々な制限や問題を抱えている。日本語教育を実施する上での日本における留学生を取り巻く現状を把握し、留学生理解を図ることにより良い日本語教育への気づきを得る	対面授業	予習:これまでの準備を見直して、全体の完成を目指す(1時間) 復習:構成を見直し、次までに各部分に必要なものを見直す(1時間)
12回目	留学生への日本語教育2 本学の留学生や知り合いの留学生等にインタビューをし、現状を把握し問題点、改善点、日本語教師としての支援に何が可能なのかを調べて、まとめる	対面授業	予習:全体の体裁等を確認しておく(1時間) 復習:提出した作成物を見直し、感想レポートをGoogle classroomに提出する。(1時間)
13回目	留学生への日本語教育3 実際の日本語教育の現場に参加し、日本語教育がどのように行われているのか、これまで学んだことを踏まえて見学し、学んだことをまとめる	対面授業	予習:配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(1時間) 復習:本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(1時間)
14回目	留学生への日本語教育4 指導案作り 見学実習から学んだことをグループで話し合い、工夫があったところ、改善が必要などところなどを聞いて、指導案を書いてみる	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(1時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(1時間)
15回目	留学生への日本語教育5 指導案をもとに、実践を試してみる 振り返りを行う 総括	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(1時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(1時間)

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	なし 随時配布プリントあり
履修条件	日本語教育に興味関心が高い学生
履修上の注意	講義だけではなく、実習もあります。
オフィスアワー	後期: 木曜日2コマ目(11:00~12:00)研究室
備考・メッセージ	・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。

講義科目名称:学外学修事前指導	授業コード:
英文科目名称: Preparation Seminar for Gap Term	ナンバリング:GY101

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q&2Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>Quarter1:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期学外学修の意義と目的を正しく理解する。 ・ギャップタームで各学生が選択する「(オンライン)留学」「インターンシップ」「サービ斯拉ーニング」に関して、教員からの説明、2年生の経験談や学びをしっかりと聞き、「ギャップターム計画表」を綿密に作成することができる。 ・ギャップターム計画において、大学生として、正しく情報を収集分析し、適切な判断を行える力を養うことができる。 <p>Quarter3:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Quarter1で作成した計画に従って、以下のカテゴリー別に詳細な直前準備を行う。準備を行う上で、自分の考え、一つの可能性、一つのもの見方にとらわれず、色々な角度から物事を考え、他人の意見に耳を傾け、十分に見直しを行えるようにする。 ①中期(3か月)留学: 渡航手続き、留学・ホームステイアプリケーション作成、異文化理解、ホームシック対応等 *希望者は、オンライン留学も可能。 ②インターンシップ: インターンシップ先の情報収集、履歴書作成、面接準備、ビジネスマナー等 ③サービ斯拉ーニング: 内容の確認、実施方法の決定、対応マナー等
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャップイヤーの活動に必要な適切な十分な情報を得ることができる。 ・Google Classroom/Google Meet, Google Document, Google Photo, Zoomを使うことができる。 	・活動計画書作成	40%

異文化知識・対応能力			
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャップイヤーの活動の目的を正しく理解できる。 ・ギャップイヤーの活動の際のリスクに関しても正しく分析できる。 ・ギャップイヤーの活動に関する評価システム(活動後に、自らの学びの確認と改善、さらなる学びのために)を理解し、運用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や活動への参加・態度 	20%
キャリアデザイン力	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャップイヤーの活動計画を立て、プレゼンテーションができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動計画のプレゼンテーション 	40%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・「活動計画書作成」、「活動計画のプレゼンテーション」、「授業や活動への参加・態度」で、総合的に評価する。 ・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 ・プレゼンテーションに関しては、ルーブリック評価表を使用する。 https://drive.google.com/file/d/1YOUijafajqaZ3thTOBrbU8S7lmhUnCr-/view?usp=sharing ・ギャップターム期間は、語学学習の一環として「暗唱(音読)マラソン」も実施する。 ・「キャリアステップ(社会人基礎力及び職業適性)テスト」は、1回目は、「大学教育入門」の授業内で、第2回目は、2年次の「学外学修事後指導」の授業内で実施する。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 			

授業計画	授業内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目 4/12	オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・ギャップターム概要説明 ・ディプロマサブリの説明 ・Google Classroom/Meetの理解 	対面授業	予習: 特になし 復習: 説明された内容を整理し、分からない点、質問事項を考えておく。(1時間)

2回目 4/19	ギャップターム概要説明 ・留学(3ヶ月/短期/オンライン留学) ・インターンシップ ・サービ斯拉ーニング ・第1回ギャップターム希望調査 ・ <u>マインドマップ</u> の作成紹介	対面授業	予習:ギャップタームに関して自分の希望を考えておく。(1時間) 復習:説明された内容を整理し、分からない点、質問事項を考えておく。(1時間)
3回目 4/26	ワーホリ留学の説明(外部講師) ・感想文/質問提出 ・Google Photoの理解	対面授業 (遠隔)	予習:ワーホリ留学とはどのようなものか事前に調べておく。(1時間) 復習:説明された内容を整理し、分からない点、質問事項を考えておく。(1時間)
4回目 5/10	NZ有給インターンシップ留学説明 (外部講師) ・感想文/質問提出 ・Google Documentの理解	対面授業 (遠隔)	予習:NZ有給インターンシップ留学とはどのようなものか事前に調べておく。(1時間) 復習:説明された内容を整理し、分からない点、質問事項を考えておく。(1時間)
5回目 5/17	国内有給インターンシップ説明 ・感想文/質問提出	対面授業 (遠隔)	予習:国内有給インターンシップとはどのようなものか事前に調べておく。(1時間) 復習:説明された内容を整理し、分からない点、質問事項を考えておく。(1時間)
6回目 5/24	履歴書作成 *google documentで作成し、2年間追加修正し、就職の際に利用する。教員とシェアする。	対面授業	予習:履歴書作成のための情報収集をおこなう。(1時間) 復習:完成させた履歴書に間違いがないかを再確認しておく(1時間)
7回目 5/31	<u>授業なし</u> ◇ 5/20(金) 4コマ目2年生によるプレゼンへの参加 ・2年生によるギャップターム体験プレゼン(・医療事務講座説明) → Q&A、コメント作成 https://forms.gle/AAgwbxLiPLw75fnn6	対面授業	予習:ギャップタームでどのような体験ができるか/したいかを考えておく。(1時間) 復習:先輩のプレゼンを聞き、感じたこと、学んだことを整理する。(1時間)

8回目 6/7	<p>授業なし</p> <p>◇ 5/27(金)4コマ目2年生によるプレゼンへの参加</p> <p>・2年生によるギャップターム体験プレゼン(・医療事務講座説明) → Q&A、コメント作成 https://forms.gle/AAgwbxLiPLw75fnn6</p>	対面授業	<p>予習:ギャップタームでどのような体験ができるか/したいかを考えておく。(1時間)</p> <p>復習:先輩のプレゼンを聞き、感じたこと、学んだことを整理する。(1時間)</p>
9回目 9/20	<p>ギャップターム準備</p> <p>・留学/インターンシップ/サービ斯拉ーニングに別れて準備</p> <p>* 留学などの手続き等は、授業以外でも適宜おこなう。</p>	対面授業	<p>予習:自分がどれを選択するかを保護者も交えて決めてくる。(1時間)</p> <p>復習:必要な事項の準備を始める。(1時間)</p>
10回目 9/27	<p>単語・フレーズ集作成①</p> <p>外国人おもてなし言語/留学時に必要な基本会話を学ぶ</p> <p>* グループ単位での作業</p> <p>①現場/留学先で使いそうな単語・フレーズを日本語で書き出す。</p> <p>②書き出したフレーズや単語をそれぞれの外国語に翻訳する。</p>	対面授業	<p>予習:指定する資料を読んでおく。(2時間)</p> <p>復習:単語・フレーズ集を引き続き作成する。また、流暢に発話できるように練習する。(2時間)</p>
11回目 10/4	<p>単語・フレーズ集作成②</p> <p>外国人おもてなし言語/留学時に必要な基本会話を学ぶ</p> <p>* グループ単位での作業</p> <p>①現場/留学先で使いそうな単語・フレーズを日本語で書き出す。</p> <p>②書き出したフレーズや単語をそれぞれの外国語に翻訳する。</p>	対面授業	<p>予習:指定する資料を読んでおく。(2時間)</p> <p>復習:単語・フレーズ集を引き続き作成する。また、流暢に発話できるように練習する。(2時間)</p>
12回目 10/11	<p>単語・フレーズ集作成③</p> <p>・グループ別にプレゼンをおこなう。</p>	対面授業	<p>予習:プレゼンの準備を行う。(3時間)</p> <p>復習:プレゼンへの加筆修正をおこなう。(2時間)</p>
13回目 10/18	<p>オンラインジャーナルの説明</p> <p>・オンライン日誌の書き方説明と基本情報入力(キャリアステップ情報を含む)</p>	対面授業	<p>予習:ギャップタームの目標を考えておく。(1時間)</p>

	・ギャップ計画作成(5つの目標等)と発表準備		復習:プレゼンテーションの練習をしておく。(1時間)
14回目 10/25	最終プレゼンテーション準備 ・グループ内で、自分の計画や目標を発表(ローテーション)	対面授業	予習:プレゼンテーションの練習。(1時間) 復習:プレゼンテーションの練習、及び日誌の書き方の確認をしておく。(1時間)
15回目 11/1	まとめ ・オンラインジャーナルの完成版を提出	対面授業	予習:ジャーナルを完成させる。(1時間) 復習:ギャップターム活動の直前の準備を行う(1時間)
16回目 (11/15)	授業なし		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	
履修上の注意	ギャップタームでの経験は、これからの職業や進路選択に重要な時期になるので、真剣に取り組むこと。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	必要な知識・技術を吸収し、十分な準備をしてギャップイヤーに臨むこと。

海外文化事情 I (アジア圏短期研修)	授業コード:
英文科目名称: Foreign Culture Study I	ナンバリング: GY301

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3rdQ	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>授業で学んでいる外国語を海外で試し、知識として得た異文化情報を実際に海外で直に感じている短期(約10日間)海外研修プログラム(オンラインでの留学を含む)。渡航前に、訪問する国についての文化、言語、観光地、マナー等を事前に学習する。</p> <p>主に、韓国、中国、台湾の姉妹大学を訪問し、現地の学生と交流活動をおこなう。滞在中、自分たちで地元のスーパーなどで買物や観光を行い、現地の人と同じ生活体験する。可能な限り、現地の言語を使ってもらうために、現地での手続き等もできるだけ学生で行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・海外渡航する場合に必要な情報収集方法、必要とされる知識を獲得することができる。 ・渡航先の国、都市、大学に関する情報を収集し、必要とされる知識を獲得することができる。 ・渡航先で活用できる、基本的な現地語をマスターすることができる。 	レポート評価	40%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹校の学生との交流会(又は、ホームステイ)などを通して現地の文化を理解することができる。 	レポート評価	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・帰国後に、渡航先の国と母国と比較した場合の違いなどをまとめ、発表をおこなうことができる。 	プレゼンテーションの評価	30%
キャリアデザイン力			

合計	100%
補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・費用(交通費、滞在費、現地プログラム費、食費、等)等は、事前にオリエンテーションで詳細に説明する。 ・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 	

授業計画	授業内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	渡航準備、現地研修、帰国後のレポート作成までを渡航計画に従って実施する。		
2回目			
3回目			
4回目			
5回目			
6回目			
7回目			
8回目			
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし。一般の留学に関する本や雑誌を各自必ず読んでおくこと。 * 留学ジャーナル、地球の歩き方シリーズ
履修条件	授業(遅刻・欠席数)や大学生活一般に問題がなく、自ら留学したいという強い意思があること。
履修上の注意	毎年の世界情勢により、内容が異なることがある。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	1) 授業への出席状況が悪く、短大での生活態度が留学にふさわしくないと判断される場合は、申込後も留学を辞退させることもある。 2) 自分の体調や留学に対する親の同意を必ず確認し申込むこと。また、留学先では、自己責任の部分がかなり高くなることを理解しておくこと。 3) 渡航前に、先輩や長崎短大の留学生から様々な情報を得て、有意義な研修になるよう、努めること。

海外文化事情Ⅱ(英語圏短期研修)	授業コード:
英文科目名称: Foreign Culture StudyⅡ	ナンバリング:GY302

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>授業で学んでいる外国語を海外で試し、知識として得た異文化情報を実際に海外で直に感じてみる短期(約10日間)海外研修プログラム(オンライン留学も含む)。渡航前に、訪問する国についての文化、言語、観光地、マナー等を事前に学習する。</p> <p>滞在中、自分たちで地元のスーパーなどで買物や観光を行い、現地の人と同じ生活体験を行う。可能な限り、現地の言語を使ってもらうために、現地での手続き等もできるだけ学生で行う。渡航先は、参加者の希望や人数で毎年変更する可能性がある。これまで、カナダ、オーストラリア、イギリス、アメリカ(ハワイ)、ニュージーランドへの研修を実施した。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・海外渡航する場合に必要な情報の収集方法や、必要とされる知識を獲得することができる。 ・渡航先の国、都市、大学に関する情報を収集し、必要とされる知識を獲得することができる。 ・渡航先で活用できる、基本的な現地語をマスターすることができる。 	レポート評価	40%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹校の学生との交流会(又は、ホームステイ)などを通して現地の文化を理解することができる。 	レポート評価	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・帰国後に、渡航先の国と母国と比較した場合の違いなどをまとめ、発表をおこなうことができる。 	プレゼンテーションの評価	30%

キャリアデザイン 力			
			合計
			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・費用(交通費、滞在費、現地プログラム費、食費、等)等は、事前にオリエンテーションで詳細に説明する。 ・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 			

授業計画	授業の内容	授業形式	予習・復習の内容と時間
1回目	渡航準備、現地研修、帰国後のレポート作成までを渡航計画に従って実施する。		
2回目			
3回目			
4回目			
5回目			
6回目			
7回目			
8回目			
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			

16回目			
------	--	--	--

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	必要に応じてプリント等を配布する。
履修条件	授業(遅刻・欠席)や大学生活一般に問題がなく、自ら留学したいという強い意思をもっていること。
履修上の注意	毎年の世界情勢により、内容が異なることがある。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	<p>1) 授業への出席状況が悪く、生活態度が留学にふさわしくない場合は、申込み後も留学を辞退させることもある。</p> <p>2) 自分の体調や留学に対する親の同意を必ず確認し申込むこと。また、留学先では、自己責任の部分がかかなり高くなることを理解しておくこと。</p> <p>3) 渡航前には、先輩や、特に英語圏からの学生から現地情報を得て、有意義な研修になるように努めること。</p>

海外文化事情Ⅲ(中期留学)	授業コード:
英文科目名称: Foreign Culture Study Ⅲ	ナンバリング:GY303

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	6単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>海外に約3ヶ月間留学するプログラム(オンライン留学も含む)。但し、希望者が少数の場合、渡航できない国もある。</p> <p>(英語圏)カナダ、オーストラリア、イギリス、ニュージーランド (アジア圏)韓国、中国、台湾</p> <p>現地での授業内容(例) * 留学する国や語学学校や大学により異なる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新入生歓迎オリエンテーション 2 プレイスメントテスト 3 語学学習(月～金、週30時間程度) 4 セルフスタディ(スーパーバイザ指導のもと) 5 コンピュータやランゲージラボを使用した学習 6 定期的な授業外の課外活動(フィールドトリップ、地域でのボランティア活動、等々) 7 学期末テスト(評価あり) 8 成績所及び修了証書授与
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・海外渡航する場合に必要なとなる情報収集方法、必要とされる知識を獲得することができる。 ・渡航先の国、都市、大学に関する情報を収集し、必要とされる知識を獲得することができる。 ・渡航先で活用できる、基本的な現地語をマスターすることができる。 	レポート評価	40%

異文化知識・対応能力	・姉妹校の学生との交流会（又は、ホームステイ）などを通して現地の文化を理解することができる。	レポート評価	30%
課題解決能力	・帰国後に、渡航先の国と母国と比較した場合の違いなどをまとめ、発表をおこなうことができる。	プレゼンテーションの評価	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・費用（交通費、滞在費、現地プログラム費、食費、等）等は、事前にオリエンテーションで詳細に説明する。 ・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 			

授業計画	授業の内容	授業形式	予習・復習の内容と時間
1回目	渡航準備、現地研修、帰国後のレポート作成までを渡航計画に従って実施する。		
2回目			
3回目			
4回目			
5回目			
6回目			
7回目			
8回目			
9回目			

10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	必要に応じてプリント等を配布する。
履修条件	授業(遅刻、欠席)や大学生活一般に問題がなく、自ら留学したいという強い意志を持っている。
履修上の注意	毎年の世界情勢により、内容が異なることがある。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	1) 授業への出席状況が悪く、短大での生活態度が留学にふさわしくない場合は、申込後も留学を辞退させることもある。 2) 自分の体調や留学に対する親の同意を必ず確認し申込むこと。また、留学先では、自己責任の部分がかなり高くなることを理解しておくこと。

インターンシップ I	授業コード:
英文科目名称: Internship I	ナンバリング: GY304

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>将来、ホスピタリティビジネス(サービス業)に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を実践で学び、働くことの本質を体験から学ぶ。「学外学修事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。</p> <p>インターンシップ期間中は、参加者は毎日、インターネット上の日誌「ギャップタムジャーナル」に業務内容や感想を記録し、教員がコメントを記入する。インターンシップ終了後、「学外学修事後指導」において、職業体験の振り返りをおこなう。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・【自己変革】就業体験をする中で長所・短所、思考回路等、自分の性格や特性を深く知ることができる。	・インターンシップ日誌 ・受入先評価	30%
専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力			

課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・【主体性】与えられた役割に積極的に取りかかることができる。 ・【規律性・忍耐力】インターンシップ先の規律や自分に与えられた役割のルールを理解し、自ら立てた目標を再確認し、守ることができる。 ・【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを認識することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ日誌 ・受入先評価 	70%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<p>・毎日、ギャップタームジャーナルに業務内容、生活状況、感想を書き込む。又、写真や動画も記録し、ギャップタームのプレゼンテーション作成時に利用できるようにする。学生の書く日誌に対しては、担当教員がコメントを書き支援等のフィードバックを行う。</p>			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	インターンシップ先での勤務体制、就業規則等に従い、就業体験を開始する。		
2回目			
3回目			
4回目			
5回目			
6回目			
7回目			
8回目			

9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。 上記が守れない場合や学習態度等、インターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) *その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。 積極的に参加することを勧めます。

インターンシップⅡ	授業コード:
英文科目名称: InternshipⅡ	ナンバリング: GY305

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>将来、ホスピタリティビジネス(サービス業)に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を実践で学び、働くことの本質を体験から学ぶ。「学外学修事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。</p> <p>インターンシップ期間中は、参加者は毎日、インターネット上の日誌「ギャップタムジャーナル」に業務内容や感想を記録し、教員がコメントを記入する。インターンシップ終了後、「学外学修事後指導」において、職業体験の振り返りをおこなう。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・【自己変革】就業体験をする中で長所・短所、思考回路等、自分の性格や特性を深く知ることができる。	・インターンシップ日誌 ・受入先評価	30%
専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力			

課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・【主体性】与えられた役割に積極的に取りかかることができる。 ・【規律性・忍耐力】インターンシップ先の規律や自分に与えられた役割のルールを理解し、自ら立てた目標を再確認し、守ることができる。 ・【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを認識することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ日誌 ・受入先評価 	70%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<p>・毎日、ギャップタームジャーナルに業務内容、生活状況、感想を書き込む。又、写真や動画も記録し、ギャップタームのプレゼンテーション作成時に利用できるようにする。学生の書く日誌に対しては、担当教員がコメントを書き支援等のフィードバックを行う。</p>			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	インターンシップ先での勤務体制、就業規則等に従い、就業体験を開始する。		
2回目			
3回目			
4回目			
5回目			
6回目			
7回目			
8回目			

9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。 上記が守れない場合や学習態度等、インターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) *その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。 積極的に参加することを勧めます。

インターンシップⅢ	授業コード:
英文科目名称: Internship Ⅲ	ナンバリング: GY306

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>将来、ホスピタリティビジネス(サービス業)に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を実践で学び、働くことの本質を体験から学ぶ。「学外学修事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。</p> <p>インターンシップ期間中は、参加者は毎日、インターネット上の日誌「ギャップタムジャーナル」に業務内容や感想を記録し、教員がコメントを記入する。インターンシップ終了後、「学外学修事後指導」において、職業体験の振り返りをおこなう。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・【自己変革】就業体験をする中で長所・短所、思考回路等、自分の性格や特性を深く知ることができる。	・インターンシップ日誌 ・受入先評価	30%
専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力			

課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・【主体性】与えられた役割に積極的に取りかかることができる。 ・【規律性・忍耐力】インターンシップ先の規律や自分に与えられた役割のルールを理解し、自ら立てた目標を再確認し、守ることができる。 ・【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを認識することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ日誌 ・受入先評価 	70%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<p>・毎日、ギャップタームジャーナルに業務内容、生活状況、感想を書き込む。又、写真や動画も記録し、ギャップタームのプレゼンテーション作成時に利用できるようにする。学生の書く日誌に対しては、担当教員がコメントを書き支援等のフィードバックを行う。</p>			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	インターンシップ先での勤務体制、就業規則等に従い、就業体験を開始する。		
2回目			
3回目			
4回目			
5回目			
6回目			
7回目			
8回目			

9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。 上記が守れない場合や学習態度等、インターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) *その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。 積極的に参加することを勧めます。

インターンシップⅣ	授業コード:
英文科目名称: Internship Ⅳ	ナンバリング: GY401

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>将来、ホスピタリティビジネス(サービス業)に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を実践で学び、働くことの本質を体験から学ぶ。「学外学修事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。</p> <p>インターンシップ期間中は、参加者は毎日、インターネット上の日誌「ギャップタムジャーナル」に業務内容や感想を記録し、教員がコメントを記入する。インターンシップ終了後、「学外学修事後指導」において、職業体験の振り返りをおこなう。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・【自己変革】就業体験をする中で長所・短所、思考回路等、自分の性格や特性を深く知ることができる。	・インターンシップ日誌 ・受入先評価	30%
専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力			

課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・【主体性】与えられた役割に積極的に取りかかることができる。 ・【規律性・忍耐力】インターンシップ先の規律や自分に与えられた役割のルールを理解し、自ら立てた目標を再確認し、守ることができる。 ・【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを認識することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ日誌 ・受入先評価 	70%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<p>・毎日、ギャップタームジャーナルに業務内容、生活状況、感想を書き込む。又、写真や動画も記録し、ギャップタームのプレゼンテーション作成時に利用できるようにする。学生の書く日誌に対しては、担当教員がコメントを書き支援等のフィードバックを行う。</p>			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	インターンシップ先での勤務体制、就業規則等に従い、就業体験を開始する。		
2回目			
3回目			
4回目			
5回目			
6回目			
7回目			
8回目			

9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。 上記が守れない場合や学習態度等、インターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) *その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。 積極的に参加することを勧めます。

講義科目名称: 留① 実践Awesome Sasebo!Ⅲ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: GY309

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2	選択	実習
担当教員				
岩崎、園田、チャウ				

授業概要	<p>「実践Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で1年次の3Q,4Qに設定されている短大での学びを、地域をフィールドとして実践する教科である。留学生を対象とした本授業では、3Qで実施した小学校や高校での授業実習や、その他の地域での学びを総まとめするものである。1年生は来年度の学びに繋がるようなプレゼンテーションの知識をしっかりと学び、チーム全体を率いるようなリーダーシップ力を育成する</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら、自ら考え行動することができる	授業態度	5
専門的知識や技能	日本語で直接関連のある事柄の内容について主要な点を聞いたり読んだりして理解できる。 また、動画や画像を使用し、相手の立場を考慮したプレゼンテーション資料をつることができる	課題	40
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながらチーム全体で目標に粘り強く取り組むことができる	授業態度 課題・作成物	30 20
キャリアデザイン力	活動を通して自己のパーソナリティと活動内容の得手不得手がわかる	授業態度	5
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では課題60%、授業参加態度40%の割合で評価する ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題についての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------

1回目	<p>「オリエンテーション」</p> <p>講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする</p> <p>東翔高校との交流授業①振り返り チーム内で担当決め ①まとめ動画作成 ②お礼状作成 ③インスタ投稿 チーム役割分担</p>	対面授業	<p>予習: Googleclassroomのクラスに登録する(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)</p>
2回目	<p>東翔高校との交流授業②振り返り ①まとめ動画作成 ②お礼状作成 ③インスタ投稿 チーム役割分担</p>	対面授業	<p>チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習: どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)</p>
3回目	<p>東翔高校との交流授業③振り返り ①まとめ動画作成 ②お礼状作成 ③インスタ投稿 チーム役割分担</p>	対面授業	<p>予習: チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習: どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)</p>
4回目	<p>東翔高校との交流授業 まとめ動画発表 ①まとめ動画作成 ②お礼状作成 ③インスタ投稿</p> <p>広報の役割について学ぶ</p>	対面授業	<p>予習: 全体の体裁等を確認しておく。発表準備をしておく(2時間) 復習: 提出した作成物を見直し、感想レポートをGoogle classroomに提出する。(2時間)</p>
5回目	<p>学校紹介プロジェクト① 入学前や入学する学生に対して、短期大学の紹介動画を作成する</p> <p>アンケート調査を実施し、ニーズ分析を行う 必要な情報等の把握の方法を学ぶ</p> <p>ニーズに応じた動画、インタビュー動画を作成し、留学生用HPへアップロードする</p>	対面授業	<p>予習: インターネット上にある紹介動画を参考に、どのような工夫があるかをまとめておく(2時間) 復習: ニーズ調査の重要性を理解し、自分たちでニーズ調査ができるようになる(2時間)</p>
6回目	<p>学校紹介プロジェクト②</p> <p>チームごとに ①脚本作り→プロット作り→コマ割り図作成 ②写真や図の収集 ③インタビュー相手の検討</p>	対面授業	<p>予習: これまでの準備を振り返り、チーム活動に必要な事柄を、Google classroomに提出する(2時間) 復習: 構成を見直し、次回までに必要な事柄をまとめてお</p>

	④全体計画 を作成し、まとめる。実施する。		く(2時間)
7回目	学校紹介プロジェクト③ チームごとに ①脚本作り→プロット作り→コマ割り図作成 ②写真や図の収集 ③インタビュー相手の検討 ④全体計画 を作成し、まとめる。実施する。	対面授業	予習:チームで共有した情報 を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに 貢献し、何を学んだかを Google classroomに提出す る(2時間)
8回目	学校紹介プロジェクト④ チームごとに ①脚本作り→プロット作り→コマ割り図作成 ②写真や図の収集 ③インタビュー相手の検討 ④全体計画 を作成し、まとめる。実施する。	対面授業	予習:チームで共有した情報 を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに 貢献し、何を学んだかを Google classroomに提出す る(2時間)
9回目	学校紹介プロジェクト⑤ チームごとに ①脚本作り→プロット作り→コマ割り図作成 ②写真や図の収集 ③インタビュー相手の検討 ④全体計画 を作成し、まとめる。実施する。	対面授業	予習:チームで共有した情報 を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに 貢献し、何を学んだかを Google classroomに提出す る(2時間)
10回目	学校紹介プロジェクト⑥ 提出 チームごとに ①脚本作り→プロット作り→コマ割り図作成 ②写真や図の収集 ③インタビュー相手の検討 ④全体計画 を作成し、まとめる。作成物の提出	対面授業	予習:チームで共有した情報 を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに 貢献し、何を学んだかを Google classroomに提出す る(2時間)
11回目	学校紹介プロジェクト⑥ 修正 指摘を受けた部分について修正を行う 改善を実施したのち、再提出を行う	対面授業	予習:これまでの準備を見直 して、全体の完成を目指す(2 時間) 復習:構成を見直し、次まで に各部分に修正が必要な部 分に関して修正をする(2時

			間)
12回目	学校紹介プロジェクト⑦ 修正 指摘を受けた部分について修正を行う 改善を実施したのち、再提出を行う	対面授業	予習: 全体の体裁等を確認しておく(2時間) 復習: 提出した作成物を見直し、感想レポートをGoogle classroomに提出する。(2時間)
13回目	学校紹介プロジェクト 鑑賞会 それぞれのチームの発表にコメントを入れてフィードバックを行う	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
14回目	学校紹介プロジェクト 鑑賞会 それぞれのチームの発表にコメントを入れてフィードバックを行う これまでの活動を振り返ってのレポート作成	対面授業	予習: もらった評価を確認しておくこと(2時間) 復習: どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。表彰式の準備(2時間)
15回目	表彰式 これまでの活動を振り返って、ベストチューデント賞を選定	対面授業	予習: 事前配布のアンケートフォームに回答しておくこと(2時間) 復習: これまでの学習を学習ノートにまとめ、1年間の学習の振り返りをおこなう(2時間)

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	なし 随時配布プリントあり
履修条件	3Q実践Awesome Sasebo! IIを履修すること
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。 また、1年生のチューターである2年生の学びをよく見て、来年のモデルケースとすること。また、チーム活動が求められるため、ハウレンソウをしっかりと実行できるように努力すること。
オフィスアワー	前期: 木曜日2コマ目(11:00~12:00) 研究室 後期: 火曜日1コマ目(9:30~10:30) 研究室
備考・メッセージ	遅刻する際は、必ず15分前までにはクラスルームへ連絡すること

卒業研究	授業コード:
英文科目名称: Graduation Report	ナンバリング:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7 th &8 th Q	2年	2単位	必修	講義
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>国際コミュニケーションコースの2年間で学んだこと(学修成果)を以下の課題を通して、表現してもらいます。</p> <p>また、「各自の短大での学びが今後の自分のキャリアにどのようにつながるか」を考え、言語化することも目的とします。</p> <p>次の①と②を自分が選択した言語(英語、韓国語、中国語)で、口頭でプレゼンをおこなう。</p> <p>①「外国語での、外国人向け、地元アピールプレゼンテーション」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション対象者は、外国人を想定し、外国人に発信したいと思うもの。 ・プレゼンテーションの内容は、出身地(地元)の紹介したい/自慢したい何か。 <p>②「短大の学びのまとめ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短大2年間で経験したこと、頑張ったこと。 ・短大2年間で学修したものを、将来にどのように結びつけるか。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	「心豊かな人間力」の観点で、2年間の学びと自らの取組を深く分析し、正確に記述することができる。	学科ディプロマポリシーのルーブリック評価基準に準じる。	20%
専門的知識や技能	「専門的知識や技能」の観点で、2年間の学びと自らの取組を深く分析し、正確に記述することができる。	学科ディプロマポリシーのルーブリック評価基準に準じる。	20%

異文化知識・対応能力	「異文化知識・対応能力」の観点で、2年間の学びと自らの取組を深く分析し、正確に記述することができる。	学科ディプロマポリシーのルーブリック評価基準に準じる。	20%
課題解決能力	「課題解決能力」の観点で、2年間の学びと自らの取組を深く分析し、正確に記述することができる。	学科ディプロマポリシーのルーブリック評価基準に準じる。	20%
キャリアデザイン力	「キャリアデザイン力」の観点で、2年間の学びと自らの取組を深く分析し、正確に記述することができる。	学科ディプロマポリシーのルーブリック評価基準に準じる。	20%
合計			100%
補足事項			
<p>(プレゼン作成方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Google Slide(PPT)で10枚程度 ・動画もプレゼンに加える。 * 自分で撮影した写真・動画を使用する。 * プレゼンのシナリオは、スピーカーノートに、日本語と外国語訳を記入する。翻訳ができたなら、教員にチェックを依頼する。 * 授業時間内で作業を行うことを原則とするが、地元での情報収集等で授業に来られない場合は、事前事後に教員に連絡し、それに関わった時間等を報告すれば、出席とみなす。 * 自宅外通学生は、夏休み等で帰省する際に、データを十分収集しておくこと。 <p>(プレゼン方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 発表時間は1人10程度とする。 * 口頭プレゼンは、自分が学んでいる外国語でおこなう。 * 発表者は、指定した日時に短大に来てプレゼンを行う。録画したプレゼンを教員が後日評価し、録画データは原則、国コミ全学生も見れるようにする。 <p>(主な評価項目)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①国際コミュニケーション学科のディプロマポリシーのルーブリック(達成度) ②プレゼンテーションスライド(論理性、文章構成力、表現力) ③外国語での口頭発表 <p>(備考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンの準備が整ったら、必ず担当教員と十分なりハーサル、練習を行い、本番がスムーズなプレゼンになる様に努力すること。 			

- ・プレゼンの際は、原稿を見ても良いが、できるだけ顔を上げて発表すること。
- ・授業への15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画	授業内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目 9/26	<p>オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的なプレゼン作成方法の説明 ・授業目標など授業の全体説明： 「外国語での、外国人向け、地元アピールプレゼンテーション」 ・データ収集 ・Slide作成 ・動画作成 ・外国でのシナリオ準備 ・外国語でプレゼン準備 	対面授業	<p>予習：google classroomに提示する授業概要を読み、全体構成を考えておく(2時間)</p> <p>復習：ルーブリック評価、作成方法などを再度確認し、疑問点などを考える。(2時間)</p>
2回目 10/3	<p><u>プレゼン作成作業1</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンの構成作成 ・情報収集 ・プレゼン作成 ・動画編集作成 ・日本語プレゼンシナリオ作成 ・外国語へのシナリオ翻訳 	対面授業	<p>予習：①に関して準備を行う。(2時間)</p> <p>復習：作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)</p>
3回目 10/17	<p><u>プレゼン作成作業2</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンの構成作成 ・情報収集 ・プレゼン作成 ・動画編集作成 ・日本語プレゼンシナリオ作成 ・外国語へのシナリオ翻訳 	対面授業	<p>予習：①に関して準備を行う。(2時間)</p> <p>復習：作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)</p>

<p>4回目 10/19</p>	<p><u>プレゼン作成作業3</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンの構成作成 ・情報収集 ・プレゼン作成 ・動画編集作成 ・日本語プレゼンシナリオ作成 ・外国語へのシナリオ翻訳 	<p>対面授業</p>	<p>予習：①に関して準準備を行う。(2時間) 復習：作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)</p>
<p>5回目 10/31</p>	<p><u>プレゼン作成作業4</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンの構成作成 ・情報収集 ・プレゼン作成 ・動画編集作成 ・日本語プレゼンシナリオ作成 ・外国語へのシナリオ翻訳 	<p>対面授業</p>	<p>予習：①に関して準準備を行う。(2時間) 復習：作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)</p>
<p>6回目 11/7</p>	<p><u>プレゼン作成作業5</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンの構成作成 ・情報収集 ・プレゼン作成 ・動画編集作成 ・日本語プレゼンシナリオ作成 ・外国語へのシナリオ翻訳 	<p>対面授業</p>	<p>予習：①に関して準準備を行う。(2時間) 復習：作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)</p>
<p>7回目 11/8</p>	<p><u>プレゼン作成作業6</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンの構成作成 ・情報収集 ・プレゼン作成 ・動画編集作成 ・日本語プレゼンシナリオ作成 ・外国語へのシナリオ翻訳 	<p>対面授業</p>	<p>予習：①に関して準準備を行う。(2時間) 復習：作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)</p>

<p>8回目 11/14</p>	<p><u>プレゼン作成作業7</u> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンの構成作成 ・情報収集 ・プレゼン作成 ・動画編集作成 ・日本語プレゼンシナリオ作成 ・外国語へのシナリオ翻訳 </p>	<p>対面授業</p>	<p>予習：①に関して準準備を行う。(2時間) 復習：作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)</p>
<p>9回目 11/24</p>	<p><u>プレゼン作成作業8</u> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンの構成作成 ・情報収集 ・プレゼン作成 ・動画編集作成 ・日本語プレゼンシナリオ作成 ・外国語へのシナリオ翻訳 </p>	<p>対面授業</p>	<p>予習：①に関して準準備を行う。(2時間) 復習：作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)</p>
<p>10回目 12/1</p>	<p><u>プレゼンを完成し、教員へ提出</u></p>	<p>対面授業</p>	<p>予習：過去の問題を振り返り試験準備をおこなう。(2時間) 復習：自己採点をし、間違ったところを確認する。(2時間)</p>
<p>11回目 12/8</p>	<p><u>各自翻訳したシナリオを教員へ提出(翻訳チェック依頼)1</u></p>	<p>対面授業</p>	<p>予習：過去の問題を振り返り試験準備をおこなう。(2時間) 復習：自己採点をし、間違ったところを確認する。(2時間)</p>
<p>12回目 12/15</p>	<p><u>各自翻訳したシナリオを教員へ提出(翻訳チェック依頼)2</u></p>	<p>対面授業</p>	<p>予習：②に関して準準備を行う。(2時間) 復習：作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)</p>

13回目 12/22	<u>各自翻訳したシナリオを教員へ提出(翻訳チェック依頼)3</u> ・プレゼン全体、写真・動画がうまく作動するか確認も含む	対面授業	予習：②に関して準備を行う。(2時間) 復習：作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
14回目 1/12	<u>プレゼン口頭練習1</u> ・言語担当教員指導による外国語の発音練習	対面授業	予習：②に関して準備を行う。(2時間) 復習：作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
15回目 1/19	<u>プレゼン口頭練習2</u> ・言語担当教員指導による外国語の発音練習	対面授業	予習：最終確認(2時間) 復習：プレゼンの練習をおこなう。(2時間)
16回目 試験期間中	個別プレゼンテーション ・録画し、後日評価		授業内で日時を指示する。

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	
履修上の注意	2年間の総まとめとなります。学びを分析、卒業後につなげることができるように全力で取り組んでください。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	・2年間の学びの集大成となる大切な科目です。 積極的に、教員にコンタクトを取り助言を求めること。

講義科目名称：英語演習III（アクティブラーニング）	授業コード：
英文科目名称：English Active Learning	ナンバリング：CC703

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7・8	2年	1	選択	演習
担当教員				
Rosalind Shiraishi				

授業概要	<p>This course focuses on teaching students the skills they need for self-study and improving their English beyond the classroom. Students may choose their own areas of English to focus on, while learning the study methods, techniques and habits required to take their English ability to the next level.</p> <p>アクティブラーニングでは、自学自習に必要なスキルを教え、教室外での英語力向上を目指した授業を行う。本演習は、①学生各自の英語の苦手な分野或いは勉強したい分野を選択し上達させること、②英語力を次のレベルに引き上げるために必要な学習方法、スキルを学び、日常的に使えるようになること、③オンラインツールやリソースを利用し、英語に触れる機会を増やし英語の世界との関わりを広げ深めることを目標とする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	英語で、比較的身近な話題について必要な語彙を用いて筋の通った文章を書くことができる。関心のある話題について明確で情報を伝えることができる。	・発表 ・授業への参加・態度	・30% ・20%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	目標に向かって、自ら問題を見つけ、その解決方法を提案することができ、やるべきことを積極的に取り組むことができる。	・プレゼンテーション資料 ・フィードバックレポート	・30% ・20%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<p>1) 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。</p> <p>2) 本授業では、プレゼンテーション 60%（発表と資料）、レポート20%、授業への参加・態度 20%の割合で評価します。</p> <p>3) 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomに載せます。</p> <p>4) 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。</p> <p>5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション: シラバス、授業の進め方を説明する。 Unit 1 : Music—英語の歌詞を勉強する、会話と歌詞の言葉使いの差を理解します。	対面授業	予習：特になし 復習：Unit 1のノートをまとめ、好きな歌をいくつか選べます（1時間）
2回目	Unit 1 : Music—自主学習活動：個人で好きな英語の歌の歌詞をウェブで調べて勉強する。その英語について短いプレゼンを作成する。	対面授業	復習：Unit 1のプレゼン資料をあげて、発表を練習しておく（1時間）
3回目	Unit 1 : Music (発表) Unit 1の発表を行い、フィードバックレポートを書きます。	対面授業	復習：Unit1の新しい単語と文法をまとめて復習する（1時間）
4回目	October Festival Event: Halloween 英語圏の祭りの歴史、習慣、アクティビティを勉強します。	対面授業	予習：Classroomにある資料を見ておく（30分） 復習：新しい単語と文法をまとめて復習する（30分）
5回目	Unit 2: Cooking—英語のレシピを紹介し、レシピでよく使う英語を勉強する（料理で使う動詞、指示の文法など）	対面授業	復習：Unit 2のノートをまとめ、作りたいレシピを調べる（1時間）
6回目	Unit 2: Cooking—自主学習活動：グループでレシピを選んで、その英語を勉強し、料理実習のため準備する。	対面授業	復習：選んだレシピを読んで、内容の理解を確認しておく（1時間）
7回目	Unit 2: Cooking (実習) コミュニティセンターの料理室で、選んだ英語のレシピを使い、料理してみる。フィードバックレポートを書きます。	対面授業	復習：フィードバックレポートを書きます。（1時間）
8回目	November Festival Event: Guy Fawkes Day 英語圏の祭りの歴史、習慣、アクティビティを勉強します。	対面授業	予習：Classroomにある資料を見ておく（30分） 復習：新しい単語と文法をまとめて復習する（30分）
9回目	Unit 3: Modern Media—英語圏の現代オンラインメディアを紹介し、それで使われている英語を勉強する	対面授業	復習：Unit 3のノートをまとめ、好きなビデオをいくつか探します（1時間）
10回目	Unit 3: Modern Media—自主学習活動：個人で英語圏のオンラインメディアを探し、興味あるものの英語を調べて勉強する。その英語について短いプレゼンを作成する。	対面授業	復習：Unit 3のプレゼン資料をあげて、発表を練習しておく（1時間）
11回目	Unit 3: Modern Media (発表) Unit 3の発表を行い、フィードバックレポートを書きます。	対面授業	復習：Unit3の新しい単語と文法をまとめて復習する（1時間）
12回目	Unit 4: Open Topic—自主学習活動：3つのカテゴリの中から好きなトピックを選んで、オンライン資料を探し、必要な英語を勉強し、プレゼンテーションの準備を開始。	対面授業	復習：Unit 4のノートをまとめ、発表のトピックを決める（1時間）
13回目	December Festival Event: Christmas 英語圏の祭りの歴史、習慣、アクティビティを勉強します。	対面授業	復習：Unit4の発表のためオンライン資料を探してべんきょうする（1時間）
14回目	Unit 4: Open Topic—自主学習活動：選んだトピックについてプレゼン資料を作成します。	対面授業	予習：Unit4の発表のためオンライン資料を探してべんきょうする（1時間）
15回目	Unit 4: Open Topic (発表) Unit 4の発表を行い、フィードバックレポートを書きます。	対面授業	予習：Unit 3のプレゼン資料をあげて、発表を練習しておく（1時間）
16回目	(定期試験なし)		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	特になし(プリント教材は授業中で指定する)
履修条件	特になし
履修上の注意	ウェブやオンラインの資料を利用することが多いので、可能であればノートパソコンやタブレットを授業に持参してください。
オフィスアワー	(7Q) 月曜日の3～4 現目（研究室） (8Q) 月曜日の3～4 現目（研究室）
備考・メッセージ	

講義科目名称：中国語Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC607

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
青木萌				

授業概要	<p>本授業では、中国語の中級程度の聞き取る力を身に付け、幅広い範囲にわたる話題について、中国語の母語話者と比較的流暢に話せるようにする。授業では、HSK4級の聞き取り問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ol style="list-style-type: none"> 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 一つの文を一息で発音できる。 HSK4級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音練習 小テスト 課題提出 定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> 10% 20% 10% 60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%

補足事項

1. コロナウィルスの影響によっては、グーグルクラスルームの Meet でオンライン授業を行います。
2. 課題提出を必ず行ってください。
3. 遅刻 3 回を欠席 1 回でカウントします。早退は特別な事情がない限り、欠席と見なします。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	1. HSK4 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 2 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 1 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
2 回目	1. HSK4 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 3 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 2 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
3 回目	1. HSK4 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 4 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 3 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
4 回目	1. HSK4 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 5 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 4 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
5 回目	1. HSK4 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 6 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 5 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
6 回目	1. HSK4 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 7 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 6 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
7 回目	1. HSK4 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 8 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 7 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
8 回目	1. HSK4 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習	面接授業	予習: 第 9 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 8 課で学んだ箇所の音読と

	4. 小テスト		配布した読解問題。(3.5時間)
9回目	1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
10回目	1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
11回目	1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
12回目	1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
13回目	1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
14回目	1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
15回目	1. HSK4級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	復習:第15課で学んだ箇所の音読。 これまでの授業の復習。(4時間)
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
-----------	--

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けます。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4 級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう！

講義科目名称：中国語Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC607

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
井上 麗奈				

授業概要	<p>本講義は、1年生で学習した中国語のすべての科目を履修したことを条件とする。日常会話や基礎文法を習得したうえ、より難易度が高い語彙、文法、発音などの中国語を学習する。また、長文の読み、翻訳、作文を書くことができ、様々な場面におけるコミュニケーションができることを目標とする。さらに、具体的な場面を通して、中国の文化、歴史、習慣、流行などを知ることによって、異文化への理解がより一層を深めることができる。また、後期終了時には中国語の検定である HSK（漢語水平考試）3級に合格ができる。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	<ul style="list-style-type: none"> 中国の文化や歴史、習慣など深めることができる。 中国の流行について理解することができる。 	・中間試験	20%
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> 長文の読みや翻訳、作文の作成ができる 様々な場面において、コミュニケーションができる 	・課題レポート	5%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> 中国語を学び、中国の方とコミュニケーションの取り方、異文化への理解ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表 小テスト 	20% 20%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> 中国および漢字圏の中国語の表現を理解することができる。 中国語の検定、HSK（漢語水平考試）2級に合格できる。 	・授業態度・授業や演習への参加度	5%
キャリアデザイン力	<ul style="list-style-type: none"> 自ら積極的にコミュニケーションをとることができる。 自分の意思をより適切な言葉を使って相手に伝えることができる。 	・定期試験	30%
合計			100%
補足事項			

この授業は、中国語の基礎である声調やピンインを習得したうえ、日常会話を身につくと同時に、中国の文化や歴史、などを理解することができる。授業では、教科書を使うほか、絵カード、パワーポイント、カードゲーム、音楽、映像を取り入れる。また、中国語の検定である HSK（漢語水平考試）1 級に合格するためのアドバイスやサポートをする。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	オリエンテーション ・授業の進め方、履修するにあたり、注意事項や心構えについて説明する。	面接講義 オンラン可	予習:検定を受けるまでのスケジュールや心構えについて (0.5 時間)
2 回目	第 1 課 大学生的周末 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	面接講義 オンラン可	予習:文法“是”“了”“不”の使い方をまとめる (0.5 時間) 復習:新出単語と文法を再確認する (0.5 時間)
3 回目	第 2 課 北京的交通 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	面接講義 オンラン可	予習:文法“吗”、“也”、“什么”の使い方をまとめる (0.5 時間) 復習:新出単語と文法を再確認する (0.5 時間)
4 回目	第 3 課 中国人的主食----北方和南方 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	面接講義 オンラン可	予習:文法“吧”、“在”、“想”の使い方をまとめる (0.5 時間) 復習:新出単語と文法を再確認する (0.5 時間)
5 回目	第 4 課 对数字的喜好 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	面接講義 オンラン可	予習:文法“有”、“过”、“从~到”の使い方をまとめる (0.5 時間) 復習:新出単語と文法を再確認する (0.5 時間)
6 回目	第 5 課 大学生的“打工”现状 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	面接講義 オンラン可	予習:文法“可以”、“能”、“会”の使い方をまとめる (0.5 時間) 復習:・新出単語と文法を再確認する (0.5 時間) ・中間テストの勉強 (1.5 時間)
7 回目	中間テスト 第 1 課から第 5 課までの内容をテスト、答え合わせ、解説を行う。	面接講義 オンラン可	予習:文法“给”、“去”、“来”の使い方をまとめる (0.5 時間) 復習:間違った問題を再確認する (1 時間)
8 回目	第 6 課 集体生活的益处 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	面接講義 オンラン可	予習:文法“地”、“得”、“着”の使い方をまとめる (0.5 時間) 復習:新出単語と文法を再確認する (0.5 時間)
9 回目	第 7 課 在北京购物 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	面接講義 オンラン可	予習:文法“怎么”、“怎么样”、“呢”の使い方をまとめる (0.5 時間) 復習:新出単語と文法を再確認する (0.5 時間)
10 回目	第 8 課 送礼的讲究	面接講義	予習:文法“几”、“多少”、“多”の

	・本文を朗読、翻訳 ・文法	オンライン可	使い方をまとめる (0.5 時間) 復習:新出単語と文法を再確認する (0.5 時間)
11 回目	第 9 課 “中国式”的结婚 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	面接講義 オンライン可	予習:文法“从”、“到”、“离”、“往” の使い方をまとめる (0.5 時間) 復習:新出単語と文法を再確認する (0.5 時間)
12 回目	第 10 課 双职工家庭 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	面接講義 オンライン可	予習:文法“反復疑問文”、“連動文”、“疑問詞”の使い方をまとめる (0.5 時間) 復習:新出単語と文法を再確認する (0.5 時間)
13 回目	第 11 課 中国人的称呼-----辈分和面子 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	面接講義 オンライン可	予習:文法“量詞”、“方位詞”、“指示詞”の使い方をまとめる (0.5 時間) 復習:新出単語と文法を再確認する (0.5 時間)
14 回目	第 12 課 大学生心目中的理想职业 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	面接講義 オンライン可	予習:文法“都”、“的の省略”の使い方をまとめる (0.5 時間) 復習:新出単語と文法を再確認する (0.5 時間)
15 回目	総まとめ ・すべての内容をまとめる	面接講義 オンライン可	予習:プリントやノートを整理、確認する (0.5 時間) 復習:テスト勉強する (1.5 時間)
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:吉田泰謙・相原里美・葛婧著 (2013)『知っておきたい中国語事情』白水社 参考書:張乃方 (2006)『中国語実習コース』白水社
履修条件	1 年次の中国語の授業を履修したこと。
履修上の注意	毎回出席し、授業中は積極的に発話する。授業後、毎回学習したことを必ず復習する。課題は必ず指示した日時に提出し、添削後、翌週に返却する。小テスト、中間テストのほか、課題の提出や発表、授業態度など総合的に評価する。なお、授業を 5 回欠席した場合、受験資格がなくなり、遅刻 3 回した場合、一回の欠席と見做す。
オフィスアワー	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。
備考・メッセージ	継続は力なり

講義科目名称：中国語演習 I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC502

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
青木萌				

授業概要	<p>本授業では、中国語の中級程度の作文力を身に付ける。これにより、幅広い範囲にわたる話題について、中国語の母語話者と比較的スムーズに交流できるようにする。授業では、主に HSK4 級の作文問題における問題についての的確に解答し、同時に正確に発音できるように反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK4 級の作文問題に合格(正答率6割)できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・10% ・20% ・10% ・60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			
1. コロナウィルスの影響によっては、グーグルクラスルームの Meet でオンライン授業を行います。 2. 課題提出を必ず行ってください。 3. 遅刻3回を欠席1回でカウントします。早退は特別な事情がない限り、欠席と見なします。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
2回目	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
3回目	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
4回目	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
5回目	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
6回目	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
7回目	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
8回目	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
9回目	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5時間)
10回目	1. 作文の問題を解く	面接授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。

	2. 発音練習 3. 小テスト		習。(0.5 時間) 復習:第 10 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
11 回目	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第 12 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習:第 11 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
12 回目	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第 13 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習:第 12 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
13 回目	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第 14 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習:第 13 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
14 回目	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習:第 15 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習:第 14 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
15 回目	1. 作文の問題を解く 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	復習:第 15 課で学んだ箇所の音読。 これまでの授業の復習。(4 時間)
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時

	受け付けます。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4 級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう！

講義科目名称：中国語演習 I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC502

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q6Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
井上麗奈				

授業概要	本講義は、1年次で学習した中国語の基本である発声（ピンイン）、文法を復習しつつ、新しい語彙や文法を習得する。同じ課題についてグループディスカッションをし、発表をする。自分の意思を他人に伝えると同時に、ネイティブな発音を目標とする。また、中国語検定3級に合格することができる。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	中国語を学ぶと同時に、中国の文化を理解することができる。	授業参加	5%
確かな専門的知識や技能	中国語の発音を正確にできる。 文法を使って簡単な文が書ける。	定期試験 小テスト	60% 5%
異文化知識・対応能力	簡単な日常会話ができる。	積極的に中国語で発話する	10%
課題解決能力	簡単な自己紹介を書いたり、発表したりすることができる。	グループディスカッション	10%
キャリアデザイン力	中国の方と交流ができることを理解し、積極的に学習することができる	出席率及び授業態度	10%
合計			100%

補足事項

- ・授業中、分からないことがあったら、後にせず、積極的に質問する。
- ・毎回予習、復習を必ずする。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業の進め方、中国語についての簡単な説明	面接講義 オンラン可	予習：シラバスを確認する（0.5時間） 復習：日常生活の中で、知っている中国語をまとめる（0.5時間）
2回目	声調と単母音を学習する	面接講義 オンラン可	予習：中国語の発音のイメージについて考えてみる（0.5時間） 復習：声調と単母音の発音を練習する

			(0.5 時間)
3 回目	複母音と子音について学習する	面接講義 オンラン可	予習：事前に配布したプリントを確認する (0.5 時間) 復習：複母音と子音の発音を練習する (0.5 時間)
4 回目	そり舌音と鼻音を伴う母音を学習する	面接講義 オンラン可	予習：事前に配布したプリントを確認する (0.5 時間) 復習：そり舌音と鼻音を伴う母音の発音を練習する (0.5 時間)
5 回目	軽声、R 化、声調変化、数字を学習する	面接講義 オンラン可	予習：事前に配布したプリントを確認する (0.5 時間) 復習：・軽声、R 化、声調変化を理解する ・数字について発音を練習する (0.5 時間)
6 回目	1) 人称代名詞 2) 名詞述語文 3) 動詞述語文 4) “吗”の疑問文 5) 副詞“也”“都” 名詞の修飾語①	面接講義 オンラン可	予習：人称代名詞や品詞についてまとめる (0.5 時間) 復習：・人称名詞を暗記する ・学習した文法を使って簡単な文を書く練習する (0.5 時間)
7 回目	簡単な単語を使い、挨拶する文を学習する	面接講義 オンラン可	予習：・第一課で学んだ単語を暗記する ・挨拶で何を伝えたいのかを考える (0.5 時間) 復習：授業中に指定した文を暗唱する (0.5 時間)
8 回目	1) 形容詞述語文 2) 指示詞“这”“那” 3) 疑問詞“谁”“什么”“哪个” 4) “吧”の用法 “的”の省略	面接講義 オンラン可	予習：事前に配布したプリントを確認する (0.5 時間) 復習：授業中に学んだ文法を使って、単語 4 つ以上を使って、文を書く (0.5 時間)
9 回目	前回で学んだ文法を生かした会話を学習する	面接講義 オンラン可	予習：事前に配布したプリントを確認する (0.5 時間) 復習：授業中に指定した文を暗唱する (0.5 時間)
10 回目	1) 所有を表す“有” 2) 反復疑問文 3) 量詞 年月日・曜日・時刻の表し方	面接講義 オンラン可	予習：事前に配布したプリントを確認する (0.5 時間) 復習：授業中に学んだ文法を使って、単語 4 つ以上を使って、文を書く (0.5 時間)
11 回目	前回で学んだ文法を生かした会話を学習する	面接講義 オンラン可	予習：事前に配布したプリントを確認する (0.5 時間) 復習：授業中に指定した文を暗唱する (0.5 時間)
12 回目	1) 場所指示名詞“这儿”“那儿” “哪儿” 2) 方位詞 3) 存在を表す“有”“在”	面接講義 オンラン可	予習：事前に配布したプリントを確認する (0.5 時間) 復習：授業中に学んだ文法を使って、単語 4 つ以上を使って、文を書く (0.5 時間)

	4) 疑問詞“怎么” 連動文		
13 回目	前回で学んだ文法を生かした 会話を学習する	面接講義 オンラン可	予習：事前に配布したプリントを確認する（0.5 時間） 復習：授業中に指定した文を暗唱する（0.5 時間）
14 回目	1) 疑問詞“几”“多少” 2) 程度を訪ねる“多” 3) 時間の表し方 4) 前置詞“在” 5) 前置詞“从”“到”“离”“往” “呢”の疑問詞	面接講義 オンラン可	予習：事前に配布したプリントを確認する（0.5 時間） 復習：授業中に学んだ文法を使って、単語 5 つ以上を使って、文を書く（0.5 時間）
15 回目	今まで学んだ文法や会話を総 まとめする	面接講義 オンラン可	予習：事前に配布したプリントを確認する（0.5 時間） 復習：今まで学んだことを整理する（0.5 時間）
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：八木章好・鄭麗媚著（2014）『おぼえチャイナ 1』 朝日出版社 参考書：張乃方（2006）『中国語実習コース』 白水社
履修条件	1 年次の中国語の授業を履修したこと。
履修上の注意	毎回出席し、授業中は積極的に発話する。授業後、毎回学習したことを必ず復習、予習する。課題は必ず指示した日時に提出し、添削後、翌週に返却する。小テスト、中間テストのほか、課題の提出や発表、授業態度など総合的に評価する。なお、授業を 5 回欠席した場合、受験資格がなくなり、遅刻 3 回した場合、一回の欠席と見做す。
オフィスアワー	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。
備考・メッセージ	継続は力なり

講義科目名称：中国語演習Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC714

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	1単位	選択	演習
担当教員				
青木萌				

授業概要	<p>本授業では、中国語の中級程度の聞き取る力を身に付け、中国のテレビや映画を観賞し、大体の内容が理解できるようにする。授業では、主に HSK5 級の聞き取り問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK5 級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・10% ・20% ・10% ・60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			
1. コロナウィルスの影響によっては、グーグルクラスルームの Meet でオンライン授業を行います。 2. 課題提出を必ず行ってください。 3. 遅刻3回を欠席1回でカウントします。早退は特別な事情がない限り、欠席と見なします。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 2 課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5 時間) 復習: 第 1 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
2回目	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 3 課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5 時間) 復習: 第 2 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
3回目	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 4 課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5 時間) 復習: 第 3 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
4回目	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 5 課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5 時間) 復習: 第 4 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
5回目	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 6 課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5 時間) 復習: 第 5 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
6回目	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 7 課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5 時間) 復習: 第 6 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
7回目	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 8 課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5 時間) 復習: 第 7 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
8回目	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 9 課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5 時間) 復習: 第 8 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
9回目	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 10 課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5 時間) 復習: 第 9 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
10回目	1. HSK5 級の単語を学ぶ	面接授業	予習: 第 11 課で学ぶ箇所の音読練習。

	2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト		(0.5 時間) 復習: 第 10 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
11 回目	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 12 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 11 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
12 回目	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 13 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 12 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
13 回目	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 14 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 13 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
14 回目	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	予習: 第 15 課で学ぶ箇所の音読練習。(0.5 時間) 復習: 第 14 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(3.5 時間)
15 回目	1. HSK5 級の単語を学ぶ 2. 書き取り練習 3. 発音練習 4. 小テスト	面接授業	復習: 第 15 課で学んだ箇所の音読。 これまでの授業の復習。(4 時間)
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けます。
備考・メッセージ	2 年間で最低 HSK4 級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう!

講義科目名称：中国語演習Ⅲ(アクティブラーニング)	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC706

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	1単位	選択	演習
担当教員				
青木萌				

授業概要	本授業では、中国語の中級程度の読解力を身に付け、中国語で簡単なスピーチを行ったり、作文が書けるようにする。授業では、主に HSK5 級の作文を的確に解答し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	1. 中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2. 一つの文を一息で発音できる。 3. HSK5 級の作文問題に合格(正答率 6割)できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10% ・ 20% ・ 10% ・ 60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%

補足事項
<ol style="list-style-type: none"> 1. コロナウィルスの影響によっては、Google Classroom の Meet でオンライン授業を行います。 2. 課題提出を必ず行ってください。 3. 遅刻 3 回を欠席 1 回でカウントします。早退は特別な事情がない限り、欠席と見なします。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第2課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5時間) 復習: 第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
2回目	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第3課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5時間) 復習: 第2課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
3回目	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第4課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5時間) 復習: 第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
4回目	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第5課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5時間) 復習: 第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
5回目	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第6課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5時間) 復習: 第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
6回目	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第7課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5時間) 復習: 第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
7回目	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第8課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5時間) 復習: 第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
8回目	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第9課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5時間) 復習: 第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)
9回目	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第10課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5時間) 復習: 第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(1.5時間)

10 回目	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 11 課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5 時間) 復習: 第 10 課で学んだ箇所の音読と 配布した読解問題。(1.5 時間)
11 回目	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 12 課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5 時間) 復習: 第 11 課で学んだ箇所の音読と 配布した読解問題。(1.5 時間)
12 回目	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 13 課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5 時間) 復習: 第 12 課で学んだ箇所の音読と 配布した読解問題。(1.5 時間)
13 回目	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 14 課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5 時間) 復習: 第 13 課で学んだ箇所の音読と 配布した読解問題。(1.5 時間)
14 回目	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	予習: 第 15 課で学ぶ箇所の音読練習。 (0.5 時間) 復習: 第 14 課で学んだ箇所の音読と 配布した読解問題。(1.5 時間)
15 回目	1. 作文の練習 2. 発音練習 3. 小テスト	面接授業	復習: 第 15 課で学んだ箇所の音読。 これまでの授業の復習。(2 時 間)
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けます。
備考・メッセージ	2 年間で最低 HSK4 級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう!

講義科目名称：韓国語 II	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC608

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期（5Q－6Q）	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、実際の韓国人の言語生活の中で最も頻度が高い文型を使って会話能力を高め、様々な場面での日常会話を習得する。また多様な演習の機会を設けることで韓国語の正確性と流暢性を高めると共に短期間で韓国語の能力を向上させる。本授業は「TOPIK II」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK 4級以上合格を目指す。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語で書かれた、比較的身近な話題についての標準的な文章を読み、内容を理解することができる。 ・外国語で、仕事、学校、娯楽などたいていな事態に対処することができる。 ・TOPI4 級問題の類型を把握し、合格できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・単語小テスト 	60% 20%
コミュニケーション能力	・仕事、学校、娯楽などたいていな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して 関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
2回目	TOPIK 4級問題分析1 TOPIKIIの4級問題の類型を分析し、受験 対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
3回目	TOPIK 4級問題分析2 TOPIKIIの4級問題の類型を分析し、受験 対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
4回目	TOPIK 4級問題分析3 TOPIKIIの4級問題の類型を分析し、受験 対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
5回目	TOPIK 4級問題分析4	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す

	TOPIKIIの4級問題の類型を分析し、受験対策を行う		る講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIK 4級問題分析5 TOPIKIIの4級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIK 4級問題分析6 TOPIKIIの4級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIK 4級問題分析7 TOPIKIIの4級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIK 4級問題分析8 TOPIKIIの4級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)

10回目	<p>TOPIK 4級問題分析9</p> <p>TOPIKIIの4級問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
11回目	<p>TOPIK 4級問題分析10</p> <p>TOPIKIIの4級問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
12回目	<p>TOPIK 4級問題分析11</p> <p>TOPIKIIの4級問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)</p>
13回目	<p>TOPIK 4級問題分析12</p> <p>TOPIKIIの4級問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する(2時間)</p>
14回目	<p>TOPIK 4級問題分析13</p> <p>TOPIKIIの4級問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた</p>

			内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
15回目	<p>総まとめ</p> <p>今まで学習した内容の整理</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する（2時間）</p>
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：「TOP I K II 1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	<p>水曜日4コマ目（研究室）</p> <p>*その他、授業の前後及び空きコマも可</p>
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。

講義科目名称：韓国語演習 I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC503

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期（5Q-6Q）	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験（TOPIK）通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK 4 級以上合格を目指す。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	・韓国語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。 ・ TOPIKII のライティング問題の類型を把握できる。	・ 定期試験 ・ 単語小テスト	60% 20%
コミュニケーション能力	・ 仕事、学校、娯楽などたいい場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる	・ グループワーク	15%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%

補足事項	
<p>・ 本授業では、定期試験 60%、単語小テスト 20%、グループワーク 15%、授業への参加・態度 5% の割合で評価する。</p> <p>・ 質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY 及び GOOGLECLASS を利用することもできる。</p>	

・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して 関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
2回目	TOPIKIIライティング問題分析1 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析 し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
3回目	TOPIKIIライティング問題分析2 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析 し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
4回目	TOPIKIIライティング問題分析3 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析 し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
5回目	TOPIKIIライティング問題分析4 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASSに提示す る講座テーマを確認して必

	し、受験対策を行う		<p>要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
6回目	<p>TOP I KII ライティング問題分析 5</p> <p>TOP I KII のライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
7回目	<p>TOP I KII ライティング問題分析 6</p> <p>TOP I KII のライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
8回目	<p>TOP I KII ライティング問題分析 7</p> <p>TOP I KII のライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
9回目	<p>TOP I KII ライティング問題分析 8</p> <p>TOP I KII のライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
10回目	TOP I KII ライティング問題分析 9	対面授業	予習 シラバス及び

	TOPIKII のライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う		GOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
11回目	TOPIKII ライティング問題分析10 TOPIKII のライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
12回目	TOPIKII ライティング問題分析11 TOPIKII のライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
13回目	TOPIKII ライティング問題分析12 TOPIKII のライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する（2時間）
14回目	TOPIKII ライティング問題分析13 TOPIKII のライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

			トを準備する（2時間）
15回目	<p>総まとめ</p> <p>今まで学習した内容の整理</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する（2時間）</p>
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	<p>教科書：「TOPIKII 한국어능력시험 토픽 쓰기」</p> <p>参考書：「TOP I KII 1冊でOK」日本語版</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	<p>水曜日4コマ目（研究室）</p> <p>*その他、授業の前後及び空きコマも可</p>
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。

講義科目名称：韓国語演習ⅠⅠ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC708

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期（7Q－8Q）	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、今まで学習してきた理論的な知識を韓国の文化・社会・スポーツ・経済・教育など様々な分野についての文章を読んで、その内容について話し合うことで、韓国語の表現力・会話力を高める。また様々な韓国の文化を体験することでより韓国に関する興味と知識を深める。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	<ul style="list-style-type: none"> ・社会や時代の流れに問題意識をもち、自ら調べ、適切に判断し、継続して行動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加・態度 	5%
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国語で書かれた、具体的・もしくは抽象的な話題についてのある程度複雑な文章を読み、内容を理解することができる。 ・韓国語で、幅広い話題について明確で詳細に情報を伝えることができる。 ・韓国で知名度の高い視聴覚資料を通じて韓国文化への理解を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題 	60%
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的・場面に応じて自らの意思を適切に表現・伝達し、相手の意思を的確に理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク 	35%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、グループワーク35%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 			

- ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY 及び GOOGLECLASS を利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査など	対面授業	予習 シラバスを確認して 関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
2回目	コーヒー共和国 「文化」についてのテキストを読み、発音・感 じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容 について討論する。	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASS に提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
3回目	B T S 効果と K - P O P 留学 「文化」についてのテキストを読み、発音・感 じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容 について討論する。	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASS に提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
4回目	渋谷が笑った 「スポーツ」についてのテキストを読み、発音・ 感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内 容について討論する。	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASS に提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(2時間)
5回目	小学生から化粧？ 「経済・社会」についてのテキストを読み、発 音・感じ・文法・内容について聞く問題を解い て、内容について討論する。	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASS に提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (2時間)

			復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
6回目	1歳のお祝いは家族水入らずで・・・ 「社会・文化」についてのテキストを読み、発音・感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
7回目	韓国人が行きたい国？ 「文化・観光」についてのテキストを読み、発音・感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
8回目	さすがツンデレ？ 「韓国・日本」についてのテキストを読み、発音・感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
9回目	大卒者就職率が66％・・・ 「経済・教育」についてのテキストを読み、発音・感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
10回目	5歳の子供が95億ウォンビル？ 「経済」についてのテキストを読み、発音・感	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必

	じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。		<p>要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
11回目	<p>入試には、お父さんの無関心？</p> <p>「教育」についてのテキストを読み、発音・感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
12回目	<p>20年間、兵役？</p> <p>「社会」についてのテキストを読み、発音・感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
13回目	<p>アパートで老後対策？</p> <p>「経済」についてのテキストを読み、発音・感じ・文法・内容について聞く問題を解いて、内容について討論する。</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
14回目	<p>原稿暗唱</p> <p>今まで勉強した内容の中でテキストを1つ選んで暗唱し、その内容について話し合う</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）</p>
15回目	総まとめ	対面授業	予習 シラバス及び

	今まで学習した内容の整理		GOOGLECLASS に提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する（2時間）
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：今知りたい、韓国を読む（朝日出版社）
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	水曜日 4 コマ目（研究室） * その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。

講義科目名称：韓国語演習Ⅲ（A L）	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC709

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期（7Q-8Q）	2年	1単位	選択	講義
担当教員				
李載宇				

授業概要	<p>実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、定型化された教科書の文形から離れて実際使われている視聴覚資料を通じて、「自分のことば」としての韓国語を練習することを目的とする。同じ性別・同じ年齢代の韓国人が使用することばで構成されたコンテンツを体験して感想を語り合い、自分のことばで表現することで、より完成度の高い韓国語を駆使できるようにする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・社会や時代の流れに問題意識をもち、自ら調べ、適切に判断し、継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	・韓国語で、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な要内容を理解できる。 ・韓国で知名度の高い視聴覚資料を通じて韓国文化への理解を高める。	・課題	60%
コミュニケーション能力	・相手や目的・場面に応じて自らの意思を適切に表現・伝達し、相手の意思を的確に理解することができる。	・グループワーク	35%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、グループワーク35%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業概要、アンケート、外国語コンテンツの利用方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して 関連情報を集める(1時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(1時間)
2回目	韓国ドラマで勉強する韓国語1 韓国ドラマの1シーンを観て感想を語り合い、 映画の中に出てくる単語、表現を整理する。1シ ーンを再演するための役割分担を行う。	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASS に提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (1時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(1時間)
3回目	韓国ドラマで勉強する韓国語2 前回勉強した1シーンで出てきた単語と表現を 確認し、台詞を覚えて、直接再演する。	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASS に提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (1時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(1時間)
4回目	韓国ドラマで勉強する韓国語3 韓国ドラマの1シーンを観て感想を語り合い、 映画の中に出てくる単語、表現を整理する。1シ ーンを再演するための役割分担を行う。	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASS に提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (1時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(1時間)
5回目	韓国ドラマで勉強する韓国語4 前回勉強した1シーンで出てきた単語と表現を 確認し、台詞を覚えて、直接再演する。	対面授業	予習 シラバス及び GOOGLECLASS に提示す る講座テーマを確認して必 要な単語、表現を整理する (1時間) 復習 授業内容をまとめた 内容を確認して、単語テ ストを準備する(1時間)

6回目	<p>韓国ドラマで勉強する韓国語5</p> <p>韓国ドラマの1シーンを観て感想を語り合い、映画の中に出てくる単語、表現を整理する。1シーンを再演するための役割分担を行う。</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)</p>
7回目	<p>韓国ドラマで勉強する韓国語6</p> <p>前回勉強した1シーンで出てきた単語と表現を確認し、台詞を覚えて、直接再演する。</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)</p>
8回目	<p>韓国ドラマで勉強する韓国語7</p> <p>韓国ドラマの1シーンを観て感想を語り合い、映画の中に出てくる単語、表現を整理する。1シーンを再演するための役割分担を行う。</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)</p>
9回目	<p>韓国ドラマで勉強する韓国語8</p> <p>前回勉強した1シーンで出てきた単語と表現を確認し、台詞を覚えて、直接再演する。</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)</p>
10回目	<p>韓国ドラマで勉強する韓国語9</p> <p>韓国ドラマの1シーンを観て感想を語り合い、映画の中に出てくる単語、表現を整理する。1シーンを再演するための役割分担を行う。</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間)</p> <p>復習 授業内容をまとめた</p>

			内容を確認して、単語テストを準備する（1時間）
11回目	<p>韓国ドラマの紹介（模擬授業）1</p> <p>韓国のドラマの1シーンを紹介する模擬授業を準備して、実施する。ピアレビューを通じて、お互いの授業を評価する。</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（1時間）</p>
12回目	<p>韓国ドラマの紹介（模擬授業）1</p> <p>韓国のドラマの1シーンを紹介する模擬授業を準備して、実施する。ピアレビューを通じて、お互いの授業を評価する。</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（1時間）</p>
13回目	<p>韓国ドラマの紹介（模擬授業）1</p> <p>韓国のドラマの1シーンを紹介する模擬授業を準備して、実施する。ピアレビューを通じて、お互いの授業を評価する。</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（1時間）</p>
14回目	<p>韓国ドラマの紹介（模擬授業）1</p> <p>韓国のドラマの1シーンを紹介する模擬授業を準備して、実施する。ピアレビューを通じて、お互いの授業を評価する。</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間）</p> <p>復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（1時間）</p>
15回目	<p>総まとめ</p> <p>今まで学習した内容の整理</p>	対面授業	<p>予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する</p>

			(1時間) 復習 今までの授業内容を まとめた内容を確認して、 定期試験を準備する(1時 間)
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	
教科書・参考書	各授業で提示
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	水曜日4コマ目(研究室) *その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称：基礎日本語Ⅱ（N2）	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC602

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q6Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	実際に使える日本語が身につけられるように身近な場面を取り入れ、「読む・書く」に重点をおいた学習をする。読むために役立つ文法・文型を学び、日常的に関心のある文章の理解を深める。また、学習者個人の意見や計画（その他）できるようになることも目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
専門的知識や技能	自分の意見や感想が表現でき、N1レベル相当の日本語を習得する。身に付けた日本語力でコミュニケーションが進められる。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	使える日本語を身に付け、異文化の中で自己表現ができる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 課題提出や連絡はGoogle classroomを利用する
- 定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加・態度10%の割合で評価する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン可	予習：2回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する（2時間）
2回目	トピック 1 part 4 ・インタビュー記事を読んで、詳しく理解する	対面授業 オンライン可	予習：3回目の語彙を調べ覚える。ページ 58 を考察する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3回目	トピック 1 part 5 ・くわしく紹介するメールを書く	対面授業 オンライン可	予習：4回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4回目	トピック 2 part 4 ・観光地の特色を理解する	対面授業 オンライン可	予習：5回目の語彙を調べ覚える。ページ 76 を考察する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
5回目	トピック 2 part 5 ・自国の観光地を紹介するメールを書く	対面授業 オンライン可	予習：6回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
6回目	トピック 3 part 4 ・コメントを読んで、その意見を理解する	対面授業 オンライン可	予習：7回目の語彙を調べ覚える。ページ 94 を考察する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
7回目	トピック 3 part 5 ・記事をインターネットの掲示板に書く	対面授業 オンライン可	予習：8回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
8回目	トピック 1～3 まとめ	対面授業 オンライン可	予習：9回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
9回目	トピック 4 part 4 ・芸能に関する文章を理解する	対面授業 オンライン可	予習：10回目の語彙を調べ覚える。ページ 112 を考察する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
10回目	トピック 4 part 5 ・地域の行事や催しについて案内を書く	対面授業 オンライン可	予習：11回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
11回目	トピック 5 part 4 ・ニュースの記事を読み理解する	対面授業 オンライン可	予習：12回目の語彙を調べ覚える。ページ 130 を考察する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
12回目	トピック 5 part 5 ・身近なニュースを SNS で紹介する	対面授業 オンライン可	予習：13回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）

13回目	トピック 6part 4 ・商品のレビューを読み理解する	対面授業 オンライン可	予習：14回目の語彙を調べ覚える。ページ148を考察する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
14回目	トピック 6part 5 ・状況を説明するクレームのメールを書く	対面授業 オンライン可	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
15回目	トピック 4～6 まとめ	対面授業 オンライン可	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級2」
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業前後で対応
備考・メッセージ	欠席の場合は前もって連絡すること（連絡方法については授業開始時に指示する）

講義科目名称：基礎日本語 I I (N 2)	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：C C 6 0 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q / 5Q 2Q / 6Q	1年 2年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	日本語学習の基礎となる初中級日本語文法を習得し中級日本語文法の運用力をつける。学習した文型、語彙の理解を深める。内容のポイントをとらえる練習を継続的に行い、能動的な言語活動を促す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わることができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。	定期試験 ミニテスト	40% 25%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。		
課題解決能力	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	20%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	15%
合計			100%

補足事項	
<p>初中級から中級の語彙や文型を増やして、日常生活における日本語を理解し、使用できるようになる。学習項目に合わせ、宿題や確認テストを課し、理解度を深める。</p> <p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「定期試験 (40%)」、「ミニテスト (25%)」、「課題 (20%)」、「学習態度 (15%)」。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション ・授業内容を説明すること。 「トピック1」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
2回目	「トピック1」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
3回目	「トピック1・2」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 <u>「ミニテスト①」</u>	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
4回目	「トピック2」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
5回目	「トピック2・3」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 <u>「ミニテスト②」</u>	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
6回目	「トピック3」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
7回目	「トピック3・4」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 <u>「ミニテスト③」</u>	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
8回目	「トピック4」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
9回目	「トピック4・5」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 <u>「ミニテスト④」</u>	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）

10回目	「トピック5」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
11回目	「トピック5・6」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 <u>「ミニテスト⑤」</u>	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
12回目	「トピック6」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
13回目	「トピック6」 ・答えあわせ・解説 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 <u>「ミニテスト⑥」</u>	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
14回目	「トピック1～3の復習」 ・練習問題（文型） <u>「ミニテスト⑦」</u>	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
15回目	「トピック4～6の復習」 ・練習問題（文型） <u>「ミニテスト⑧」</u>	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：テスト範囲（1時間）
16回目	「定期試験」	対面のみ	予習：テスト範囲（1時間） 復習：テスト範囲（1時間）

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級1B1」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称：基礎日本語Ⅱ（N3）	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC602

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q6Q	1	2	選択	SC(OL)
担当教員				
岩見 真知子				

授業概要	日常の必要性のある事柄について情報交換でき、自分や家族の状況、身の回りの様子を簡単な言葉で説明し文章にできる。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	社会のルールや状況に適した態度を意識して、振る舞うことができる。	授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	日本語で自身の必要や感情を表すために、基本的な語彙や文法を用いた文章を理解して書くことができる。	定期試験 ※小テスト、作文課題等含む	50%
異文化知識・対応能力	自分と異なる文化を持つ人との関わりに対して、自己の世界観を基本として理解しようとする考え方をもつことができる。	ペアでのダイアログ	10%
課題解決能力	自らの意思で活動に参加し、目的や課題を理解し、解決に向けて相手の意見を聞き、確認や見直しを行い、計画的に動くことができる。	小テスト	20%
キャリアデザイン力	自分の行動特徴について理解して自分のパーソナリティと適職の関係について理解している。	作文	15%
合計			100%
補足事項			
授業に関する必要事項については、Google Classroom を使用して、メールで行う。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション	SC(OL)	予習：0.5時間 復習：0.5時間
2回目	1 私とかぞく	SC(OL)	予習：0.5時間

	②③かいわとぶんぼう		復習：0.5 時間
3 回目	2 きせつと天気 ②③かいわとぶんぼう	SC(OL)	予習：0.5 時間 復習：0.5 時間
4 回目	3 私の町 ②③かいわとぶんぼう	SC(OL)	予習：0.5 時間 復習：0.5 時間
5 回目	3 私の町 ②③かいわとぶんぼう	SC(OL)	予習：0.5 時間 復習：0.5 時間
6 回目	4 出かける ②③かいわとぶんぼう	SC(OL)	予習：0.5 時間 復習：0.5 時間
7 回目	5 外国語と外国文化 ②③かいわとぶんぼう	SC(OL)	予習：0.5 時間 復習：0.5 時間
8 回目	5 外国語と外国文化 ②③かいわとぶんぼう	SC(OL)	予習：0.5 時間 復習：0.5 時間
9 回目	6 そとで食べる ②③かいわとぶんぼう	SC(OL)	予習：0.5 時間 復習：0.5 時間
10 回目	6 そとで食べる ②③かいわとぶんぼう	SC(OL)	予習：0.5 時間 復習：0.5 時間
11 回目	7 出張 ②③かいわとぶんぼう	SC(OL)	予習：0.5 時間 復習：0.5 時間
12 回目	7 出張 ②③かいわとぶんぼう	SC(OL)	予習：0.5 時間 復習：0.5 時間
13 回目	8 けんこう ②③かいわとぶんぼう	SC(OL)	予習：0.5 時間 復習：0.5 時間
14 回目	8 けんこう ②③かいわとぶんぼう	SC(OL)	予習：0.5 時間 復習：0.5 時間
15 回目	9 お祝い ②③かいわとぶんぼう	SC(OL)	予習：0.5 時間 復習：0.5 時間
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	まるごと 日本のことばと文化 初級1 A2
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。
オフィスアワー	午前8時～午後9時 メールで行う。
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止、携帯電話使用は語句確認時のみとする。

講義科目名称：基礎日本語Ⅱ（N4）	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC602

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q6Q	2	2	選択	講義
担当教員				
山本 みづほ				

授業概要	日本語のゆるぎない基礎力を養う。 本講義では、N4レベルの文字・語彙・文法・聴解・読解の力をしっかりと身に付け、次のレベルにつないでゆくことを目標にする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・積極的に問題に取り組み、教え合おうとする。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・問題を解く中で、適切な用法を身に付けることができる。 ・注意深く音声を聞き、聴解のスキルを向上することができる。	・定期試験 ・ミニテスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・日本語の文法や漢字に興味を持ち、理解に努めようとする。	・授業への参加・態度	5%
課題解決能力	・分からないところは質問し、教え合う姿勢で問題に取り組むことができる。	・授業への参加・態度	5%
キャリアデザイン力	・より上級の日本語能力試験に挑戦しようとする。	・授業への参加・態度	5%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などは Google Classroom を利用する。 ・本授業では、定期試験60%、ミニテスト20%、授業への参加態度20%の割合で評価する。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方、心がまえ、注意点について説明する。	対面授業 オンライン可	予習：2冊のテキストの前書きを読む（2時間）

2回目	テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間） 予習：テキストの次回分を読む（2時間）
3回目	テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間） 予習：テキストの次回分を読む（2時間）
4回目	テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間） 予習：テキストの次回分を読む（2時間）
5回目	テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間） 予習：テキストの次回分を読む（2時間）
6回目	テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間） 予習：テキストの次回分を読む（2時間）
7回目	テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間） 予習：テキストの次回分を読む（2時間）
8回目	テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間） 予習：テキストの次回分を読む（2時間）
9回目	テキスト3冊テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間） 予習：テキストの次回分を読む（2時間）
10回目	テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間） 予習：テキストの次回分を読む（2時間）
11回目	テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間）

			予習：テキストの次回分を読む（2時間）
12回目	テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間） 予習：テキストの次回分を読む（2時間）
13回目	テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間） 予習：テキストの次回分を読む（2時間）
14回目	テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間） 予習：テキストの次回分を読む（2時間）
15回目	テキスト2冊の指示したページを説明し、ミニテストで確認する。	対面授業 オンライン可	復習：ミニテストでの間違った問題のやり直しをする。新出漢字を書いて覚える（2時間） 予習：テキストの次回分を読む（2時間）
16回目	定期試験	対面のみ	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	まるごと入門 A1 りかい（復習に使う） まるごと初級 1 A1 りかい まるごと初級 1 A2 かつどう
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もって Classroom で連絡すること。 授業開始から 15 分経過したら欠席となります。
オフィスアワー	授業の前後、Classroom でも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べること以外に使わないこと。 授業で時間があれば NHK 海外向け放送「BENTO」や、NHK for school を視聴します。より日本語の理解を深めましょう。

講義科目名称：日本語会話Ⅲ（N1）	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC604

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q6Q	2	2	選択	演習
担当教員				
依藤 実里				

授業概要	実際の日本語使用場面に対応できるコミュニケーション能力を養うことを目的とする。特に、仕事や学校等で出会う身近な場面を中心に、話す・聞くに焦点を当てて授業を行う。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的に接することができる。	授業態度	10%
専門的知識や技能	身近な話題について、場面に適した語彙や表現を用いて伝えることができる。また、主要点を理解することができる。	ミニテスト定期試験	20% 50%
異文化知識・対応能力	与えられたトピックやクラスメイト等との交流を通じ、多様な文化や考え方から新たな視点を得て、自らの考えを深め、発展させることができる。	授業態度	10%
課題解決能力	今後の日本語使用場面を想像し、目的意識を持って積極的に授業に取り組める。	授業態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、授業態度、定期試験、ミニテストを評価対象とする。
- ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。
- ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。
- ・30分以上の退出や授業終了30分以上前の早退は、欠席と同等と見做す。
- ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくは Classroom で指示する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	●オリエンテーション ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習	対面授業	【予習】シラバスに目を通す、教科書を準備する、Classroom 登録。(1時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。

	<p>の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価に関する説明 ・学習記録シートに関する説明 <p>●これまでの学習内容の確認</p>		(1 時間)
2 回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●TOPIC1 どんな人? ・準備 ・part1 	対面授業	<p>【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
3 回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●TOPIC1 どんな人? ・part2 	対面授業	<p>【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
4 回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●TOPIC1 どんな人? ・part3 	対面授業	<p>【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
5 回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●TOPIC1 どんな人? ・まとめ 	対面授業	<p>【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
6 回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●TOPIC2 富士登山 ・準備 ・part1 	対面授業	<p>【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
7 回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●TOPIC2 富士登山 ・part2 	対面授業	<p>【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
8 回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●TOPIC2 富士登山 ・part3 	対面授業	<p>【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
9 回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●TOPIC2 富士登山 ・まとめ 	対面授業	<p>【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
10 回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト 	対面授業	<p>【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定さ</p>

	●TOPIC3 健康的な生活 ・準備 ・part1		れた課題に取り組む(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。 (2時間)
11回目	●ミニテスト ●TOPIC3 健康的な生活 ・part2	対面授業	【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。 (2時間)
12回目	●ミニテスト ●TOPIC3 健康的な生活 ・part3	対面授業	【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。 (2時間)
13回目	●ミニテスト ●TOPIC3 健康的な生活 ・まとめ	対面授業	【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。 (2時間)
14回目	●ミニテスト ●実践会話練習1	対面授業	【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。 (2時間)
15回目	●ミニテスト ●実践会話練習2	対面授業	【予習】次回分の新出語彙を覚える。指定された課題に取り組む(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。 (2時間)
16回目	定期試験		定期試験に向けて準備を行う。(2時間)

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『まるごと 日本のことばと文化 中級2 B1』三修社
履修条件	目的意識を持って、授業に参加できること。
履修上の注意	・毎回、教科書と語彙表を持ってくること。 ・予習ができていることを前提に授業をすすめるので、事前にしっかり準備しておくこと。
オフィスアワー	授業前後に対応。その他、アポイントがあれば適宜対応可。
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。

講義科目名称：日本語会話Ⅲ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC604

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q6Q	2	2	選択	SC(OL)
担当教員				
岩見 真知子				

授業概要	既習の基礎表現に加えて更に日常生活で必要となる場面において丁寧な表現、細やかな心情表現などの運用力の向上を目指す
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	自ら考え、適切に判断し常に社会のルールや状況に適した行動ができ、他者に対して、常に親和的な態度で関わるができる。	授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	日本語で仕事、学校、娯楽などに対応でき、身近な話題についても主要な点を理解できる。様々な場面で自らの意思を表現、伝達し相手の意思を理解できる。	定期試験 ※小テスト、作文 課題等含む	50%
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的相違を認識し、行動に取り入れ、共通理解を得ようと努めることができる。その新しい視点に沿って複雑な視点を持つことができる。	ペアでのダイアログ	20%
課題解決能力	目標に向かって、自らやるべきことを見つけ積極的に取り組むことができ、周囲の人々に声をかけ動かすことができる。自ら問題を見つけ解決方法を検討することができる。	小テスト	20%
キャリアデザイン力	自己のライフスタイルを振り返り、職業志向条件や勤務条件について考え、自分自身を十分にプレゼンできる準備ができている。	作文	5%
合計			100%
補足事項			
授業に関する必要事項については、Google Classroom を使用して、メールで行う。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
2回目	トピック4 舞台を見るなら (Part 1)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
3回目	トピック4 舞台を見るなら (Part 2)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
4回目	トピック4 舞台を見るなら (Part 2)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
5回目	トピック4 舞台を見るなら (Part 3)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
6回目	トピック5 身近なニュース (Part 1)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
7回目	トピック5 身近なニュース (Part 2)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
8回目	トピック5 身近なニュース (Part 2)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
9回目	トピック5 身近なニュース (Part 3)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
10回目	トピック5 身近なニュース (Part 3)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
11回目	トピック6 これが欲しい！ (Part 1)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
12回目	トピック6 これが欲しい！ (Part 2)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
13回目	トピック6 これが欲しい！ (Part 2)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
14回目	トピック6 これが欲しい！ (Part 3)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
15回目	トピック6 これが欲しい！ (Part 3)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	まるごと 日本のことばと文化 中級2 B1
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。
オフィスアワー	午前8時～午後9時 メールで行う。
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止、携帯電話使用は語句確認時のみとする。

講義科目名称：日本語会話Ⅲ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC604

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q6Q	2	2	選択	SC (OL)
担当教員				
岩見 真知子				

授業概要	日本語での基本的な対話力向上に重きを置き、文字・語彙・文法能力を高めることを主眼として、日常生活での運用能力向上を目指す
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	自ら考え、行動することを意識することができる。試行錯誤しながら、自ら考え行動する。	授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	日本語で基本的な定型の挨拶や短い文章を理解し、自らの意思を表現・伝達し相手の意思を理解できる。身近で日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。	定期試験 ※小テスト、作文 課題等含む	50%
異文化知識・対応能力	自分と異なる文化を持つ人との関わりに対して自己の世界観を基本として理解しようとする考え方もつことができ、単純な疑問を基に理解しようとする考え方もつことができる。	ペアでのダイアログ	20%
課題解決能力	自らの意思で活動に参加し、その目的や課題を理解し、確認と質問をしながら、よく考え、自分から動くことができる。	小テスト	20%
キャリアデザイン力	自分の行動特徴について理解し自分のパーソナリティと適職の関係について理解している。	作文	5%
合計			100%

補足事項

授業に関する必要事項についての連絡は、Google Classroom を使用して メールで行う。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業に関するオリエンテーション	SC (OL)	予習：2時間 復習：2時間

2回目	トピック1 はじめての人と (part 1)	SC (OL)	予習：2時間 復習：2時間
3回目	トピック1 はじめての人と (part 2)	SC (OL)	予習：2時間 復習：2時間
4回目	トピック1 はじめての人と (part 2)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
5回目	トピック1 はじめての人と (part 3)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
6回目	トピック2 おすすめの料理 (part 1)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
7回目	トピック2 おすすめの料理 (part 2)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
8回目	トピック2 おすすめの料理 (part 2)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
9回目	トピック2 おすすめの料理 (part 3)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
10回目	トピック3 私の好きな音楽 (part 1)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
11回目	トピック3 私の好きな音楽 (part 2)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
12回目	トピック3 私の好きな音楽 (part 2)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
13回目	トピック3 私の好きな音楽 (part 3)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
14回目	トピック3 私の好きな音楽 (part 3)	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
15回目	トピック1～3 復習	SC(OL)	予習：2時間 復習：2時間
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	まるごと 日本のことばと文化 中級2 B1
履修条件	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	午前8時～午後9時まで メールを使用すること
備考・メッセージ	授業中は母語使用禁止、携帯電話は語句確認時のみとする

講義科目名称：日本語会話Ⅲ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC604

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	実際に使える日本語が身につけられるように身近な場面を取り入れ、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での具体的な「can-do」を目指し、実際の日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
専門的知識や技能	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。(日本語能力試験 N2 レベルの実力)	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項	
<p>○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。</p> <p>○課題提出や連絡は Google classroom を利用する</p> <p>○定期試験 60%、ミニテスト 10%、グループ・ペアワーク 10%、課題 10%、授業への参加・態度 10% の割合で評価する。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明	対面授業 オンライン可	予習：2回目の語彙を調べ覚える。

	評価方法の説明 インタビュー		
2回目	トピック 4 part 1 ・現地中継レポートを聞き理解する	対面授業 オンライン可	予習:3回目の語彙を調べ覚える。 文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
3回目	トピック 4 part2 ・理由を言う	対面授業 オンライン可	予習:4回目の語彙を調べ覚える。 ページ107を考察する。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	トピック 4 part3 ・旅行の計画や希望を詳しく話す	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	トピック 4 part 1～3まとめ	対面授業 オンライン可	予習:6回目の語彙を調べ覚える。 (2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	トピック 5part 1 ・できごとについて話を聞き理解する	対面授業 オンライン可	予習:7回目の語彙を調べ覚える。 文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	トピック 5part2 ・最近の様子を聞いたり話したりする ・共通の話題について話す	対面授業 オンライン可	予習:8回目の語彙を調べ覚える。 ページ125を考察する。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	トピック 5part3 ・自分のできごとを詳しく話す	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	トピック 5part1～3まとめ	対面授業 オンライン可	予習:10回目の語彙を調べ覚える。 (2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	トピック 6part 1 ・マンガについて理解する	対面授業 オンライン可	予習:11回目の語彙を調べ覚える。 文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	トピック 6part2 ・マンガについて話し、また相手の考えにコメントする	対面授業 オンライン可	予習:12回目の語彙を調べ覚える。 ページ143を考察する。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	トピック 6part3 ・マンガについてストーリーを話す	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	トピック 6part 1～3まとめ	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	トピック 4～6part 1～3 総まとめ①	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)

15 回目	トピック 4～6part 1～3 総まとめ②	対面授業 オンライン可	予習：定期試験の準備（2 時間） 復習：既習内容の確認（2 時間）
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級 1」
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業前後で対応
備考・メッセージ	欠席の場合は前もって連絡すること（連絡方法については授業開始時に指示する）

講義科目名称：日本語会話Ⅲ（N3）	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC604

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	<p>基礎会話力を身につけるために、会話の場面や内容、写真、イラストなどを使用し日常会話を学習する。</p> <p>①日常生活においてよく使われる文や表現が理解できる。</p> <p>②日常の事柄について情報交換に応ずることができる。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
専門的知識や技能	自分の身近なことや興味があることについて紹介できる。また自分の意見や感想が表現でき対応できる。(N3レベル)	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	基本的な事柄に関して自己表現でき、対応できる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 課題提出や連絡は Google classroom を利用する
- 定期試験 60%、ミニテスト 10%、グループ・ペアワーク 10%、課題 10%、授業への参加・態度 10% の割合で評価する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：1課③、2課②③の 会話練習 必要な語句の確認(2時間)
2回目	トピック1〈だい1課・2課〉 ・1家族や自分のことを話す	対面授業 オンライン等	予習：3課②③、4課②③の 会話練習

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 お互いの言語について言う ・ 3 趣味について話す ・ 4 自己紹介サイトのコメントを読む ・ 5 自己紹介サイトに書く 	の対応可	必要な語句の確認(2時間) 復習:既習内容の確認。2課 生活と文化をよく読み、考 察する(2時間)
3回目	トピック2〈だい3課・4課〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 6 季節の変化について話す ・ 7 好きな季節を話す ・ 8 天気について話す ・ 9 電話での天気の会話 	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:5課②③、6課②③の 会話練習 必要な語句の確認(2時間) 復習:既習内容の確認。4課 生活と文化をよく読み、考 察する(2時間)
4回目	トピック3〈だい5課・6課〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 10 地図を見ながら話す ・ 11 地図を見ながら情報を伝える ・ 12 行き方を言う ・ 13 聞き間違えたことをなおす ・ 14 建物の特徴を言う 	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:7課②④、8課③の会 話練習 必要な語句の確認(2時間) 復習:既習内容の確認。6課 生活と文化をよく読み、考 察する(2時間)
5回目	トピック4〈だい7課・8課〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 15 待ち合わせの時間と場所について話す ・ 16 待ち合わせについて ・ 17 理由を言ってあやまる ・ 18 ともだちを誘う ・ 19 ともだちに事情を話す 	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:9課②④、10課②③ の会話練習 必要な語句の確認(2時間) 復習:既習内容の確認。8課 生活と文化をよく読み、考 察する(2時間)
6回目	トピック5〈だい9課・10課〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 20 既習言語の勉強方法 ・ 21 既習言語について ・ 22 既習言語の記録 ・ 23 勉強方法について ・ 24 異文化の関わり方 ・ 25 助けを求める/求められる ・ 26 イベントのプログラムを読む 	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:11課②③、12課② ③の会話練習 必要な語句の確認(2時間) 復習:既習内容の確認。10 課生活と文化をよく読み、 考察する(2時間)
7回目	トピック6〈だい11課・12課〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 27 ピクニック関連 ・ 28 ピクニック関連 ・ 29 ピクニック関連 ・ 30 知らない食べものについて ・ 31 味について ・ 32 食べ物を勧める 	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:13課②④、14課② ③④の会話練習 必要な語句の確認(2時間) 復習:既習内容の確認。12 課生活と文化をよく読み、 考察する(2時間)
8回目	トピック7〈だい13課・14課〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 33 出張について ・ 34 出迎えるあいさつ ・ 35 ホテルについて ・ 36 出張のスケジュールについて ・ 37 会社のスタッフの紹介 ・ 38 使ってもいいか聞く ・ 39 見送りのあいさつ ・ 40 メッセージを読む 	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:15課②③④、16課 ②③の会話練習 必要な語句の確認(2時間) 復習:既習内容の確認。14 課生活と文化をよく読み、 考察する(2時間)
9回目	トピック8〈だい15課・16課〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 41 体の具合を聞く/答える ・ 42 体操の仕方を聞く/言う 	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:17課②③、18課② ④の会話練習 必要な語句の確認(2時間)

	<ul style="list-style-type: none"> ・43 体にいいことを勧める ・44 健康のためにしていることは ・45 健康についてのアンケート ・46 結果を発表する 		復習：既習内容の確認。16課生活と文化をよく読み、考察する（2時間）
10回目	トピック9〈だい17課・18課〉 <ul style="list-style-type: none"> ・47 ともだちの持ち物をほめる ・48 自分の持ち物について ・49 プレゼントの習慣について話す ・50 お祝いの相談 ・51 結婚お祝いカードを読む ・52 結婚お祝いカードを書く ・53 お礼を言う 	対面授業 オンライン等の対応可	予習：11回目の授業範囲の確認（2時間） 必要な語句の確認（2時間） 復習：既習内容の確認。18課生活と文化をよく読み、考察する（2時間）
11回目	トピック1・2・3の復習・まとめ①	対面授業 オンライン等の対応可	予習：12回目の授業範囲の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
12回目	トピック4・5の復習・まとめ②	対面授業 オンライン等の対応可	予習：13回目の授業範囲の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
13回目	トピック6・7の復習・まとめ③	対面授業 オンライン等の対応可	予習：14回目の授業範囲の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
14回目	トピック8・9の復習・まとめ④	対面授業 オンライン等の対応可	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認。（2時間）
15回目	トピック1～9までの総復習・総まとめ	対面授業 オンライン等の対応可	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認。（2時間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 初級1A2かつどう」
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業前後で対応
備考・メッセージ	欠席の場合は前もって連絡すること（連絡方法については授業開始時に指示する）

講義科目名称：日本語会話 I I I (N3)	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC604

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	「話す」技能に焦点を当てた授業である。会話やプレゼンテーションについて、分かりやすく伝えるためにどのような話し方が適切かを音声や動画を参考にしながらディスカッションやロールプレイを通して学ぶ。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わることができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近で日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。	会話テスト ミニテスト	40% 10%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。	グループワーク	20%
課題解決能力	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	15%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	15%
合計			100%

補足事項

到達目標

- ① 正しい発音で話せるようになる。
- ② 日常生活で円滑なコミュニケーションができるようになる
- ③ 日本語で分かりやすく発表できるようになる。

授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。

評価は、「会話テスト (40%)」、「グループワーク (20%)」、「ミニテスト (10%)」、「課題 (15%)」、「学習態度 (15%)」。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション ・授業内容を説明すること。 「トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
2回目	「トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
3回目	<u>「ミニテスト①」</u> 「トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
4回目	「トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
5回目	<u>「ミニテスト②」</u> 「トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
6回目	「トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
7回目	<u>「ミニテスト③」</u> 「トピック4」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
8回目	「トピック4」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
9回目	<u>「ミニテスト④」</u> 「トピック5」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
10回目	「トピック5」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロール	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）

	プレイを行い、順番に発表する。		認する (0・5時間)
11回目	<u>「ミニテスト⑤」</u> 「トピック6」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
12回目	「トピック6」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
13回目	<u>「ミニテスト⑥」</u> 「トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
14回目	「トピック7、8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
15回目	<u>「ミニテスト⑦」</u> 「トピック8、9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 <u>「ミニテスト⑧」</u>	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
16回目	「会話テスト」 ・個別で会話テストをする。	対面授業 オンライン等の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 初級2 A 2 かつどう・りかい」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。日本語が正しく使えることより、話したいことが話せる、わかってもらえる経験をみんなと共有したいので、興味があること、話したいことを積極的に話題にしてください。動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称：日本語会話 I I I (N4)	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC604

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
中野 はるみ				

授業概要	「話す」技能に焦点を当てた授業である。会話やプレゼンテーションについて、分かりやすく伝えるためにどのような話し方が適切かを音声や動画を参考にしながらディスカッションやロールプレイを通して学ぶ。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近で日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。	会話テスト ミニテスト	40% 10%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。	グループワーク	20%
課題解決能力	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	15%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	15%
合計			100%

補足事項

到達目標

- ① 正しい発音で話せるようになる。
- ② 日常生活で円滑なコミュニケーションができるようになる
- ③ 日本語で分かりやすく発表できるようになる。

授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。

評価は、「会話テスト (40%)」、「グループワーク (20%)」、「ミニテスト (10%)」、「課題 (15%)」、「学習態度 (15%)」。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション ・授業内容を説明すること。 「復習」 ・既習単語やフレーズを復習する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：既習単語と文型を復習する（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
2回目	「復習」 ・既習単語やフレーズを復習する。 「ミニテスト（入門）」	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：既習単語と文型を復習する（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
3回目	「トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
4回目	「トピック1」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
5回目	「ミニテスト①」 「トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
6回目	「トピック2」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
7回目	「ミニテスト②」 「トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
8回目	「トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
9回目	「ミニテスト③」 「トピック4」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
10回目	「トピック4」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
11回目	「ミニテスト④」 「トピック5」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）

	・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。		認する (0・5時間)
12回目	「トピック5」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
13回目	「ミニテスト⑤」 「トピック6」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
14回目	「トピック6」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
15回目	「ミニテスト⑥」 「復習」 ・既習単語やフレーズを復習する。 ・会話テストに向けての練習 (グループ)	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：テスト範囲
16回目	「会話テスト」 ・個別で会話テストをする。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：テスト範囲 復習：テスト範囲

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 入門かつどう」 「まるごと日本のことばと文化 初級1 A 2 かつどう・りかい」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。日本語が正しく使えることより、話したいことが話せる、わかってもらえる経験をみんなと共有したいので、興味があること、話したいことを積極的に話題にしてください。動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称：日本語会話Ⅲ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC604

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
山本 みづほ				

授業概要	日本で生活する中での、基礎的な日本語会話を身に付けることを目標とする。本演習では、設定された場面での会話を、①場面に即したことば遣いができる、②覚えた語彙を用いることができる、③的確な表現ができることを目指したい。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・他への思いやりを持った受け答えができる。	・グループディスカッション	5%
専門的知識や技能	・質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。 ・正しい発音でわかりやすく話すことができる。 ・オノマトペを使いこなすことができる。	・定期試験 ・ミニテスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	・日本文化の特徴を理解している。 ・日本のマナーを体得している。	・レポート	10%
課題解決能力	・分からないこと、聞き取れなかったことをその場で聞き返すことができる。	・授業への参加・態度	5%
キャリアデザイン力	・自分の将来を言語化してしっかりと説明することができる。	・スピーチ	10%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などは Google Classroom を利用する。 ・本授業では、定期試験50%、ミニテスト20%、レポート10%、グループディスカッション・授業への参加態度10%、スピーチ10%の割合で評価する。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方と注意点についての説明をする。 「今日のトピック1」 ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで	対面授業 オンライン可	予習：Classroom で指示されたことを行う（0・5時間） 復習：今日の新出単語を確認する（0・5時間）

	行い順番に発表する。		
2回目	<p>「今日のトピック2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。 ・ミニテスト 	対面授業 オンライン可	<p>予習：最近のニュースを調べる（0・5時間）</p> <p>復習：今日の新出単語を確認する（0・5時間）</p>
3回目	<p>「今日のトピック3」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。 	対面授業 オンライン可	<p>予習：最近のニュースを調べる（0・5時間）</p> <p>復習：今日の新出単語を確認する（0・5時間）</p>
4回目	<p>「今日のトピック4」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。 ・ミニテスト 	対面授業 オンライン可	<p>予習：最近のニュースを調べる（0・5時間）</p> <p>復習：今日の新出単語を確認する（0・5時間）</p>
5回目	<p>「今日のトピック5」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。 	対面授業 オンライン可	<p>予習：最近のニュースを調べる（0・5時間）</p> <p>復習：今日の新出単語を確認する（0・5時間）</p>
6回目	<p>「今日のトピック6」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。 ・ミニテスト 	対面授業 オンライン可	<p>予習：最近のニュースを調べる（0・5時間）</p> <p>復習：今日の新出単語を確認する（0・5時間）</p>
7回目	<p>「今日のトピック7」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。 	対面授業 オンライン可	<p>予習：最近のニュースを調べる（0・5時間）</p> <p>復習：今日の新出単語を確認する（0・5時間）</p>
8回目	<p>「今日のトピック8」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。 ・ミニテスト 	対面授業 オンライン可	<p>予習：最近のニュースを調べる（0・5時間）</p> <p>復習：今日の新出単語を確認する（0・5時間）</p>
9回目	<p>「今日のトピック9」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。 	対面授業 オンライン可	<p>予習：最近のニュースを調べる（0・5時間）</p> <p>復習：今日の新出単語を確認する（0・5時間）</p>
10回目	<p>「今日のトピック10」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで 	対面授業 オンライン可	<p>予習：最近のニュースを調べる（0・5時間）</p> <p>復習：今日の新出単語を確認する（0・5時間）</p>

	行い順番に発表する。 ・ミニテスト		
11 回目	「今日のトピック 1 1」 ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業 オンライン可	予習：最近のニュースを調べる（0・5 時間） 復習：今日の新出単語を確認する（0・5 時間）
12 回目	「今日のトピック 1 2」 ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。 ・ミニテスト	対面授業 オンライン可	予習：最近のニュースを調べる（0・5 時間） 復習：今日の新出単語を確認する（0・5 時間）
13 回目	「今日のトピック 1 3」 ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業 オンライン可	予習：最近のニュースを調べる（0・5 時間） 復習：今日の新出単語を確認する（0・5 時間）
14 回目	「今日のトピック 1 4」 ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。 ・ミニテスト	対面授業 オンライン可	予習：最近のニュースを調べる（0・5 時間） 復習：今日の新出単語を確認する（0・5 時間）
15 回目	「今日のトピック 1 5」 ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業 オンライン可	予習：最近のニュースを調べる（0・5 時間） 復習：今日の新出単語を確認する（0・5 時間）
16 回目	定期試験	対面のみ	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	まるごと初級 1 A 2 かつどう（主に使う） まるごと初級 1 A 2 りかい
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もって Classroom で連絡すること。 授業開始から 15 分経過したら欠席となります。
オフィスアワー	授業の前後、Classroom でも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。 時間があれば、授業で NHK 海外向け放送「BENTO」、NHK for school を視聴するので、番組を楽しみながらより会話力をつけましょう。

講義科目名称：日本語会話 I V	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC715

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	「話す」技能に焦点を当てた授業である。会話やプレゼンテーションについて、分かりやすく伝えるためにどのような話し方が適切かを音声や動画を参考にしながらディスカッションやロールプレイを通して学ぶ。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近で日常の事柄や様々な場面やことについて詳しく伝えることができる。	会話テスト ミニテスト	40% 10%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。	グループワーク	20%
課題解決能力	様々な場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	15%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	15%
合計			100%

補足事項	
<p>中級から上級の語彙や文型を使い、場面に応じた適切なコミュニケーション及び問題解決ができる。学習項目に合わせ、宿題や確認テストを課し、理解度を深める。</p> <p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「会話テスト（40%）」、「グループワーク（20%）」、「ミニテスト（10%）」、「課題（15%）」、「学習態度（15%）」。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション ・授業内容を説明すること。 絵日記の発表（夏休み課題）	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
2回目	絵日記の発表（夏休み課題） 「中級2トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
3回目	「中級2トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
4回目	「中級2トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
5回目	「中級2トピック7」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
6回目	「ミニテスト①」 「中級2トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
7回目	「中級2トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
8回目	「中級2トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
9回目	「中級2トピック8」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロール	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）

	プレイを行い、順番に発表する。		認する (0・5時間)
10回目	<u>「ミニテスト②」</u> 「中級2トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
11回目	「中級2トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
12回目	「中級2トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
13回目	「中級2トピック9」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う (0・5時間) 復習：既習単語と文型を確認する (0・5時間)
14回目	<u>「ミニテスト③」</u> 「会話テストに向けて準備」 ・会話テストに向けての練習 (グループ)	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：テスト範囲 (1時間) 復習：テスト範囲 (1時間)
15回目	「会話テストに向けて準備」 ・会話テストに向けての練習 (グループ)	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：テスト範囲 (1時間) 復習：テスト範囲 (1時間)
16回目	「会話テスト」 ・個別で会話テストをする。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：テスト範囲 (1時間) 復習：テスト範囲 (1時間)

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級2」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称：日本語会話IV	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC715

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
8Q	1	2	選択	演習
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	学習の成果が教室の外での実際のコミュニケーションにつながるように、これまで学習してきた会話に役立つ文法・文型、会話を元にロールプレイなどを通して使える日本語を定着させる。実際にコミュニケーションをする中で自分に必要な情報をひろったり、話の重要な点を理解して会話を勧めたりできるようになることを目標とする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
専門的知識や技能	様々な場面で日本語を使い分けて、表現できる。 (日本語能力試験 N1 レベルの実力)	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	中上級相当の知識で多様な文化に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項
<p>○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。</p> <p>○課題提出や連絡は Google classroom を利用する。</p> <p>○定期試験 60%、ミニテスト 10%、グループ・ペアワーク 10%、課題 10%、授業への参加・態度 10% の割合で評価する。</p>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明	対面授業 オンライン可	予習：ページ42を考察する。Part2の会話練習をする（2時間）

	評価方法の説明 インタビュー		
2回目	トピック 1part2 会話・ロールプレイ ・具体的なエピソードを交えながら コメントし合う	対面授業 オンライン可	予習：ページ 60 を考察する。Part2 の会話練習をする（2時間） 復習：：既習内容の確認（2時間）
3回目	トピック 2part2 会話・ロールプレイ ・旅行の計画の調整をする	対面授業 オンライン可	予習：ページ 78 を考察する。Part2 の会話練習をする（2時間） 復習：：既習内容の確認（2時間）
4回目	トピック 3part2 会話・ロールプレイ ・健康法について意見を述べ、アド バイスする	対面授業 オンライン可	予習：ページ 96 を考察する。Part2 の会話練習をする（2時間） 復習：：既習内容の確認（2時間）
5回目	トピック 4part2 会話・ロールプレイ ・芝居や演劇について情報を提供す る	対面授業 オンライン可	予習：ページ 114 を考察する。Part2 の会話練習をする（2時間） 復習：：既習内容の確認（2時間）
6回目	トピック 5part2 会話・ロールプレイ ・ニュースについて質問したり、答 えたりする	対面授業 オンライン可	予習：ページ 132 を考察する。Part2 の会話練習をする（2時間） 復習：：既習内容の確認（2時間）
7回目	トピック 6part2 会話・ロールプレイ ・希望商品について詳しく説明する	対面授業 オンライン可	予習：ページ 150 を考察する。Part2 の会話練習をする（2時間） 復習：：既習内容の確認（2時間）
8回目	トピック 7part2 会話・ロールプレイ ・映画についてコメントし合う	対面授業 オンライン可	予習：ページ 168 を考察する。Part2 の会話練習をする（2時間） 復習：：既習内容の確認（2時間）
9回目	トピック 8part2 会話・ロールプレイ ・交通機関のトラブルについて説明 し、アドバイスをする	対面授業 オンライン可	予習：ページ 186 を考察する。Part2 の会話練習をする（2時間） 復習：：既習内容の確認（2時間）
10回目	トピック 9part2 会話・ロールプレイ ・他国の歴史や文化の会話に参加す る	対面授業 オンライン可	予習：各 Part3 ⑤を考察する。会話 練習をする（2時間） 復習：：既習内容の確認（2時間）
11回目	トピック 1.2.3part3 会話・ロールプ レイ	対面授業 オンライン可	予習：各 Part3 ⑤を考察する。会話 練習をする（2時間） 復習：：既習内容の確認（2時間）
12回目	トピック 4.5.6part3 会話・ロールプ レイ	対面授業 オンライン可	予習：各 Part3 ⑤を考察する。会話 練習をする（2時間） 復習：：既習内容の確認（2時間）
13回目	トピック 7.8.9.part3 会話・ロールプ レイ	対面授業 オンライン可	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
14回目	トピック 1～9part 総まとめ	対面授業	予習：定期試験の準備（2時間）

	会話・ロールプレイ	オンライン可	復習：既習内容の確認（2時間）
15回目	トピック1～9part 総まとめ 会話・ロールプレイ	対面授業 オンライン可	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級2」
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業前後で対応
備考・メッセージ	欠席の場合は前もって連絡すること（連絡方法については授業開始時に指示する）

講義科目名称：日本語会話IV	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC715

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	実際に使える日本語が身につけられるように身近な場面を取り入れ、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での具体的な「can-do」を目指し、実際の日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
専門的知識や技能	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。(日本語能力試験 N2 レベルの実力)	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項	
<p>○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。</p> <p>○課題提出や連絡は Google classroom を利用する</p> <p>○定期試験 60%、ミニテスト 10%、グループ・ペアワーク 10%、課題 10%、授業への参加・態度 10% の割合で評価する。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明	対面授業 オンライン可	予習：2回目の語彙を調べ覚える。

	評価方法の説明 インタビュー		
2回目	トピック 7part 1 ・武道やスポーツの話聞き、理解する	対面授業 オンライン可	予習：3回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3回目	トピック 7part 2 ・受講方法や規則について理解する	対面授業 オンライン可	予習：4回目の語彙を調べ覚える。ページ161を考察する。（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4回目	トピック 7part 3 ・自国のスポーツを説明する	対面授業 オンライン可	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
5回目	トピック 7part 1～3まとめ	対面授業 オンライン可	予習：6回目の語彙を調べ覚える。（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
6回目	トピック 8part 1 ・道具について話を聞き理解する	対面授業 オンライン可	予習：7回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
7回目	トピック 8part 2 ・希望の商品を詳しく言う	対面授業 オンライン可	予習：8回目の語彙を調べ覚える。ページ179を考察する。（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
8回目	トピック 8part 3 ・道具について説明する	対面授業 オンライン可	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
9回目	トピック 8part 1～3まとめ	対面授業 オンライン可	予習：10回目の語彙を調べ覚える（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
10回目	トピック 9part 1 ・行事紹介番組を見て理解する	対面授業 オンライン可	予習：11回目の語彙を調べ覚える文型を確認する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
11回目	トピック 9part 2 ・体験や感想を詳しく話す	対面授業 オンライン可	予習：12回目の語彙を調べ覚える。ページ197を考察する。（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
12回目	トピック 9part 3 ・祭りや行事について説明する	対面授業 オンライン可	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
13回目	トピック 9part 1～3まとめ	対面授業 オンライン可	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
14回目	トピック 7～9part 1～3 総まとめ①	対面授業 オンライン可	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
15回目	トピック 7～9part 1～3 総まとめ②	対面授業 オンライン可	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）

16回目	定期試験		
------	------	--	--

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級1」
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業前後で対応
備考・メッセージ	欠席の場合は前もって連絡すること（連絡方法については授業開始時に指示する）

講義科目名称:日本語会話Ⅳ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC715

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
8Q	2年	2	選択	演習
担当教員				
岩崎				

授業概要	<p>本講座は国際コミュニケーションコースの専門教育科目の中でも1年次の1Qから2年次の8Qまで続く日本語教育の中でも、会話の場面における運用能力向上を目的としている。多様な文化背景をもつ留学生を対象としているため、直接法を基本とするが、使用する教科書は国際交流基金が作成した「まるごと」を使用し、ことばと文化を併せて学ぶことができるよう設定されている。</p> <p>そのため、本講義ではB1と呼ばれる「身近で個人的にも関心のある話題について単純な方法で結びつけられた脈絡のあるテキストを作ることができる」ようになった後の、より詳細に事柄や事象を伝えることができるようになる事を目的に継続的な学びを支援する。</p> <p>また、テレビ番組などの動画を通して、実際使われている日本語に触れることで、多様な表現ができるようになる事を目標としている。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	日本語で仕事、学校、娯楽など大抵な字体に対処することができるだけでなく、身近な話題について主要な点を聞いて理解し、発話できるようになる。 また、日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解しえることができる。	授業態度 試験	10 60
異文化知識・対応能力	文化背景の異なるクラスメイトを理解し、協力することで日本語の使用機会を増やし、より実践的な言語運用能力を高めることができる	授業態度	10
課題解決能力			
キャリアデザイン力	日本語能力が将来のキャリア形成に影響する事を理解できる。更に、資格試験取得に関しても、計画を立て、実行することができる。	課題	20
合計			100%
補足事項			

- ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。
- ・本講義では課題60%、授業参加態度40%の割合で評価する
- ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される
- ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認する クラスメイトについて理解する・知る 詳細な自己紹介の方法等を知る	対面授業	予習:教科書の確認(中級B2)Googleclassroomのクラスに登録する(1時間) 自己紹介を考えておく 復習:本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(1時間)
2回目	【トピック① 茶・甘】 「ひろがる」で学ぶ https://tsunagarujp.bunka.go.jp/ 動画を見て、リスニングを通して日本語の多様な言い回しを学ぶ	対面授業	予習:教科書 p41~45を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習: p41~45までの学習内容を復習しておく(1時間)
3回目	□ 茶道文化へのインタビュー □ 製菓へのインタビュー まとめ発表	対面授業	予習:教科書p46~50の語彙や表現が使えるように練習しておく(1時間) 復習:p46~50までの学習内容を復習しておく(1時間)
4回目	【トピック② 星】 「ひろがる」で学ぶ https://tsunagarujp.bunka.go.jp/ 動画を見て、リスニングを通して日本語の多様な言い回しを学ぶ	対面授業	予習:教科書 p40~53(中級B2)を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習: p40~53までの学習内容を復習しておく(1時間)
5回目	□ 星座相性しらべ ・自分の国の占いしらべ ・説明資料作成	対面授業	予習:配布された資料の未収語彙、表現を調べておく(1時間) 復習:新しく学んだ表現、語彙を覚える(1時間)
6回目	□発表と実践	対面授業	予習:発表の際に、新しく学んだ語彙や表現が使えるように練習しておく(1時間) 復習:友達の発表で聞いた新しい表現、語彙を覚える(1時間)
7回目	【トピック③ 漫・書】 「ひろがる」で学ぶ https://tsunagarujp.bunka.go.jp/	対面授業	予習:教科書p41~58(中級1B2)を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間)
8回目	□ マンガのオノマトペ □ マンガとアニメ	対面授業	予習:予習:教科書(中級1B1)p131~148を予習し、未

			習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間)
9回目	□ アニメから学ぶ日本語会話①	対面授業	予習:教科書p149~166(中級1B2)を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間)
10回目	□ アニメから学ぶ日本語会話②	対面授業	予習:教科書p149~166(中級1B2)を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間)
11回目	【トピック④ 寺・神社】 「ひろがる」で学ぶ https://tsunagarujp.bunka.go.jp/	対面授業	予習:予習:教科書(中級1B1)p185~203を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間)
12回目	神社訪問① 飯森神社の禰宜さんから成り立ちや歴史を聞くためにインタビューを考える	対面授業	予習:予習:教科書(中級1B1)p185~203を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間)
13回目	神社訪問② 飯森神社でのインタビュー 素材の撮影 まとめ	対面授業	予習:インタビューシートの見直し(1時間) 復習:聞いたことを文章にまとめ、発表資料を作る(1時間)
12回目	【トピック⑤ スーパー・市場】 「ひろがる」で学ぶ https://tsunagarujp.bunka.go.jp/	対面授業	予習:教科書p131~148(中級1B2)を予習し、語彙などを調べておく。(1時間) 復習:新しく学んだ表現、語彙を覚える(1時間)
13回目	□ 様々な日本のサービスと経済成長 □ セルフレジと買い物袋	対面授業	予習:教科書p131~148(中級1B2)を予習し、語彙などを調べておく。(1時間) 復習:新しく学んだ表現、語彙を覚える(1時間)
14回目	□ インターネットでの買い物 □ 直取引サイトでの買い物	対面授業	予習:教科書p167~184(中級1B1)を予習し、語彙などを調べておく。(1時間) 復習:新しく学んだ表現、語彙を覚える(1時間)
15回目	【トピック⑥ 海外の人と話す】 日本語を母語としない海外に住んでいる人にこれまで学んだことに関して、説明する ★トピックは選んでいいです	対面授業	予習:これまでに準備した資料を整理して、動画作成などの準備をしておく(1時間) 復習:発表内容を復習しておく(1時間)
16回目	【テストとふりかえり2】 トピック1~5の内容を確認します		予習:全てを復習し、テストに備える(1時間) 復習:これまでの学習内容を復習して、次のレベルの学修内容に備えておく(1時間)

科目(教職課程用)	なし
-----------	----

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	『まるごと』中級B2 国際交流基金
履修条件	日本語会話Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの履修済みであること
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること
オフィスアワー	後期： 木曜日2コマ目(11:00～12:00)研究室
備考・メッセージ	・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。

講義科目名称: 日本語会話Ⅳ(前半)	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC715

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q(前半)	2年	2	選択	演習
担当教員				
岩崎				

授業概要	<p>本講座は国際コミュニケーションコースの専門教育科目の中でも1年次の1Qから2年次の8Qまで続く日本語教育の中でも、会話の場面における運用能力向上を目的としている。多様な文化背景をもつ留学生を対象としているため、直接法を基本とするが、使用する教科書は国際交流基金が作成した「まるごと」を使用し、ことばと文化を併せて学ぶことができるよう設定されている。</p> <p>そのため、本講義ではA1と言われる「ごく基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など直接関係がある領域に関する」使用頻度が高い会話能力の育成をはじめ、B1と呼ばれる「身近で個人的にも関心のある話題について単純な方法で結びつけられた脈絡のあるテキストを作ることができる」ように継続的な学びを支援する。</p> <p>また、テレビ番組などの動画を通して、実際使われている日本語に触れることで、多様な表現ができるようになる事を目標としている。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	日本語で身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報を伝えることができるようになる。 また、日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解しえることができる。	授業態度 試験	10 60
異文化知識・対応能力	文化背景の異なるクラスメイトを理解し、協力することで日本語の使用機会を増やし、より実践的な言語運用能力を高めることができる	授業態度	10
課題解決能力			
キャリアデザイン力	日本語能力が将来のキャリア形成に影響する事を理解できる。更に、学校外での学びに関しても、計画を立て、実行することができる。	課題	20
合計			100%
補足事項			

- ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。
- ・本講義では課題60%、授業参加態度40%の割合で評価する
- ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される
- ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認する クラスメイトについて理解する・知る 詳細な自己紹介の方法等を知る	対面授業	予習:教科書の確認(初中級A2/B1)Googleclassroomのクラスに登録する(1時間) 自己紹介を考えておく 復習:本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(1時間)
2回目	【トピック①スポーツの試合】p24~28 ①スポーツの試合 ②行きたいんですが ③行けなくなったんです	対面授業	予習:教科書p24~28を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習:p24~28までの学習内容を復習しておく(1時間)
3回目	【トピック1 スポーツの試合】p29 ④応援の言葉 【トピック2 家を探す】p34~37 ①私が住んでいるところ 日本の家の構造を学ぶ	対面授業	予習:教科書p29、p34~37の語彙や表現が使えるように練習しておく(1時間) 復習:p29、p34~37までの学習内容を復習しておく(1時間)
4回目	【トピック2 家を探す】p38~39 ②家はもう見つかりましたか ③週末は引越しです 日本の家の構造を学んで、会話ができるようになる	対面授業	予習:教科書p38~39、p44~47を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習:p38~39、p44~47までの学習内容を復習しておく(1時間)
5回目	【トピック3 ほっとする食べ物】p44~49 ①食べ物 ②日本の食べ物にはもうなれましたか ③夜はうちで食べています	対面授業	予習:教科書p44~49の語彙や表現が使えるように練習しておく(1時間) 復習:p44~49までの学習内容を復習しておく(1時間)
6回目	【トピック4 訪問】p53~58 ①知りあいの家を訪問する ②うちの家族です ③外国生活の思い出(内容確認)	対面授業	予習:教科書p53~58を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習:p53~58までの学習内容を復習しておく(1時間)
7回目	【トピック4 訪問】p58~59 ③外国生活の思い出	対面授業	予習:教科書p58~59、p64~66を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いてお

	【トピック5 ことばを学楽しみ】p64~66 ①ことばを学ぶ目的と方法 ②どうやって勉強していますか		く。(1時間) 復習:p53~58までの学習内容を復習しておく(1時間)
8回目	【トピック5 訪問】p66~69 ②どうやって勉強していますか ③見習わなきゃ	対面授業	予習:教科書p66~69を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習:p66~69までの学習内容を復習しておく(1時間)
9回目	【テストとふりかえり1】 トピック1~5の内容を確認します	対面授業	予習:p74-75を熟読し、テストに備える(1時間) 復習:これまでの学習内容を復習しておく(1時間)
10回目	【トピック6 結婚】p76~79 ①人生いろいろ ②ほんとうですか ③おめでとう、お幸せに!	対面授業	予習:教科書p76~79を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習:p76~79までの学習内容を復習しておく(1時間)
11回目	【トピック7 なやみ相談】p86~89 ①人は悩む ②最近、元気がないですね	対面授業	予習:教科書p86~89を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習:p86~89までの学習内容を復習しておく(1時間)
12回目	【トピック7 なやみ相談】p90~91 ③社会人のなやみ ★調べ学習 P91を参考に調べて発表します	対面授業	予習:教科書p90~91を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習:p90~91までの学習内容を復習しておく(1時間)
13回目	【トピック7 なやみ相談】p86~91 ③社会人のなやみ調査発表	対面授業	予習:教科書p91を参考に学内の先生へ調査し、まとめる(1時間) 復習:チェックされた日本語を復習しておく(1時間)
14回目	【トピック8 旅行中のトラブル】p96~100 ①空港の中 ②今のアナウンス、何て言っていましたか ③あった、あった	対面授業	予習:教科書p96~100を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習:p96~100までの学習内容を復習しておく(1時間)
15回目	【トピック9 仕事を探す】p106~111 ①いろいろな会社 ②少々お待ちください ③働きやすいですよ	対面授業	予習:教科書p106~111を予習し、未習語彙などを調べ問題を解いておく。(1時間) 復習:p106~111までの学習内容を復習しておく(1時間)
16回目	【テストとふりかえり2】 トピック6~9の内容を確認します		予習:p76-111を熟読し、テストに備える(1時間) 復習:これまでの学習内容を復習して、次のレベルの学修内容に備えておく(1時間)

科目(教職課程用)	なし
-----------	----

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	『まるごと』初中級A2/B1 国際交流基金
履修条件	日本語会話Ⅰ、Ⅱの履修済みであること
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること
オフィスアワー	後期： 木曜日2コマ目(11:00～12:00)研究室
備考・メッセージ	・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。

講義科目名称：日本語会話Ⅳ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC715

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
8Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	「話す」技能に焦点を当てた授業である。会話やプレゼンテーションについて、分かりやすく伝えるためにどのような話し方が適切かを音声や動画を参考にしながらディスカッションやロールプレイを通して学ぶ。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。		
専門的知識や技能	日本語で、身近で日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。	会話テスト ミニテスト	40% 10%
異文化知識・対応能力	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。	グループワーク	20%
課題解決能力	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	課題	15%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	学習態度	15%
合計			100%

補足事項
<p>初級から中級の語彙や文型を使い、場面に応じた適切なコミュニケーション及び問題解決ができる。学習項目に合わせ、宿題や確認テストを課し、理解度を深める。</p> <p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「会話テスト（40%）」、「グループワーク（20%）」、「ミニテスト（10%）」、「課題（15%）」、「学習態度（15%）」。</p>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	<p>イントロダクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を説明すること。 <p>「トピック1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
2回目	<p>「トピック1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
3回目	<p>「トピック1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
4回目	<p>「トピック1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
5回目	<p>「トピック1」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
6回目	<p>「ミニテスト①」</p> <p>「トピック2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
7回目	<p>「トピック2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
8回目	<p>「トピック2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
9回目	<p>「トピック2」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>
10回目	<p>「ミニテスト②」</p> <p>「トピック3」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 	対面授業 オンライン等の対応可	<p>予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間）</p> <p>復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）</p>

	・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。		
11回目	「トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
12回目	「トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
13回目	「トピック3」 ・トピックについて、様々な場面で使われる単語やフレーズを習う。 ・設定した場面でグループワークやロールプレイを行い、順番に発表する。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
14回目	「ミニテスト③」 「会話テストに向けて準備」 ・会話テストに向けての練習（グループ）	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
15回目	「会話テストに向けて準備」 ・会話テストに向けての練習（グループ）	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）
16回目	「会話テスト」 ・個別で会話テストをする。	対面授業 オンライン等の 対応可	予習：Classroomで指示されたことを行う（0・5時間） 復習：既習単語と文型を確認する（0・5時間）

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級1」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使ってみてください。日本語が正しく使えることより、話したいことが話せる、わかってもらえる経験をみんなと共有したいので、興味があること、話したいことを積極的に話題にしてください。動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称：日本語検定 I I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC307

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
チャウ ユンテン				

授業概要	JLPTN1の文字、語彙及び文法力を上達させるための授業である。必ず予習として練習問題を事前に解き、分からないことを授業で聞く。授業では解答及び解説をメインに行う。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	N1に合格するという目標に向かっている。		
専門的知識や技能	N1の文字、語彙及び文法力を身につけている。	定期試験	40%
異文化知識・対応能力	N1の文字、語彙及び文法力を身につけている。	予習／復習	25%
課題解決能力	学習法と試験対策を身に付けている。	課題	25%
キャリアデザイン力	N1に合格することで、進学や就職に活かせる。	学習態度	10%
合計			100%

補足事項	
<p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> ① JLPTN1の文字、語彙及び文法力をアップする。 ② 試験用だけではなく、日常生活にも上手く活かせる。 ③ 学習法と試験対策を身に付けている。 <p>授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。</p> <p>評価は、「定期試験（40%）」、「予習／復習（25%）」、「課題（25%）」、「学習態度（10%）」。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション ・授業内容を説明すること。 N1ドリル&ドリル 文字、語彙 ・解答と解説 N1ドリル&ドリル 文法 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
2回目	N1ドリル&ドリル 文字、語彙 ・ <u>ミニテスト①</u> ・解答と解説 N1ドリル&ドリル 文法 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
3回目	N1ドリル&ドリル 文字、語彙 ・ <u>ミニテスト②</u> ・解答と解説 N1ドリル&ドリル 文法 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
4回目	N1ドリル&ドリル 文字、語彙 ・ <u>ミニテスト③</u> ・解答と解説 N1ドリル&ドリル 文法 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
5回目	N1ドリル&ドリル 文字、語彙 ・ <u>ミニテスト④</u> ・解答と解説 N1ドリル&ドリル 文法 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
6回目	N1ドリル&ドリル 文字、語彙 ・ <u>ミニテスト⑤</u> ・解答と解説 N1ドリル&ドリル 文法 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
7回目	N1ドリル&ドリル 文字、語彙 ・ <u>ミニテスト⑥</u> ・解答と解説 N1ドリル&ドリル 文法 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
8回目	N1ドリル&ドリル 文字、語彙 N1ドリル&ドリル 文法 ・ <u>中間テスト</u> N1ドリル&ドリル 聴解読解 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
9回目	N1ドリル&ドリル 文法 ・ <u>ミニテスト⑦</u> ・解答と解説 N1ドリル&ドリル 聴解読解 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
10回目	N1ドリル&ドリル 文法 ・ <u>ミニテスト⑧</u>	対面授業 オンライン等	予習：指定したドリルの練習問題（1時間）

	・解答と解説 N1ドリル&ドリル 聴解読解 ・解答と解説	の対応可	復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
11回目	N1ドリル&ドリル 文法 ・ <u>ミニテスト⑨</u> ・解答と解説 N1ドリル&ドリル 聴解読解 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
12回目	N1ドリル&ドリル 文法 ・ <u>ミニテスト⑩</u> ・解答と解説 N1ドリル&ドリル 聴解読解 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
13回目	N1ドリル&ドリル 文法 ・ <u>ミニテスト⑪</u> ・解答と解説 N1ドリル&ドリル 聴解読解 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
14回目	N1ドリル&ドリル 文法 ・ <u>ミニテスト⑫</u> ・解答と解説 N1ドリル&ドリル 聴解読解 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
15回目	N1ドリル&ドリル 文法 ・ <u>ミニテスト⑬</u> ・解答と解説 N1ドリル&ドリル 聴解読解 ・解答と解説	対面授業 オンライン等 の対応可	予習：指定したドリルの練習問題（1時間） 復習：分からなかったことや気を付けたいことをまとめる（2時間）
16回目	定期試験	対面のみ	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「ドリル&ドリル日本語能力試験 N1 文字語彙」 「ドリル&ドリル日本語能力試験 N1 文法」 「ドリル&ドリル日本語能力試験 N1 聴解読解」
履修条件	なし
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	動機を大切に授業をのぞみます。

講義科目名称：日本語検定Ⅱ（・応用日本語）	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC307

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
(4Q) + 5Q	2年	2 (1単位)	選択	講義
担当教員				
依藤実里				

授業概要	日本語能力試験 N2 レベルの文法、聴解、読解を中心に扱う。様々な形式の問題に少しずつ触れ、試験問題のパターンに慣れることを第一の目標とする。また、関連する表現、漢字や語彙も一緒に学び、問題から離れても運用できる応用力をつけることを目指す。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	問題演習や解説を通じ、自分の力で正答を導き出すことができる。 重要な表現、漢字や語彙が理解できる。	定期試験 ミニテスト	50% 30%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	自身の学習状況を振り返り、自ら適切な目標を立てることができる。	学習記録シート	10%
キャリアデザイン力	自身の進路計画に必要な日本語能力を意識し、積極的に授業に取り組める。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験、ミニテストだけでなく、学生本人による学習記録も評価の対象とする。 ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。 ・本授業は「応用日本語」(基本的に火曜1コマ)の時間に実施することもある。 ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。 ・30分以上の退出や授業終了30分以上前の早退は、欠席と同等と見做す。 ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくは Classroom で指示する。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	<ul style="list-style-type: none"> ●オリエンテーション ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・学習記録シートに関する説明 ●これまでの学習内容の確認 	対面授業	<p>【予習】シラバスに目を通す、教科書を準備する、Classroom登録。(1時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(1時間)</p>
2回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●文法：対策準備 Unit 1 ①～③ Unit 2 ドリル A 	対面授業	<p>【予習】2回目の授業範囲を解く。(2時間)</p> <p>※Unit2は「第1回」</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p> <p>※Unit2は「第2回」</p>
3回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●読解：基礎編 短文・中文 Unit 1・2 ●聴解：実践練習 課題理解 	対面授業	<p>【予習】3回目の授業範囲を解く。(2時間)</p> <p>※読解：「例題」「やってみよう」</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p> <p>※読解：「練習」、聴解：授業で扱わなかった問題、「重要語 使い方チェック！」</p>
4回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●文法：対策準備 Unit 1 ④～⑥ Unit 2 ドリル B 	対面授業	<p>【予習】4回目の授業範囲を解く。(2時間)</p> <p>※Unit2は「第1回」</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p> <p>※Unit2は「第2回」</p>
5回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●読解：基礎編 Unit 3・4 ●聴解：実践練習 ポイント理解 	対面授業	<p>【予習】5回目の授業範囲を解く。(2時間)</p> <p>※読解：「例題」「やってみよう」</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p> <p>※読解：「練習」、聴解：授業で扱わなかった問題、「重要語 使い方チェック！」</p>

6回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●文法：対策準備 Unit 1 ⑦～⑨ Unit 2 ドリル C 	対面授業	<p>【予習】 6回目の授業範囲を解く。(2時間) ※Unit2 は「第1回」</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間) ※Unit2 は「第2回」</p>
7回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●読解：基礎編 Unit 5・6 ●聴解：実践練習 概要理解 	対面授業	<p>【予習】 7回目の授業範囲を解く。(2時間)</p> <p>【※読解：「例題」「やってみよう」</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間) ※読解：「練習」、聴解：授業で扱わなかった問題、「重要語 使い方チェック！」</p>
8回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●文法：対策準備 Unit 1 ⑩～⑫ Unit 2 ドリル D 	対面授業	<p>【予習】 8回目の授業範囲を解く。(2時間) ※Unit2 は「第1回」</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間) ※Unit2 は「第2～4回」</p>
9回目	<ul style="list-style-type: none"> ●復習 ●中間テスト 	対面授業	<p>【予習】 これまでの学習内容を復習し、まとめておく。(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
10回目	<ul style="list-style-type: none"> ミニテスト ●文法：対策準備 Unit 1 ⑬～⑮ Unit 3 ドリル A 	対面授業	<p>【予習】 10回目の授業範囲を解く。(2時間) ※Unit3 は「第1回」</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間) ※Unit3 は「第2回」</p>
11回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●読解：基礎編 Unit 7・8 ●聴解：実践練習 即時応答 	対面授業	<p>【予習】 11回目の授業範囲を解く。(2時間) ※読解：「例題」「やってみよう」</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>

			※読解：「練習」、聴解：授業で扱わなかった問題、「重要語 使い方チェック！」
12回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●文法：対策準備 Unit 1 ⑯～⑱ Unit3 ドリル B 	対面授業	<p>【予習】 12 回目の授業範囲を解く。(2時間)</p> <p>※Unit3 は「第1回」</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p> <p>※Unit3 は「第2回」</p>
13回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●読解：基礎編 Unit 9・10 ●聴解：実践練習 統合理解 	対面授業	<p>【予習】 13 回目の授業範囲を解く。(2時間)</p> <p>※読解：「例題」「やってみよう」</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p> <p>※読解：「練習」、聴解：授業で扱わなかった問題、「重要語 使い方チェック！」</p>
14回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●文法：実践練習 	対面授業	<p>【予習】 14 回目の授業範囲を解く。(2時間)</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p>
15回目	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニテスト ●読解：基礎編 長文 A・B ●聴解：まとめ 	対面授業	<p>【予習】15 回目の授業範囲を解く。(2時間)</p> <p>※読解：「例題」</p> <p>【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)</p> <p>※読解：「練習」、聴解：授業で扱わなかった問題、「重要語 使い方チェック！」</p>
16回目	<ul style="list-style-type: none"> ●定期試験 	対面授業	<p>【予習】 定期試験に向けて準備を行う。(2時間)</p>

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『日本語能力試験 N2 読解必修パターン』Jリサーチ出版 『日本語能力試験 N2 文法必修パターン』Jリサーチ出版 『日本語能力試験 N2 聴解必修パターン』Jリサーチ出版
履修条件	目的意識を持って、授業に参加できること。
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回パソコン・スマートフォン、問題を解いたノート・教科書を持ってく ること。 ・予習ができていることを前提に授業をすすめるので、事前にしっかり準備しておくこと。
オフィスアワー	授業前後に対応。その他、アポイントがあれば適宜対応可。
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。

講義科目名称：日本語検定Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC307

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
西尾 春奈				

授業概要	日本語能力試験 N3 レベルの「文字・語彙」「文法」「聴解・読解」を学ぶ。 それぞれの力を伸ばすために試験対策問題に数多く取り組む。日本語能力試験に合格するだけでなく生活に必要な言語を身につけることも目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	日本語勉強の基礎力がつく（文字・語彙・文法・聴解・読解）。（日本語能力試験 N3 レベルの実力）	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	N3 相当の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。		
課題解決能力	目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	学び続けようと思い、スキルアップし続けることができる	授業への参加・態度	20%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 課題提出や連絡は Google classroom を利用する
- 定期試験 60%、ミニテスト 10%、予習・復習 10%、授業への参加・態度 20%の割合で評価する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン可	予習：指定教科書「文字語彙」「文法」「聴解読解」に目を通す
2回目	○文字・語彙：漢字読み①	対面授業	予習：次回授業で取り扱う問題(指定

	○文法：文の文法 1① ○聴解：課題理解① ○読解：内容理解（短文）①	オンライン可	箇所）を解く（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3回目	○文字・語彙：漢字読み② ○文法：文の文法 1② ○聴解：課題理解② ○読解：内容理解（短文）②	対面授業 オンライン可	予習：次回授業で取り扱う問題（指定箇所）を解く（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4回目	○文字・語彙：表記（漢字）① ○文法：文の文法 1③ ○聴解：課題理解③ ○読解：内容理解（短文）③	対面授業 オンライン可	予習：次回授業で取り扱う問題（指定箇所）を解く（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
5回目	○文字・語彙：表記（漢字）② ○文法：文の文法 1④ ○聴解：ポイント理解① ○読解：内容理解（短文）④	対面授業 オンライン可	予習：次回授業で取り扱う問題（指定箇所）を解く（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
6回目	○文字・語彙：表記（漢字）③ ○文法：文の文法 1⑤ ○聴解：ポイント理解② ○読解：内容理解（中文）①	対面授業 オンライン可	予習：次回授業で取り扱う問題（指定箇所）を解く（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
7回目	○文字・語彙：文脈規定① ○文法：文の文法 1⑥ ○聴解：ポイント理解③ ○読解：内容理解（中文）②	対面授業 オンライン可	予習：次回授業で取り扱う問題（指定箇所）を解く（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
8回目	○文字・語彙：文脈規定② ○文法：文の文法 2① ○聴解：概要理解① ○読解：内容理解（中文）③	対面授業 オンライン可	予習：次回授業で取り扱う問題（指定箇所）を解く（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
9回目	○文字・語彙：言い換え類義① ○文法：文の文法 2② ○聴解：概要理解② ○読解：内容理解（長文）①	対面授業 オンライン可	予習：次回授業で取り扱う問題（指定箇所）を解く（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
10回目	○文字・語彙：言い換え類義② ○文法：文章の文法① ○聴解：概要理解③ ○読解：内容理解（長文）②	対面授業 オンライン可	予習：次回授業で取り扱う問題（指定箇所）を解く（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
11回目	○文字・語彙：言い換え類義③ ○文法：文章の文法② ○聴解：発話表現①	対面授業 オンライン可	予習：次回授業で取り扱う問題（指定箇所）を解く（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）

	○読解：情報検索①		
12回目	○文字・語彙：用法① ○文法：文章の文法③ ○聴解：発話表現② ○読解：情報検索②	対面授業 オンライン可	予習：次回授業で取り扱う問題(指定箇所)を解く(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
13回目	○文字・語彙：用法② ○文法：文章の文法④ ○聴解：即時応答① ○読解：復習	対面授業 オンライン可	予習：次回授業で取り扱う問題(指定箇所)を解く(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
14回目	○文字・語彙：復習 ○文法：文章の文法⑤ ○聴解：即時応答② ○読解：復習	対面授業 オンライン可	予習：次回授業で取り扱う問題(指定箇所)を解く(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
15回目	○文字・語彙：復習・まとめ ○文法：復習・まとめ ○聴解：復習・まとめ ○読解：復習・まとめ	対面授業 オンライン可	予習：定期試験の準備(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「ドリル&ドリル 日本語能力試験 N3 文字・語彙」 「ドリル&ドリル 日本語能力試験 N3 文法」 「ドリル&ドリル 日本語能力試験 N3 聴解・読解」
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業前後で対応
備考・メッセージ	○欠席の場合は前もって連絡すること(連絡方法については授業開始時に指示する) ○携帯電話は指定した使用方法のみとする(授業開始時に指示する)

講義科目名称: 日本語検定Ⅱ N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC307

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q5Q	1年	2	選択	演習
担当教員				
岩崎 千恵				

授業概要	本講義は主に日本語検定試験(JLPT)の合格を目的とした試験対策講座である。本講義の受講対象者は日本語の学習時間が300から400時間程度の学習者を対象とし、学習漢字数300、語彙数1,500語の獲得を目指す。また、これらの基本語彙や、漢字を使った身近な話題の文章を理解し、日常で使われる基本的な会話が理解できるようになる為の、聞く、読む、話す、書くの4技能も同様に演習を通して身に付けることができるようになる。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力			
課題解決能力	言われたことだけでなく、自ら目標を設定し、自分の意見を出し、周りと助け合ってJLPT試験合格を目標に努力することができる	目標設定シートレポート報告	20%
主体的に学ぶ力	これまでの学習の成果を踏まえて、卒業後の就職や進学について具体的に考え、行動することができる	ミニテスト 期末テスト	20% 60%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では目標設定シートレポート報告20%、ミニテスト20%、期末テスト60%の割合で評価する ・本講義の課題レポートはGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題についての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。 ・出席管理は必ず自己管理で行うこと。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	①「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする クラス分け試験の確認	対面授業	予習:シラバスを前もって読んでおき、わからない言葉は調べておくこと 復習:目標設定シートの作成に取り掛かり、毎日の勉強に反映させること
2回目	文字語彙、文脈規定を中心に語彙の取得と、その用法、言い換えなどを学ぶ①	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
3回目	文字語彙、文脈規定を中心に語彙の取得と、その用法、言い換えなどを学ぶ②	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
4回目	文字語彙、文脈規定を中心に語彙の取得と、その用法、言い換えなどを学ぶ③	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
5回目	学習した語彙の使われ方を学ぶとともに、N3につながる基本的な文法を確実に学ぶ。また、文章を作ることができるようになる。①	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
6回目	学習した語彙の使われ方を学ぶとともに、N3につながる基本的な文法を確実に学ぶ。また、文章を作ることができるようになる。②	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
7回目	学習した語彙の使われ方を学ぶとともに、N3につながる基本的な文法を確実に学ぶ。また、文章を作ることができるようになる。③	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
8回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、ある程度のまとまった短文の文章を読み、理解できるようにする①	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標

			シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
9回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、ある程度のまとまった短文の文章を読み、理解できるようになる②	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標 シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
10回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、ある程度のまとまった中文の文章を読み、理解できるようになる①	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標 シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
11回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、ある程度のまとまった中文の文章を読み、理解できるようになる②	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標 シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
12回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、提示された資料を読み、必要な情報を読み解き、理解できるようになる①	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標 シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
13回目	これまで学んだ語彙、文法を活用して、提示された資料を読み、必要な情報を読み解き、理解できるようになる②	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標 シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
14回目	聴解① 短い会話文に繋がる適切な返答ができるようになる	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標 シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
15回目	聴解② 2人以上の会話を聞いて、適切な情報を取り出すことができるようになる	対面授業	予習:教科書で指定された問題を事前に解いておくこと 復習:本日の学びを目標 シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく

16回目	定期試験 これまで学んだ内容に関して、定期試験を行う	対面授業	予習:定期試験に備えておく 復習:理解できなかったことなどをまとめておく
------	-------------------------------	------	---

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	ドリル&ドリル 日本語能力試験N4 文字・語彙・文法・読解・聴解 978-4-89689-497-4
履修条件	日本語の学習時間が300から400時間程度の学習者を対象とする
履修上の注意	指定された課題を必ず、授業前にはしておくこと
オフィスアワー	月曜日1コマ目(9:10-10:30)
備考・メッセージ	漢字の取得も目指しています。根気よく頑張る人は時間が始めはかかりますが、学びを実感しやすいです。 一緒に頑張りましょう！ また、授業開始15分以内の出席は遅刻扱いになりますが、15分を越す場合は欠席になります。また、ひとつの授業に75分以上の出席がない場合、欠席扱いとなります。

講義科目名称：日本語演習Ⅲ（A L）	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CC712

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q8Q	2	1	選択	演習
担当教員				
梶谷 良子				

授業概要	留学生が日本の就職活動を理解し、日本での就職活動に必要な準備や対策を学ぶ。 日本における面接時に必要な身だしなみ、挨拶、受け答え、立ち居振る舞いなどの知識を学び、身につけ就職や進学のための面接に備える。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	面接時における立居振舞（立ち振る舞い）のマナー、正しい日本語で自分の気持ちを表現することができる。	筆記試験 実技試験 講義への参加・ 態度	60% 30% 10%
専門的知識や技能	面接の種類を理解し、面接時の手順とマナーを身につけることができる。		
異文化知識・対応能力	相手の話をきちんと聴いて理解し、自分の意見を礼儀正しく、感じよく、敬語を使つて的確に述べるようにする		
課題解決能力	各自の志望校、志望企業の面接に向けて、面接の練習に紳士に取り組む		
キャリアデザイン力	この学びを各自の志望校、志望企業への内定につなげる。 夢や目標を達成できるようにする。		
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 講義の進め方、心構え、テキストブックの確認をする	対面授業 オンライン可	
2回目	日本の企業で行われる面接とは	対面授業	予習：テキストブック142～145頁を読む

	面接の種類について	オンライン可	<p>んでおく (0.5h)</p> <p>復習：授業中に学んだ中で理解に繋がらなかったところを次回の授業で質問できるようにしておく (0.5h)</p>
3回目	面接の可否を分ける第一印象	対面授業 オンライン可	<p>予習：テキストブック 146～147 頁を読んでおく (0.5h)</p> <p>復習：自分自身の第一印象を良くするためのポイントを確認する (0.5h)</p>
4回目	服装のマナー	対面授業 オンライン可	<p>予習：テキストブック 148～149 頁を読んでおく (0.5h)</p> <p>復習：自分自身の面接時の服装を見直し、身だしなみのポイントを確認する (0.5h)</p>
5回目	立居振舞い (基本と入退室の流れ)	対面授業 オンライン可	<p>予習：配布プリントを読んでおく (0.5h)</p> <p>復習：立ち居振る舞いの基本と入退室の練習をする (0.5h)</p>
6回目	立居振舞い ①立ち姿、②座り姿、③立ち方 ④座り方、⑤歩き方、⑥お辞儀	対面授業 オンライン可	<p>予習：テキストブック 156～159 頁を読んでおく (0.5h)</p> <p>復習：入室から退室までの立居振舞いを練習し身につける (0.5h)</p>
7回目	会話のマナー	対面授業 オンライン可	<p>予習：テキストブック 150～151 頁を読んでおく (0.5h)</p> <p>復習：敬語の遣い方を確認する (0.5h)</p>
8回目	会話のマナー (間違いやすいビジネス用語)	対面授業 オンライン可	<p>予習：配布プリントを読んでおく (0.5h)</p> <p>復習：間違いやすいビジネス用語を書き出し確認する (0.5h)</p>
9回目	会話のマナー (面接応答の練習)	対面授業 オンライン可	<p>予習：配布プリントの面接質問に応答を記入しておく (0.5h)</p> <p>復習：応答での注意点を再確認する (0.5h)</p>
10回目	電話のマナー (電話の基本的なマナー)	対面授業 オンライン可	<p>予習：テキストブック 152 頁を読んでおく (0.5h)</p> <p>復習：授業中に学んだ中で理解に繋がらなかったところを次回の授業で質問できるようにしておく (0.5h)</p>

11 回目	電話のマナー（電話のかけ方） 対象企業に初めて電話する場合	対面授業 オンライン可	予習：テキストブック 153 頁を読んで おく（0.5h） 復習：授業で学んだ電話対応の練習を する（0.5h）
12 回目	電話のマナー（電話のかけ方） 企業から電話がかかってきた場 合 遅刻時の対処方法	対面授業 オンライン可	予習：テキストブック 154～155 頁を 読んでおく（0.5h） 復習：授業で学んだ電話対応の練習を する（0.5h）
13 回目	面接で聞かれる質問	対面授業 オンライン可	予習：テキストブック 160～162 頁を 読んでおく（0.5h） 復習：授業中に学んだ中で理解に繋が らなかったところを次回の授業で質 問できるようにしておく（0.5h）
14 回目	模擬面接	対面授業 オンライン可	予習：テキストブック 164 頁を読んで おく（0.5h） 復習：模擬面接での注意点を確認し練 習する（0.5h）
15 回目	模擬面接	対面授業 オンライン可	予習：前回の授業でした模擬面接の練 習（0.5h） 復習：模擬面接で指摘された内容に関 して、改善し何度も練習して、実際 の面接に生かす（0.5h）
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『留学生のための就職内定ワークブック』 日本能率協会マネジメントセンター
履修条件	身だしなみ（ネクタイ、髪型、靴）に気をつけ、スーツまたは制服で出席すること
履修上の注意	しっかりと予習復習し学んだことを「わかる」から「できる」ようにすること
オフィスアワー	授業の前後で対応します
備考・メッセージ	遅刻する際は、必ず 15 分前までに、クラスルームへ連絡すること

講義科目名称：Awesome Sasebo! II（定着）（日）	授業コード：
英文科目名称：Awesome Sasebo! II	ナンバリング：P S 5 0 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5	2年	1	必修	実習
担当教員				
牟田 美信、その他				

授業概要	<p>以下の6項目を学びの目的とし、「地域共生学科PRプロジェクト」「地域活動・行事参加プロジェクト」をグループ別を実施します。</p> <p>1) 社会人基礎力の醸成（①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力）</p> <p>2) 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成</p> <p>3) 調査・情報収集・まとめの力の向上</p> <p>4) プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上</p> <p>5) 言語運用能力（翻訳等）の向上</p> <p>6) 地域のニーズを把握して解決する力の向上</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> - 調査・情報収集・まとめの力の向上ができる - プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上ができる - 言語運用能力（翻訳等）の向上ができる 	<ul style="list-style-type: none"> - NJC学生ホームページの充実度 - インタビュー取材、映像作成の内容 	40%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> - 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成ができる 	<ul style="list-style-type: none"> - 自発的なコミュニケーションと関わり度 	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> - 社会人基礎力の醸成（①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力）ができる - 地域のニーズを把握して解決する力の向上ができる 	<ul style="list-style-type: none"> - 積極性 - 独創性 - チームとしてのまとめ 	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項
<p>1) 「地域共生学科PRプロジェクト」では、いかに「地域共生学科」をPRするかをプロジェクトミッションとし、その過程で、6つの学びの目的の達成を目指す。また、</p> <p>2) 「地域活動・行事参加プロジェクト」では、地域の行事に参加することで、同様に、6項目の目標達成を目指します。学科指定の行事以外でも、教員確認後、例えば地元のイベントに参加し活動し、活動報告を行うことも可能とする。</p> <p>3) 地域の声を聞いて、地域で必要とされる課題を把握し、地域の方と協力しながら解決することを目指す。また、地域住民のアンケートなどを通じて評価を頂き、その結果を次年度の活動に反映する。</p> <p>4) 課題の提出はGoogle classroomを使って行い、フィードバックは次回の授業の中で行う。</p> <p>5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。</p>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション1：プロジェクト、サイト説明、PRについて小講義、チーム・プロジェクト班の説明	対面授業	予習：特になし 復習：チーム説明を見ておく(1時間)
2回目	オリエンテーション2：「AwesomeNJC会社」の説明、クラウドコンピューティング小講義、プロジェクト希望アンケート	対面授業	予習：Awesome NJC!サイトを見る(0.5時間) 復習：学びノートのみまとめ(0.5時間)
3回目	チーム・Q5プロジェクト班分け プロジェクト活動の開始：各プロジェクトの目標、スケジュール、ワークフローを説明する	対面授業	予習：チーム希望アンケートに記入する(0.5時間) 復習：チームワークフォローの説明をノートにまとめる(0.5時間)
4回目	プロジェクト活動	対面授業	予習：年間カレンダーを見ておく(0.5時間) 復習：チームの仕事をノートにまとめる(0.5時間)
5回目	プロジェクト活動	対面授業	予習：参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習：知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
6回目	プロジェクト活動	対面授業	予習：参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習：知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
7回目	プロジェクト活動	対面授業	予習：参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習：知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
8回目	プロジェクト活動	対面授業	予習：参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習：知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
9回目	プロジェクト活動	対面授業	予習：参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習：知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
10回目	プロジェクト活動	対面授業	予習：参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習：知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
11回目	プロジェクト活動	対面授業	予習：参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習：知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
12回目	プロジェクト活動	対面授業	予習：参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習：知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
13回目	プロジェクト活動 Q5の進捗プレゼン作成	対面授業	予習：参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習：知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
14回目	プロジェクト活動 Q5の進捗プレゼン作成	対面授業	予習：参考にアイデアを調べておく(0.5時間)

			復習：知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
15回目	まとめの発表：各班は今タームの進捗を発表する	対面授業	予習：まとめの発表の準備をする(1時間)
16回目	(試験は実施せず、授業の成果物で評価する)		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	特になし
履修条件	なし
履修上の注意	グループメンバー全員が分担して作業が行えるように計画すること。
オフィスアワー	月曜日（13：10－16：20） *その他、空きコマ（研究室ドアに提示）も可
備考・メッセージ	普段から、学科、コースを超えて、教職員や学生とコミュニケーションをとるように心がけてください。

講義科目名称：Awesome Sasebo! III(応用) (日)	授業コード：
英文科目名称：Awesome Sasebo! III	ナンバリング：P S 6 0 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6	2年	1	必修	実習
担当教員				
牟田 美信、その他				

授業概要	<p>以下の6項目を学びの目的とし、「地域共生学科PRプロジェクト」「地域活動・行事参加プロジェクト」をグループ別を実施します。</p> <p>1) 社会人基礎力の醸成（①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力）</p> <p>2) 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成</p> <p>3) 調査・情報収集・まとめの力の向上</p> <p>4) プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上</p> <p>5) 言語運用能力（翻訳等）の向上</p> <p>6) 地域のニーズを把握して解決する力の向上</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> - 調査・情報収集・まとめの力の向上ができる - プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上ができる - 言語運用能力（翻訳等）の向上ができる 	<ul style="list-style-type: none"> - NJC学生ホームページの充実度 - インタビュー取材、映像作成の内容 	40%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> - 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成ができる 	<ul style="list-style-type: none"> - 自発的なコミュニケーションと関わり度 	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> - 社会人基礎力の醸成（①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力）ができる - 地域のニーズを把握して解決する力の向上ができる 	<ul style="list-style-type: none"> - 積極性 - 独創性 - チームとしてのまとめ 	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項
<p>1) 「地域共生学科PRプロジェクト」では、いかに「地域共生学科」をPRするかをプロジェクトミッションとし、その過程で、6つの学びの目的の達成を目指す。また、</p> <p>2) 「地域活動・行事参加プロジェクト」では、地域の行事に参加することで、同様に、6項目の目標達成を目指します。学科指定の行事以外でも、教員確認後、例えば地元のイベントに参加し活動し、活動報告を行うことも可能とする。</p> <p>3) 地域の声を聞いて、地域で必要とされる課題を把握し、地域の方と協力しながら解決することを目指す。また、地域住民のアンケートなどを通じて評価を頂き、その結果を次年度の活動に反映する。</p> <p>4) 課題の提出はGoogle classroomを使って行い、フィードバックは次回の授業の中で行う。</p> <p>5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。</p>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション：Q6プロジェクト説明、プロジェクト希望アンケート、Q6班発表	対面授業	予習: 特になし 復習: プロジェクト説明を見ておく (1時間)
2回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
3回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
4回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
5回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
6回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
7回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
8回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
9回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
10回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
11回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
12回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
13回目	プロジェクト活動 Q6の進捗プレゼン作成	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
14回目	プロジェクト活動 Q6の進捗プレゼン作成	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)

15回目	まとめの発表：各班は今タームの進捗を発表する	対面授業	予習：まとめの発表の準備をする(1時間)
16回目	(試験は実施せず、授業の成果物で評価する)		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	特になし
履修条件	なし
履修上の注意	グループメンバー全員が分担して作業が行えるように計画すること。
オフィスアワー	月曜日（13：10－16：20） *その他、空きコマ（研究室ドアに提示）も可
備考・メッセージ	普段から、学科、コースを超えて、教職員や学生とコミュニケーションをとるように心がけてください。

講義科目名称：留② Awesome Sasebo!Ⅲ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：P S 6 0 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	1	必修	演習
担当教員				
岩崎、チャウ				

授業概要	<p>「Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で課題解決能力の育成を目的とした1Qから2年生の8Qまで続く演習授業である。留学生の本演習授業では、学んだ様々な語学を活用しながらこれまで学び、体験したことを用いて、地域の様々な課題解決に挑戦し、自己を振り返る機会となるように組み立てられている。</p> <p>Awesome Sasebo!Ⅲでは、2年生のチームの前年の活動経験をシェアしながら留学生1年生へ教えるコーチングを行う。また3Q出の学外活動の支援を行う。支援計画を学生が立て、実行できるようになる演習としたい。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	率先して常に目的に適した振る舞いができ、他者にも促すことができる	授業態度	5
専門的知識や技能	相手や目的・場面に応じて自らの意志を表現・伝達することができる。また、相手の意志を理解することができる。	授業態度 課題	5 10
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、行動に取り入れることができる。さらに共通の理解を得るために交渉を始めることができる。	課題	10
課題解決能力	相手の意見を理解し、自分の意見を的確に伝え、自分の感情をコントロールすることができる。また柔軟に物事に取り組み、チームで協力して活動することができる	授業態度	50
キャリアデザイン力	コーチングの方法を実践することができる	授業態度	20
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・ 本講義では課題20%、授業参加態度80%の割合で評価する ・ 本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
6/13 1回目	「コーチング①：オリエンテーション」 1年生の交流授業の準備のため、昨年の高校交流授業を実演する インタビューを受ける	対面授業	予習：コーチングに関する配布資料を読んでおく。未習語彙は調べておくこと。 Googleclassroomのクラスに登録する(1時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(1時間)
6/13 2回目	「コーチング②」 1年生の気づきを共有し、自己反省の材料とする。 チームでの活動時の気を付けること、アドバイスなど支援を行う	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(1時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(1時間)
6/20 3回目	「コーチング③」 1年生の交流授業の準備のため、昨年の小学校交流授業を実演する インタビューを受ける	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(1時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(1時間)
6/20 4回目	「コーチング④」 1年生の気づきを共有し、自己反省の材料とする。 チームでの活動時の気を付けること、アドバイスなど支援を行う	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(1時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(1時間)
6/27 5回目	「活動準備①」 リーダー決め、チームメンバー決め アイスブレイク 役割決めをして各役割の活動を明確にする	対面授業	予習：どのチームで活動を行うのか、役割も含めて考えておく(1時間) 復習：役割構成を見直し、各部分に必要なものや役割は見直し、classroomを通して共有する(1時間)
6/27 6回目	「活動準備②」 活動に必要な物、タイムスケジュールなど計画を具体的に立てる PPT等の作成に取り掛かる	対面授業	予習：これまでの準備を参考に、すぐに活動が開始できるように準備しておく(1時間) 復習：資料の共有などをclassroomを通して実施する(1時間)
7/4 7回目	「活動準備③」 活動に必要な物、タイムスケジュールなど計画を具体的に立てる PPT等の作成に取り掛かる	対面授業	予習：これまでの準備を参考に、すぐに活動が開始できるように準備しておく(1時間) 復習：資料の共有などをclassroomを通して実施する(1時間)
7/4 8回目	「活動準備④」 活動に必要な物、タイムスケジュールなど計	対面授業	予習：これまでの準備を参考に、すぐに活動が開始できるように準備しておく(1

	画を具体的に立てる PPT等の作成に取り掛かる		時間) 復習：資料の共有などを classroomを通して実施す る(1時間)
7/11 9回目	「活動準備⑤」 活動に必要な物、タイムスケジュールなど計 画を具体的に立てる PPT等の作成に取り掛かる	対面授業	予習：これまでの準備を参 考に、すぐに活動が開始で きるように準備しておく(1 時間) 復習：資料の共有などを classroomを通して実施す る(1時間)
7/11 10回目	「活動準備⑥」 活動に必要な物、タイムスケジュールなど計 画を具体的に立てる PPT等の作成に取り掛かる	対面授業	予習：これまでの準備を参 考に、すぐに活動が開始で きるように準備しておく(1 時間) 復習：資料の共有などを classroomを通して実施す る(1時間)
7/25 11回目	「試演①」 実際に時間を計って、計画通りにしてみる 感想を出し合い、修正があれば修正を行う	対面授業	予習：自分の役割などを明 確にしておく(1時間) 復習：構成を見直し、次ま でに修正が必要なものは見 直す(1時間)
7/25 12回目	「試演②」 実際に時間を計って、計画通りにしてみる 感想を出し合い、修正があれば修正を行う	対面授業	予習：自分の役割などを明 確にしておく(1時間) 復習：構成を見直し、次ま でに修正が必要なものは見 直す(1時間)
8/1 13回目	「修正①」 実際に時間を計りながら修正を加える 感想を出し合いチームとして、良いものにな るように互いの意見を共有する	対面授業	予習：修正が加わった部分 に関して、ひとりでできる 部分は事前しておく(1時 間) 復習：互いの意見をまとめ て提出する(1時間)
8/1 14回目	「修正②」 実際に時間を計りながら修正を加える 感想を出し合いチームとして、良いものにな るように互いの意見を共有する	対面授業	予習：修正が加わった部分 に関して、ひとりでできる 部分は事前しておく(1時 間) 復習：互いの意見をまとめ て提出する(1時間)
8/8 15回目	「発表①」 作成物の発表（PPT、配布物、掲示物）を行 う。	対面授業	予習：発表会の資料に目を 通しておく(1時間) 復習：作成物を皆で共有で きる場所に保存し、内容確 認をしておく(1時間)
8/8 16回目	「発表②」 作成物の発表（PPT、配布物、掲示物）を行 う。 授業アンケートの実施	対面授業	予習：発表会の資料に目を 通しておく(1時間) 復習：作成物を皆で共有で きる場所に保存し、内容確 認をしておく(1時間)

科目（教職課程用）	なし
-----------	----

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』プレゼンテーション
履修条件	Awesome Sasebo！Ⅱを履修していること
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。 また、2年生は1年生のチューターの役割があるため、今年の学びを自分の中で授業前に復習しておくこと
オフィスアワー	金曜日4コマ目（14:50～15:50）研究室
備考・メッセージ	遅刻する際は、必ず15分前までにはクラスルームへ連絡すること

講義科目名称：Awesome Sasebo! IV(応用) (日)	授業コード：
英文科目名称：Awesome Sasebo! IV	ナンバリング：P S 7 0 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7	2年	1	必修	実習
担当教員				
牟田 美信、その他				

授業概要	<p>以下の6項目を学びの目的とし、「地域共生学科PRプロジェクト」「地域活動・行事参加プロジェクト」をグループ別を実施します。</p> <p>1) 社会人基礎力の醸成（①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力）</p> <p>2) 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成</p> <p>3) 調査・情報収集・まとめの力の向上</p> <p>4) プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上</p> <p>5) 言語運用能力（翻訳等）の向上</p> <p>6) 地域のニーズを把握して解決する力の向上</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> - 調査・情報収集・まとめの力の向上ができる - プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上ができる - 言語運用能力（翻訳等）の向上ができる 	<ul style="list-style-type: none"> - NJC学生ホームページの充実度 - インタビュー取材、映像作成の内容 	40%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> - 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成ができる 	<ul style="list-style-type: none"> - 自発的なコミュニケーションと関わり度 	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> - 社会人基礎力の醸成（①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力）ができる - 地域のニーズを把握して解決する力の向上ができる 	<ul style="list-style-type: none"> - 積極性 - 独創性 - チームとしてのまとめ 	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項
<p>1) 「地域共生学科PRプロジェクト」では、いかに「地域共生学科」をPRするかをプロジェクトミッションとし、その過程で、6つの学びの目的の達成を目指す。また、</p> <p>2) 「地域活動・行事参加プロジェクト」では、地域の行事に参加することで、同様に、6項目の目標達成を目指します。学科指定の行事以外でも、教員確認後、例えば地元のイベントに参加し活動し、活動報告を行うことも可能とする。</p> <p>3) 地域の声を聞いて、地域で必要とされる課題を把握し、地域の方と協力しながら解決することを目指す。また、地域住民のアンケートなどを通じて評価を頂き、その結果を次年度の活動に反映する。</p> <p>4) 課題の提出はGoogle classroomを使って行い、フィードバックは次回の授業の中で行う。</p> <p>5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。</p>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション：Q7プロジェクト説明、プロジェクト希望アンケート、Q7班発表	対面授業	予習: 特になし 復習: プロジェクト説明を見ておく (1時間)
2回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
3回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
4回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
5回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
6回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
7回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
8回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
9回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
10回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
11回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
12回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
13回目	プロジェクト活動 Q7の進捗プレゼン作成	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
14回目	プロジェクト活動 Q7の進捗プレゼン作成	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)

15回目	まとめの発表：各班は今タームの進捗を発表する	対面授業	予習：まとめの発表の準備をする(1時間)
16回目	(試験は実施せず、授業の成果物で評価する)		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	特になし
履修条件	なし
履修上の注意	グループメンバー全員が分担して作業が行えるように計画すること。
オフィスアワー	月曜日（13：10－16：20） *その他、空きコマ（研究室ドアに提示）も可
備考・メッセージ	普段から、学科、コースを超えて、教職員や学生とコミュニケーションをとるように心がけてください。

講義科目名称：Awesome Sasebo! V(応用) (日)	授業コード：
英文科目名称：Awesome Sasebo! V	ナンバリング：P S 8 0 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
8	2年	1	必修	実習
担当教員				
牟田 美信、その他				

授業概要	<p>以下の6項目を学びの目的とし、「地域共生学科PRプロジェクト」「地域活動・行事参加プロジェクト」をグループ別を実施します。</p> <p>1) 社会人基礎力の醸成（①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力）</p> <p>2) 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成</p> <p>3) 調査・情報収集・まとめの力の向上</p> <p>4) プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上</p> <p>5) 言語運用能力（翻訳等）の向上</p> <p>6) 地域のニーズを把握して解決する力の向上</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> - 調査・情報収集・まとめの力の向上ができる - プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上ができる - 言語運用能力（翻訳等）の向上ができる 	<ul style="list-style-type: none"> - NJC学生ホームページの充実度 - インタビュー取材、映像作成の内容 	40%
異文化知識・対応能力	<ul style="list-style-type: none"> - 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成ができる 	<ul style="list-style-type: none"> - 自発的なコミュニケーションと関わり度 	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> - 社会人基礎力の醸成（①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力）ができる - 地域のニーズを把握して解決する力の向上ができる 	<ul style="list-style-type: none"> - 積極性 - 独創性 - チームとしてのまとめ 	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項
<p>1) 「地域共生学科PRプロジェクト」では、いかに「地域共生学科」をPRするかをプロジェクトミッションとし、その過程で、6つの学びの目的の達成を目指す。また、</p> <p>2) 「地域活動・行事参加プロジェクト」では、地域の行事に参加することで、同様に、6項目の目標達成を目指します。学科指定の行事以外でも、教員確認後、例えば地元のイベントに参加し活動し、活動報告を行うことも可能とする。</p> <p>3) 地域の声を聞いて、地域で必要とされる課題を把握し、地域の方と協力しながら解決することを目指す。また、地域住民のアンケートなどを通じて評価を頂き、その結果を次年度の活動に反映する。</p> <p>4) 課題の提出はGoogle classroomを使って行い、フィードバックは次回の授業の中で行う。</p> <p>5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。</p>

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション：Q8プロジェクト説明、プロジェクト希望アンケート、Q8班発表	対面授業	予習: 特になし 復習: プロジェクト説明を見ておく (1時間)
2回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
3回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
4回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
5回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
6回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
7回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
8回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
9回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
10回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
11回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
12回目	プロジェクト活動	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
13回目	プロジェクト活動 Q8の進捗プレゼン作成	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
14回目	プロジェクト活動 Q8の進捗プレゼン作成	対面授業	予習: 参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)

15回目	まとめの発表：各班は今タームの進捗を発表する	対面授業	予習：まとめの発表の準備をする(1時間)
16回目	(試験は実施せず、授業の成果物で評価する)		

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	特になし
履修条件	なし
履修上の注意	グループメンバー全員が分担して作業が行えるように計画すること。
オフィスアワー	月曜日（13：10－16：20） *その他、空きコマ（研究室ドアに提示）も可
備考・メッセージ	普段から、学科、コースを超えて、教職員や学生とコミュニケーションをとるように心がけてください。

講義科目名称:ギャップイヤー事前指導	授業コード: 5 1 1 4 4
英文科目名称:	ナンバリング:GY101

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2	選択	演習
担当教員				
岩崎				

授業概要	「ギャップイヤー事前指導」は「ギャップイヤー事後指導」と共に、国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で自己実現のための「生きる力」の育成を目的とした1Q2Qと4Qまで続く授業である。 留学生の本授業では、3Qでの地域学習(高校での授業、小学校との交流授業など)の実施準備期間として、必要なプレゼンテーション能力や語学力、異文化対応能力等の育成を図る。チームでの活動が多いため、チーム力育成のための方法なども同時に学ぶ。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	試行錯誤しながら。自ら考え行動する	授業態度	20%
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力	異なる文化を持つ人々との関わりを通して、自己の文化的ルールや偏見を認識し、維持・改善をしようと試みることができる。	授業態度	20%
課題解決能力	確認や見直しを行い、事前に計画をたて自分の考察を交えてチームで解決することができる。	レポート	30%
主体的に学ぶ力	これまでの学習の成果を踏まえて、卒業後の就職や進学について具体的に考え、行動することができる	レポート	30%
合計			100%

補足事項
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義ではレポート報告60%、授業態度40%の割合で評価する ・本講義の課題レポートはGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関する教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。 ・出席管理は必ず自己管理で行うこと。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	①「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする クラス分け試験の確認	対面授業	予習:シラバスを前もって読んでおき、わからない言葉は調べておくこと 復習:目標設定シートの作成に取り掛かり、毎日の勉強に反映させること
2回目	将来のキャリアを見据え、自分に必要な経験や能力、日本語資格は何かを熟考し、研修プランを計画する①	対面授業	予習:地域と職業で学習した「学習シート」を復習しておく。 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
3回目	将来のキャリアを見据え、自分に必要な経験や能力、日本語資格は何かを熟考し、研修プランを計画する②	対面授業	予習:地域と職業で学習した「学習シート」の「キャリア」部分に必要なことを追記しておく 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
4回目	計画したプランを担当教員と確認し、実行するために必要な情報を検索し、具体化させる①	対面授業	予習:実習プランを完成させておく 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
5回目	計画したプランを担当教員と確認し、実行するために必要な情報を検索し、具体化させる②	対面授業	予習:実習プランを完成させておく 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
6回目	実習① 計画に沿って実施し、レポートを提出する	対面授業	予習:実習先と連携し、目的を再確認する 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
7回目	実習② 計画に沿って実施し、レポートを提出する	対面授業	予習:実習先と連携し、目的を再確認する 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどを

			まとめておく
8回目	実習③ 計画に沿って実施し、レポートを提出する	対面授業	予習:実習先と連携し、目的を再確認する 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
9回目	実習④ 計画に沿って実施し、レポートを提出する	対面授業	予習:実習先と連携し、目的を再確認する 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
10回目	実習⑤ 計画に沿って実施し、レポートを提出する	対面授業	予習:実習先と連携し、目的を再確認する 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
11回目	実習⑥ 計画に沿って実施し、レポートを提出する	対面授業	予習:実習先と連携し、目的を再確認する 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
12回目	実習⑦ 計画に沿って実施し、レポートを提出する	対面授業	予習:実習先と連携し、目的を再確認する 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく
13回目	活動まとめ① 実習(活動)が予定通りできたのかをまとめ、それが自分のキャリアにどう反映できるのかレポート作成を行う	対面授業	予習:実習活動の内容を振り返っておく 復習:発表の準備をしておく
14回目	活動まとめ② 実習(活動)が予定通りできたのかをまとめ、それが自分のキャリアにどう反映できるのかレポート作成を行う	対面授業	予習:実習活動の内容を振り返っておく 復習:発表の準備をしておく
15回目	活動発表 今回の学びに関して、まとめたPPT等を発表し、学びの確認をするとともに、将来のキャリアのどの部分で活用されるのかを考える	対面授業	予習:発表準備 復習:本日の学びを目標シートに書き込み、数値化した学習内容理解度を確認。理解できなかったことなどをまとめておく

科目(教職課程用)	なし
-----------	----

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	ドリル&ドリル 日本語能力試験N4 文字・語彙・文法・読解・聴解 978-4-89689-497-4
履修条件	日本語の学習時間が300から400時間程度の学習者を対象とする
履修上の注意	指定された課題を必ず、授業前にはしておくこと
オフィスアワー	月曜日1コマ目(9:10-10:30)
備考・メッセージ	漢字の取得も目指しています。根気よく頑張る人は時間が始めはかかりますが、学びを実感しやすいです。 一緒に頑張りましょう！ また、授業開始15分以内の出席は遅刻扱いになりますが、15分を越す場合は欠席になります。また、ひとつの授業に75分以上の出席がない場合、欠席扱いとなります。

ギャップイヤー事後指導	授業コード:
英文科目名称: Follow-up Seminar for Gap Term	ナンバリング: GY401

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	必修	演習
担当教員				
牟田 美信				

授業概要	<p>ギャップタームで体験したことを詳細に言語化し、次の学びや、キャリアへ繋がります。</p> <p>① 自分が体験したことを客観的に捉え、正しく文章で表現できる。自分で設定した5つの目標に対する自己評価を行う(日誌に追加)。 https://docs.google.com/document/d/1Zkls4fzREtIf9a-Mvh8nFuO5itQnNU-0KTQOYaU40Tg/edit</p> <p>② プレゼンテーション用のgoogleスライド(google フォト、googleドライブ)を使い、効果的なプレゼンテーションを作成できる。</p> <p>③ スライドを使い、口頭で的確にプレゼンテーションをすることができる。</p> <p>* ルーブリック評価表あり。</p> <p>(ギャップタームの振り返り)</p> <p>① ポジティブな思い・経験(箇条書き)</p> <p>② ネガティブな思い・経験(箇条書き)</p> <p>③ 5W1H(仕事の日のスケジュール、休日の過ごし方なども含む)</p> <p>④ 学んだ事</p> <p>⑤ 残された短大生活をどうするか(目標など)</p> <p>⑥ 次年度参加する後輩へ伝えたいこと/アドバイス</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			

専門的知識や技能	・振り返りを第三者にも分かりやすくスライドを作成し、プレゼンテーションができる。 ・Google Slideを使うことができる。	・プレゼンテーション	50%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	・ギャップタームの経験を詳細に分析し、振り返り(体験の言語化)が正しく文章化できる。	・文書作成 ・授業や活動への参/態度	50%
合計			100%
補足事項			
<p>・「授業内で行うタスク」、「授業や活動への参加・態度」で、総合的に評価します。</p> <p>・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。</p> <p>・プレゼンテーションに関しては、ルーブリック評価表を使用する。 https://drive.google.com/file/d/1YOUijafajqaZ3thTOBrbU8S7ImhUncr-/view?usp=sharing</p> <p>・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。</p>			

授業計画	授業内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	------	------	-------------

<p>1回目 4/11</p>	<p>オリエンテーション (授業の目的と内容説明) ・ディプロマサプリの説明 ・Google documentの使い方動画紹介 ・Google Slideの作り方動画紹介 https://www.youtube.com/playlist?list=PLHv_165v6sJSYfCKRtxq1F6aE0RhBA8a7</p>	<p>対面授業</p>	<p>予習:ギャップ中に書いた日誌を読み返し、体験の言語化の準備。(1時間) 復習:授業中に行なった振り返りに関して、再度、確認をしておくこと。(1時間)</p>
<p>2回目 4/11</p>	<p>(第2回目)「キャリアステップ」社会人基礎力テスト</p>	<p>対面授業</p>	<p>予習:第1回目のキャリアステップの結果の振り返り(1時間) 復習:授業中に行なった振り返りに関して、再度、確認をしておくこと。(1時間)</p>
<p>3回目 4/18</p>	<p>ギャップタームの振り返り (日誌に、次の6項目を中心に振り返りを書きだし) ・ギャップタームジャーナル(日誌)の未完成部分の記入 ①ポジティブな思い・経験(箇条書き) ②ネガティブな思い・経験(箇条書き) ③5W1H(仕事の日のスケジュール、休日の過ごし方なども含む) ④学んだ事 ⑤残された短大生活をどうするか(目標など) ⑥次年度参加する後輩へ伝えたいこと/アドバイス</p>	<p>対面授業</p>	<p>予習:ギャップ中に書いた日誌を読み返し、体験の言語化の準備。 (1時間) 復習:授業中に行なった振り返りに関して、再度、確認をしておくこと。(1時間)</p>

<p>4回目 4/18</p>	<p>ギャップタームの振り返り (グループ単位で1人3分間で体験を語る)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループを作り、司会とタイムキーパーを決める ・終了したら、メンバーを変え、できるだけ多くの学生と体験をシェアする。 ・何度も人前で話すことにより、しっかりとした自分の意見をまとめ、スライド作成の準備をおこなう。 <p>* ネガティブな経験も、将来の自分にとってポジティブなものにするように話す。</p>	<p>対面授業</p>	<p>予習:ギャップ中に書いた日誌を読み返し、体験の言語化の準備。(1時間)</p> <p>復習:授業中に行なった振り返りに関して、再度、確認をしておくこと。(1時間)</p>
<p>5回目 4/25</p>	<p>ギャップタームの振り返り (Google スライド(+動画)で作成)</p> <p>* 事後指導プレゼンテーション・ルーブリック評価表を参照</p>	<p>対面授業</p>	<p>予習:スライド作成準備。(1時間)</p> <p>復習:授業中に行なったスライド作成に関して、再度、確認をしておくこと。(1時間)</p>
<p>6回目 4/25</p>	<p>ギャップタームの振り返り (Google スライド(+動画)で作成)</p> <p>* 事後指導プレゼンテーション・ルーブリック評価表を参照</p>	<p>対面授業</p>	<p>予習:スライド作成準備。(1時間)</p> <p>復習:授業中に行なったスライド作成に関して、再度、確認をしておくこと。(1時間)</p>
<p>7回目 5/9</p>	<p>ギャップタームの振り返り (Google スライド(+動画)で作成)</p> <p>* 事後指導プレゼンテーション・ルーブリック評価表を参照</p>	<p>対面授業</p>	<p>予習:スライド作成準備。(1時間)</p> <p>復習:授業中に行なったスライド作成に関して、再度、確認をしておくこと。(1時間)</p>

8回目 5/9	<p>クラス内プレゼンテーション①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアチェックを行い、加筆修正を加える。 * 事後指導プレゼンテーション・ルーブリック評価表を参照 	対面授業	<p>予習:作成したスライドでのプレゼン練習(1時間)</p> <p>復習:プレゼンの修正と練習(1時間)</p>
9回目 5/16	<p>クラス内プレゼンテーション②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアチェックを行い、加筆修正を加える。 * 事後指導プレゼンテーション・ルーブリック評価表を参照 	対面授業	<p>予習:作成したスライドでのプレゼン練習(1時間)</p> <p>復習:プレゼンの修正と練習(1時間)</p>
10回目 5/16	<p>クラス内プレゼンテーション③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアチェックを行い、加筆修正を加える。 * 事後指導プレゼンテーション・ルーブリック評価表を参照 <p>* 5/20(金)、5/27(金)4コマ目、代表者が1年生へプレゼン</p>	対面授業	<p>予習:作成したスライドでのプレゼン練習(1時間)</p> <p>復習:プレゼンの修正と練習(1時間)</p>
11回目 5/23	<p>ELPA英語テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> * ギャップ後の言語能力変化調査 	対面授業。	<p>予習:英語テストの準備をしておく。(1時間)</p> <p>復習:特になし時間)</p>
12回目 5/23	<p>ELPA日本語テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> * ギャップ後の言語能力変化調査 	対面授業	<p>予習:日本語テストの準備をしておく。(1時間)</p> <p>復習:特になし</p>
13回目 5/30	<p>履歴書修正・追加 (1年次作成goole documetへ)</p> <p>https://drive.google.com/drive/folders/1jV6y_scd3P53X4bSMp-iB-IEE67IVnK2?usp=sharing</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短大時代に頑張ったこと ・自己PR * 就職を念頭に準備 	対面授業	<p>予習:1年時に作成した履歴書を見直しておく(1時間)</p> <p>復習:引き続き、就職を意識し、履歴書の内容を考えておく(1時間)</p>

14回目 5/30	「キャリアステップ」社会人基礎力テスト結果の分析 ・インターンシップジャーナルヘデータを記入 ・自分の強み/弱みの書き出し ・弱みに対して、今後どうするかを書き出し ・書き出したものをグループ内で発表(ローテーション)	対面授業	予習:第1回目のキャリアステップの結果の振り返り(1時間) 復習:最終発分析の整理(1時間)
15回目 6/6	まとめ ・履歴書に、キャリアステップで分析した内容を書き込む。 ・現時点での進路に関して、発表する。	対面授業	予習:第1回キャリアステップ社会人基礎力テストで分析した結果を見直しておく。(1時間) 復習:まとめとして、ジャーナルと履歴書を完成させる。(1時間)
16回目 6/6	授業なし		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	
履修上の注意	ギャップタームでの経験は、これからの職業や進路選択な重要な時期になるので、振り返り(体験の言語化)をしっかりと、自分のキャリアにつなげて欲しい。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) *その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	体験したことを可能な限り言語化できるように、日頃から気づいたことを記録しておくこと。

